

## くまもと市の環境 別冊

# 「第3次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書 【令和元年度(2019年度)版】

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

令和2年(2020年)11月  
熊 本 市



## 目 次

|                                                                                                                |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 調査概要 .....                                                                                                   | 1  |
| 2 アンケート調査結果 令和元年度(2019 年度) .....                                                                               | 2  |
| (1) 回答者の内訳 .....                                                                                               | 2  |
| (2) 調査結果 .....                                                                                                 | 6  |
| ■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その 1） .....                                                                              | 6  |
| 問 1. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動によ<br>り守られていると感じますか。（1 つだけ） .....                                          | 6  |
| 問 2. 熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。（1 つだけ） .....                                                                          | 8  |
| 問 3. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感<br>じますか。（1 つだけ） .....                                                   | 10 |
| ■「ひとづくりプロジェクト」について .....                                                                                       | 12 |
| 問 4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じます<br>か。（1 つだけ） .....                                                       | 12 |
| 問 5. この 1 年以内に、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。<br>（1 つだけ） .....                                                       | 14 |
| 問 5-1.（問 5. で「参加した」と答えられた方）どのような環境に関する学<br>習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可） .....                                      | 16 |
| 問 5-2.（問 5. で「参加した」と答えられた方）参加したことによって、環<br>境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、<br>あるとしたらどういったことですか。（1 つだけ） ..... | 18 |
| 問 5-3.（問 5. で「参加していない」と答えられた方）参加しなかった理由<br>は何ですか。（複数回答可） .....                                                 | 20 |
| 問 6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。（複数<br>回答可） .....                                                           | 22 |
| 問 7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加し<br>たいと思いますか。（複数回答可） .....                                               | 25 |

|                                                                                           |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 問 8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)                                   | 28 |
| ■「まちづくりプロジェクト」について                                                                        | 32 |
| 問 9. (緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など) 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)                         | 32 |
| 問 10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)                                                        | 34 |
| 問 10-1. (問 10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)           | 36 |
| 問 10-2. (問 10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可) | 38 |
| 問 10-3. (問 10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)           | 40 |
| 問 10-4. (問 10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)          | 42 |
| 問 10-5. (問 10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と答えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)               | 44 |
| 問 11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答)                            | 46 |
| 問 12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)                                   | 48 |
| 問 13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)                                                       | 50 |
| 問 14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)                                        | 52 |

|                                                                                                                                 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について .....                                                                                             | 54 |
| 問 15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ) .....                                                                                       | 54 |
| 問 16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ) .....                                                                         | 56 |
| 問 16-1. (問 16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可) .....                                        | 58 |
| 問 17. この1年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1つだけ) .....                                                                           | 60 |
| 問 17-1. (問 17. で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と答えられた方)この1年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ) .....                        | 62 |
| 問 18. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ」を使用したいと思いますか。(1つだけ) .....                                                                | 64 |
| 問 19. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いますか。ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。(1つだけ) .....                                                     | 66 |
| 問 20. 生ごみ処理機を購入する助成金制度を知っていますか。(1つだけ) .....                                                                                     | 68 |
| 問 20-1. (問 20. で「知っている」又は「知らない」と答えられた方)生ごみ処理機を購入助成を検討していますか。(1つだけ) .....                                                        | 70 |
| 問 21. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思われますか。(1つだけ) .....                                          | 72 |
| 問 22. 熊本市における家庭ごみの収集は、ご自宅の近くのごみステーションで収集する方式を採用しておりますが、他都市ではご自宅の前で収集する戸別収集方式を採用している都市もあります。このような戸別収集方式についてどう思われますか。(1つだけ) ..... | 74 |
| 問 22-1. (問 22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方)どのような理由からそう思われますか。(複数回答可) .....                                                    | 76 |

|                                                                                                                 |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 問 2 2-2. (問 2 2. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方) 経費の増加をまかなう手法の一つとして、指定収集袋(ごみ袋)を値上げすることについてどのように思われますか。(1つだけ)     | 78  |
| 問 2 2-3. (問 2 2. で「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」と答えられた方) どのような理由からそう思われますか。(複数回答可)                                     | 80  |
| 問 2 3. 埋立ごみの特小袋を新規で製造することについてどう思われますか。(1つだけ)                                                                    | 84  |
| ■「受動喫煙防止」について                                                                                                   | 86  |
| 問 2 4. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ(加熱式)」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ)                                         | 86  |
| ■「COOL CHOICE」について                                                                                              | 88  |
| 問 2 5. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)                                                                          | 88  |
| 問 2 5-1. (問 2 5. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)                | 90  |
| 問 2 5-2. (問 2 5. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。(複数回答可) | 92  |
| ■「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」について                                                                                    | 94  |
| 問 2 6. 「ZEH」について知っていますか。(1つだけ)                                                                                  | 94  |
| 問 2 7. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(複数回答可)                                                                     | 96  |
| ■「温暖化対策実行計画」について                                                                                                | 98  |
| 問 2 8. 「温暖化対策実行計画」を熊本市を含む18市町村の共同で策定作業を行っていることを知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)                                | 98  |
| ■「レジ袋削減」について                                                                                                    | 100 |
| 問 2 9. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。(1つだけ)                                                                        | 100 |

|                                                                          |     |
|--------------------------------------------------------------------------|-----|
| 問 3 0. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)                             | 102 |
| 問 3 1. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。(1つだけ)                        | 104 |
| ■「SDGs」について                                                              | 106 |
| 問 3 2. 「SDGs」について知っていますか。(1つだけ)                                          | 106 |
| 問 3 2-1. (問 3 2. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と答えられた方) 言葉を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)  | 108 |
| 問 3 3. SDGs の 17 の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(複数回答可)                            | 110 |
| 問 3 4. SDGs の 17 の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。(複数回答可)                      | 111 |
| 問 3 5. SDGs の 17 の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。(複数回答可)                  | 112 |
| 問 3 6. SDGs に関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。                                | 113 |
| ■「ラムサール条約」について                                                           | 118 |
| 問 3 7. 「ラムサール条約」について知っていますか。(1つだけ)                                       | 118 |
| 問 3 8. 日本には 52 か所(2019 年 9 月時点)のラムサール条約の登録湿地があります。登録湿地について知っていますか。(1つだけ) | 120 |
| 問 3 9. 江津湖(・上江津湖水系)は「日本の重要湿地」に選定されています。「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。(1つだけ)       | 122 |
| 問 4 0. 江津湖をラムサール条約の登録湿地として申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)                      | 124 |

|                                                                                                      |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 問 4 1. 2018 年からラムサール条約の湿地自治体認証制度が始まっています。<br>熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。<br>(1 つだけ) .....      | 126 |
| ■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その 2） .....                                                                    | 128 |
| 問 4 2. 熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じま<br>すか。（1 つだけ） .....                                           | 128 |
| ■「熊本市内の環境問題」について .....                                                                               | 130 |
| 問 4 3. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて<br>(10 項目) から選んでください。（1 つだけ） .....                            | 130 |
| 問 4 4. あなたが問 4 2. と問 4 3. で回答されたことについて、どのような課<br>題があったり、問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入<br>してください。 ..... | 133 |
| 1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見 .....                                                                   | 133 |
| 2「地下水の状況（水質や量）」についての意見 .....                                                                         | 134 |
| 3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見 ....                                                              | 138 |
| 4「地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進」についての意見 .....                                                                | 142 |
| 5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見 .....                                                                 | 143 |
| 6「大気の状態」についての意見 .....                                                                                | 146 |
| 7「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見 .....                                                                       | 146 |
| 8「生活環境の快適さ」についての意見 .....                                                                             | 150 |
| 9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見 .....                                                                    | 151 |
| 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見 .....                                                                   | 160 |
| 11 その他 .....                                                                                         | 162 |
| <b>3 参考資料（調査票）</b> .....                                                                             | 165 |



# 1 調査概要

## ■調査目的

平成23年(2011年)3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では、「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。また、設問1、2、4、42においては、これまで熊本市第6次総合計画で調査されてきた設問を、引き続き本調査にて継続したものとなっている。

## ■調査対象

市民：3,000人（住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出）

## ■調査方法

アンケート調査票の郵送配布、郵送もしくはインターネットによる回答

## ■調査期間

令和2年(2020年)2月下旬から令和2年(2020年)3月31日まで

## ■回答受付期間

|         |                                         |      |
|---------|-----------------------------------------|------|
| 郵送      | 令和2年(2020年)3月9日から<br>令和2年(2020年)5月1日まで  | 961通 |
| インターネット | 令和2年(2020年)3月7日から<br>令和2年(2020年)4月26日まで | 169通 |

## ■回収数（回収率）

1,130人（37.67%）

## ■留意事項

単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

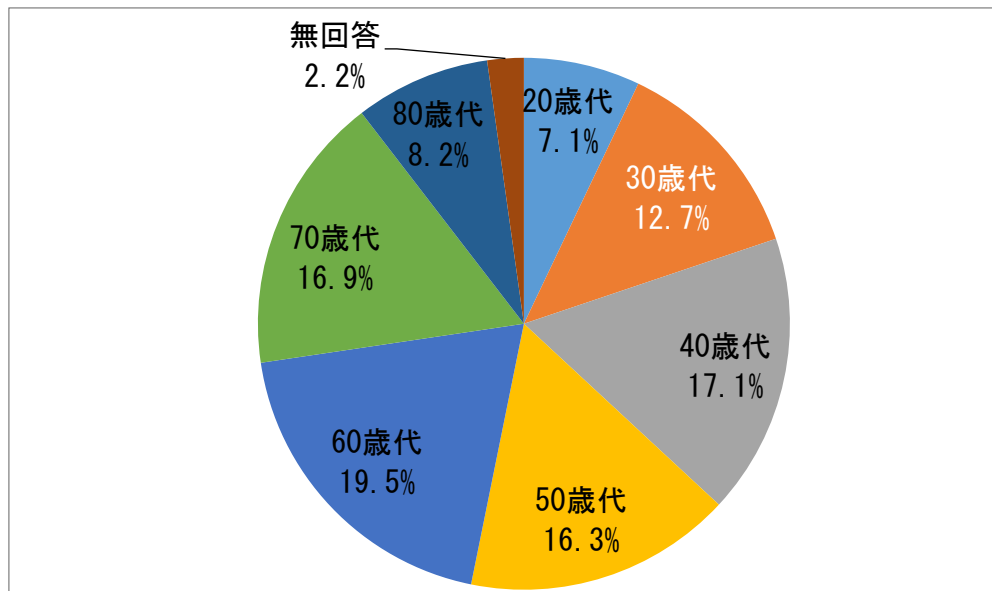
複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。

なお、提言や意見については誹謗中傷などを除いて掲載している。

## 2 アンケート調査結果 令和元年度(2019 年度)

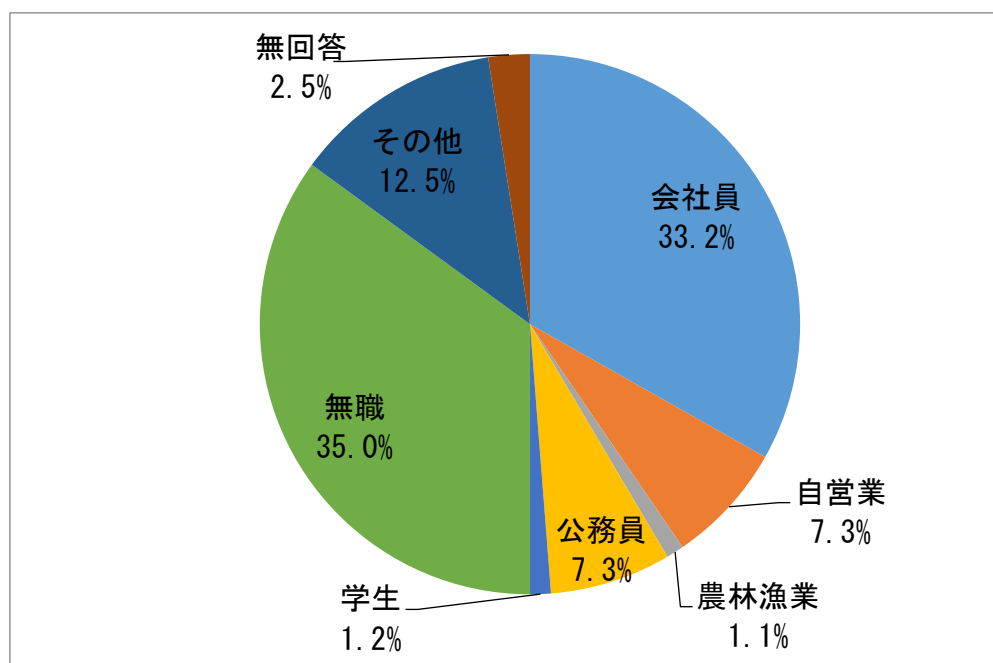
### (1) 回答者の内訳

年齢別



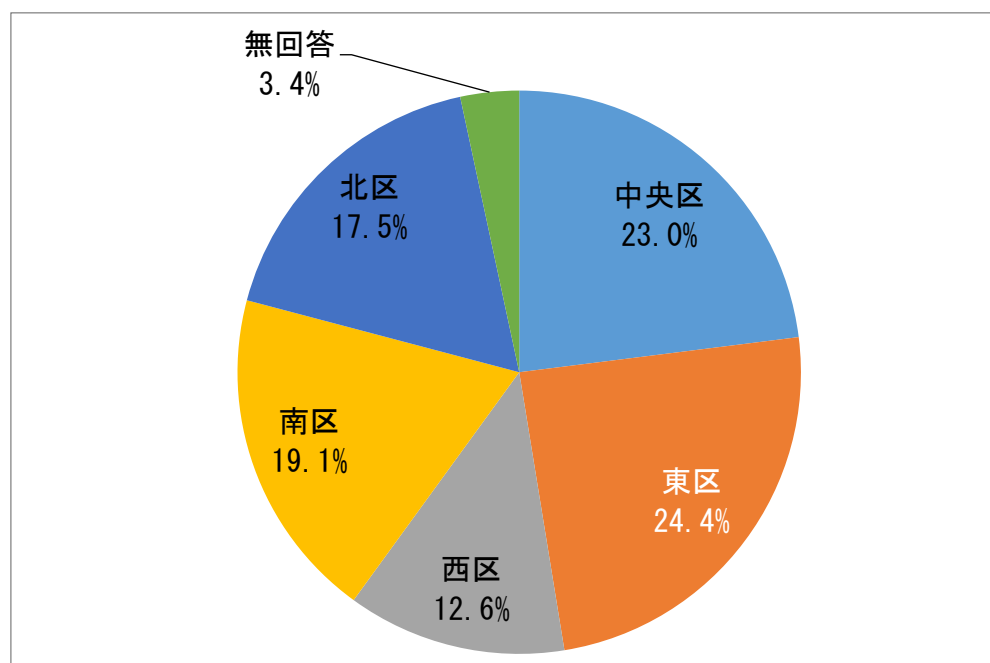
| 年齢別   | アンケート<br>回答数 | アンケート<br>発送数 | 発送数に対する<br>回答割合 |
|-------|--------------|--------------|-----------------|
| 20 歳代 | 80           | 389          | 7.1%            |
| 30 歳代 | 144          | 459          | 12.7%           |
| 40 歳代 | 193          | 536          | 17.1%           |
| 50 歳代 | 184          | 477          | 16.3%           |
| 60 歳代 | 220          | 500          | 19.5%           |
| 70 歳代 | 191          | 393          | 16.9%           |
| 80 歳代 | 93           | 246          | 8.2%            |
| 無回答   | 25           | —            | 2.2%            |
| 計     | 1,130        | 3,000        | 37.67%          |

## 職業別



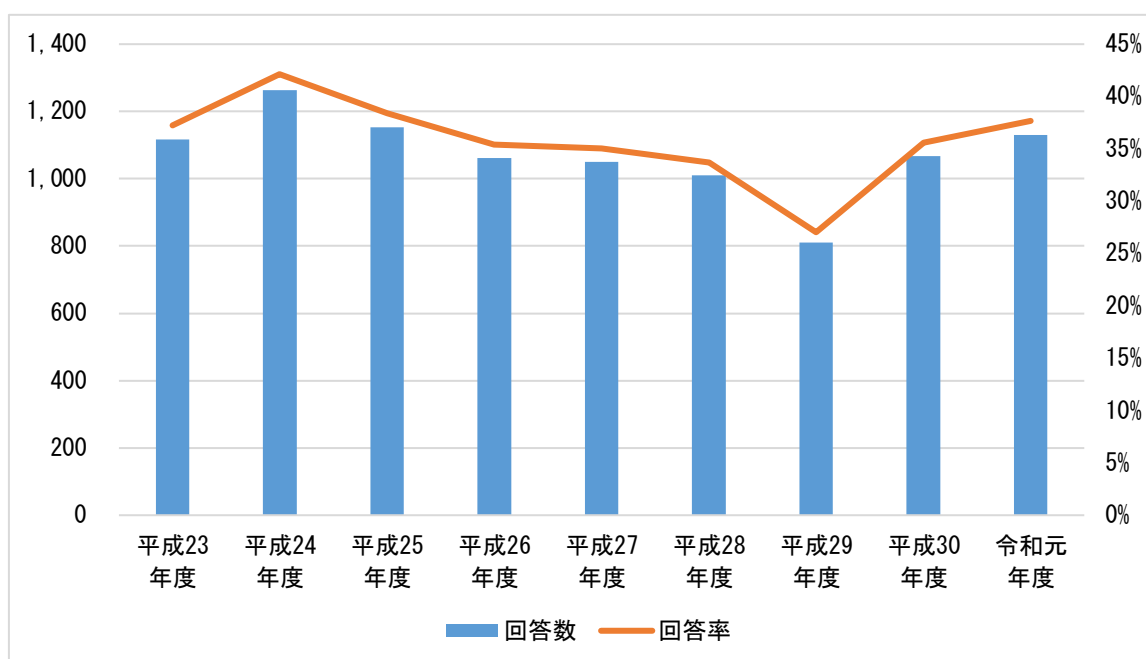
| 職業   | 回答数   | 割合     |
|------|-------|--------|
| 会社員  | 375   | 33.2%  |
| 自営業  | 82    | 7.3%   |
| 農林漁業 | 12    | 1.1%   |
| 公務員  | 82    | 7.3%   |
| 学生   | 14    | 1.2%   |
| 無職   | 396   | 35.0%  |
| その他  | 141   | 12.5%  |
| 無回答  | 28    | 2.5%   |
| 合計   | 1,130 | 100.0% |

# 回答者の居住区



| 区   | 回答数   | 割合     |
|-----|-------|--------|
| 中央区 | 260   | 23.0%  |
| 東区  | 276   | 24.4%  |
| 西区  | 142   | 12.6%  |
| 南区  | 216   | 19.1%  |
| 北区  | 198   | 17.5%  |
| 無回答 | 38    | 3.4%   |
| 合計  | 1,130 | 100.0% |

これまでの回答数と回答率の推移



|     | 平成<br>23<br>年度 | 平成<br>24<br>年度 | 平成<br>25<br>年度 | 平成<br>26<br>年度 | 平成<br>27<br>年度 | 平成<br>28<br>年度 | 平成<br>29<br>年度 | 平成<br>30<br>年度 | 令和<br>元<br>年度 |
|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 回答数 | 1,117          | 1,264          | 1,152          | 1,062          | 1,051          | 1,010          | 811            | 1,068          | 1,130         |
| 回答率 | 37.23%         | 42.13%         | 38.40%         | 35.40%         | 35.03%         | 33.67%         | 27.03%         | 35.60%         | 37.67%        |

備考 平成30年度からインターネットによる回答を開始している。

## (2) 調査結果

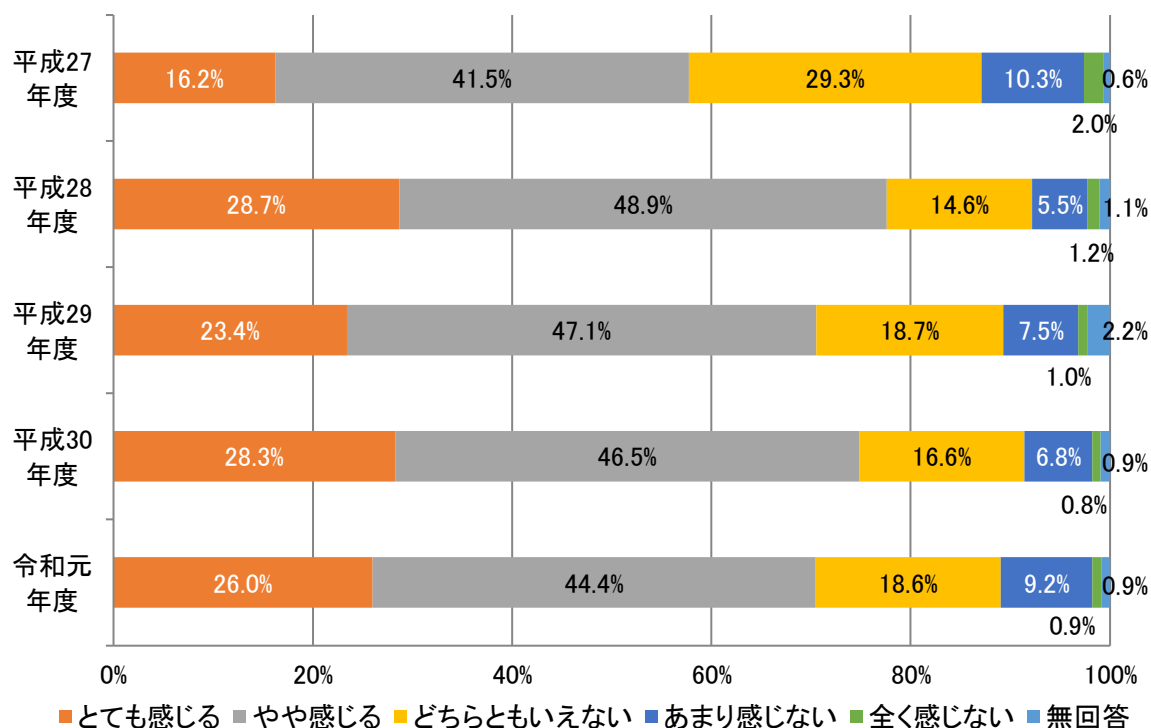
### ■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その1）

問1. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が44.4%と最も高く、次いで「とても感じる」が26.0%、「どちらともいえない」が18.6%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70.4%で、4.4ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は平成27年度の57.7%から令和元年度では70.4%へと12.7ポイント上昇している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が79.5%と最も高く、次いで80歳代（78.5%）、60歳代（76.4%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は自営業が75.6%と最も高く、次いでその他（73.0%）、無職（72.7%）となっている。また、農林漁業が41.7%と最も低い。

さらに、農林漁業は「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合も41.7%と最も高くなっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は東区が72.9%と最も高く、次いで北区（71.7%）、中央区（70.0%）となっている。

■属性別回答

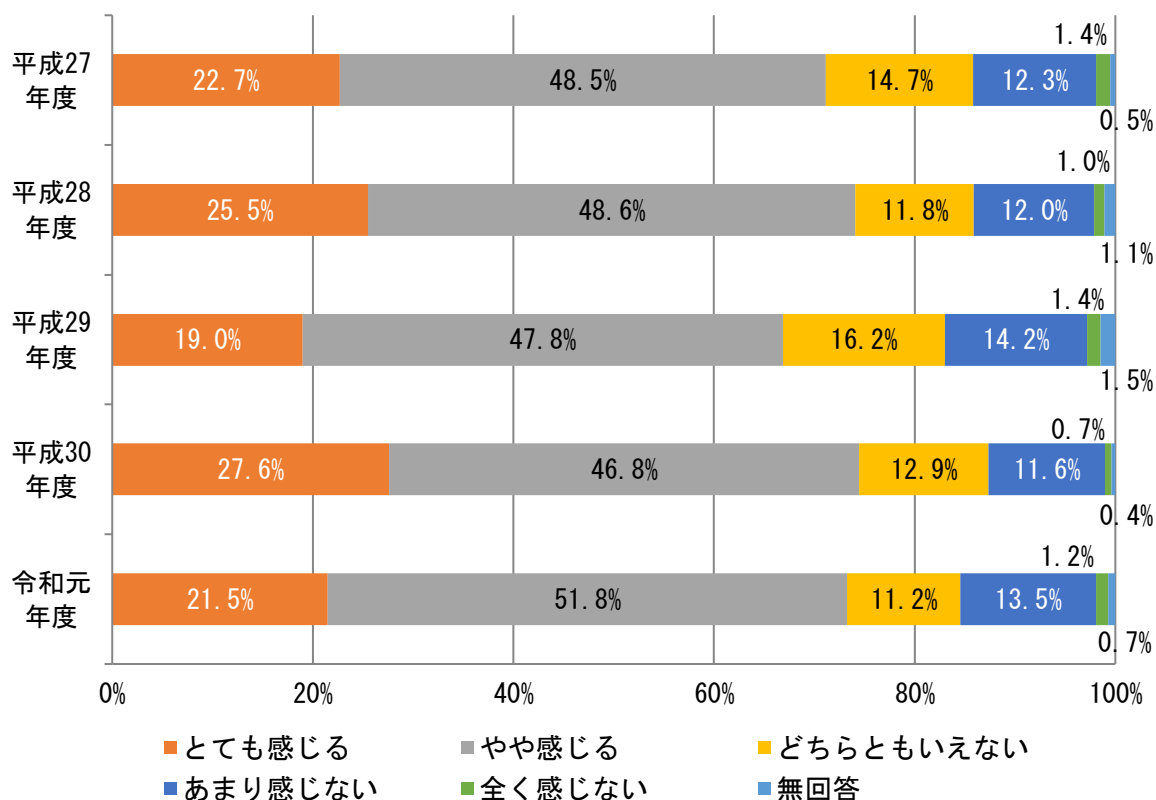
|       | 合計    | とても感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 全く感じない | 無回答  |
|-------|-------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|
| 全体    | 1,130 | 26.0%  | 44.4% | 18.6%     | 9.2%    | 0.9%   | 0.9% |
| 年齢別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 20 歳代 | 80    | 26.3%  | 40.0% | 23.8%     | 7.5%    | 2.5%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 16.0%  | 43.1% | 27.8%     | 11.8%   | 1.4%   | —    |
| 40 歳代 | 193   | 18.1%  | 43.0% | 24.4%     | 14.5%   | —      | —    |
| 50 歳代 | 184   | 19.0%  | 50.5% | 19.6%     | 9.8%    | 0.5%   | 0.5% |
| 60 歳代 | 220   | 27.3%  | 49.1% | 12.7%     | 9.5%    | 0.5%   | 0.9% |
| 70 歳代 | 191   | 38.7%  | 40.8% | 14.1%     | 3.7%    | 1.6%   | 1.0% |
| 80 歳代 | 93    | 44.1%  | 34.4% | 11.8%     | 6.5%    | 0.0%   | 3.2% |
| 職業別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 会社員   | 375   | 20.8%  | 47.2% | 18.1%     | 11.7%   | 1.6%   | 0.5% |
| 自営業   | 82    | 35.4%  | 40.2% | 13.4%     | 8.5%    | 1.2%   | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | 25.0%  | 16.7% | 8.3%      | 41.7%   | —      | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 23.2%  | 40.2% | 25.6%     | 11.0%   | —      | —    |
| 学生    | 14    | 21.4%  | 50.0% | 21.4%     | 7.1%    | —      | —    |
| 無職    | 396   | 30.8%  | 41.9% | 18.2%     | 7.6%    | 0.5%   | 1.0% |
| その他   | 141   | 23.4%  | 49.6% | 22.0%     | 5.0%    | —      | —    |
| 地区別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 中央区   | 260   | 25.4%  | 44.6% | 19.2%     | 8.5%    | 1.5%   | 0.8% |
| 東区    | 276   | 30.1%  | 42.8% | 15.2%     | 11.2%   | 0.4%   | 0.4% |
| 西区    | 142   | 23.9%  | 41.5% | 23.9%     | 9.2%    | 0.7%   | 0.7% |
| 南区    | 216   | 22.7%  | 47.2% | 21.3%     | 6.9%    | 0.9%   | 0.9% |
| 北区    | 198   | 27.3%  | 44.4% | 16.2%     | 10.6%   | 0.5%   | 1.0% |

## 問2. 熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が51.8%と最も高く、次いで「とても感じる」が21.5%、「どちらともいえない」が11.2%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は73.3%で、1.1ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は平成27年度の71.2%から令和元年度では73.3%へと2.1ポイント上昇している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が80.7%と最も高く、次いで60歳代（79.0%）、70歳代（77.0%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合はその他が78.7%と最も高く、次いで学生（78.6%）、無職（76.2%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が76.6%と最も高く、次いで北区（74.7%）、東区（74.3%）となっている。



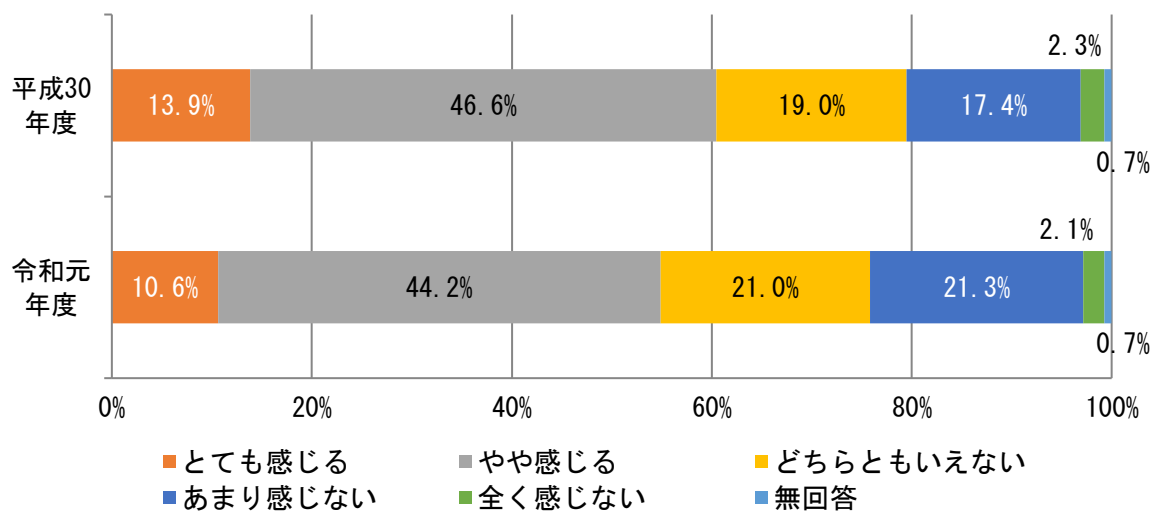
■属性別回答

|       | 合計    | とても感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 全く感じない | 無回答  |
|-------|-------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|
| 全体    | 1,130 | 21.5%  | 51.8% | 11.2%     | 13.5%   | 1.2%   | 0.7% |
| 年齢別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 20 歳代 | 80    | 16.3%  | 58.8% | 6.3%      | 13.8%   | 5.0%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 11.1%  | 50.7% | 16.7%     | 20.8%   | 0.7%   | —    |
| 40 歳代 | 193   | 17.6%  | 48.7% | 18.1%     | 13.5%   | 2.1%   | —    |
| 50 歳代 | 184   | 23.4%  | 50.0% | 11.4%     | 13.6%   | 1.1%   | 0.5% |
| 60 歳代 | 220   | 29.5%  | 49.5% | 7.3%      | 12.3%   | 0.9%   | 0.5% |
| 70 歳代 | 191   | 22.0%  | 55.0% | 8.9%      | 12.6%   | 0.5%   | 1.0% |
| 80 歳代 | 93    | 26.9%  | 53.8% | 7.5%      | 8.6%    | —      | 3.2% |
| 職業別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 会社員   | 375   | 19.2%  | 48.8% | 11.7%     | 17.6%   | 2.4%   | 0.3% |
| 自営業   | 82    | 14.6%  | 54.9% | 11.0%     | 17.1%   | 1.2%   | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | 16.7%  | 58.3% | —         | 16.7%   | —      | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 15.9%  | 58.5% | 12.2%     | 13.4%   | —      | —    |
| 学生    | 14    | —      | 78.6% | 7.1%      | —       | 14.3%  | —    |
| 無職    | 396   | 23.2%  | 53.0% | 10.4%     | 12.1%   | 0.3%   | 1.0% |
| その他   | 141   | 32.6%  | 46.1% | 13.5%     | 7.1%    | 0.7%   | —    |
| 地区別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 中央区   | 260   | 21.2%  | 55.4% | 9.6%      | 12.3%   | 1.2%   | 0.4% |
| 東区    | 276   | 23.6%  | 50.7% | 10.9%     | 13.8%   | 1.1%   | —    |
| 西区    | 142   | 18.3%  | 51.4% | 9.9%      | 16.9%   | 2.1%   | 1.4% |
| 南区    | 216   | 19.9%  | 49.5% | 14.8%     | 13.4%   | 1.4%   | 0.9% |
| 北区    | 198   | 23.7%  | 51.0% | 10.6%     | 12.6%   | 1.0%   | 1.0% |

問3. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が44.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.0%。  
「あまり感じない」が21.3%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は54.8%で、5.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は20歳代が62.6%と最も高く、次いで80歳代（61.3%）、50歳代（59.8%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合はその他が61.7%と最も高く、次いで学生（57.2%）、無職（54.3%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が59.3%と最も高く、次いで東区（55.8%）、北区（54.0%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | とても感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 全く感じない | 無回答  |
|-------|-------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|
| 全体    | 1,130 | 10.6%  | 44.2% | 21.0%     | 21.3%   | 2.1%   | 0.7% |
| 年齢別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 20 歳代 | 80    | 23.8%  | 38.8% | 15.0%     | 20.0%   | 2.5%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 8.3%   | 44.4% | 18.1%     | 28.5%   | 0.7%   | —    |
| 40 歳代 | 193   | 10.9%  | 44.6% | 25.9%     | 15.0%   | 3.6%   | —    |
| 50 歳代 | 184   | 10.9%  | 48.9% | 21.7%     | 14.7%   | 3.3%   | 0.5% |
| 60 歳代 | 220   | 8.6%   | 42.3% | 18.2%     | 29.1%   | 1.4%   | 0.5% |
| 70 歳代 | 191   | 9.4%   | 39.8% | 24.1%     | 23.6%   | 2.1%   | 1.0% |
| 80 歳代 | 93    | 10.8%  | 50.5% | 19.4%     | 16.1%   | —      | 3.2% |
| 職業別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 会社員   | 375   | 10.4%  | 43.5% | 20.8%     | 22.1%   | 2.9%   | 0.3% |
| 自営業   | 82    | 7.3%   | 45.1% | 19.5%     | 24.4%   | 2.4%   | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | —      | 33.3% | 33.3%     | 16.7%   | 8.3%   | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 17.1%  | 36.6% | 26.8%     | 19.5%   | —      | —    |
| 学生    | 14    | 14.3%  | 42.9% | 21.4%     | 14.3%   | 7.1%   | —    |
| 無職    | 396   | 10.4%  | 43.9% | 19.9%     | 23.5%   | 1.3%   | 1.0% |
| その他   | 141   | 11.3%  | 50.4% | 21.3%     | 14.9%   | 2.1%   | —    |
| 地区別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 中央区   | 260   | 11.2%  | 48.1% | 17.7%     | 20.8%   | 1.9%   | 0.4% |
| 東区    | 276   | 13.8%  | 42.0% | 23.2%     | 19.6%   | 1.4%   | —    |
| 西区    | 142   | 7.0%   | 44.4% | 23.9%     | 21.8%   | 1.4%   | 1.4% |
| 南区    | 216   | 8.3%   | 44.4% | 22.7%     | 21.3%   | 2.3%   | 0.9% |
| 北区    | 198   | 12.1%  | 41.9% | 17.7%     | 23.7%   | 3.5%   | 1.0% |

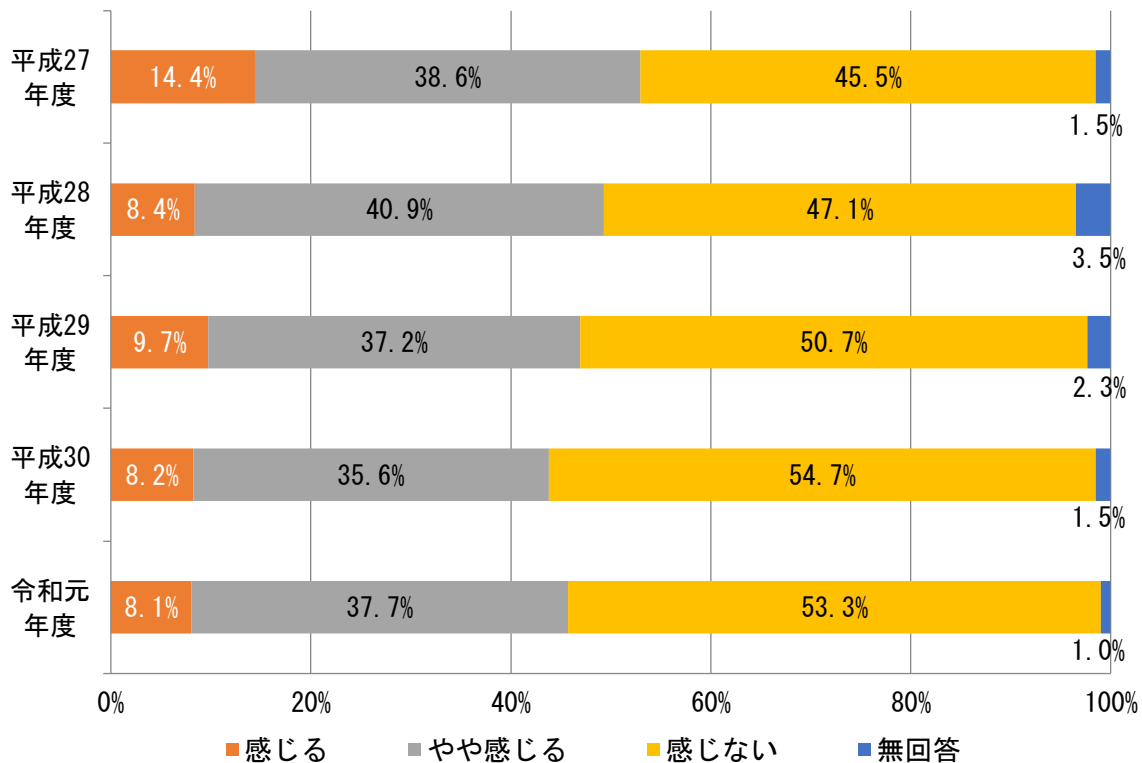
## ■「ひとづくりプロジェクト」について

### 問4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「感じない」が53.3%と最も高く、次いで「やや感じる」が37.7%、「感じる」が8.1%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は45.8%で、2.0ポイント増加している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が平成27年度の53.0%から令和元年度では45.8%まで減少したものの、令和元年度は増加傾向に転じ減少傾向に歯止めがかかったと思われる。しかし、依然として学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多いことがうかがえる。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が53.4%と最も高く、次いで60歳代（52.2%）、80歳代（49.5%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員が54.9%と最も高く、次いで無職（50.0%）、自営業（48.8%）となっている。

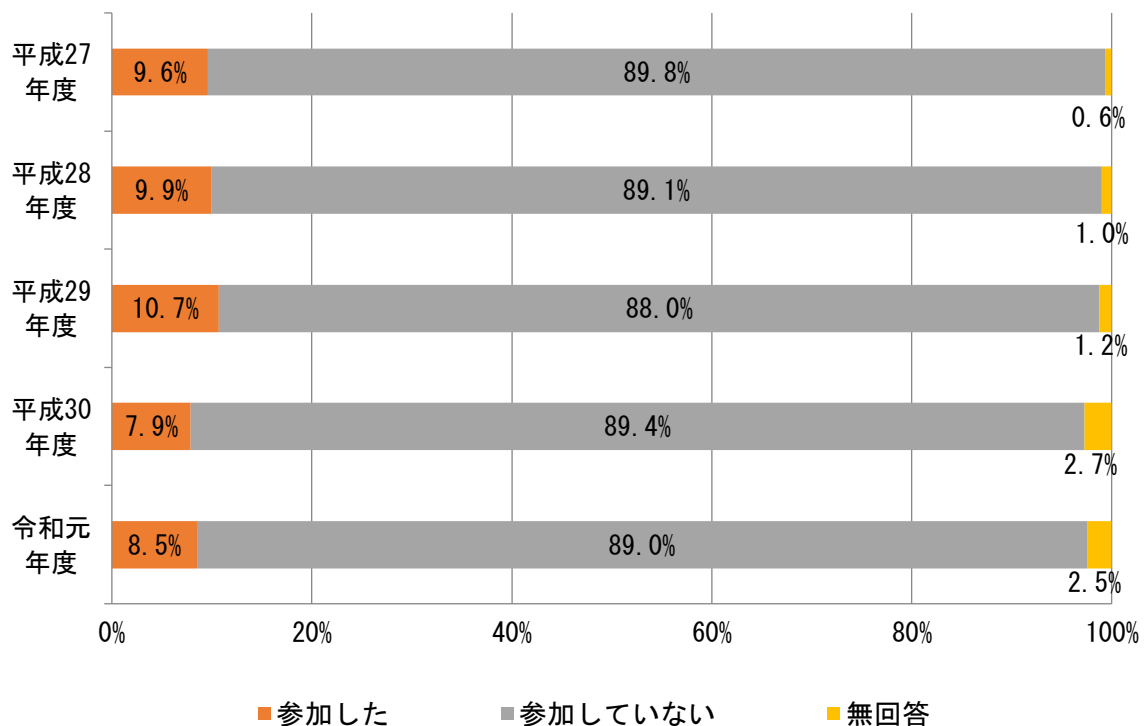
地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が52.8%と最も高く、次いで東区（45.3%）、北区（44.9%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | 感じる   | やや感じる | 感じない  | 無回答  |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 全体    | 1,130 | 8.1%  | 37.7% | 53.3% | 1.0% |
| 年齢別   |       |       |       |       |      |
| 20 歳代 | 80    | 6.3%  | 30.0% | 63.8% | —    |
| 30 歳代 | 144   | 4.2%  | 29.2% | 66.7% | —    |
| 40 歳代 | 193   | 7.3%  | 36.8% | 56.0% | —    |
| 50 歳代 | 184   | 9.8%  | 33.2% | 56.5% | 0.5% |
| 60 歳代 | 220   | 7.7%  | 44.5% | 46.8% | 0.9% |
| 70 歳代 | 191   | 9.4%  | 44.0% | 44.5% | 2.1% |
| 80 歳代 | 93    | 12.9% | 36.6% | 47.3% | 3.2% |
| 職業別   |       |       |       |       |      |
| 会社員   | 375   | 5.9%  | 32.0% | 61.6% | 0.5% |
| 自営業   | 82    | 17.1% | 31.7% | 50.0% | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | 8.3%  | 25.0% | 58.3% | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 11.0% | 43.9% | 45.1% | —    |
| 学生    | 14    | 7.1%  | 21.4% | 71.4% | —    |
| 無職    | 396   | 8.8%  | 41.2% | 48.5% | 1.5% |
| その他   | 141   | 5.7%  | 42.6% | 51.8% | —    |
| 地区別   |       |       |       |       |      |
| 中央区   | 260   | 11.2% | 33.5% | 54.2% | 1.2% |
| 東区    | 276   | 9.8%  | 35.5% | 54.3% | 0.4% |
| 西区    | 142   | 7.0%  | 45.8% | 45.8% | 1.4% |
| 南区    | 216   | 6.9%  | 36.6% | 55.6% | 0.9% |
| 北区    | 198   | 4.5%  | 40.4% | 54.0% | 1.0% |

問5. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

「参加していない」が89.0%と「参加した」の8.5%を大きく上回っている。  
 前回調査と比較すると、「参加した」の割合は0.6ポイント増加している。  
 過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「参加した」は50歳代が12.5%と最も高く、次いで80歳代（11.8%）、70歳代（9.4%）となっている。

職業別：「参加した」は公務員が14.6%と最も高く、次いでその他（10.6%）、無職（8.8%）となっている。

地区別：「参加した」は北区が10.6%と最も高く、次いで中央区（9.6%）、南区（9.3%）となっている。

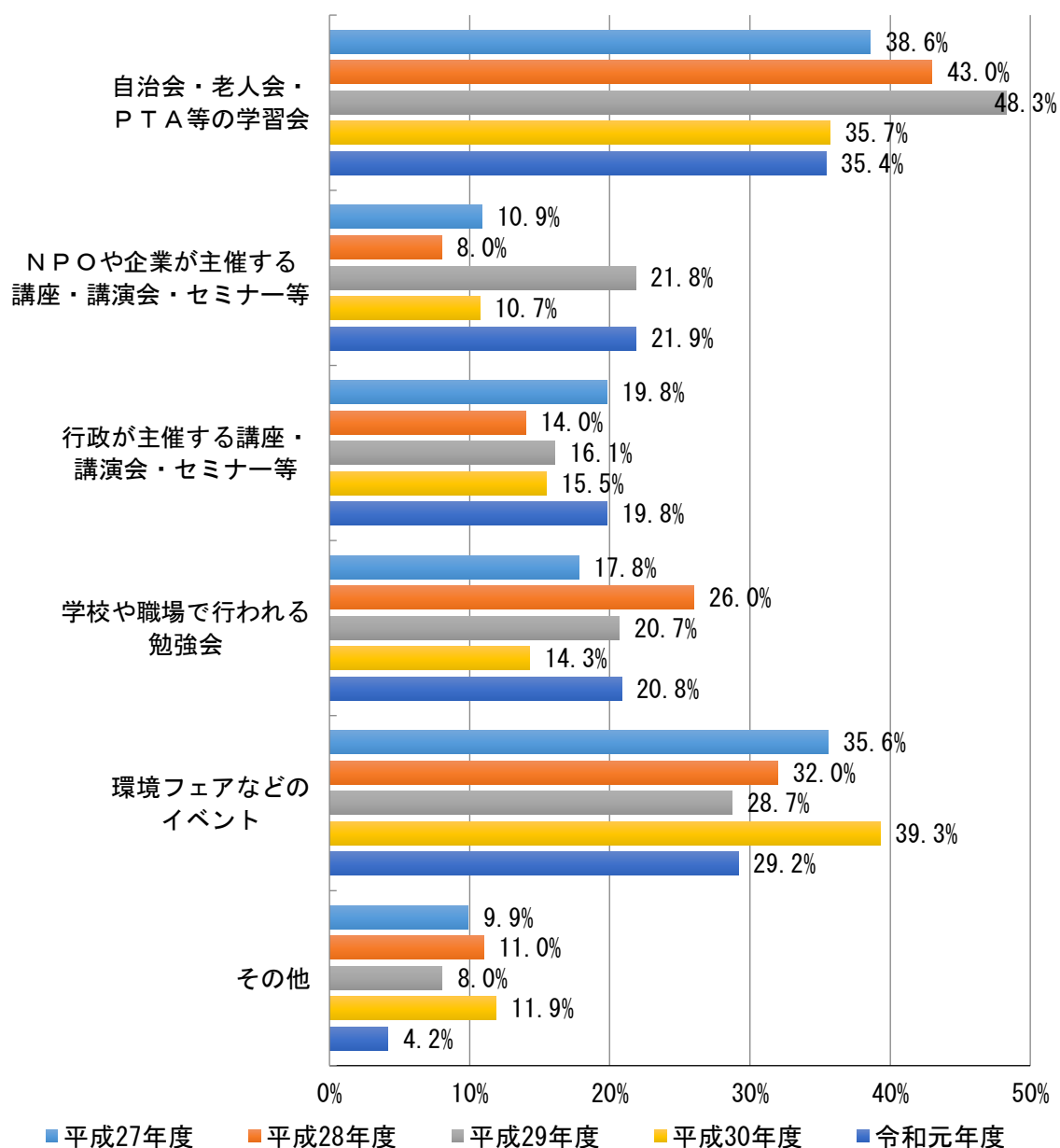
■属性別回答

|       | 合計    | 参加した  | 参加していない | 無回答  |
|-------|-------|-------|---------|------|
| 全体    | 1,130 | 8.5%  | 89.0%   | 2.5% |
| 年齢別   |       |       |         |      |
| 20 歳代 | 80    | 1.3%  | 98.8%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 3.5%  | 96.5%   | —    |
| 40 歳代 | 193   | 8.3%  | 91.7%   | —    |
| 50 歳代 | 184   | 12.5% | 85.3%   | 2.2% |
| 60 歳代 | 220   | 9.1%  | 89.5%   | 1.4% |
| 70 歳代 | 191   | 9.4%  | 85.3%   | 5.2% |
| 80 歳代 | 93    | 11.8% | 78.5%   | 9.7% |
| 職業別   |       |       |         |      |
| 会社員   | 375   | 6.4%  | 92.5%   | 1.1% |
| 自営業   | 82    | 7.3%  | 89.0%   | 3.7% |
| 農林漁業  | 12    | 8.3%  | 83.3%   | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 14.6% | 85.4%   | —    |
| 学生    | 14    | —     | 100.0%  | —    |
| 無職    | 396   | 8.8%  | 86.9%   | 4.3% |
| その他   | 141   | 10.6% | 89.4%   | —    |
| 地区別   |       |       |         |      |
| 中央区   | 260   | 9.6%  | 88.8%   | 1.5% |
| 東区    | 276   | 6.9%  | 90.2%   | 2.9% |
| 西区    | 142   | 5.6%  | 93.0%   | 1.4% |
| 南区    | 216   | 9.3%  | 88.9%   | 1.9% |
| 北区    | 198   | 10.6% | 86.9%   | 2.5% |

問5-1. (問5. で「参加した」と答えられた方) どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(複数回答可)

問5. で「参加した」と回答した96人については、「自治会・老人会・PTA等の学習会」が35.4%と最も高く、次いで「環境フェアなどのイベント」が29.2%と、「NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等」が21.9%となっている。

前回調査と比較すると、「自治会・老人会・PTA等の学習会」と「環境フェアなどのイベント」が減少した以外は増加している。



【参考】

【その他について】

- ・ 大学主催セミナー
- ・ 熊本県環境センター
- ・ 熊本市水の科学館
- ・ 生協や市民団体主催の講演会
- ・ デイケア



【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

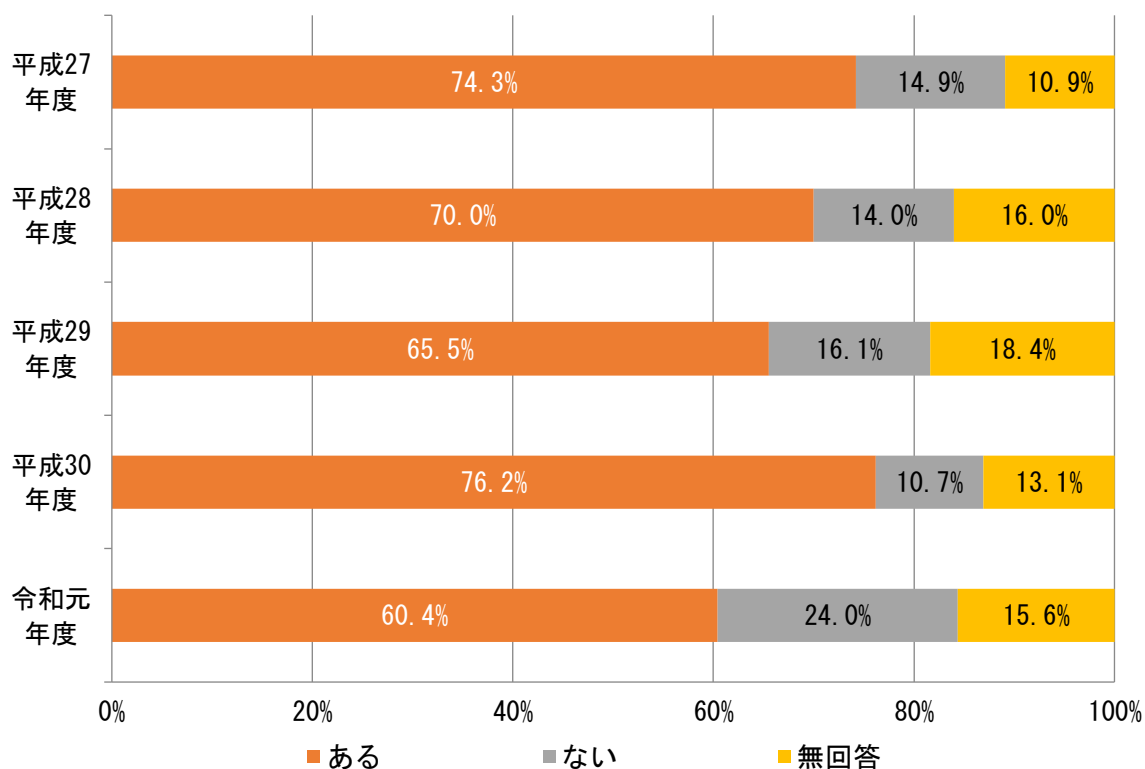
■属性別回答

|       | 合計 | 自治会・老人会・PTA等の<br>学習会 | NPOや企業が主催する<br>講座・講演会・セミナー等 | 行政が主催する<br>講座・講演会・セミナー等 | 学校や職場で行われる<br>勉強会 | 環境フェアなどのイベント | その他   |
|-------|----|----------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------|--------------|-------|
| 全体    | 96 | 35.4%                | 21.9%                       | 19.8%                   | 20.8%             | 29.2%        | 4.2%  |
| 年齢別   |    |                      |                             |                         |                   |              |       |
| 20 歳代 | 1  | —                    | —                           | —                       | 100.0%            | —            | —     |
| 30 歳代 | 5  | 40.0%                | 60.0%                       | 60.0%                   | —                 | 60.0%        | —     |
| 40 歳代 | 16 | 12.5%                | 18.8%                       | 31.3%                   | 25.0%             | 25.0%        | 6.3%  |
| 50 歳代 | 23 | 13.0%                | 21.7%                       | 8.7%                    | 43.5%             | 26.1%        | 4.3%  |
| 60 歳代 | 20 | 40.0%                | 25.0%                       | 35.0%                   | 15.0%             | 45.0%        | —     |
| 70 歳代 | 18 | 61.1%                | 11.1%                       | 5.6%                    | —                 | 16.7%        | 11.1% |
| 80 歳代 | 11 | 72.7%                | 18.2%                       | —                       | 9.1%              | 18.2%        | —     |
| 職業別   |    |                      |                             |                         |                   |              |       |
| 会社員   | 24 | 12.5%                | 29.2%                       | 16.7%                   | 37.5%             | 33.3%        | —     |
| 自営業   | 6  | 50.0%                | 16.7%                       | 16.7%                   | 16.7%             | 16.7%        | —     |
| 農林漁業  | 1  | —                    | —                           | —                       | —                 | 100.0%       | —     |
| 公務員   | 12 | 8.3%                 | 8.3%                        | 33.3%                   | 50.0%             | 8.3%         | 8.3%  |
| 学生    | 0  | —                    | —                           | —                       | —                 | —            | —     |
| 無職    | 35 | 57.1%                | 14.3%                       | 17.1%                   | 8.6%              | 25.7%        | 5.7%  |
| その他   | 15 | 46.7%                | 40.0%                       | 13.3%                   | —                 | 46.7%        | 6.7%  |
| 地区別   |    |                      |                             |                         |                   |              |       |
| 中央区   | 25 | 28.0%                | 24.0%                       | 16.0%                   | 24.0%             | 28.0%        | 4.0%  |
| 東区    | 19 | 36.8%                | 5.3%                        | 31.6%                   | 21.1%             | 47.4%        | 10.5% |
| 西区    | 8  | 37.5%                | 25.0%                       | —                       | —                 | 37.5%        | —     |
| 南区    | 20 | 55.0%                | 30.0%                       | 20.0%                   | 15.0%             | 15.0%        | 5.0%  |
| 北区    | 21 | 28.6%                | 19.0%                       | 19.0%                   | 28.6%             | 23.8%        | —     |

問5-2. (問5. で「参加した」と答えられた方) 参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

問5. で「参加した」と回答した96人については、「ある」が60.4%と、「ない」の24.0%を大きく上回っている。

しかしながら、前回調査との比較や過去5年間の推移では、「ない」が平成27年度の14.9%から減少傾向にあったが、令和元年度は24.0%と増加に転じている。



#### 【参考】

##### 実践している内容

- ・ 地下水保全 (節水)
- ・ 清掃や美化活動 (町内一斉清掃、緑化活動、職場の清掃活動、地域の川の清掃、緑の募金、市電緑のじゅうたんサポーター協力、江津湖の外来植物の撤去、公園愛護会活動、植樹や花植え)
- ・ プラスチック対策 (マイバッグ・マイ箸・マイボトルの持参)
- ・ 廃棄物削減 (ごみの分別、生ごみのたい肥化、リサイクル)
- ・ エネルギー使用量削減 (節電、公共交通機関の利用)
- ・ その他 (極力廃材の発生を防ぐ計画・古い民家の再生 (建設業)、クールチョイスの実践)

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は次ページに示すとおりである。

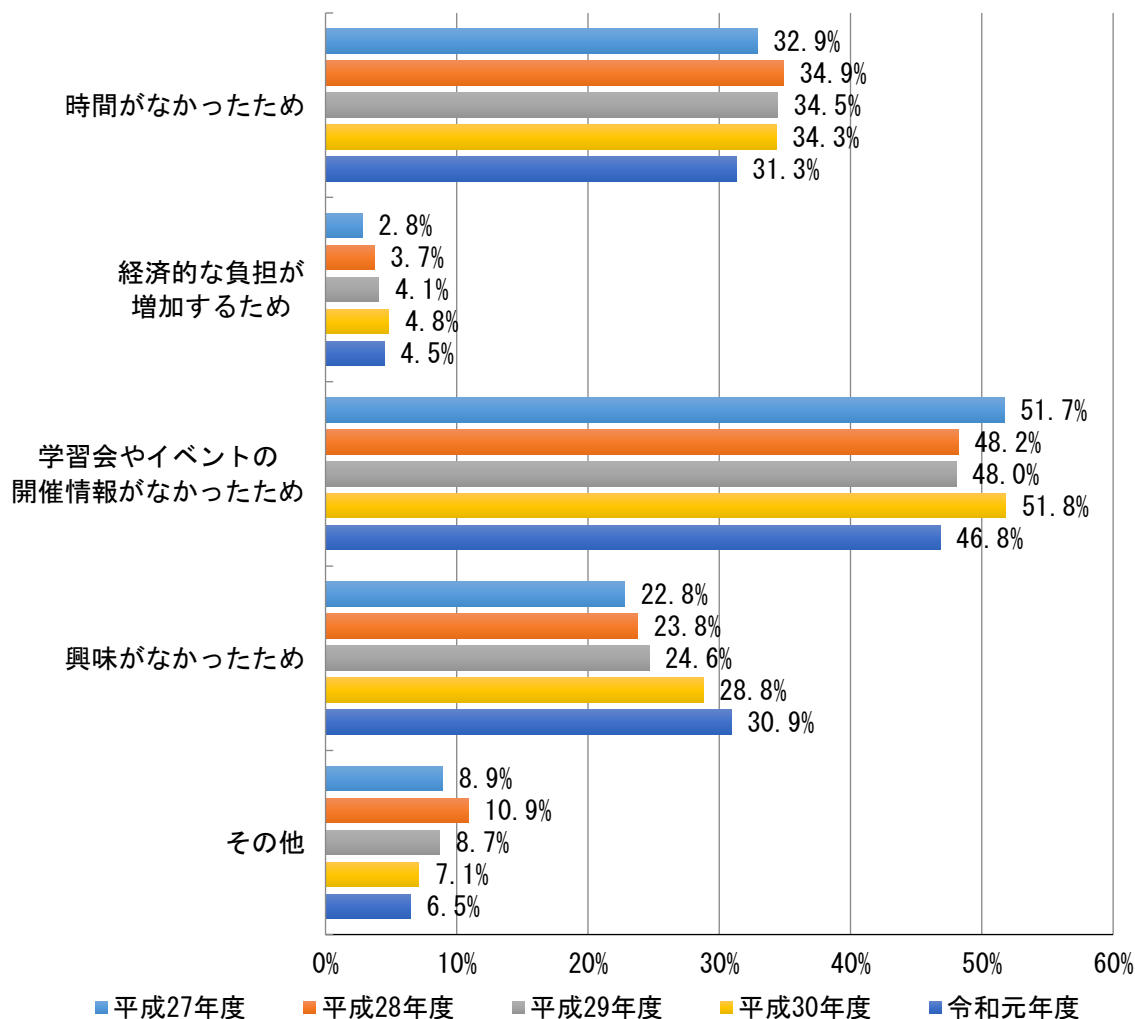
■属性別回答

|       | 合計 | ある     | ない    | 無回答   |
|-------|----|--------|-------|-------|
| 全体    | 96 | 60.4%  | 24.0% | 15.6% |
| 年齢別   |    |        |       |       |
| 20 歳代 | 1  | 100.0% | —     | —     |
| 30 歳代 | 5  | 100.0% | —     | —     |
| 40 歳代 | 16 | 31.3%  | 50.0% | 18.8% |
| 50 歳代 | 23 | 65.2%  | 26.1% | 8.7%  |
| 60 歳代 | 20 | 75.0%  | 20.0% | 5.0%  |
| 70 歳代 | 18 | 55.6%  | 16.7% | 27.8% |
| 80 歳代 | 11 | 45.5%  | 18.2% | 36.4% |
| 職業別   |    |        |       |       |
| 会社員   | 24 | 50.0%  | 29.2% | 20.8% |
| 自営業   | 6  | 50.0%  | 50.0% | —     |
| 農林漁業  | 1  | 100.0% | —     | —     |
| 公務員   | 12 | 50.0%  | 41.7% | 8.3%  |
| 学生    | 0  | —      | —     | —     |
| 無職    | 35 | 60.0%  | 17.1% | 22.9% |
| その他   | 15 | 86.7%  | 6.7%  | 6.7%  |
| 地区別   |    |        |       |       |
| 中央区   | 25 | 64.0%  | 20.0% | 16.0% |
| 東区    | 19 | 63.2%  | 21.1% | 15.8% |
| 西区    | 8  | 50.0%  | 37.5% | 12.5% |
| 南区    | 20 | 75.0%  | 15.0% | 10.0% |
| 北区    | 21 | 42.9%  | 38.1% | 19.0% |

問5－3.（問5. で「参加していない」と答えられた方）参加しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

問5. で「参加していない」と回答した1,006人については、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が46.8%と最も高く、次いで「時間がなかったため」が31.3%、「興味がなかったため」が30.9%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・親族の介護、自身の障がいや高齢等で参加できない。
- ・参加する意義を感じない。
- ・参加しづらさを感じた（引っ越したばかりで地域になじめていない）。
- ・参加の条件に合わない（親子での参加が条件だったり、小学生未満の子どもは参加できなかったりなど）。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がなかったため」は50歳代が40.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は70歳代が6.1%、「学習会やイベントの開催情報がなか

ったため」は50歳代と70歳代が49.7%、「興味がなかったため」は30歳代が43.2%と最も高くなっている。

職業別：「時間がなかったため」は公務員が47.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は農林漁業が10.0%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は自営業が50.7%、「興味がなかったため」はその他が34.1%と最も高くなっている。

地区別：「時間がなかったため」は中央区が35.1%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は西区が7.6%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は北区が50.6%、「興味がなかったため」は東区と西区が34.1%と最も高くなっている。

# ■属性別回答

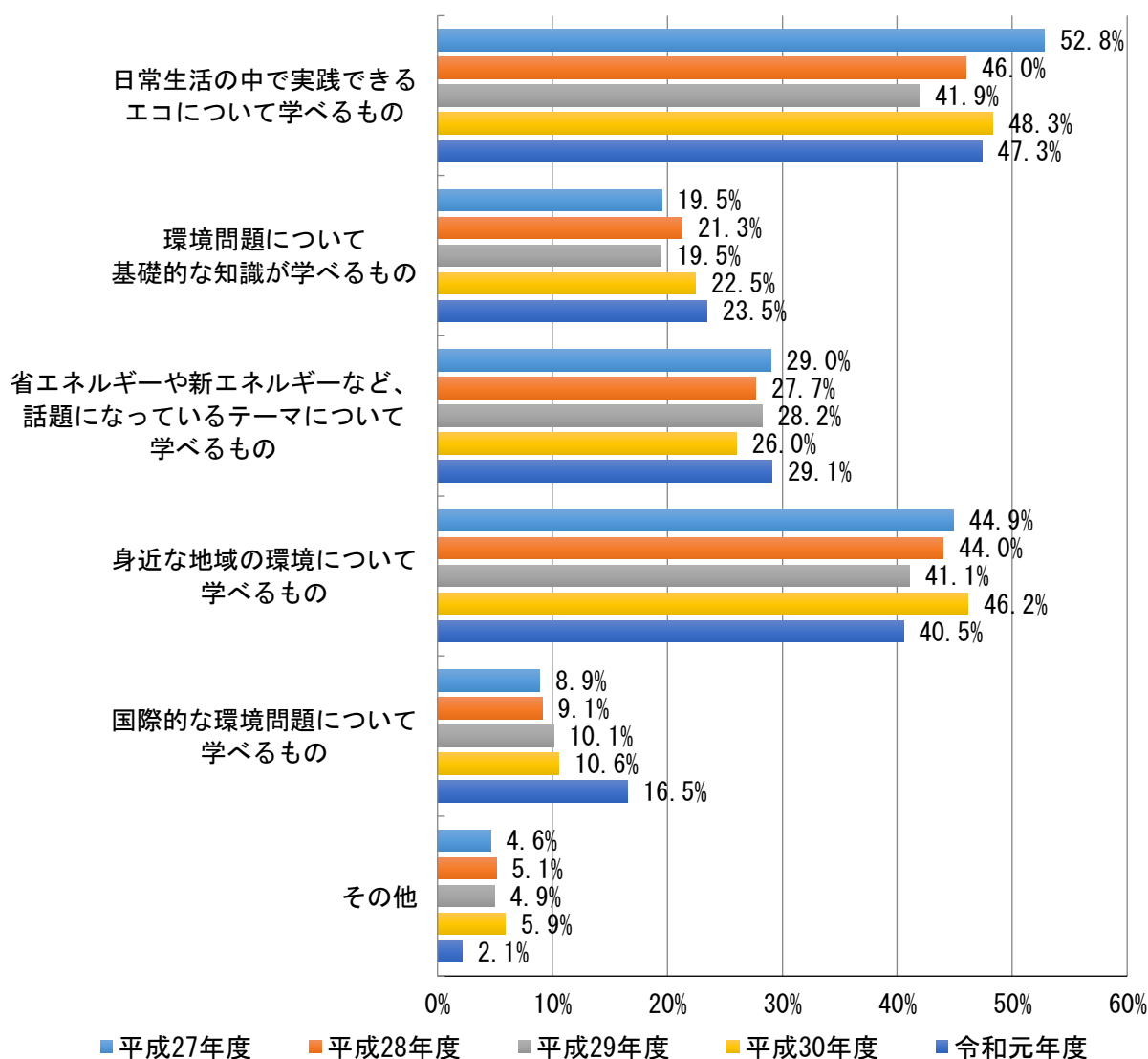
|      | 合計    | 時間がなかったため | 経済的な負担が増加するため | 学習会やイベントの開催情報がなかったため | 興味がなかったため | その他   |
|------|-------|-----------|---------------|----------------------|-----------|-------|
| 全体   | 1,006 | 31.3%     | 4.5%          | 46.8%                | 30.9%     | 6.5%  |
| 年齢別  |       |           |               |                      |           |       |
| 20歳代 | 79    | 39.2%     | 5.1%          | 36.7%                | 35.4%     | 1.3%  |
| 30歳代 | 139   | 32.4%     | 3.6%          | 48.2%                | 43.2%     | 2.2%  |
| 40歳代 | 177   | 35.6%     | 5.1%          | 44.1%                | 33.3%     | 6.2%  |
| 50歳代 | 157   | 40.1%     | 2.5%          | 49.7%                | 26.8%     | 7.0%  |
| 60歳代 | 197   | 35.0%     | 5.1%          | 49.2%                | 28.9%     | 4.6%  |
| 70歳代 | 163   | 16.0%     | 6.1%          | 49.7%                | 27.6%     | 6.1%  |
| 80歳代 | 73    | 12.3%     | 2.7%          | 38.4%                | 20.5%     | 26.0% |
| 職業別  |       |           |               |                      |           |       |
| 会社員  | 347   | 36.6%     | 4.0%          | 46.1%                | 33.1%     | 2.9%  |
| 自営業  | 73    | 37.0%     | 6.8%          | 50.7%                | 24.7%     | 6.8%  |
| 農林漁業 | 10    | 30.0%     | 10.0%         | 50.0%                | 30.0%     | —     |
| 公務員  | 70    | 47.1%     | 4.3%          | 41.4%                | 28.6%     | —     |
| 学生   | 14    | 35.7%     | 7.1%          | 28.6%                | 28.6%     | 7.1%  |
| 無職   | 344   | 18.6%     | 4.4%          | 48.5%                | 29.9%     | 12.5% |
| その他  | 126   | 37.3%     | 4.0%          | 43.7%                | 34.1%     | 4.0%  |
| 地区別  |       |           |               |                      |           |       |
| 中央区  | 231   | 35.1%     | 4.8%          | 45.9%                | 27.3%     | 7.4%  |
| 東区   | 249   | 32.5%     | 4.4%          | 43.8%                | 34.1%     | 5.2%  |
| 西区   | 132   | 25.0%     | 7.6%          | 43.9%                | 34.1%     | 9.1%  |
| 南区   | 192   | 31.3%     | 1.6%          | 50.0%                | 30.2%     | 6.3%  |
| 北区   | 172   | 27.3%     | 4.7%          | 50.6%                | 29.7%     | 5.2%  |

問6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が47.3%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」が40.5%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化はみられない。

過去5年間の推移では、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や、「身近な地域の環境について学べるもの」が毎年上位を占めており、市民の生活に密着した内容のものが求められていることがうかがえる。



【参考】

「その他」の内容

- ・プラスチック容器包装の分別講習会
- ・プラスチックの再利用率を高めるための学習会

- ・ 地域猫や保護猫の活動について学べるもの
- ・ 地域で将来起こるであろう問題についてポイントを絞った問題を学べるもの
- ・ 子どもが興味を持てる内容について学べるもの
- ・ 環境に関する実践ができるものでかつメリットがあるもの
- ・ 時間を割いてまで参加したいと思わない。

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は50歳代が52.7%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」は60歳代が28.6%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「国際的な環境問題について学べるもの」は20歳代が48.8%、27.5%、「身近な地域の環境について学べるもの」は60歳代が48.2%と最も高くなっている。

職業別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」はその他がそれぞれ58.2%、31.2%と最も高く、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」は学生が57.1%、「身近な地域の環境について学べるもの」は学生が40.7%、「身近な地域の環境について学べるもの」は無職が44.7%、「国際的な環境問題について学べるもの」は公務員が25.6%と最も高くなっている。

地区別：「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」は南区が50.9%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識が学べるもの」は北区が29.8%、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」、「国際的な環境問題について学べるもの」は中央区が33.8%、24.2%、「身近な地域の環境について学べるもの」は西区が44.4%と最も高くなっている。

■属性別回答

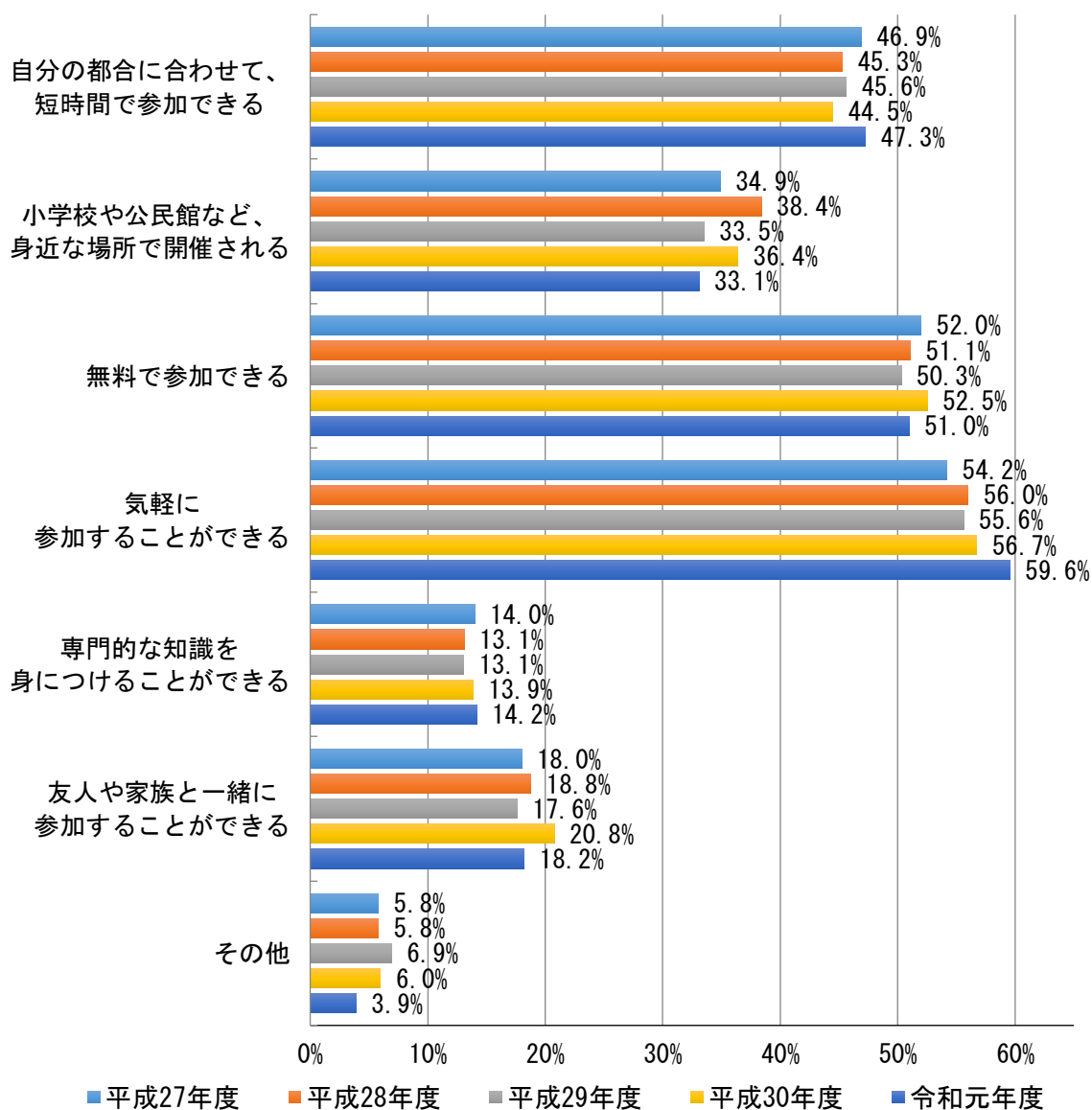
|       | 合計    | 日常生活の中で実践できる<br>エコについて学べるもの | 基礎的な知識が学べるもの<br>環境問題について | 省エネルギーや新エネルギーなど、<br>話題になっているテーマについて<br>学べるもの | 身近な地域の環境について<br>学べるもの | 国際的な環境問題について<br>学べるもの | その他  |
|-------|-------|-----------------------------|--------------------------|----------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 全体    | 1,130 | 47.3%                       | 23.5%                    | 29.1%                                        | 40.5%                 | 16.5%                 | 2.1% |
| 年齢別   |       |                             |                          |                                              |                       |                       |      |
| 20 歳代 | 80    | 48.8%                       | 18.8%                    | 48.8%                                        | 33.8%                 | 27.5%                 | 1.3% |
| 30 歳代 | 144   | 51.4%                       | 21.5%                    | 38.2%                                        | 36.1%                 | 21.5%                 | 5.6% |
| 40 歳代 | 193   | 45.1%                       | 23.3%                    | 40.4%                                        | 34.7%                 | 16.1%                 | 2.6% |
| 50 歳代 | 184   | 52.7%                       | 23.9%                    | 25.0%                                        | 41.8%                 | 17.9%                 | 2.7% |
| 60 歳代 | 220   | 45.5%                       | 28.6%                    | 21.8%                                        | 48.2%                 | 15.0%                 | 1.4% |
| 70 歳代 | 191   | 45.5%                       | 23.0%                    | 23.0%                                        | 43.5%                 | 12.6%                 | 0.5% |
| 80 歳代 | 93    | 44.1%                       | 19.4%                    | 9.7%                                         | 35.5%                 | 8.6%                  | 1.1% |
| 職業別   |       |                             |                          |                                              |                       |                       |      |
| 会社員   | 375   | 44.8%                       | 21.1%                    | 34.4%                                        | 41.3%                 | 17.9%                 | 1.9% |
| 自営業   | 82    | 47.6%                       | 26.8%                    | 28.0%                                        | 26.8%                 | 15.9%                 | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | 33.3%                       | 16.7%                    | 8.3%                                         | 25.0%                 | —                     | —    |
| 公務員   | 82    | 51.2%                       | 19.5%                    | 29.3%                                        | 31.7%                 | 25.6%                 | 6.1% |
| 学生    | 14    | 28.6%                       | 28.6%                    | 57.1%                                        | 28.6%                 | 21.4%                 | —    |
| 無職    | 396   | 46.7%                       | 23.5%                    | 21.7%                                        | 44.7%                 | 13.4%                 | 2.3% |
| その他   | 141   | 58.2%                       | 31.2%                    | 33.3%                                        | 40.4%                 | 17.7%                 | 1.4% |
| 地区別   |       |                             |                          |                                              |                       |                       |      |
| 中央区   | 260   | 47.7%                       | 21.9%                    | 33.8%                                        | 37.3%                 | 24.2%                 | 2.7% |
| 東区    | 276   | 48.9%                       | 21.0%                    | 30.4%                                        | 40.6%                 | 14.5%                 | 1.4% |
| 西区    | 142   | 47.9%                       | 24.6%                    | 27.5%                                        | 44.4%                 | 12.0%                 | 1.4% |
| 南区    | 216   | 50.9%                       | 22.2%                    | 23.1%                                        | 38.0%                 | 15.7%                 | 1.9% |
| 北区    | 198   | 41.9%                       | 29.8%                    | 29.3%                                        | 43.4%                 | 13.6%                 | 3.5% |



問7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したい  
と思いますか。(複数回答可)

「気軽に参加することができる」が59.6%と最も高く、次いで「無料で参加できる」が51.0%、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」が47.3%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・WEBで開催される
- ・ショッピングモールなどで買い物ついでに参加することができる
- ・特典やノベルティの配布がある
- ・参加することで資格を取得できる

- ・趣旨がはっきり分かる
- ・自由討論の時間がある

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「気軽に参加することができる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は30歳代がそれぞれ56.9%、66.0%、34.7%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は80歳代が44.1%、「無料で参加できる」、「専門的な知識を身につけることができる」は20歳代が73.8%、21.3%とそれぞれ最も高くなっている。

職業別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「無料で参加できる」は学生がそれぞれ64.3%、78.6%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は無職が41.4%、「気軽に参加することができる」は農林漁業が66.7%、「専門的な知識を身につけることができる」は公務員が22.0%、「友人や家族と一緒に参加することができる」は会社員が20.5%と最も高くなっている。

地区別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」、「専門的な知識を身につけることができる」は中央区がそれぞれ51.2%、16.9%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」、「気軽に参加することができる」は南区が40.3%、61.6%、「無料で参加できる」は東区が54.0%、「友人や家族と一緒に参加することができる」は北区が22.2%と最も高くなっている。

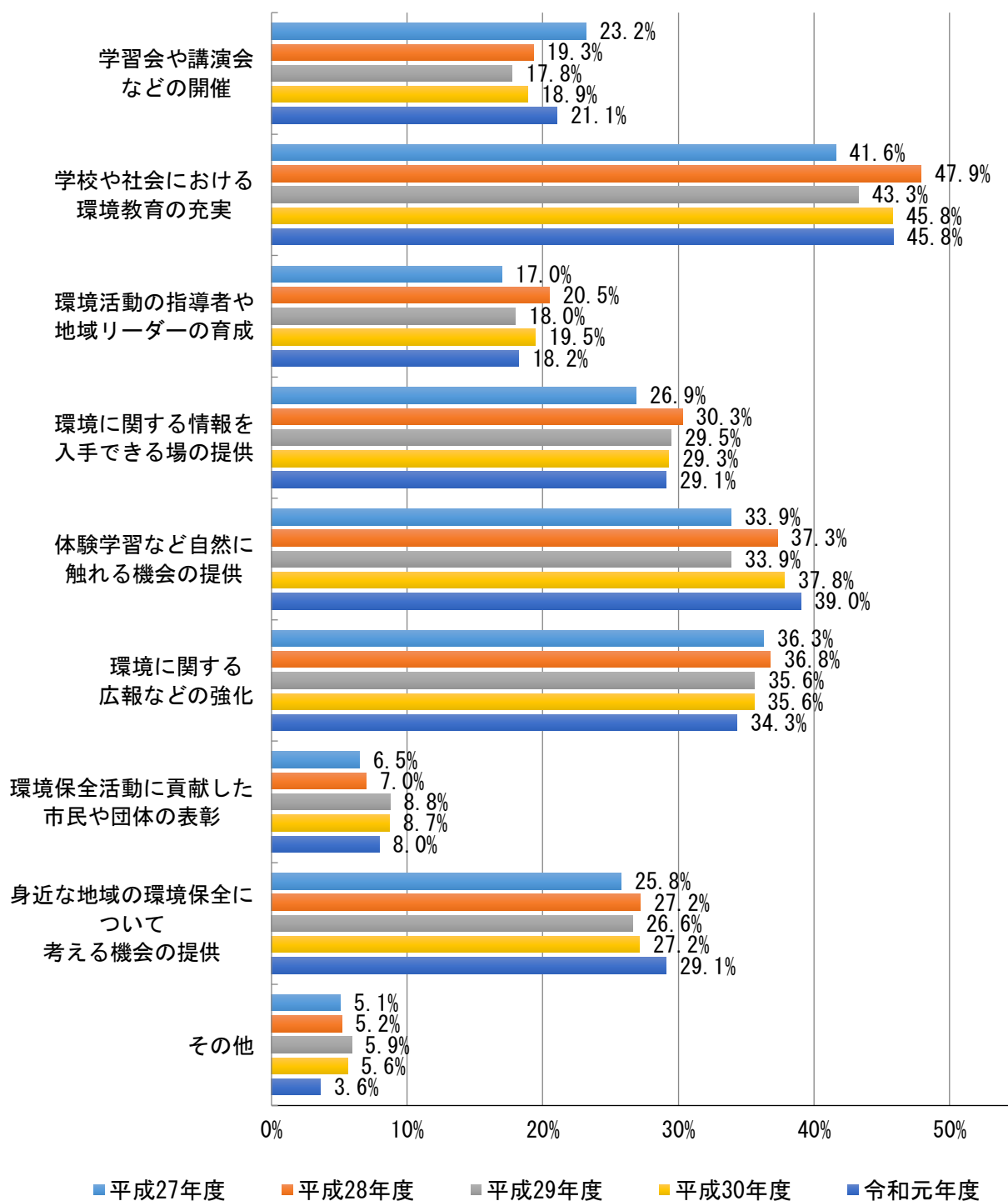
■属性別回答

|      | 合計    | 自分の都合に合わせて、<br>短時間で参加できる | 小学校や公民館など、<br>身近な場所で開催される | 無料で参加できる | 気軽に<br>参加することができる | 専門的な知識を<br>身につけることができる | 友人や家族と一緒に<br>参加することができる | その他   |
|------|-------|--------------------------|---------------------------|----------|-------------------|------------------------|-------------------------|-------|
| 全体   | 1,130 | 47.3%                    | 33.1%                     | 51.0%    | 59.6%             | 14.2%                  | 18.2%                   | 3.9%  |
| 年齢別  |       |                          |                           |          |                   |                        |                         |       |
| 20歳代 | 80    | 52.5%                    | 22.5%                     | 73.8%    | 60.0%             | 21.3%                  | 22.5%                   | 3.8%  |
| 30歳代 | 144   | 56.9%                    | 29.2%                     | 70.1%    | 66.0%             | 18.1%                  | 34.7%                   | 9.7%  |
| 40歳代 | 193   | 52.8%                    | 26.9%                     | 59.6%    | 60.6%             | 11.4%                  | 20.2%                   | 4.1%  |
| 50歳代 | 184   | 51.6%                    | 28.3%                     | 48.9%    | 56.5%             | 16.8%                  | 12.5%                   | 6.5%  |
| 60歳代 | 220   | 41.8%                    | 37.7%                     | 44.5%    | 63.2%             | 15.0%                  | 13.6%                   | 0.9%  |
| 70歳代 | 191   | 40.3%                    | 40.3%                     | 38.7%    | 56.5%             | 14.7%                  | 12.0%                   | 0.5%  |
| 80歳代 | 93    | 34.4%                    | 44.1%                     | 28.0%    | 49.5%             | 3.2%                   | 20.4%                   | 3.2%  |
| 職業別  |       |                          |                           |          |                   |                        |                         |       |
| 会社員  | 375   | 54.9%                    | 27.7%                     | 58.4%    | 61.1%             | 15.2%                  | 20.5%                   | 3.5%  |
| 自営業  | 82    | 50.0%                    | 35.4%                     | 42.7%    | 61.0%             | 13.4%                  | 13.4%                   | 1.2%  |
| 農林漁業 | 12    | 25.0%                    | 33.3%                     | 16.7%    | 66.7%             | 8.3%                   | —                       | —     |
| 公務員  | 82    | 51.2%                    | 26.8%                     | 54.9%    | 58.5%             | 22.0%                  | 17.1%                   | 7.3%  |
| 学生   | 14    | 64.3%                    | 14.3%                     | 78.6%    | 57.1%             | 7.1%                   | 14.3%                   | 14.3% |
| 無職   | 396   | 38.1%                    | 41.4%                     | 43.9%    | 58.6%             | 11.1%                  | 17.4%                   | 3.5%  |
| その他  | 141   | 48.9%                    | 28.4%                     | 53.9%    | 56.7%             | 19.9%                  | 20.6%                   | 5.0%  |
| 地区別  |       |                          |                           |          |                   |                        |                         |       |
| 中央区  | 260   | 51.2%                    | 30.4%                     | 49.2%    | 61.5%             | 16.9%                  | 16.5%                   | 3.5%  |
| 東区   | 276   | 49.6%                    | 32.2%                     | 54.0%    | 55.1%             | 16.7%                  | 18.5%                   | 3.3%  |
| 西区   | 142   | 47.2%                    | 30.3%                     | 50.7%    | 59.9%             | 13.4%                  | 12.7%                   | 2.1%  |
| 南区   | 216   | 42.6%                    | 40.3%                     | 53.2%    | 61.6%             | 10.2%                  | 20.4%                   | 3.2%  |
| 北区   | 198   | 43.4%                    | 31.8%                     | 46.5%    | 61.1%             | 13.6%                  | 22.2%                   | 7.6%  |

問 8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

「学校や社会における環境教育の充実」が45.8%と最も高くなっている。次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」が39.0%、「環境に関する広報などの強化」が34.3%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 予算を投入して結果を出す。
- ・ 地道な活動を継続している市民団体への経済的保障
- ・ テレビ、情報誌、インターネットの活用
- ・ ポイント制度の導入
- ・ 公共交通機関への環境負荷が少ない車両導入の補助
- ・ 危機感を訴える動画の作成

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：回答肢の中から一番選ばれたものについて、20 歳代から 60 歳代 は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。70 歳代と 80 歳代は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっている。

職業別：自営業と農林漁業は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっており、それ以外は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

地区別：全区ともに「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

■属性別回答

|      | 合計    | 学習会や講演会などの開催 | 学校や社会における<br>環境教育の充実 | 地域リーダーの育成 | 環境活動の指導者や<br>環境に関する情報を<br>入手できる場の提供 | 体験学習など自然に触れる<br>機会の提供 | 環境に関する広報などの強化 | 環境保全活動に貢献した<br>市民や団体の表彰 | 身近な地域の環境保全について<br>考える機会の提供 | その他  |
|------|-------|--------------|----------------------|-----------|-------------------------------------|-----------------------|---------------|-------------------------|----------------------------|------|
| 全体   | 1,130 | 21.1%        | 45.8%                | 18.2%     | 29.1%                               | 39.0%                 | 34.3%         | 8.0%                    | 29.1%                      | 3.6% |
| 年齢別  |       |              |                      |           |                                     |                       |               |                         |                            |      |
| 20歳代 | 80    | 15.0%        | 60.0%                | 12.5%     | 36.3%                               | 45.0%                 | 32.5%         | 12.5%                   | 22.5%                      | 6.3% |
| 30歳代 | 144   | 11.8%        | 51.4%                | 15.3%     | 34.0%                               | 50.7%                 | 30.6%         | 10.4%                   | 27.1%                      | 6.3% |
| 40歳代 | 193   | 19.7%        | 51.8%                | 13.0%     | 28.5%                               | 48.2%                 | 21.8%         | 14.0%                   | 25.4%                      | 4.1% |
| 50歳代 | 184   | 20.1%        | 51.1%                | 21.2%     | 27.7%                               | 39.1%                 | 33.7%         | 5.4%                    | 36.4%                      | 6.0% |
| 60歳代 | 220   | 23.2%        | 46.8%                | 18.2%     | 34.1%                               | 38.6%                 | 39.1%         | 4.1%                    | 30.0%                      | 1.8% |
| 70歳代 | 191   | 27.2%        | 34.6%                | 22.0%     | 22.5%                               | 28.8%                 | 41.9%         | 4.7%                    | 31.9%                      | —    |
| 80歳代 | 93    | 26.9%        | 25.8%                | 18.3%     | 22.6%                               | 19.4%                 | 40.9%         | 9.7%                    | 24.7%                      | 4.3% |
| 職業別  |       |              |                      |           |                                     |                       |               |                         |                            |      |
| 会社員  | 375   | 19.2%        | 50.1%                | 14.9%     | 33.1%                               | 44.5%                 | 29.1%         | 12.5%                   | 29.6%                      | 5.1% |
| 自営業  | 82    | 19.5%        | 40.2%                | 18.3%     | 32.9%                               | 30.5%                 | 43.9%         | 9.8%                    | 26.8%                      | —    |
| 農林漁業 | 12    | 8.3%         | 33.3%                | 16.7%     | 25.0%                               | 25.0%                 | 41.7%         | —                       | 16.7%                      | —    |
| 公務員  | 82    | 11.0%        | 46.3%                | 17.1%     | 29.3%                               | 45.1%                 | 36.6%         | 4.9%                    | 20.7%                      | 9.8% |
| 学生   | 14    | 50.0%        | 71.4%                | 21.4%     | 42.9%                               | 57.1%                 | 35.7%         | 7.1%                    | 14.3%                      | 7.1% |
| 無職   | 396   | 24.0%        | 41.2%                | 18.9%     | 23.5%                               | 32.8%                 | 37.9%         | 5.3%                    | 30.3%                      | 2.0% |
| その他  | 141   | 22.0%        | 51.1%                | 21.3%     | 31.9%                               | 43.3%                 | 29.8%         | 5.7%                    | 34.8%                      | 3.5% |
| 地区別  |       |              |                      |           |                                     |                       |               |                         |                            |      |
| 中央区  | 260   | 25.4%        | 45.4%                | 18.5%     | 31.5%                               | 41.2%                 | 32.7%         | 9.2%                    | 25.8%                      | 2.3% |
| 東区   | 276   | 17.4%        | 49.3%                | 18.1%     | 35.1%                               | 39.9%                 | 34.1%         | 4.0%                    | 31.2%                      | 1.8% |
| 西区   | 142   | 20.4%        | 40.8%                | 19.7%     | 23.9%                               | 34.5%                 | 35.9%         | 6.3%                    | 31.7%                      | 3.5% |
| 南区   | 216   | 21.8%        | 49.1%                | 15.3%     | 23.6%                               | 43.1%                 | 32.4%         | 8.3%                    | 31.9%                      | 5.1% |
| 北区   | 198   | 20.7%        | 42.9%                | 16.7%     | 28.8%                               | 34.3%                 | 37.4%         | 13.1%                   | 25.8%                      | 6.6% |

このページは空白です。

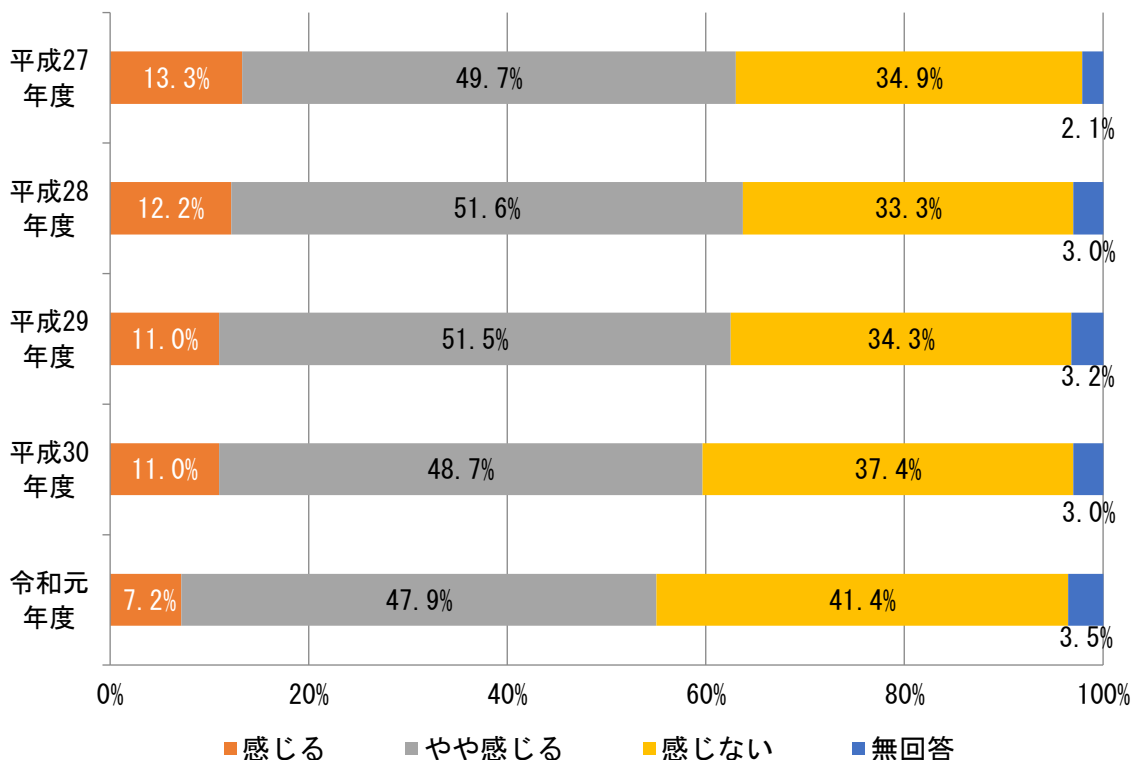
## ■「まちづくりプロジェクト」について

### 問9.（緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など）環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が47.9%と最も高く、次いで「感じる」が41.4%、「感じる」が7.2%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は55.1%と4.6ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、年々減少傾向にある。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は60歳代が62.7%と最も高く、次いで80歳代（58.0%）、70歳代（57.6%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合はその他が65.9%と最も高く、次いで公務員（59.8%）、無職（57.1%）となっている。

地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が57.9%と最も高く、次いで北区（56.1%）、西区（55.6%）となっている。



■属性別回答

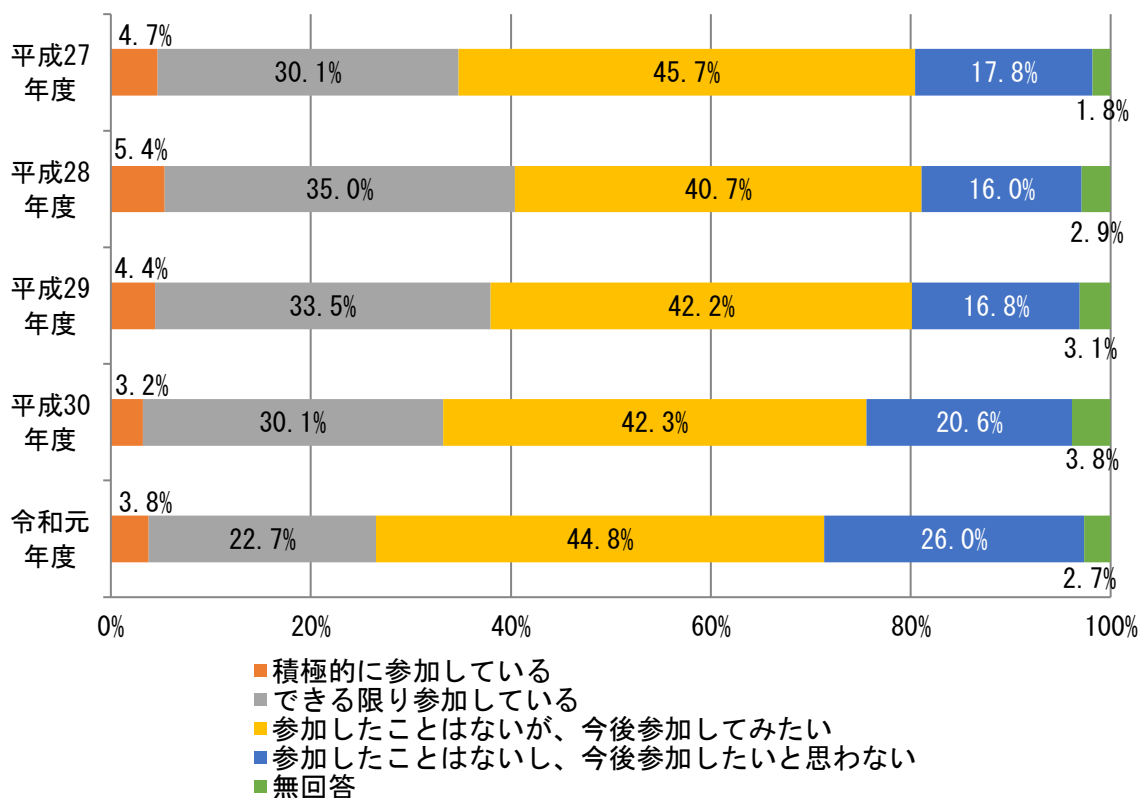
|       | 合計    | 感じる   | やや感じる | 感じない  | 無回答   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体    | 1,130 | 7.2%  | 47.9% | 41.4% | 3.5%  |
| 年齢別   |       |       |       |       |       |
| 20 歳代 | 80    | 7.5%  | 42.5% | 50.0% | —     |
| 30 歳代 | 144   | 6.9%  | 38.9% | 53.5% | 0.7%  |
| 40 歳代 | 193   | 5.7%  | 48.2% | 45.6% | 0.5%  |
| 50 歳代 | 184   | 7.6%  | 45.7% | 44.6% | 2.2%  |
| 60 歳代 | 220   | 7.7%  | 55.0% | 35.5% | 1.8%  |
| 70 歳代 | 191   | 6.3%  | 51.3% | 34.0% | 8.4%  |
| 80 歳代 | 93    | 11.8% | 46.2% | 29.0% | 12.9% |
| 職業別   |       |       |       |       |       |
| 会社員   | 375   | 6.7%  | 42.1% | 49.9% | 1.3%  |
| 自営業   | 82    | 12.2% | 43.9% | 40.2% | 3.7%  |
| 農林漁業  | 12    | —     | 50.0% | 41.7% | 8.3%  |
| 公務員   | 82    | 6.1%  | 53.7% | 40.2% | —     |
| 学生    | 14    | 7.1%  | 21.4% | 71.4% | —     |
| 無職    | 396   | 6.8%  | 50.3% | 35.9% | 7.1%  |
| その他   | 141   | 9.2%  | 56.7% | 33.3% | 0.7%  |
| 地区別   |       |       |       |       |       |
| 中央区   | 260   | 8.8%  | 46.5% | 41.2% | 3.5%  |
| 東区    | 276   | 6.9%  | 47.1% | 43.5% | 2.5%  |
| 西区    | 142   | 5.6%  | 50.0% | 39.4% | 4.9%  |
| 南区    | 216   | 7.9%  | 50.0% | 38.9% | 3.2%  |
| 北区    | 198   | 7.1%  | 49.0% | 40.4% | 3.5%  |

問 10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後参加してみたい」が44.8%と最も高く、次いで「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が26.0%、「できる限り参加している」が22.7%となっている。

前回調査と比較すると、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が5.4ポイント上昇、「参加したことはないが、今後参加してみたい」が2.5ポイント上昇、「できる限り参加している」は減少している。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は80歳代が37.6%と最も高く、次いで、50歳代（33.7%）、60歳代（31.8%）となっている。

また、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」は20歳代が45.0%と最も高く、次いで30歳代（32.6%）となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が50.0%と最も高く、次いで、公務員（30.5%）、無職（28.5%）となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は北区が33.3%と最も高く、次いで、南区（32.0%）、西区（24.6%）となっている。

■属性別回答

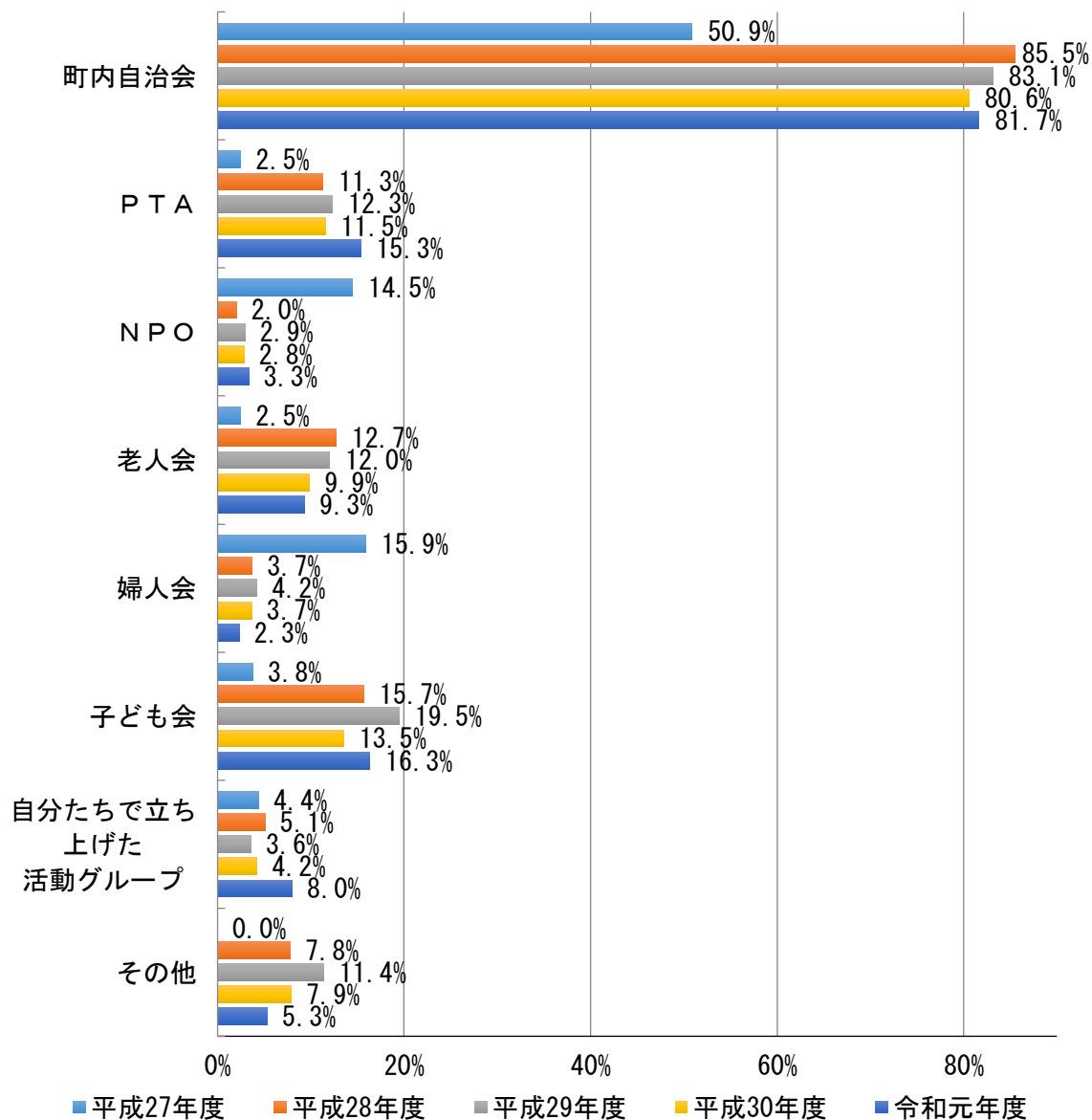
|       | 合計    | 積極的に参加している | できる限り参加している | 参加したことはないが、今後参加してみたい | 参加したことはないし、今後参加したいと思わない | 無回答   |
|-------|-------|------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------|
| 全体    | 1,130 | 3.8%       | 22.7%       | 44.8%                | 26.0%                   | 2.7%  |
| 年齢別   |       |            |             |                      |                         |       |
| 20 歳代 | 80    | —          | 8.8%        | 46.3%                | 45.0%                   | —     |
| 30 歳代 | 144   | 0.7%       | 13.9%       | 52.1%                | 32.6%                   | 0.7%  |
| 40 歳代 | 193   | 2.1%       | 21.2%       | 48.2%                | 26.9%                   | 1.6%  |
| 50 歳代 | 184   | 3.3%       | 30.4%       | 43.5%                | 21.7%                   | 1.1%  |
| 60 歳代 | 220   | 4.1%       | 27.7%       | 45.0%                | 21.8%                   | 1.4%  |
| 70 歳代 | 191   | 5.2%       | 22.0%       | 42.4%                | 24.6%                   | 5.8%  |
| 80 歳代 | 93    | 12.9%      | 24.7%       | 30.1%                | 21.5%                   | 10.8% |
| 職業別   |       |            |             |                      |                         |       |
| 会社員   | 375   | 1.9%       | 21.6%       | 48.5%                | 26.7%                   | 1.3%  |
| 自営業   | 82    | 2.4%       | 24.4%       | 46.3%                | 26.8%                   | —     |
| 農林漁業  | 12    | 16.7%      | 33.3%       | 25.0%                | 25.0%                   | —     |
| 公務員   | 82    | 3.7%       | 26.8%       | 51.2%                | 17.1%                   | 1.2%  |
| 学生    | 14    | —          | 14.3%       | 21.4%                | 64.3%                   | —     |
| 無職    | 396   | 5.8%       | 22.7%       | 40.2%                | 26.0%                   | 5.3%  |
| その他   | 141   | 2.8%       | 22.0%       | 46.1%                | 27.0%                   | 2.1%  |
| 地区別   |       |            |             |                      |                         |       |
| 中央区   | 260   | 1.5%       | 18.5%       | 48.8%                | 29.6%                   | 1.5%  |
| 東区    | 276   | 3.3%       | 21.0%       | 43.8%                | 29.0%                   | 2.9%  |
| 西区    | 142   | 4.2%       | 20.4%       | 44.4%                | 29.6%                   | 1.4%  |
| 南区    | 216   | 7.9%       | 24.1%       | 47.7%                | 17.1%                   | 3.2%  |
| 北区    | 198   | 2.5%       | 30.8%       | 38.4%                | 24.2%                   | 4.0%  |

問10-1. (問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した300人については、「町内自治会」が81.7%と最も高く、次いで「子ども会」が16.3%、「PTA」が15.3%となっている。

前回調査と比較すると、「老人会」と「婦人会」は減少し、それ以外の項目は増加している。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- |        |            |       |          |
|--------|------------|-------|----------|
| ・ 勤務先  | ・ 学校       | ・ 消防団 | ・ 公園愛護会  |
| ・ 労働組合 | ・ ライオンズクラブ | ・ 農区  | ・ 老人会連合会 |

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」は北区が 89.4%と最も高く、「PTA」、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は東区が 20.9%、10.4%、「NPO」、「婦人会」、「子ども会」は中央区が 11.5%、7.7%、25.0%、「老人会」は南区が 13.0%と最も高くなっている。

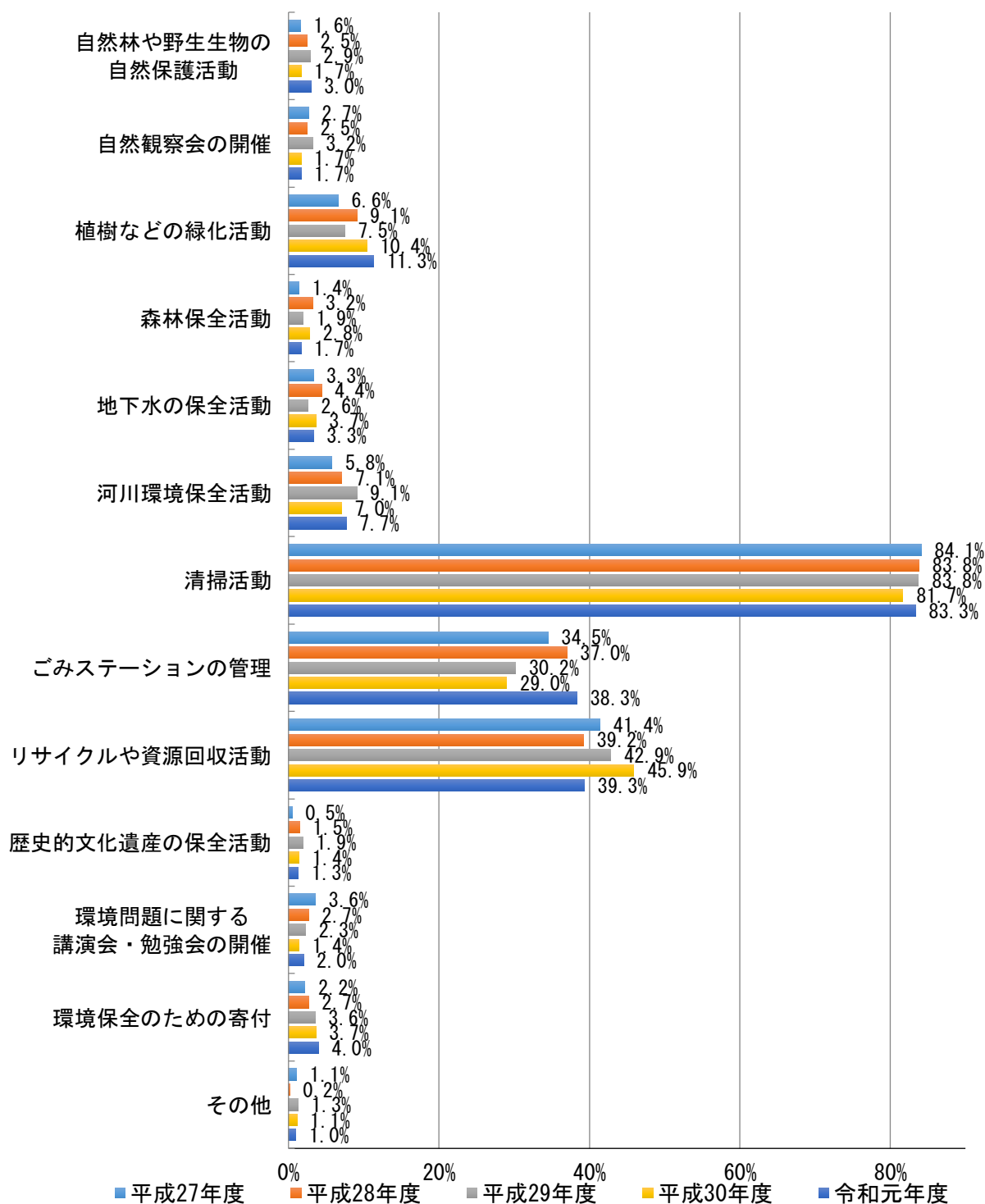
■属性別回答

|       | 合計  | 町内自治会 | P<br>T<br>A | N<br>P<br>O | 老人会   | 婦人会   | 子ども会  | 自分たちで立ち上げた活動グループ | その他   |
|-------|-----|-------|-------------|-------------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| 全体    | 300 | 81.7% | 15.3%       | 3.3%        | 9.3%  | 2.3%  | 16.3% | 8.0%             | 5.3%  |
| 年齢別   |     |       |             |             |       |       |       |                  |       |
| 20 歳代 | 7   | 71.4% | —           | —           | —     | —     | —     | 14.3%            | —     |
| 30 歳代 | 21  | 81.0% | 33.3%       | —           | —     | —     | 33.3% | 4.8%             | 9.5%  |
| 40 歳代 | 45  | 75.6% | 53.3%       | 2.2%        | —     | —     | 48.9% | 2.2%             | 8.9%  |
| 50 歳代 | 62  | 77.4% | 12.9%       | 3.2%        | —     | 1.6%  | 11.3% | 9.7%             | 8.1%  |
| 60 歳代 | 71  | 83.1% | 1.4%        | 7.0%        | 7.0%  | —     | 8.5%  | 4.2%             | 2.8%  |
| 70 歳代 | 52  | 88.5% | 7.7%        | 1.9%        | 25.0% | 5.8%  | 9.6%  | 13.5%            | 1.9%  |
| 80 歳代 | 35  | 85.7% | 2.9%        | 2.9%        | 28.6% | 5.7%  | 5.7%  | 8.6%             | 2.9%  |
| 職業別   |     |       |             |             |       |       |       |                  |       |
| 会社員   | 88  | 78.4% | 22.7%       | 2.3%        | 2.3%  | 1.1%  | 20.5% | 6.8%             | 8.0%  |
| 自営業   | 22  | 68.2% | 9.1%        | 9.1%        | 9.1%  | 4.5%  | 18.2% | 4.5%             | —     |
| 農林漁業  | 6   | 66.7% | —           | —           | 16.7% | 16.7% | —     | —                | 16.7% |
| 公務員   | 25  | 84.0% | 24.0%       | —           | —     | —     | 28.0% | 12.0%            | 8.0%  |
| 学生    | 2   | 50.0% | —           | —           | —     | —     | —     | —                | —     |
| 無職    | 114 | 90.4% | 5.3%        | 1.8%        | 19.3% | 1.8%  | 7.9%  | 7.9%             | 1.8%  |
| その他   | 35  | 74.3% | 31.4%       | 11.4%       | 2.9%  | 2.9%  | 31.4% | 5.7%             | 8.6%  |
| 地区別   |     |       |             |             |       |       |       |                  |       |
| 中央区   | 52  | 78.8% | 19.2%       | 11.5%       | 7.7%  | 7.7%  | 25.0% | 5.8%             | 7.7%  |
| 東区    | 67  | 76.1% | 20.9%       | 1.5%        | 9.0%  | —     | 19.4% | 10.4%            | 6.0%  |
| 西区    | 36  | 83.3% | 5.6%        | —           | 8.3%  | 2.8%  | 5.6%  | 5.6%             | 5.6%  |
| 南区    | 69  | 82.6% | 15.9%       | 1.4%        | 13.0% | 1.4%  | 18.8% | 7.2%             | 5.8%  |
| 北区    | 66  | 89.4% | 10.6%       | 3.0%        | 9.1%  | —     | 12.1% | 6.1%             | —     |

問10-2. (問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した300人については、「清掃活動」が83.3%と最も高くなっており、次いで「リサイクルや資源回収活動」が39.3%、「ごみステーションの管理」が38.3%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 公園清掃                      ・ 小学校へ苗木の寄付                      ・ 農地・水・環境保全組織活動
- ・ 除草作業                      ・ 伝統的農法の保全（わら積み）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「自然林や野生生物の自然保護活動」、「自然観察会の開催」、「森林保全活動」、「清掃活動」、「ごみステーションの管理」、「歴史的文化遺産の保全活動」は北区が最も高くなっている。

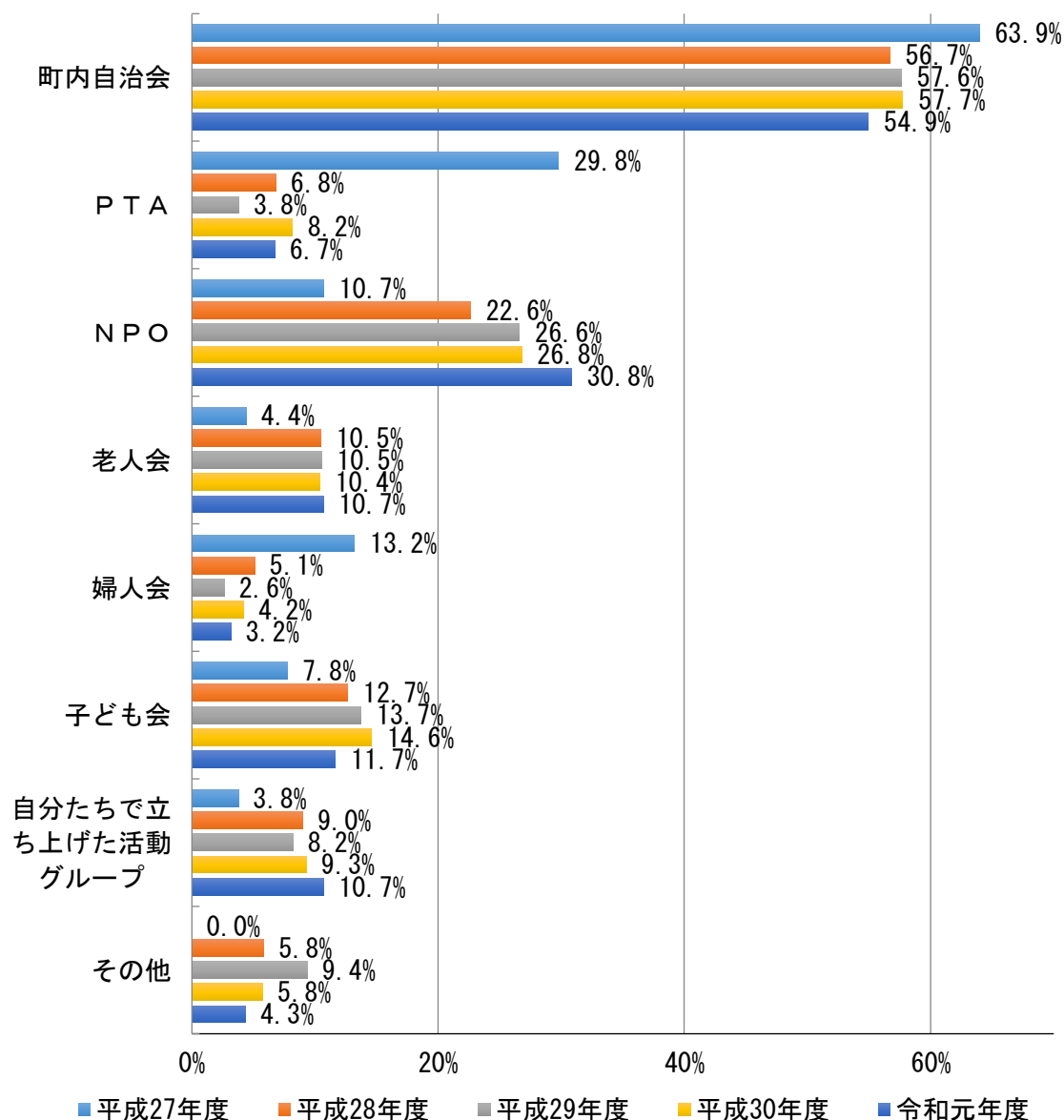
■属性別回答

|      | 合計  | 自然林や野生生物の<br>自然保護活動 | 自然観察会の開催 | 植樹などの緑化活動 | 森林保全活動 | 地下水の保全活動 | 河川環境保全活動 | 清掃活動   | ごみステーションの管理 | 資源回収活動や<br>リサイクル | 歴史的<br>文化遺産の<br>保全活動 | 環境問題に関する<br>講演会・勉強会の開催 | 環境保全のための<br>寄付 | その他  |
|------|-----|---------------------|----------|-----------|--------|----------|----------|--------|-------------|------------------|----------------------|------------------------|----------------|------|
| 全体   | 300 | 3.0%                | 1.7%     | 11.3%     | 1.7%   | 3.3%     | 7.7%     | 83.3%  | 38.3%       | 39.3%            | 1.3%                 | 2.0%                   | 4.0%           | 1.0% |
| 年齢別  |     |                     |          |           |        |          |          |        |             |                  |                      |                        |                |      |
| 20歳代 | 7   | —                   | —        | —         | —      | —        | —        | 85.7%  | 28.6%       | 14.3%            | —                    | —                      | —              | —    |
| 30歳代 | 21  | —                   | 4.8%     | 9.5%      | —      | —        | —        | 90.5%  | 33.3%       | 38.1%            | —                    | —                      | —              | —    |
| 40歳代 | 45  | 2.2%                | —        | 13.3%     | —      | —        | 4.4%     | 80.0%  | 26.7%       | 55.6%            | 2.2%                 | —                      | 2.2%           | —    |
| 50歳代 | 62  | 3.2%                | 1.6%     | 14.5%     | 3.2%   | 1.6%     | 11.3%    | 82.3%  | 32.3%       | 32.3%            | —                    | 1.6%                   | 6.5%           | 3.2% |
| 60歳代 | 71  | 2.8%                | 1.4%     | 5.6%      | —      | 2.8%     | 8.5%     | 83.1%  | 42.3%       | 33.8%            | 1.4%                 | 2.8%                   | 2.8%           | —    |
| 70歳代 | 52  | 5.8%                | 1.9%     | 9.6%      | 3.8%   | 9.6%     | 3.8%     | 80.8%  | 50.0%       | 48.1%            | 1.9%                 | 1.9%                   | 3.8%           | —    |
| 80歳代 | 35  | —                   | 2.9%     | 14.3%     | —      | 2.9%     | 14.3%    | 88.6%  | 42.9%       | 31.4%            | 2.9%                 | 2.9%                   | 5.7%           | 2.9% |
| 職業別  |     |                     |          |           |        |          |          |        |             |                  |                      |                        |                |      |
| 会社員  | 88  | 3.4%                | 1.1%     | 14.8%     | 1.1%   | 1.1%     | 5.7%     | 83.0%  | 25.0%       | 37.5%            | 1.1%                 | 1.1%                   | 1.1%           | 1.1% |
| 自営業  | 22  | —                   | —        | 4.5%      | 4.5%   | 4.5%     | 13.6%    | 59.1%  | 40.9%       | 27.3%            | —                    | —                      | —              | 4.5% |
| 農林漁業 | 6   | —                   | —        | 16.7%     | —      | —        | 33.3%    | 100.0% | 33.3%       | 33.3%            | —                    | —                      | —              | —    |
| 公務員  | 25  | —                   | —        | 8.0%      | —      | 4.0%     | 4.0%     | 88.0%  | 36.0%       | 40.0%            | —                    | 4.0%                   | 4.0%           | —    |
| 学生   | 2   | —                   | —        | —         | —      | —        | —        | 50.0%  | —           | 50.0%            | —                    | —                      | —              | —    |
| 無職   | 114 | 3.5%                | 0.9%     | 10.5%     | 1.8%   | 3.5%     | 7.0%     | 88.6%  | 47.4%       | 38.6%            | 1.8%                 | 0.9%                   | 5.3%           | 0.9% |
| その他  | 35  | 2.9%                | 8.6%     | 5.7%      | —      | 5.7%     | 8.6%     | 77.1%  | 45.7%       | 51.4%            | 2.9%                 | 5.7%                   | 8.6%           | —    |
| 地区別  |     |                     |          |           |        |          |          |        |             |                  |                      |                        |                |      |
| 中央区  | 52  | —                   | 1.9%     | 17.3%     | 1.9%   | 5.8%     | 5.8%     | 76.9%  | 34.6%       | 38.5%            | —                    | 3.8%                   | 5.8%           | 1.9% |
| 東区   | 67  | 4.5%                | 3.0%     | 10.4%     | 1.5%   | 4.5%     | 4.5%     | 77.6%  | 34.3%       | 43.3%            | —                    | 4.5%                   | 4.5%           | —    |
| 西区   | 36  | —                   | —        | 5.6%      | —      | 2.8%     | 2.8%     | 83.3%  | 27.8%       | 25.0%            | —                    | —                      | 2.8%           | —    |
| 南区   | 69  | 1.4%                | —        | 5.8%      | —      | —        | 11.6%    | 87.0%  | 40.6%       | 42.0%            | 2.9%                 | —                      | 2.9%           | 2.9% |
| 北区   | 66  | 4.5%                | 3.0%     | 13.6%     | 3.0%   | 3.0%     | 10.6%    | 89.4%  | 48.5%       | 40.9%            | 3.0%                 | —                      | 3.0%           | —    |

問10-3. (問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した506人については、「町内自治会」が54.9%と最も高く、次いで「NPO」が30.8%、「子ども会」が11.7%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



#### 【参考】

「その他」の内容

- ・ 行政（市や県主催）
- ・ 公民館主催講座
- ・ 会社
- ・ 特定の条件に縛られない色々な人が参加できるような開かれたグループ

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「町内自治会」は60歳代が71.7%と最も高く、「PTA」は40歳代が



19.4%、「NPO」は50歳代が50.0%、「老人会」と「婦人会」は80歳代が46.4%、10.7%、「子ども会」は30歳代が34.7%、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は20歳代が16.2%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」は東区が58.7%と最も高く、「PTA」は中央区と東区が7.9%、「NPO」、「老人会」は西区が36.5%、15.9%、「婦人会」は中央区と北区が3.9%、「子ども会」は南区が16.5%、「自分たちで立ち上げた活動グループ」は北区が14.5%と最も高くなっている。

# ■属性別回答

|      | 合計  | 町内自治会  | PTA   | NPO   | 老人会   | 婦人会   | 子ども会  | 自分たちで立ち上げた活動グループ | その他  |
|------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|------|
| 全体   | 506 | 54.9%  | 6.7%  | 30.8% | 10.7% | 3.2%  | 11.7% | 10.7%            | 4.3% |
| 年齢別  |     |        |       |       |       |       |       |                  |      |
| 20歳代 | 37  | 37.8%  | 2.7%  | 40.5% | 2.7%  | 2.7%  | 16.2% | 16.2%            | 5.4% |
| 30歳代 | 75  | 46.7%  | 10.7% | 29.3% | 1.3%  | 2.7%  | 34.7% | 16.0%            | 5.3% |
| 40歳代 | 93  | 47.3%  | 19.4% | 34.4% | —     | 1.1%  | 18.3% | 10.8%            | 5.4% |
| 50歳代 | 80  | 50.0%  | 5.0%  | 50.0% | 3.8%  | 5.0%  | 6.3%  | 15.0%            | 5.0% |
| 60歳代 | 99  | 71.7%  | 2.0%  | 28.3% | 16.2% | 2.0%  | 2.0%  | 6.1%             | 3.0% |
| 70歳代 | 81  | 65.4%  | 1.2%  | 17.3% | 24.7% | 1.2%  | 3.7%  | 7.4%             | 4.9% |
| 80歳代 | 28  | 57.1%  | —     | —     | 46.4% | 10.7% | —     | 3.6%             | —    |
| 職業別  |     |        |       |       |       |       |       |                  |      |
| 会社員  | 182 | 53.3%  | 6.0%  | 34.1% | 7.1%  | 3.3%  | 15.9% | 11.0%            | 6.0% |
| 自営業  | 38  | 57.9%  | 10.5% | 34.2% | 10.5% | —     | 10.5% | 13.2%            | 5.3% |
| 農林漁業 | 3   | 100.0% | —     | —     | —     | —     | —     | —                | —    |
| 公務員  | 42  | 57.1%  | 9.5%  | 38.1% | 2.4%  | —     | 16.7% | 9.5%             | 2.4% |
| 学生   | 3   | 66.7%  | —     | 33.3% | —     | —     | —     | 33.3%            | —    |
| 無職   | 159 | 57.9%  | 5.7%  | 23.3% | 20.1% | 4.4%  | 6.3%  | 8.2%             | 3.1% |
| その他  | 65  | 49.2%  | 9.2%  | 33.8% | 6.2%  | 1.5%  | 13.8% | 15.4%            | 4.6% |
| 地区別  |     |        |       |       |       |       |       |                  |      |
| 中央区  | 127 | 52.0%  | 7.9%  | 30.7% | 8.7%  | 3.9%  | 14.2% | 8.7%             | 3.9% |
| 東区   | 121 | 58.7%  | 5.0%  | 28.9% | 11.6% | 1.7%  | 12.4% | 12.4%            | 5.8% |
| 西区   | 63  | 54.0%  | 7.9%  | 36.5% | 15.9% | 3.2%  | 9.5%  | 4.8%             | 3.2% |
| 南区   | 103 | 55.3%  | 7.8%  | 26.2% | 8.7%  | 1.9%  | 16.5% | 11.7%            | 5.8% |
| 北区   | 76  | 55.3%  | 3.9%  | 34.2% | 13.2% | 3.9%  | 3.9%  | 14.5%            | 2.6% |

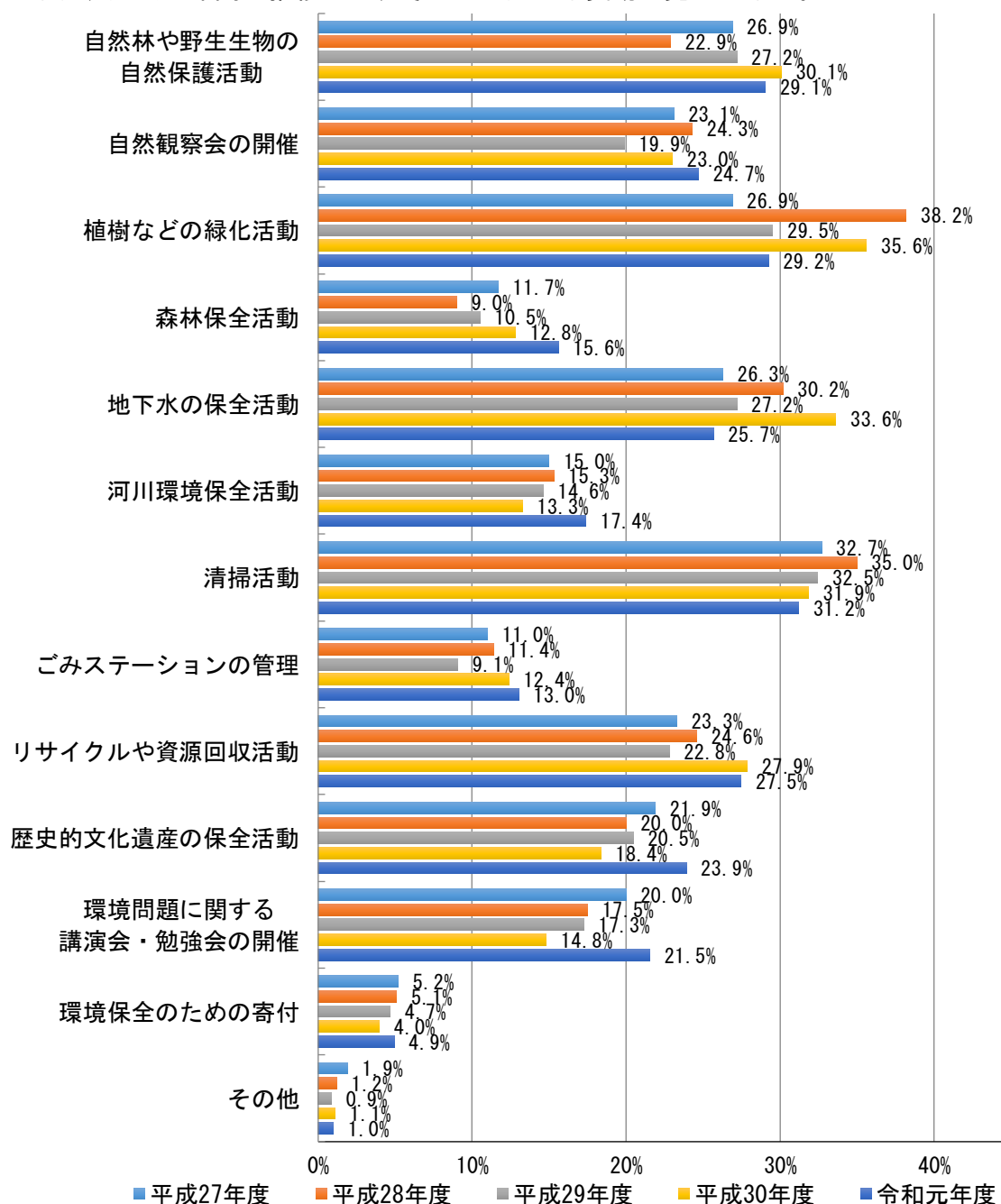
問10-4. (問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した506人については、「清掃活動」が31.2%と最も高く、「植樹などの緑化活動」が29.2%、「自然林や野生生物の自然保護活動」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、「自然観察会の開催」、「森林保全活動」、「河川環境保全活動」、「ごみステーションの管理」、「歴史的文化遺産の保全活動」、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」、「環境保全のための寄付」が上昇している。

また、問10-2. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した人の「清掃活動」の割合が突出しているのに対し、本問の「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した人については、「清掃活動」以外の活動に幅広いニーズがあることが分かる。

なお、過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

|                                 |
|---------------------------------|
| 「その他」の内容                        |
| ・ 県内の港や漁港の清掃活動                  |
| ・ 声かけなどのコミュニケーションで環境問題を解決していく活動 |

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然林や野生生物の自然保護活動」、「清掃活動」、「リサイクルや資源回収活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」は20歳代が最も多くなっている一方で、「自然観察会の開催」は最も低くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「森林保全活動」、「河川環境保全活動」、「ごみステーションの管理」、「歴史的文化遺産の保全活動」、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」、「環境保全のための寄付」は北区が最も多くなっている一方で、「自然観察会の開催」、「植樹などの緑化活動」、「清掃活動」は最も低くなっている。

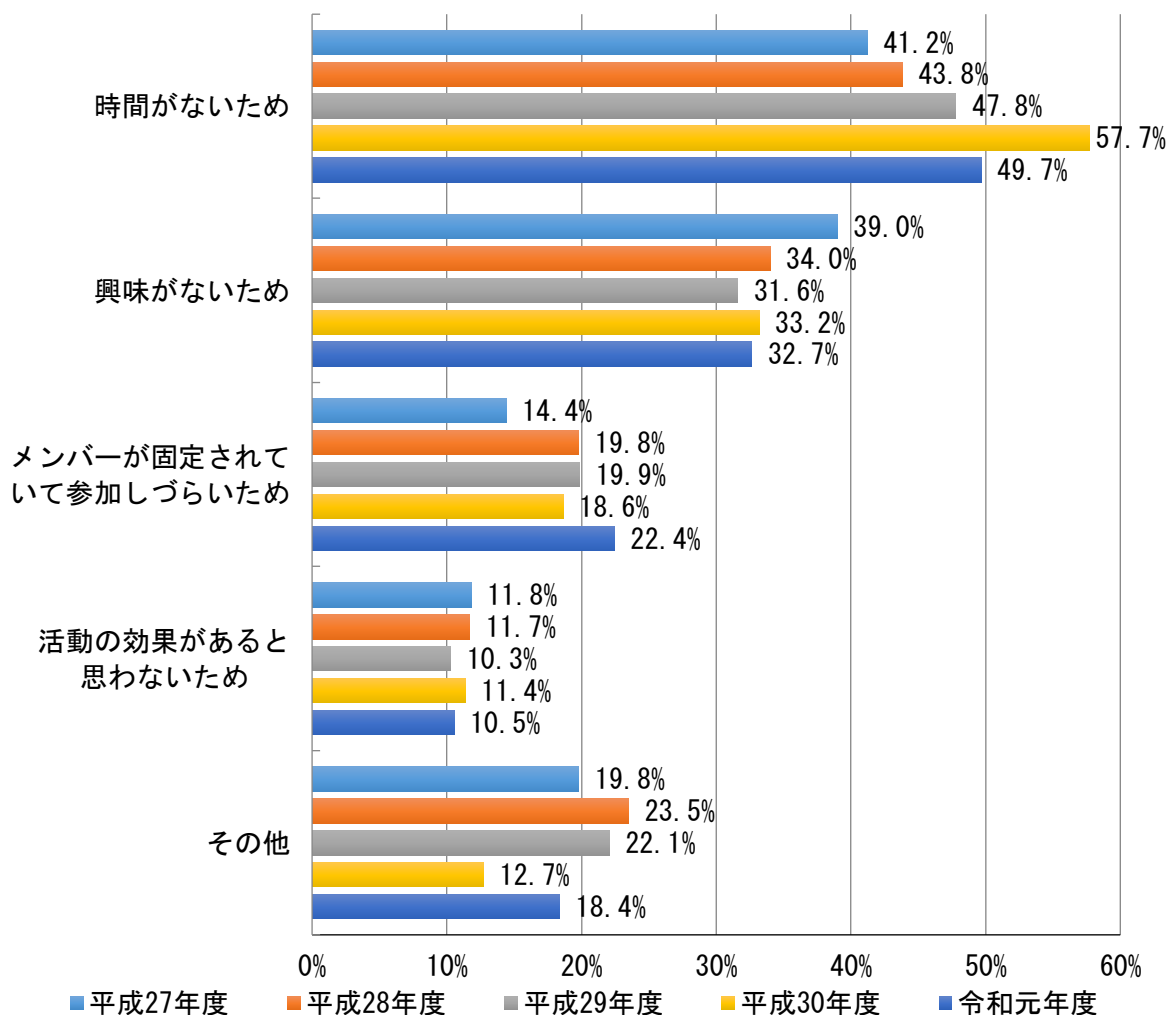
■属性別回答

|      | 合計  | 自然林や野生生物の自然保護活動 | 自然観察会の開催 | 植樹などの緑化活動 | 森林保全活動 | 地下水の保全活動 | 河川環境保全活動 | 清掃活動  | ごみステーションの管理 | リサイクルや資源回収活動 | 歴史的文化遺産の保全活動 | 講演会・勉強会の開催 | 環境保全のための寄付 | その他  |
|------|-----|-----------------|----------|-----------|--------|----------|----------|-------|-------------|--------------|--------------|------------|------------|------|
| 全体   | 506 | 29.1%           | 24.7%    | 29.2%     | 15.6%  | 25.7%    | 17.4%    | 31.2% | 13.0%       | 27.5%        | 23.9%        | 21.5%      | 4.9%       | 1.0% |
| 年齢別  |     |                 |          |           |        |          |          |       |             |              |              |            |            |      |
| 20歳代 | 37  | 43.2%           | 16.2%    | 27.0%     | 10.8%  | 24.3%    | 18.9%    | 37.8% | 13.5%       | 35.1%        | 32.4%        | 24.3%      | 8.1%       | —    |
| 30歳代 | 75  | 37.3%           | 18.7%    | 38.7%     | 16.0%  | 21.3%    | 18.7%    | 34.7% | 13.3%       | 30.7%        | 18.7%        | 17.3%      | 9.3%       | 2.7% |
| 40歳代 | 93  | 30.1%           | 34.4%    | 33.3%     | 18.3%  | 31.2%    | 19.4%    | 32.3% | 12.9%       | 32.3%        | 22.6%        | 15.1%      | 4.3%       | 2.2% |
| 50歳代 | 80  | 26.3%           | 25.0%    | 32.5%     | 17.5%  | 27.5%    | 20.0%    | 28.8% | 7.5%        | 26.3%        | 22.5%        | 28.8%      | 5.0%       | —    |
| 60歳代 | 99  | 25.3%           | 24.2%    | 27.3%     | 16.2%  | 29.3%    | 18.2%    | 36.4% | 10.1%       | 25.3%        | 27.3%        | 20.2%      | 1.0%       | 1.0% |
| 70歳代 | 81  | 27.2%           | 24.7%    | 23.5%     | 14.8%  | 23.5%    | 13.6%    | 23.5% | 17.3%       | 27.2%        | 22.2%        | 28.4%      | 6.2%       | —    |
| 80歳代 | 28  | 7.1%            | 25.0%    | 7.1%      | 7.1%   | 10.7%    | 10.7%    | 28.6% | 28.6%       | 14.3%        | 21.4%        | 21.4%      | 3.6%       | —    |
| 職業別  |     |                 |          |           |        |          |          |       |             |              |              |            |            |      |
| 会社員  | 182 | 34.6%           | 23.1%    | 33.5%     | 17.6%  | 30.2%    | 18.1%    | 31.3% | 10.4%       | 24.7%        | 22.5%        | 17.6%      | 5.5%       | 2.7% |
| 自営業  | 38  | 18.4%           | 18.4%    | 23.7%     | 21.1%  | 23.7%    | 18.4%    | 36.8% | 13.2%       | 31.6%        | 15.8%        | 26.3%      | 7.9%       | —    |
| 農林漁業 | 3   | 33.3%           | —        | —         | —      | —        | 33.3%    | 33.3% | —           | —            | —            | —          | —          | —    |
| 公務員  | 42  | 33.3%           | 23.8%    | 31.0%     | 7.1%   | 19.0%    | 16.7%    | 33.3% | 11.9%       | 31.0%        | 23.8%        | 28.6%      | 2.4%       | —    |
| 学生   | 3   | 33.3%           | —        | —         | 33.3%  | 33.3%    | 33.3%    | 33.3% | —           | 66.7%        | 66.7%        | —          | —          | —    |
| 無職   | 159 | 22.0%           | 25.8%    | 22.6%     | 13.8%  | 24.5%    | 16.4%    | 28.3% | 17.0%       | 27.0%        | 24.5%        | 25.2%      | 5.7%       | —    |
| その他  | 65  | 32.3%           | 33.8%    | 38.5%     | 16.9%  | 23.1%    | 18.5%    | 35.4% | 13.8%       | 35.4%        | 27.7%        | 21.5%      | 3.1%       | —    |
| 地区別  |     |                 |          |           |        |          |          |       |             |              |              |            |            |      |
| 中央区  | 127 | 29.1%           | 22.0%    | 33.1%     | 13.4%  | 26.8%    | 20.5%    | 37.8% | 8.7%        | 24.4%        | 24.4%        | 22.0%      | 6.3%       | 0.8% |
| 東区   | 121 | 25.6%           | 25.6%    | 30.6%     | 19.0%  | 31.4%    | 14.9%    | 32.2% | 15.7%       | 29.8%        | 22.3%        | 24.8%      | 5.0%       | 0.8% |
| 西区   | 63  | 30.2%           | 34.9%    | 28.6%     | 17.5%  | 20.6%    | 11.1%    | 33.3% | 12.7%       | 28.6%        | 28.6%        | 17.5%      | 1.6%       | —    |
| 南区   | 103 | 31.1%           | 24.3%    | 26.2%     | 8.7%   | 22.3%    | 17.5%    | 28.2% | 14.6%       | 31.1%        | 16.5%        | 19.4%      | 1.9%       | 1.9% |
| 北区   | 76  | 28.9%           | 21.1%    | 23.7%     | 21.1%  | 23.7%    | 22.4%    | 23.7% | 15.8%       | 27.6%        | 30.3%        | 25.0%      | 9.2%       | 1.3% |

問10-5. (問10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と答えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と回答した294人については、「時間がないため」が49.7%と最も高く、次いで「興味がないため」が32.7%、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」が22.4%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



#### 【参考】

「その他」の内容

- ・ 体調不良
- ・ 高齢なため
- ・ 同世代がいないから (20 歳代)

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がないため」は20歳代が66.7%と最も高く、「興味がないため」、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」、「活動の効果があると思わないため」は30歳代がそれぞれ40.4%、29.8%、17.0%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「時間がないため」、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」は南区がそれぞれ 59.5%、35.1%と最も高く、「興味がないため」は北区が 43.8%、「活動の効果があると思わないため」は東区が 13.8%と最も高くなっている。

■属性別回答

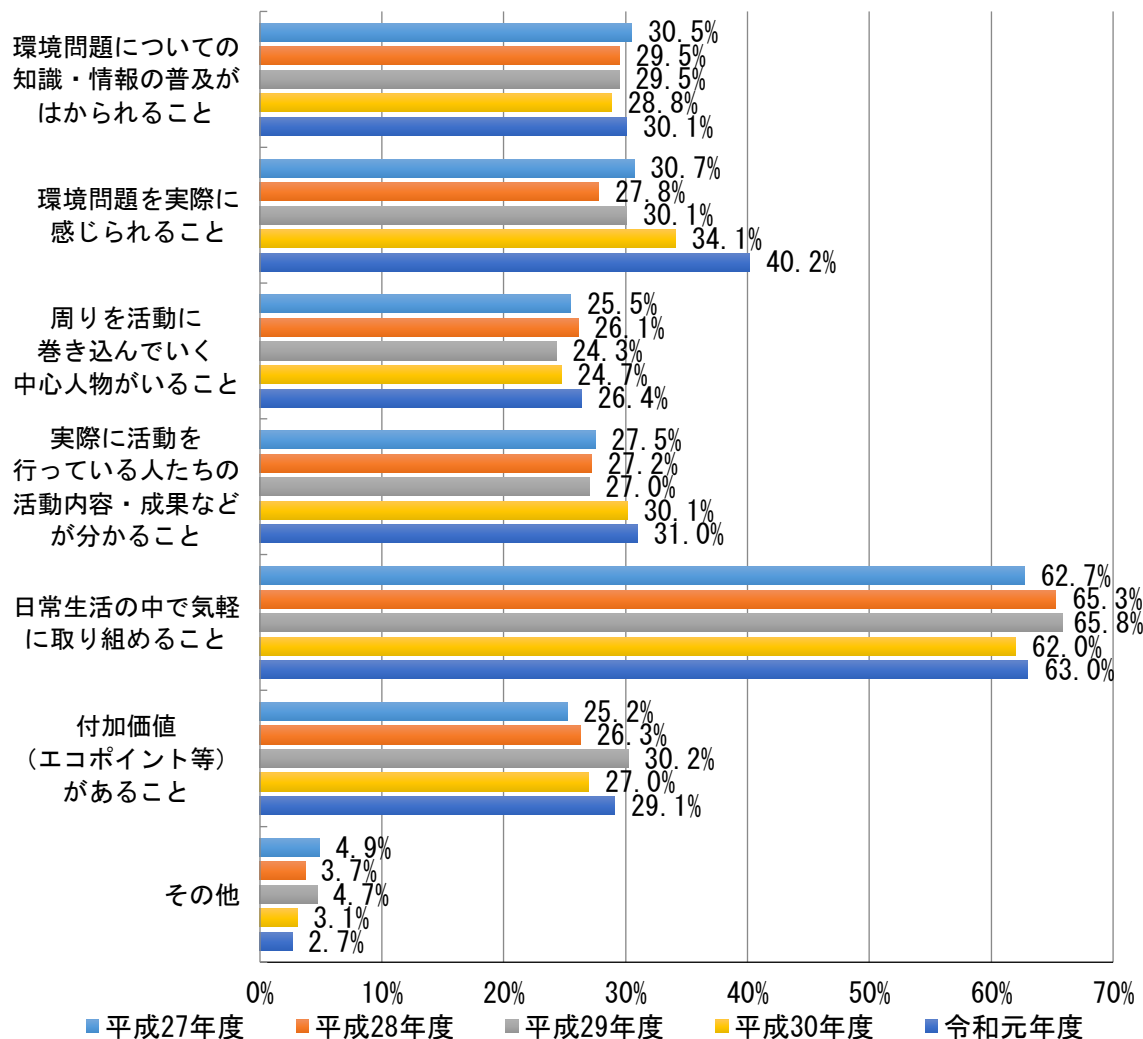
|       | 合計  | 時間がないため | 興味がないため | メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため | 活動の効果があると思わないため | その他   |
|-------|-----|---------|---------|-------------------------|-----------------|-------|
| 全体    | 294 | 49.7%   | 32.7%   | 22.4%                   | 10.5%           | 18.4% |
| 年齢別   |     |         |         |                         |                 |       |
| 20 歳代 | 36  | 66.7%   | 36.1%   | 13.9%                   | 13.9%           | 11.1% |
| 30 歳代 | 47  | 57.4%   | 40.4%   | 29.8%                   | 17.0%           | 6.4%  |
| 40 歳代 | 52  | 59.6%   | 32.7%   | 23.1%                   | 13.5%           | 13.5% |
| 50 歳代 | 40  | 65.0%   | 25.0%   | 27.5%                   | 12.5%           | 12.5% |
| 60 歳代 | 48  | 47.9%   | 31.3%   | 27.1%                   | 6.3%            | 18.8% |
| 70 歳代 | 47  | 21.3%   | 38.3%   | 17.0%                   | 4.3%            | 25.5% |
| 80 歳代 | 20  | 10.0%   | 15.0%   | 5.0%                    | 5.0%            | 70.0% |
| 職業別   |     |         |         |                         |                 |       |
| 会社員   | 100 | 74.0%   | 31.0%   | 21.0%                   | 12.0%           | 7.0%  |
| 自営業   | 22  | 63.6%   | 36.4%   | 18.2%                   | 4.5%            | 18.2% |
| 農林漁業  | 3   | 66.7%   | —       | 66.7%                   | 33.3%           | —     |
| 公務員   | 14  | 71.4%   | 28.6%   | 35.7%                   | 7.1%            | 7.1%  |
| 学生    | 9   | 55.6%   | 55.6%   | 22.2%                   | 33.3%           | —     |
| 無職    | 103 | 16.5%   | 34.0%   | 17.5%                   | 8.7%            | 34.0% |
| その他   | 38  | 55.3%   | 28.9%   | 31.6%                   | 10.5%           | 18.4% |
| 地区別   |     |         |         |                         |                 |       |
| 中央区   | 77  | 50.6%   | 28.6%   | 22.1%                   | 10.4%           | 22.1% |
| 東区    | 80  | 51.3%   | 32.5%   | 15.0%                   | 13.8%           | 15.0% |
| 西区    | 42  | 42.9%   | 35.7%   | 26.2%                   | 9.5%            | 19.0% |
| 南区    | 37  | 59.5%   | 27.0%   | 35.1%                   | 10.8%           | 13.5% |
| 北区    | 48  | 43.8%   | 43.8%   | 22.9%                   | 8.3%            | 20.8% |

問 1 1. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答)

「日常生活の中で、気軽に取り組めること」が 63.0%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること」が 40.2%、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」が 31.0%となっている。

前回調査と比較すると、「その他」を除くすべての項目で増加している。

過去 5 年間の推移では、それほど大きな変動は特に見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 子ども連れで参加できる
- ・ 作業服などの提供がある

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」は 60 歳代と 70 歳代が 38.2%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」は 30 歳代が 48.6%、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」は 70 歳代が 31.4%、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は 50 歳代が 33.2%、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は 60 歳代が 69.5%、「付加価値（エコポイント等）があること」は 20 歳代が 55.0%と最も高くなっている。

職業別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」、「実際に活動を行っている人たちの

活動内容・成果などが分かること」は学生がそれぞれ 50.0%、35.7%、42.9%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」は会社員が 48.3%、「日常生活の中で気軽に取り組めること」はその他が 70.2%、「付加価値（エコポイント等）があること」は公務員が 47.6%と最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は北区がそれぞれ 40.4%、34.3%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は中央区が 43.1%、66.5%、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」、「付加価値（エコポイント等）があること」は東区が 29.7%、32.6%と最も高くなっている。

# ■属性別回答

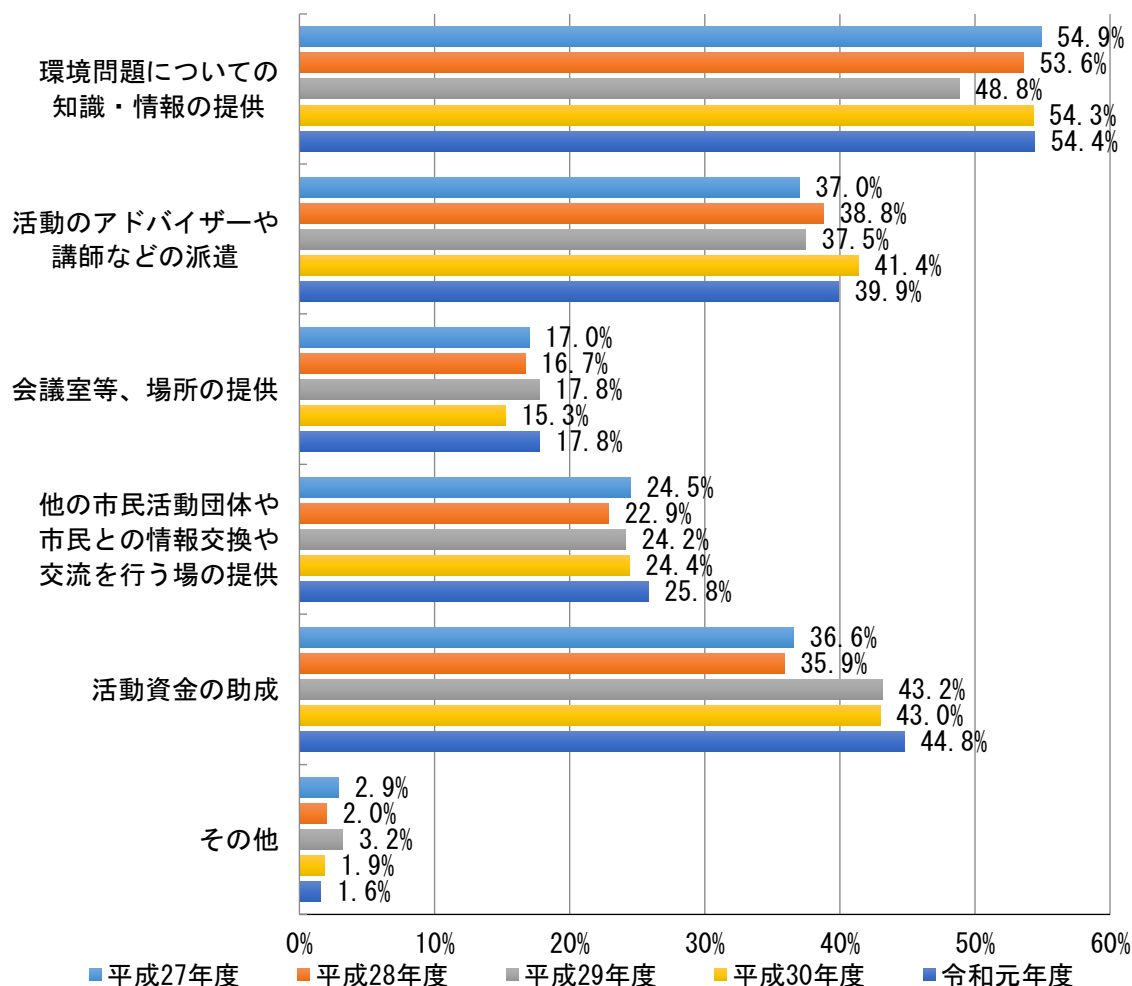
|       | 合計    | 環境問題についての知識・情報の普及がはかれること | 実際に感じられること<br>環境問題を | 周りを活動に巻き込んでいく<br>中心人物がいること | 実際に活動を行っている人たちの<br>活動内容・成果などが分かること | 気軽に<br>日常生活の中で<br>取り組めること | 付加価値（エコポイント等）が<br>あること | その他  |
|-------|-------|--------------------------|---------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------------|------|
| 全体    | 1,130 | 30.1%                    | 40.2%               | 26.4%                      | 31.0%                              | 63.0%                     | 29.1%                  | 2.7% |
| 年齢別   |       |                          |                     |                            |                                    |                           |                        |      |
| 20 歳代 | 80    | 25.0%                    | 45.0%               | 26.3%                      | 31.3%                              | 62.5%                     | 55.0%                  | 6.3% |
| 30 歳代 | 144   | 25.7%                    | 48.6%               | 30.6%                      | 32.6%                              | 63.9%                     | 53.5%                  | 6.3% |
| 40 歳代 | 193   | 22.8%                    | 43.0%               | 24.9%                      | 32.1%                              | 64.2%                     | 39.4%                  | 1.0% |
| 50 歳代 | 184   | 29.3%                    | 42.4%               | 22.8%                      | 33.2%                              | 64.1%                     | 31.0%                  | 4.3% |
| 60 歳代 | 220   | 38.2%                    | 40.9%               | 23.2%                      | 28.2%                              | 69.5%                     | 18.6%                  | 1.8% |
| 70 歳代 | 191   | 38.2%                    | 36.1%               | 31.4%                      | 32.5%                              | 56.0%                     | 10.5%                  | 1.0% |
| 80 歳代 | 93    | 28.0%                    | 22.6%               | 25.8%                      | 23.7%                              | 53.8%                     | 9.7%                   | —    |
| 職業別   |       |                          |                     |                            |                                    |                           |                        |      |
| 会社員   | 375   | 25.6%                    | 48.3%               | 26.1%                      | 31.5%                              | 63.2%                     | 39.5%                  | 2.7% |
| 自営業   | 82    | 26.8%                    | 36.6%               | 20.7%                      | 34.1%                              | 64.6%                     | 18.3%                  | 3.7% |
| 農林漁業  | 12    | 33.3%                    | 41.7%               | —                          | 25.0%                              | 33.3%                     | 16.7%                  | —    |
| 公務員   | 82    | 25.6%                    | 42.7%               | 25.6%                      | 29.3%                              | 65.9%                     | 47.6%                  | 3.7% |
| 学生    | 14    | 50.0%                    | 35.7%               | 35.7%                      | 42.9%                              | 57.1%                     | 42.9%                  | 7.1% |
| 無職    | 396   | 35.6%                    | 32.8%               | 29.5%                      | 31.6%                              | 60.1%                     | 15.7%                  | 1.8% |
| その他   | 141   | 32.6%                    | 43.3%               | 22.7%                      | 25.5%                              | 70.2%                     | 36.2%                  | 4.3% |
| 地区別   |       |                          |                     |                            |                                    |                           |                        |      |
| 中央区   | 260   | 30.8%                    | 43.1%               | 28.1%                      | 25.0%                              | 66.5%                     | 30.8%                  | 3.5% |
| 東区    | 276   | 27.2%                    | 40.9%               | 29.7%                      | 33.3%                              | 62.7%                     | 32.6%                  | 1.8% |
| 西区    | 142   | 31.0%                    | 40.1%               | 23.9%                      | 33.1%                              | 61.3%                     | 29.6%                  | 3.5% |
| 南区    | 216   | 25.5%                    | 41.2%               | 25.9%                      | 29.2%                              | 59.7%                     | 31.0%                  | 0.9% |
| 北区    | 198   | 40.4%                    | 36.4%               | 20.7%                      | 34.3%                              | 64.6%                     | 21.7%                  | 4.5% |

問 1 2. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

「環境問題についての知識・情報の提供」が 54.4%と最も高く、次いで、「活動資金の助成」が 44.8%、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」が 39.9%となっている。

前回調査と比較すると、「環境問題についての知識・情報の提供」、「会議室等、場所の提供」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」、「活動資金の助成」が増加している。

過去 5 年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 活動内容をテレビで取り上げる
- ・ 行政との親密な関係とスムーズな連携
- ・ 草刈りやゴミ拾いをした際に行政が回収してくれる

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報提供」は 70 歳代が 62.8%と最も高く、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」は 60 歳代が 45.0%、「会議室等、場所の提供」は 20 歳代が 33.8%、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は 30 歳代が 31.3%、「活動資金の助成」は 40 歳代が 54.9%と最も高くなっている。



職業別：「環境問題についての知識・情報提供」は農林漁業が66.7%と最も高く、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「会議室等、場所の提供」、「活動資金の助成」は学生が64.3%、57.1%、57.1%「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は会社員が32.0%と最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報提供」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は北区が59.6%、27.8%と最も高く、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「会議室等、場所の提供」は東区が42.0%、22.1%、「活動資金の助成」は南区が50.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

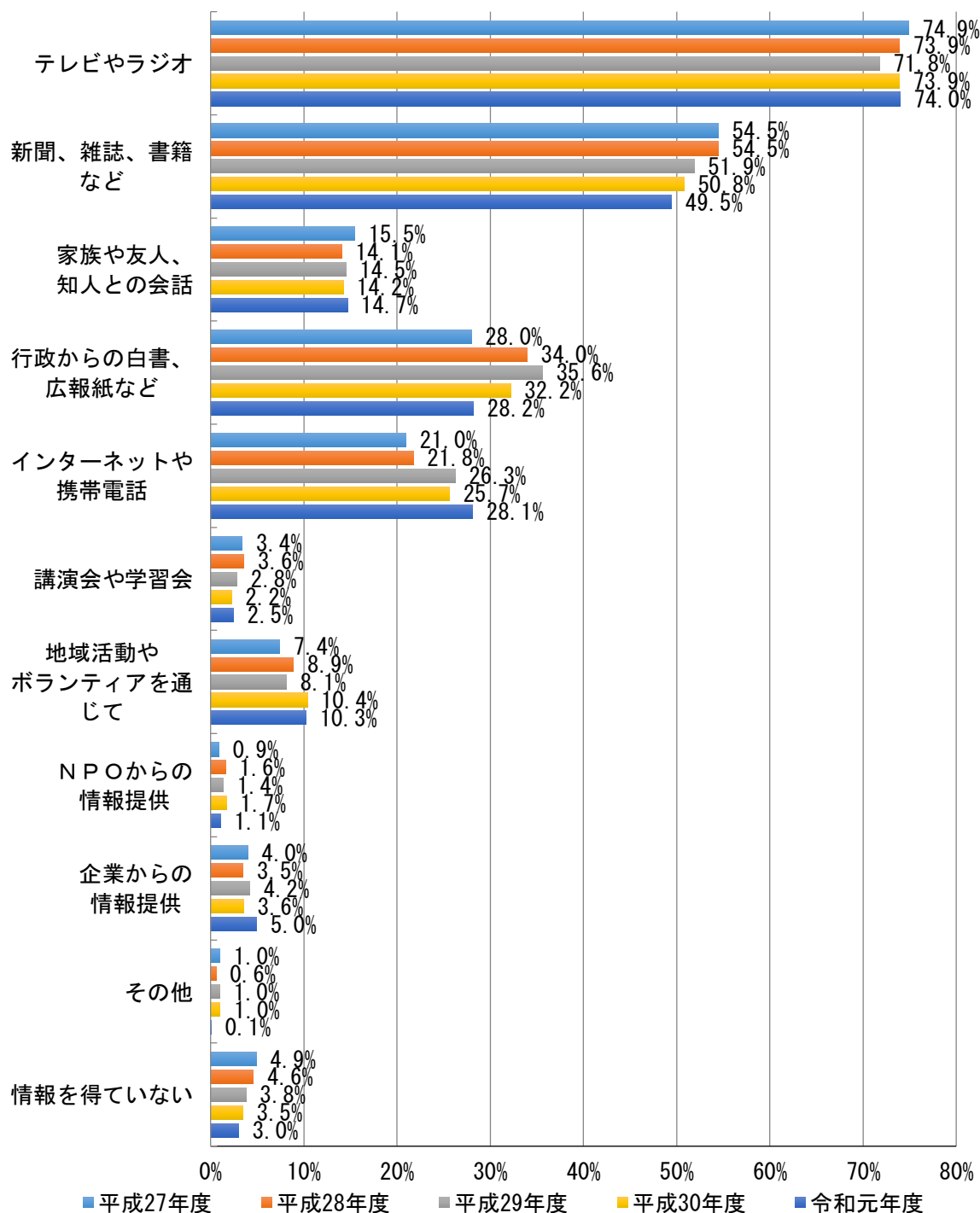
|      | 合計    | 環境問題についての知識・情報の提供 | 活動のアドバイザーや講師などの派遣 | 会議室等、場所の提供 | 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供 | 活動資金の助成 | その他  |
|------|-------|-------------------|-------------------|------------|-----------------------------|---------|------|
| 全体   | 1,130 | 54.4%             | 39.9%             | 17.8%      | 25.8%                       | 44.8%   | 1.6% |
| 年齢別  |       |                   |                   |            |                             |         |      |
| 20歳代 | 80    | 52.5%             | 41.3%             | 33.8%      | 15.0%                       | 51.3%   | 2.5% |
| 30歳代 | 144   | 51.4%             | 41.7%             | 16.7%      | 31.3%                       | 50.0%   | 3.5% |
| 40歳代 | 193   | 47.2%             | 39.4%             | 20.7%      | 30.1%                       | 54.9%   | —    |
| 50歳代 | 184   | 55.4%             | 40.2%             | 17.9%      | 25.5%                       | 50.5%   | 3.8% |
| 60歳代 | 220   | 57.7%             | 45.0%             | 17.3%      | 28.6%                       | 46.8%   | 0.9% |
| 70歳代 | 191   | 62.8%             | 39.3%             | 13.6%      | 19.9%                       | 29.8%   | 0.5% |
| 80歳代 | 93    | 50.5%             | 23.7%             | 8.6%       | 24.7%                       | 25.8%   | 1.1% |
| 職業別  |       |                   |                   |            |                             |         |      |
| 会社員  | 375   | 52.3%             | 41.3%             | 18.4%      | 32.0%                       | 53.1%   | 1.3% |
| 自営業  | 82    | 51.2%             | 34.1%             | 17.1%      | 22.0%                       | 37.8%   | 2.4% |
| 農林漁業 | 12    | 66.7%             | 33.3%             | —          | 16.7%                       | 41.7%   | —    |
| 公務員  | 82    | 42.7%             | 42.7%             | 20.7%      | 18.3%                       | 52.4%   | 4.9% |
| 学生   | 14    | 57.1%             | 64.3%             | 57.1%      | 14.3%                       | 57.1%   | —    |
| 無職   | 396   | 58.6%             | 36.6%             | 15.4%      | 23.7%                       | 35.4%   | 1.3% |
| その他  | 141   | 57.4%             | 44.7%             | 19.1%      | 24.8%                       | 49.6%   | 1.4% |
| 地区別  |       |                   |                   |            |                             |         |      |
| 中央区  | 260   | 54.6%             | 41.2%             | 17.3%      | 25.8%                       | 44.2%   | 2.3% |
| 東区   | 276   | 51.8%             | 42.0%             | 22.1%      | 25.0%                       | 46.0%   | 1.1% |
| 西区   | 142   | 57.0%             | 35.9%             | 14.1%      | 22.5%                       | 48.6%   | 2.1% |
| 南区   | 216   | 50.9%             | 35.2%             | 13.0%      | 27.3%                       | 50.0%   | 1.4% |
| 北区   | 198   | 59.6%             | 41.9%             | 19.2%      | 27.8%                       | 37.4%   | 1.5% |

問 1 3. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

「テレビやラジオ」が74.0%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」が49.5%、「行政からの白書、広報紙など」が28.2%となっている。

前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」、「家族や友人、知人との会話」、「インターネットや携帯電話」、「講演会や学習会」、「企業からの情報提供」は上昇している。

過去5年間の推移では、「インターネットや携帯電話」が増加傾向にあり、「新聞、雑誌、書籍など」が減少傾向にある。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 回覧板

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビやラジオ」、「新聞、雑誌、書籍など」は70歳代が79.1%、63.9%と最も高く、「家族や友人、知人との会話」は30歳代が18.1%、「行政からの白書、広報誌など」、「NPOからの情報提供」は60歳代が32.7%、2.3%、「インターネットや携帯電話」は20歳代が63.8%、「講演会や学習会」、「地域活動やボランティアを通じて」は80歳代が4.3%、21.5%、「企業からの情報提供」は50歳代が8.2%と最も高くなっている。

職業別：「テレビやラジオ」は公務員が82.9%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」は無職が56.1%、「家族や友人、知人との会話」、「インターネットや携帯電話」、「講演会や学習会」は学生が21.4%、78.6%、7.1%、「行政からの白書、広報誌など」はその他が34.0%、「地域活動やボランティアを通じて」は農林漁業が16.7%、「NPOからの情報提供」自営業が3.7%、「企業からの情報提供」は会社員が8.8%と最も高くなっている。

地区別：「テレビやラジオ」、「新聞、雑誌、書籍など」、「講演会や学習会」は西区が82.4%、51.4%、3.5%と最も高く、「家族や友人、知人との会話」は東区が16.7%、「行政からの白書、広報誌など」、「地域活動やボランティアを通じて」、「NPOからの情報提供」は北区が35.4%、12.6%、1.5%、「インターネットや携帯電話」は中央区が31.9%、「企業からの情報提供」は南区が6.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

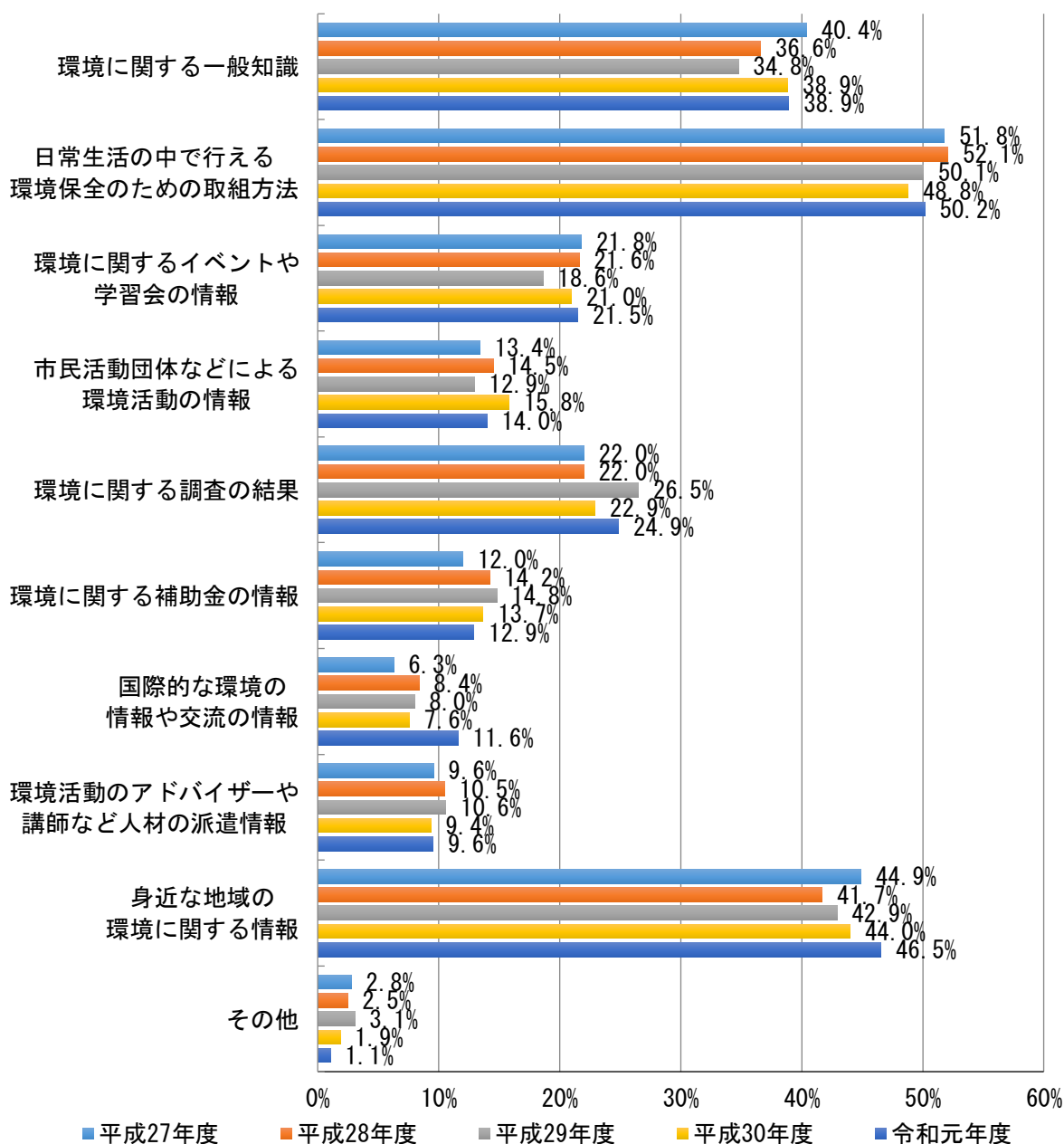
|      | 合計    | テレビやラジオ | 新聞、雑誌、書籍など | 家族や友人、知人との会話 | 行政からの白書、広報誌など | インターネットや携帯電話 | 講演会や学習会 | 地域活動やボランティアを通じて | NPOからの情報提供 | 企業からの情報提供 | その他  | 情報を得ていない |
|------|-------|---------|------------|--------------|---------------|--------------|---------|-----------------|------------|-----------|------|----------|
| 全体   | 1,130 | 74.0%   | 49.5%      | 14.7%        | 28.2%         | 28.1%        | 2.5%    | 10.3%           | 1.1%       | 5.0%      | 0.1% | 3.0%     |
| 年齢別  |       |         |            |              |               |              |         |                 |            |           |      |          |
| 20歳代 | 80    | 78.8%   | 35.0%      | 13.8%        | 11.3%         | 63.8%        | 1.3%    | —               | —          | 2.5%      | —    | 1.3%     |
| 30歳代 | 144   | 68.1%   | 34.7%      | 18.1%        | 22.2%         | 49.3%        | 1.4%    | 6.3%            | 0.7%       | 7.6%      | —    | 7.6%     |
| 40歳代 | 193   | 72.0%   | 38.9%      | 16.6%        | 28.5%         | 39.4%        | 1.6%    | 8.8%            | 1.6%       | 4.7%      | 0.5% | 5.7%     |
| 50歳代 | 184   | 74.5%   | 53.8%      | 9.8%         | 28.3%         | 33.2%        | 2.7%    | 9.2%            | 0.5%       | 8.2%      | —    | 3.3%     |
| 60歳代 | 220   | 75.9%   | 54.5%      | 13.6%        | 32.7%         | 20.0%        | 3.2%    | 12.7%           | 2.3%       | 7.3%      | —    | 0.5%     |
| 70歳代 | 191   | 79.1%   | 63.9%      | 14.1%        | 32.5%         | 6.8%         | 2.6%    | 12.0%           | 0.5%       | 0.5%      | —    | 1.6%     |
| 80歳代 | 93    | 65.6%   | 57.0%      | 17.2%        | 30.1%         | —            | 4.3%    | 21.5%           | —          | 1.1%      | —    | 1.1%     |
| 職業別  |       |         |            |              |               |              |         |                 |            |           |      |          |
| 会社員  | 375   | 69.1%   | 42.4%      | 11.2%        | 26.4%         | 40.5%        | 1.9%    | 8.8%            | 0.3%       | 8.8%      | —    | 4.5%     |
| 自営業  | 82    | 69.5%   | 54.9%      | 14.6%        | 25.6%         | 18.3%        | 2.4%    | 11.0%           | 3.7%       | 3.7%      | 1.2% | 4.9%     |
| 農林漁業 | 12    | 75.0%   | 41.7%      | —            | 25.0%         | 16.7%        | —       | 16.7%           | —          | —         | —    | 0.0%     |
| 公務員  | 82    | 82.9%   | 53.7%      | 12.2%        | 19.5%         | 42.7%        | 3.7%    | 7.3%            | —          | 2.4%      | —    | 6.1%     |
| 学生   | 14    | 78.6%   | 28.6%      | 21.4%        | 7.1%          | 78.6%        | 7.1%    | —               | —          | —         | —    | —        |
| 無職   | 396   | 75.3%   | 56.1%      | 16.4%        | 30.8%         | 13.6%        | 1.5%    | 12.6%           | 1.0%       | 3.0%      | —    | 1.3%     |
| その他  | 141   | 79.4%   | 47.5%      | 19.9%        | 34.0%         | 33.3%        | 5.7%    | 9.9%            | 2.1%       | 3.5%      | —    | 2.1%     |
| 地区別  |       |         |            |              |               |              |         |                 |            |           |      |          |
| 中央区  | 260   | 73.8%   | 50.0%      | 14.2%        | 25.0%         | 31.9%        | 3.1%    | 11.9%           | 1.2%       | 5.4%      | —    | 3.5%     |
| 東区   | 276   | 72.8%   | 49.6%      | 16.7%        | 27.5%         | 30.4%        | 2.2%    | 8.7%            | 0.7%       | 4.7%      | 0.4% | 2.9%     |
| 西区   | 142   | 82.4%   | 51.4%      | 14.8%        | 20.4%         | 22.5%        | 3.5%    | 8.5%            | 0.7%       | 4.9%      | —    | 2.8%     |
| 南区   | 216   | 69.0%   | 49.1%      | 13.4%        | 31.5%         | 26.4%        | 2.3%    | 10.2%           | 0.9%       | 6.0%      | —    | 2.8%     |
| 北区   | 198   | 75.8%   | 48.0%      | 13.1%        | 35.4%         | 28.3%        | 1.5%    | 12.6%           | 1.5%       | 3.5%      | —    | 3.5%     |

問 1 4. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。（複数回答可）

「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」が50.2%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」が46.5%、「環境に関する一般知識」が38.9%となっている。

前回調査と比較すると、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「環境に関する調査の結果」、「国際的な環境の情報や交流の情報」「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」、「身近な地域の環境に関する情報」が上昇している。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 環境破壊につながる具体例と取組を示すもの。

# 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境に関する一般知識」、「国際的な環境の情報や交流の情報」は20歳代が47.5%、16.3%と最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「身近な地域の環境に関する情報」は60歳代が58.2%、54.5%、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「環境に関する調査の結果」、「環境に関する補助金の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は40歳代が27.5%、30.1%、17.6%、13.0%、「市民活動団体などによる環境活動の情報」は30歳代が16.0%と最も高くなっている。

職業別：「環境に関する一般知識」、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「国際的な環境の情報や交流の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は学生が64.3%、28.6%、21.4%、21.4%、21.4%と最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「環境に関する調査の結果」、「身近な地域の環境に関する情報」はその他が56.7%、29.1%、50.4%、「環境に関する補助金の情報」は農林漁業が25.0%と最も高くなっている。

地区別：「環境に関する一般知識」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する調査の結果」、「環境に関する補助金の情報」は西区が43.0%、15.5%、26.1%、16.9%と最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「身近な地域の環境に関する情報」は東区が52.9%、53.6%、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「国際的な環境の情報や交流の情報」は中央区が23.8%、15.4%、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は南区が12.5%と最も高くなっている。

## ■属性別回答

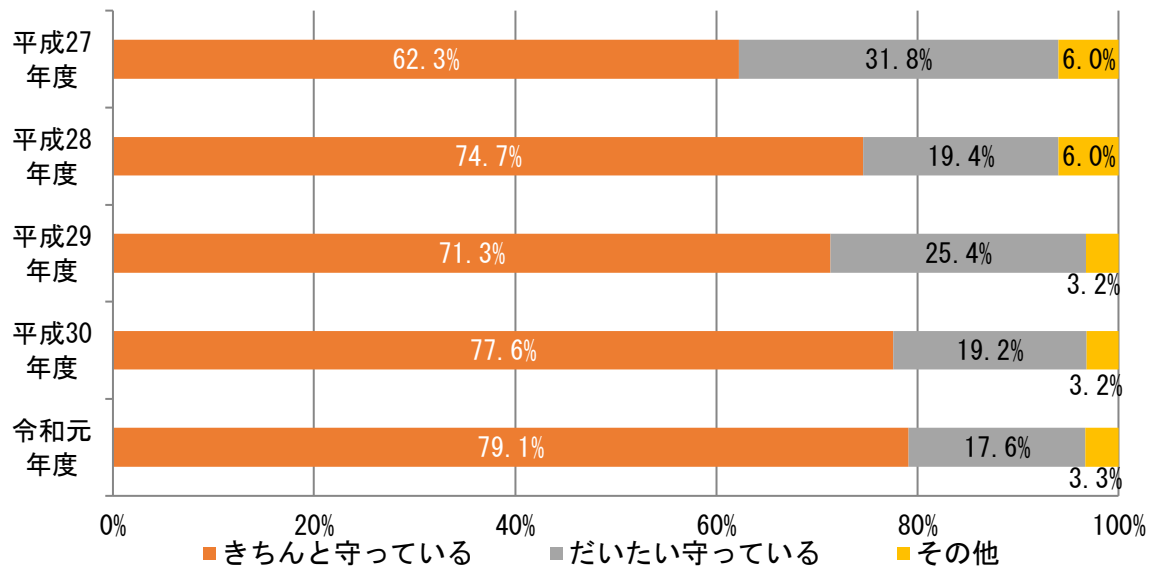
|      | 合計    | 環境に関する一般知識 | 日常生活の中で行える環境保全のための取組方法 | 環境に関するイベントや学習会の情報 | 市民活動団体などによる環境活動の情報 | 環境に関する調査の結果 | 環境に関する補助金の情報 | 国際的な環境の情報や交流の情報 | 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報 | 身近な地域の環境に関する情報 | その他  |
|------|-------|------------|------------------------|-------------------|--------------------|-------------|--------------|-----------------|-------------------------|----------------|------|
| 全体   | 1,130 | 38.9%      | 50.2%                  | 21.5%             | 14.0%              | 24.9%       | 12.9%        | 11.6%           | 9.6%                    | 46.5%          | 1.1% |
| 年齢別  |       |            |                        |                   |                    |             |              |                 |                         |                |      |
| 20歳代 | 80    | 47.5%      | 48.8%                  | 13.8%             | 15.0%              | 23.8%       | 13.8%        | 16.3%           | 8.8%                    | 36.3%          | —    |
| 30歳代 | 144   | 41.7%      | 50.0%                  | 20.8%             | 16.0%              | 25.7%       | 15.3%        | 11.8%           | 7.6%                    | 40.3%          | 2.1% |
| 40歳代 | 193   | 35.8%      | 47.7%                  | 27.5%             | 13.5%              | 30.1%       | 17.6%        | 13.0%           | 13.0%                   | 45.1%          | 1.6% |
| 50歳代 | 184   | 39.7%      | 52.2%                  | 21.2%             | 13.6%              | 26.1%       | 13.6%        | 14.1%           | 9.2%                    | 48.9%          | 1.6% |
| 60歳代 | 220   | 37.7%      | 58.2%                  | 21.8%             | 13.6%              | 28.6%       | 12.3%        | 12.7%           | 7.7%                    | 54.5%          | 0.5% |
| 70歳代 | 191   | 42.9%      | 47.6%                  | 24.6%             | 15.7%              | 18.3%       | 7.9%         | 7.3%            | 12.0%                   | 46.1%          | 0.5% |
| 80歳代 | 93    | 29.0%      | 41.9%                  | 12.9%             | 9.7%               | 16.1%       | 7.5%         | 6.5%            | 6.5%                    | 44.1%          | 1.1% |
| 職業別  |       |            |                        |                   |                    |             |              |                 |                         |                |      |
| 会社員  | 375   | 36.0%      | 52.3%                  | 24.5%             | 16.5%              | 28.3%       | 15.5%        | 12.3%           | 10.7%                   | 45.3%          | 1.3% |
| 自営業  | 82    | 39.0%      | 53.7%                  | 23.2%             | 11.0%              | 23.2%       | 14.6%        | 9.8%            | 7.3%                    | 42.7%          | 1.2% |
| 農林漁業 | 12    | 41.7%      | 41.7%                  | 16.7%             | —                  | 8.3%        | 25.0%        | —               | —                       | 50.0%          | —    |
| 公務員  | 82    | 37.8%      | 41.5%                  | 18.3%             | 9.8%               | 24.4%       | 11.0%        | 15.9%           | 7.3%                    | 40.2%          | 1.2% |
| 学生   | 14    | 64.3%      | 50.0%                  | 28.6%             | 21.4%              | 21.4%       | 14.3%        | 21.4%           | 21.4%                   | 42.9%          | —    |
| 無職   | 396   | 38.1%      | 48.0%                  | 19.7%             | 13.6%              | 21.5%       | 9.6%         | 9.3%            | 9.1%                    | 48.2%          | 1.0% |
| その他  | 141   | 48.9%      | 56.7%                  | 21.3%             | 13.5%              | 29.1%       | 13.5%        | 14.9%           | 10.6%                   | 50.4%          | 0.7% |
| 地区別  |       |            |                        |                   |                    |             |              |                 |                         |                |      |
| 中央区  | 260   | 37.7%      | 51.9%                  | 23.8%             | 14.2%              | 25.4%       | 12.3%        | 15.4%           | 10.4%                   | 45.4%          | 1.5% |
| 東区   | 276   | 39.1%      | 52.9%                  | 23.6%             | 14.1%              | 25.0%       | 12.7%        | 12.3%           | 8.7%                    | 53.6%          | 0.7% |
| 西区   | 142   | 43.0%      | 45.8%                  | 21.1%             | 15.5%              | 26.1%       | 16.9%        | 10.6%           | 8.5%                    | 48.6%          | 1.4% |
| 南区   | 216   | 36.6%      | 50.9%                  | 18.5%             | 13.9%              | 25.5%       | 13.9%        | 9.3%            | 12.5%                   | 44.4%          | 0.9% |
| 北区   | 198   | 40.9%      | 48.5%                  | 20.7%             | 13.1%              | 23.2%       | 10.1%        | 9.6%            | 8.1%                    | 39.9%          | 1.0% |

## ■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

### 問 15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

「きちんと守っている」が 79.1%と最も高く、次いで「だいたい守っている」が 17.6%、「どちらともいえない」が 1.1%となっている。

前回調査と比較すると、「きちんと守っている」が 1.5 ポイント上昇しており、平成 27 年度以降の調査で過去最高値となった。「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は 96.7%となり、平成 27 年度の 94.1%から上昇している。



※ 上記グラフの「その他」については、「どちらともいえない」、「あまり守っていない」、「全然守っていない」、「分からない」、「無回答」を合算した数値である。

なお、「分からない」という回答肢は平成 28 年度まで設定しており、それぞれの数値は以下のとおりである。

| 回答肢       | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 | 元年度  |
|-----------|-------|-------|-------|-------|------|
| どちらともいえない | 1.9%  | 1.0%  | 1.2%  | 0.8%  | 1.1% |
| あまり守っていない | 0.9%  | 0.3%  | 0.1%  | 0.3%  | 0.3% |
| 全然守っていない  | —     | —     | 0.1%  | 0.1%  | —    |
| 分からない     | 0.7%  | 0.4%  | —     | —     | —    |
| 無回答       | 2.5%  | 4.3%  | 1.8%  | 2.0%  | 1.9% |

### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は 40 歳代が 99.0%と最も高く、次いで 50 歳代（97.9%）、20 歳代（97.6%）となっている。

職業別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は農林漁業、公務員、学生が100%で最も高く、次いで自営業（98.8%）、会社員（97.9%）となっている。

地区別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は東区が98.2%と最も高く、次いで西区（97.9%）、中央区、北区（96.5%）となっている。

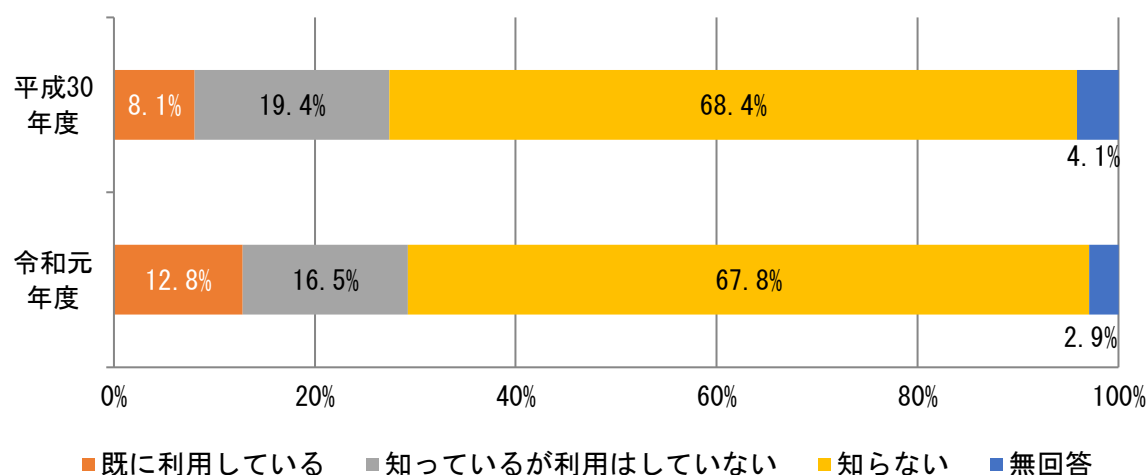
■属性別回答

|      | 合計    | きちんと守っている | だいたい守っている | どちらともいえない | あまり守っていない | 全然守っていない | 無回答   |
|------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------|
| 全体   | 1,130 | 79.1%     | 17.6%     | 1.1%      | 0.3%      | —        | 1.9%  |
| 年齢別  |       |           |           |           |           |          |       |
| 20歳代 | 80    | 61.3%     | 36.3%     | 2.5%      | —         | —        | —     |
| 30歳代 | 144   | 68.8%     | 27.8%     | 2.8%      | 0.7%      | —        | —     |
| 40歳代 | 193   | 76.7%     | 22.3%     | 1.0%      | —         | —        | —     |
| 50歳代 | 184   | 78.3%     | 19.6%     | 0.5%      | —         | —        | 1.6%  |
| 60歳代 | 220   | 87.7%     | 9.5%      | 0.9%      | —         | —        | 1.8%  |
| 70歳代 | 191   | 87.4%     | 9.4%      | 0.5%      | 1.0%      | —        | 1.6%  |
| 80歳代 | 93    | 81.7%     | 6.5%      | —         | —         | —        | 11.8% |
| 職業別  |       |           |           |           |           |          |       |
| 会社員  | 375   | 76.8%     | 21.1%     | 0.5%      | 0.3%      | —        | 1.3%  |
| 自営業  | 82    | 73.2%     | 25.6%     | 1.2%      | —         | —        | —     |
| 農林漁業 | 12    | 83.3%     | 16.7%     | —         | —         | —        | —     |
| 公務員  | 82    | 84.1%     | 15.9%     | —         | —         | —        | —     |
| 学生   | 14    | 78.6%     | 21.4%     | —         | —         | —        | —     |
| 無職   | 396   | 83.1%     | 11.9%     | 0.8%      | 0.5%      | —        | 3.8%  |
| その他  | 141   | 75.9%     | 19.9%     | 3.5%      | —         | —        | 0.7%  |
| 地区別  |       |           |           |           |           |          |       |
| 中央区  | 260   | 76.5%     | 20.0%     | 1.9%      | 0.4%      | —        | 1.2%  |
| 東区   | 276   | 83.3%     | 14.9%     | 0.7%      | 0.4%      | —        | 0.7%  |
| 西区   | 142   | 76.1%     | 21.8%     | —         | —         | —        | 2.1%  |
| 南区   | 216   | 80.6%     | 15.7%     | 0.9%      | 0.5%      | —        | 2.3%  |
| 北区   | 198   | 79.8%     | 16.7%     | 0.5%      | —         | —        | 3.0%  |

問 16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1 つだけ)

「知らない」が 67.8%と最も高く、次いで「知っているが利用はしていない」が 16.5%、「既に利用している」が 12.8%となっている。

「既に利用している」割合は、前回調査から 4.7 ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「既に利用している」は 30 歳代が 19.4%で最も高く、「知っているが利用はしていない」、「知らない」は 70 歳代が 19.4%、73.3%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は 30 歳代が 36.1%と最も高く、次いで 40 歳代 (35.7%)、20 歳代 (35.1%) となっている。

職業別：「既に利用している」は公務員が 26.8%で最も高く、「知っているが利用はしていない」はその他が 21.3%で最も高く、「知らない」は学生が 78.6%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は公務員が 43.9%と最も高く、次いでその他 (36.9%)、農林漁業 (33.4%) となっている。

地区別：「既に利用している」は中央区が 15.4%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は東区が 19.6%で最も高く、「知らない」は北区が 71.7%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は東区が 31.2%と最も高く、次いで西区 (30.3%)、南区 (30.1%) となっている。

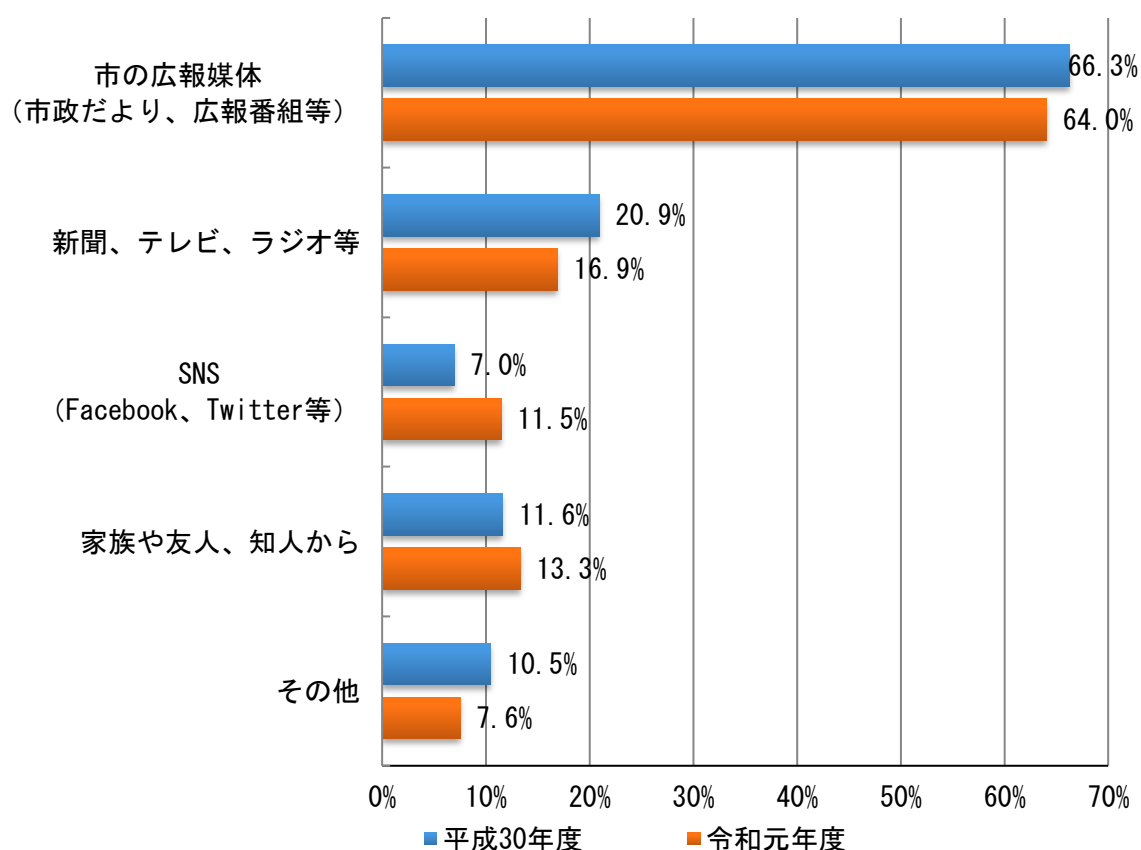


■属性別回答

|       | 合計    | 既に<br>利用している | 知っているが<br>利用はしていない | 知らない  | 無回答   |
|-------|-------|--------------|--------------------|-------|-------|
| 全体    | 1,130 | 12.8%        | 16.5%              | 67.8% | 2.9%  |
| 年齢別   |       |              |                    |       |       |
| 20 歳代 | 80    | 18.8%        | 16.3%              | 65.0% | —     |
| 30 歳代 | 144   | 19.4%        | 16.7%              | 63.2% | 0.7%  |
| 40 歳代 | 193   | 18.1%        | 17.6%              | 61.7% | 2.6%  |
| 50 歳代 | 184   | 15.2%        | 17.9%              | 64.7% | 2.2%  |
| 60 歳代 | 220   | 8.2%         | 15.0%              | 73.2% | 3.6%  |
| 70 歳代 | 191   | 5.8%         | 19.4%              | 73.3% | 1.6%  |
| 80 歳代 | 93    | 9.7%         | 8.6%               | 69.9% | 11.8% |
| 職業別   |       |              |                    |       |       |
| 会社員   | 375   | 14.4%        | 16.0%              | 66.7% | 2.9%  |
| 自営業   | 82    | 12.2%        | 17.1%              | 69.5% | 1.2%  |
| 農林漁業  | 12    | 16.7%        | 16.7%              | 66.7% | —     |
| 公務員   | 82    | 26.8%        | 17.1%              | 56.1% | —     |
| 学生    | 14    | 14.3%        | 7.1%               | 78.6% | —     |
| 無職    | 396   | 8.1%         | 15.2%              | 72.5% | 4.3%  |
| その他   | 141   | 15.6%        | 21.3%              | 61.0% | 2.1%  |
| 地区別   |       |              |                    |       |       |
| 中央区   | 260   | 15.4%        | 14.6%              | 67.3% | 2.7%  |
| 東区    | 276   | 11.6%        | 19.6%              | 65.6% | 3.3%  |
| 西区    | 142   | 13.4%        | 16.9%              | 66.2% | 3.5%  |
| 南区    | 216   | 15.3%        | 14.8%              | 67.6% | 2.3%  |
| 北区    | 198   | 10.1%        | 16.2%              | 71.7% | 2.0%  |

問16-1. (問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可)

問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と回答した331人については、「市の広報媒体」が64.0%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ等」が16.9%、「家族や友人、知人から」が13.3%となっている。



#### 【参考】

##### 「その他」の内容

- ・ ごみの分別方法をインターネットで検索して知った
- ・ 転入時の市の窓口で案内があった
- ・ 不動産会社で案内があった
- ・ ごみ収集カレンダー

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「市の広報媒体」、「新聞、テレビ、ラジオ等」は80歳代が82.4%、52.9%で最も高く、「SNS」は30歳代が19.2%、「家族や友人、知人から」は70歳代が27.1%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「市の広報媒体」は北区が 69.2%で最も高く、「新聞、テレビ、ラジオ等」は西区が 25.6%、「SNS」は南区が 16.9%、「家族や友人、知人から」は中央区が 16.7%と最も高くなっている。

■属性別回答

|       | 合計  | (市政だより、市政広報番組等)<br>市の広報媒体 | 新聞、テレビ、ラジオ等 | SNS<br>(Facebook、Twitter等) | 家族や友人、知人から | その他   |
|-------|-----|---------------------------|-------------|----------------------------|------------|-------|
| 全体    | 331 | 64.0%                     | 16.9%       | 11.5%                      | 13.3%      | 7.6%  |
| 年齢別   |     |                           |             |                            |            |       |
| 20 歳代 | 28  | 46.4%                     | 3.6%        | 10.7%                      | 21.4%      | 17.9% |
| 30 歳代 | 52  | 44.2%                     | 9.6%        | 19.2%                      | 11.5%      | 17.3% |
| 40 歳代 | 69  | 59.4%                     | 13.0%       | 11.6%                      | 10.1%      | 10.1% |
| 50 歳代 | 61  | 72.1%                     | 16.4%       | 14.8%                      | 8.2%       | 4.9%  |
| 60 歳代 | 51  | 76.5%                     | 17.6%       | 11.8%                      | 5.9%       | —     |
| 70 歳代 | 48  | 70.8%                     | 27.1%       | 2.1%                       | 27.1%      | 2.1%  |
| 80 歳代 | 17  | 82.4%                     | 52.9%       | 5.9%                       | 17.6%      | —     |
| 職業別   |     |                           |             |                            |            |       |
| 会社員   | 114 | 50.0%                     | 10.5%       | 14.0%                      | 16.7%      | 11.4% |
| 自営業   | 24  | 62.5%                     | 29.2%       | —                          | 16.7%      | 4.2%  |
| 農林漁業  | 4   | 75.0%                     | 25.0%       | —                          | —          | 25.0% |
| 公務員   | 36  | 58.3%                     | 8.3%        | 16.7%                      | 8.3%       | 13.9% |
| 学生    | 3   | 33.3%                     | —           | —                          | 33.3%      | 33.3% |
| 無職    | 92  | 77.2%                     | 30.4%       | 12.0%                      | 10.9%      | 2.2%  |
| その他   | 52  | 76.9%                     | 9.6%        | 9.6%                       | 9.6%       | 3.8%  |
| 地区別   |     |                           |             |                            |            |       |
| 中央区   | 78  | 59.0%                     | 9.0%        | 15.4%                      | 16.7%      | 6.4%  |
| 東区    | 86  | 67.4%                     | 19.8%       | 10.5%                      | 10.5%      | 7.0%  |
| 西区    | 43  | 55.8%                     | 25.6%       | 4.7%                       | 9.3%       | 14.0% |
| 南区    | 65  | 66.2%                     | 12.3%       | 16.9%                      | 15.4%      | 6.2%  |
| 北区    | 52  | 69.2%                     | 25.0%       | 7.7%                       | 11.5%      | 7.7%  |

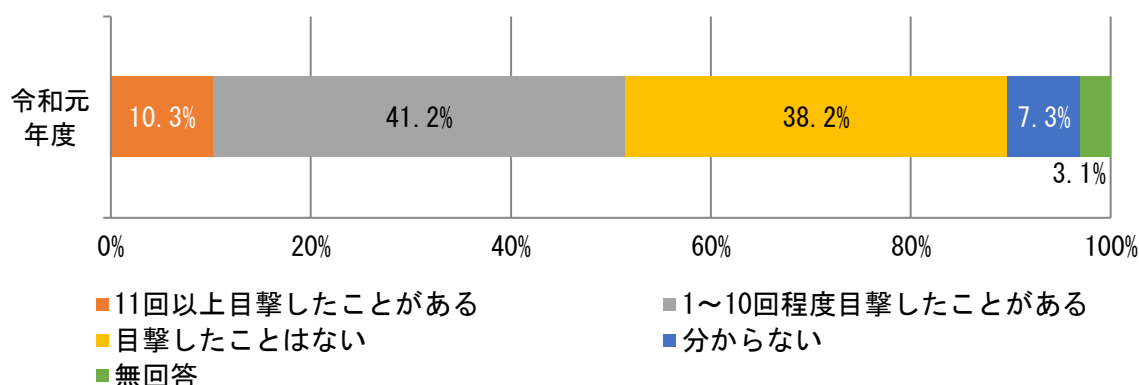
問 17. この 1 年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1 つだけ)

令和元年度よりごみステーションからの資源物持ち去りについて新規で設問を追加し調査を行った。

「1～10 回程度目撃したことがある」が 41.2%と最も高く、次いで「目撃したことはない」が 38.2%、「11 回以上目撃したことがある」が 10.3%となっている。

「11 回以上目撃したことがある」、「1～10 回程度目撃したことがある」を合わせた割合は 51.5%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「11 回以上目撃したことがある」は 50 歳代が 12.5%で最も高く、「1～10 回程度目撃したことがある」は 60 歳代が 50.9%、「目撃したことはない」は 20 歳代が 66.3%と最も高くなっている。

「11 回以上目撃したことがある」、「1～10 回程度目撃したことがある」を合わせた割合は 40 歳代以上が 50%以上となっているのに対し、30 歳代以下は半数を下回っている。

職業別：「11 回以上目撃したことがある」は農林漁業が 25.0%で最も高く、「1～10 回程度目撃したことがある」はその他が 50.4%、「目撃したことはない」は学生が 71.4%と最も高くなっている。

「11 回以上目撃したことがある」、「1～10 回程度目撃したことがある」を合わせた割合は自営業、農林漁業、公務員、無職、その他が 50%以上となっているのに対し、会社員、学生は半数を下回っている。

地区別：「11 回以上目撃したことがある」は西区が 12.7%で最も高く、「1～10 回程度目撃したことがある」は中央区が 47.3%、「目撃したことはない」は北区が 43.4%と最も高くなっている。

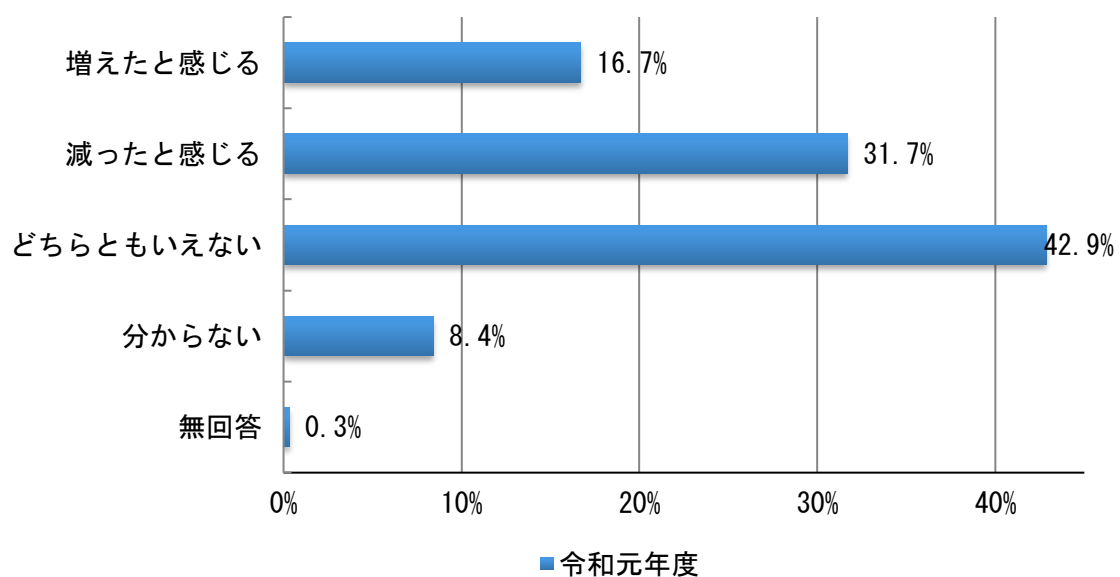
「11 回以上目撃したことがある」、「1～10 回程度目撃したことがある」を合わせた割合は中央区、東区、西区、南区が 50%以上となっているのに対し、北区は半数を下回っている。

■属性別回答

|       | 合計    | 二回以上目撃したことがある | 二〜三回程度目撃したことがある | 目撃したことはない | 分からない | 無回答  |
|-------|-------|---------------|-----------------|-----------|-------|------|
| 全体    | 1,130 | 10.3%         | 41.2%           | 38.2%     | 7.3%  | 3.1% |
| 年齢別   |       |               |                 |           |       |      |
| 20 歳代 | 80    | 7.5%          | 13.8%           | 66.3%     | 10.0% | 2.5% |
| 30 歳代 | 144   | 11.8%         | 26.4%           | 52.1%     | 8.3%  | 1.4% |
| 40 歳代 | 193   | 12.4%         | 43.5%           | 34.2%     | 7.3%  | 2.6% |
| 50 歳代 | 184   | 12.5%         | 45.7%           | 33.7%     | 6.5%  | 1.6% |
| 60 歳代 | 220   | 7.3%          | 50.9%           | 33.6%     | 5.0%  | 3.2% |
| 70 歳代 | 191   | 9.9%          | 45.5%           | 30.9%     | 9.9%  | 3.7% |
| 80 歳代 | 93    | 10.8%         | 39.8%           | 35.5%     | 5.4%  | 8.6% |
| 職業別   |       |               |                 |           |       |      |
| 会社員   | 375   | 11.2%         | 37.6%           | 41.1%     | 6.7%  | 3.5% |
| 自営業   | 82    | 11.0%         | 39.0%           | 37.8%     | 12.2% | —    |
| 農林漁業  | 12    | 25.0%         | 25.0%           | 33.3%     | 8.3%  | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 15.9%         | 35.4%           | 42.7%     | 4.9%  | 1.2% |
| 学生    | 14    | —             | 21.4%           | 71.4%     | 7.1%  | —    |
| 無職    | 396   | 8.3%          | 43.7%           | 34.8%     | 8.6%  | 4.5% |
| その他   | 141   | 10.6%         | 50.4%           | 34.8%     | 3.5%  | 0.7% |
| 地区別   |       |               |                 |           |       |      |
| 中央区   | 260   | 8.8%          | 47.3%           | 37.7%     | 4.6%  | 1.5% |
| 東区    | 276   | 11.2%         | 40.9%           | 37.3%     | 7.2%  | 3.3% |
| 西区    | 142   | 12.7%         | 38.7%           | 31.7%     | 12.0% | 4.9% |
| 南区    | 216   | 11.6%         | 40.3%           | 39.4%     | 5.6%  | 3.2% |
| 北区    | 198   | 9.1%          | 36.4%           | 43.4%     | 8.6%  | 2.5% |

問17-1. (問17.で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と答えられた方) この1年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ)

問17.で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と回答した581人については、「どちらともいえない」が42.9%と最も高く、次いで「減ったと感じる」が31.7%、「増えたと感じる」が16.7%となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「増えたと感じる」は30歳代が23.6%と最も高く、「減ったと感じる」は80歳代が40.4%、「どちらともいえない」は50歳代が51.4%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

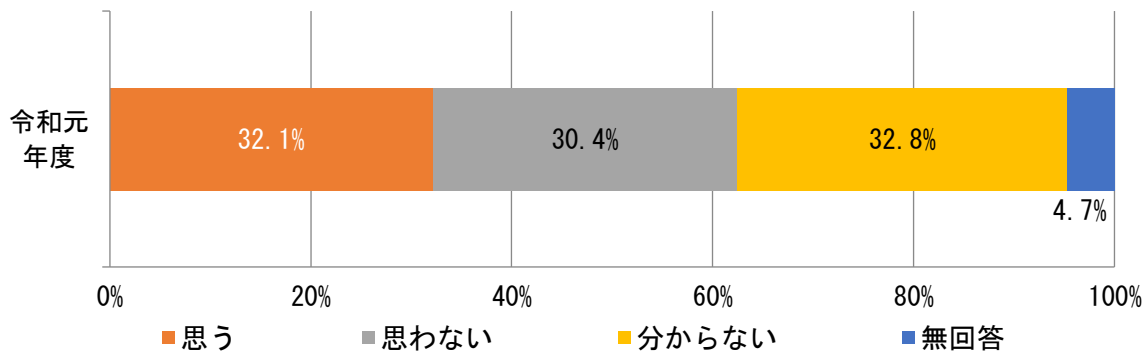
地区別：「増えたと感じる」は西区が20.5%と最も高く、「減ったと感じる」は東区が38.2%、「どちらともいえない」は北区が53.3%と最も高くなっている。

■属性別回答

|       | 合計  | 増えたと感じる | 減ったと感じる | どちらともいえない | 分からない | 無回答  |
|-------|-----|---------|---------|-----------|-------|------|
| 全体    | 581 | 16.7%   | 31.7%   | 42.9%     | 8.4%  | 0.3% |
| 年齢別   |     |         |         |           |       |      |
| 20 歳代 | 17  | 11.8%   | 17.6%   | 47.1%     | 23.5% | —    |
| 30 歳代 | 55  | 23.6%   | 16.4%   | 45.5%     | 14.5% | —    |
| 40 歳代 | 108 | 19.4%   | 27.8%   | 41.7%     | 10.2% | 0.9% |
| 50 歳代 | 107 | 13.1%   | 31.8%   | 51.4%     | 3.7%  | —    |
| 60 歳代 | 128 | 14.8%   | 36.7%   | 43.0%     | 4.7%  | 0.8% |
| 70 歳代 | 106 | 20.8%   | 38.7%   | 30.2%     | 10.4% | —    |
| 80 歳代 | 47  | 10.6%   | 40.4%   | 44.7%     | 4.3%  | —    |
| 職業別   |     |         |         |           |       |      |
| 会社員   | 183 | 20.2%   | 24.6%   | 45.9%     | 8.7%  | 0.5% |
| 自営業   | 41  | 14.6%   | 43.9%   | 39.0%     | 2.4%  | —    |
| 農林漁業  | 6   | 66.7%   | 33.3%   | —         | —     | —    |
| 公務員   | 42  | 9.5%    | 21.4%   | 57.1%     | 11.9% | —    |
| 学生    | 3   | —       | 66.7%   | 33.3%     | —     | —    |
| 無職    | 206 | 13.1%   | 39.8%   | 37.9%     | 9.2%  | —    |
| その他   | 86  | 19.8%   | 29.1%   | 44.2%     | 5.8%  | 1.2% |
| 地区別   |     |         |         |           |       |      |
| 中央区   | 146 | 17.8%   | 30.1%   | 44.5%     | 7.5%  | —    |
| 東区    | 144 | 14.6%   | 38.2%   | 36.8%     | 10.4% | —    |
| 西区    | 73  | 20.5%   | 31.5%   | 45.2%     | 1.4%  | 1.4% |
| 南区    | 112 | 17.9%   | 37.5%   | 37.5%     | 6.3%  | 0.9% |
| 北区    | 90  | 14.4%   | 21.1%   | 53.3%     | 11.1% | —    |

問 18. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ」を使  
用したいと思いますか。(1つだけ)

「分からない」が32.8%と最も高く、次いで「思う」が32.1%、「思わない」が30.4%と拮抗している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「思う」は70歳代が43.5%と最も高く、次いで80歳代（43.0%）、20歳代（32.5%）となっている。

「思わない」は30歳代が41.0%と最も高く、次いで40歳代（35.2%）、60歳代（33.2%）となっている。

「分からない」は20歳代が40.0%と最も高く、40歳代（37.8%）、30歳代（37.5%）となっている。

職業別：「思う」はその他が34.8%と最も高く、次いで無職（34.6%）、自営業と公務員（30.5%）となっている。

「思わない」は農林漁業が66.7%と最も高く、次いで学生（42.9%）、自営業（34.1%）となっている。

「分からない」は会社員が35.7%と最も高く、次いで公務員（35.4%）、その他（32.6%）となっている。

地区別：「思う」は西区が39.4%と最も高く、次いで北区（35.4%）、中央区（32.7%）となっている。

「思わない」は東区が36.2%と最も高く、次いで南区（31.9%）、中央区（30.8%）となっている。

「分からない」は西区が35.9%と最も高く、次いで南区（34.3%）、中央区（33.5%）となっている。



■属性別回答

|       | 合計    | 思う    | 思わない  | 分からない | 無回答   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体    | 1,130 | 32.1% | 30.4% | 32.8% | 4.7%  |
| 年齢別   |       |       |       |       |       |
| 20 歳代 | 80    | 32.5% | 26.3% | 40.0% | 1.3%  |
| 30 歳代 | 144   | 20.8% | 41.0% | 37.5% | 0.7%  |
| 40 歳代 | 193   | 26.4% | 35.2% | 37.8% | 0.5%  |
| 50 歳代 | 184   | 28.8% | 32.6% | 35.3% | 3.3%  |
| 60 歳代 | 220   | 32.3% | 33.2% | 31.4% | 3.2%  |
| 70 歳代 | 191   | 43.5% | 20.9% | 23.6% | 12.0% |
| 80 歳代 | 93    | 43.0% | 18.3% | 28.0% | 10.8% |
| 職業別   |       |       |       |       |       |
| 会社員   | 375   | 29.6% | 33.6% | 35.7% | 1.1%  |
| 自営業   | 82    | 30.5% | 34.1% | 30.5% | 4.9%  |
| 農林漁業  | 12    | 16.7% | 66.7% | —     | 16.7% |
| 公務員   | 82    | 30.5% | 30.5% | 35.4% | 3.7%  |
| 学生    | 14    | 28.6% | 42.9% | 28.6% | —     |
| 無職    | 396   | 34.6% | 25.5% | 31.6% | 8.3%  |
| その他   | 141   | 34.8% | 31.2% | 32.6% | 1.4%  |
| 地区別   |       |       |       |       |       |
| 中央区   | 260   | 32.7% | 30.8% | 33.5% | 3.1%  |
| 東区    | 276   | 27.5% | 36.2% | 30.8% | 5.4%  |
| 西区    | 142   | 39.4% | 20.4% | 35.9% | 4.2%  |
| 南区    | 216   | 29.6% | 31.9% | 34.3% | 4.2%  |
| 北区    | 198   | 35.4% | 28.3% | 32.3% | 4.0%  |

問 19. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いますか。ご提  
言、ご意見がございましたらお聞かせください。(1つだけ)

■いただいた意見を以下項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙す  
る。

監視カメラ等の設備の導入 (55 件)

- ・ 監視カメラの設置
- ・ 人感式ライトの設置
- ・ 人が近づくと音が出る装置の設置

買取り業者の買取り拒否 (53 件)

- ・ 人がいても持っていく人は持っていくので、持っていったものが現金化できな  
いような仕組みを作ったほうがよい。
- ・ 持ち去って換金できるシステムを断つこと。
- ・ 買取り業者との連携

罰則の強化 (48 件)

- ・ 罰則の強化
- ・ 注意や指導でなく現行犯で即時検挙を。

巡回、監視の徹底 (48 件)

- ・ 行政や警察による巡回
- ・ 自治会に依頼し交代でチェックしてもらう。市から指導する権限をもらった人  
が監視する。
- ・ シルバー世代の活用 (登下校時の児童見守りのように)

福祉的な観点からの対策 (29 件)

- ・ 生活が苦しいから持ち去りを行うと思うので、このような人たちが違う形で生  
活できるようにして欲しい。
- ・ 持ち去り行為を行っている者はそれで収入を得ているので、その者を行政に取り  
込み、許可制としてごみステーションの管理を含めその者自身が地域の環境リ  
ーダーになれば地域の活性化につながると思います。
- ・ 持ち去りをする人に持ち去る理由を聞いてそれを解決すること。
- ・ 持ち去りする人に職を与える。

施錠できるごみステーションの設置 (25 件)

- ・ ごみステーションを施錠式にして、住民と収集業者しか知らないダイヤル式の  
カギを付ける。
- ・ ごみステーションの一角に鍵がかかるスペースをつくりその中に資源物を入れ

る。全てのステーションに設置不可能な時は、資源物のみ収集箇所を集約する。

#### 警告看板等の設置（16 件）

- ・ 持ち去り禁止の看板を設置する。
- ・ 持ち去り行為者の現場写真をごみステーションに貼る（顔はモザイク処理）。
- ・ 持ち去り禁止テープはあった方が良くと思う（ごみ袋と同じで個人の負担にならないようにしてほしい）。

#### 広報の強化（13 件）

- ・ 持ち去り行為がなぜいけないのかが分からない。そもそもなぜいけないのかを積極的に広報することが必要だと思う。
- ・ 取り締まっているのかが分からないので、取り締まったり捕まえたりしたことを大々的に広報してほしい（地方の TV ニュース、ラジオニュース、市の広報誌、市のホームページなどで）。
- ・ 市ホームページでは毎日写真付き地図（取り締まった場所）を更新して欲しい。
- ・ 厳しい罰則を、と思ったがネットで検索したら既に罰則があることを知った。このような情報をどの程度市民が知っているのか。
- ・ インターネットで調べてみたら持ち去り被害で熊本市の損害が大きいことを知った。市民に持ち去りは悪いことで熊本市は損害を受けていることをもっと広報すべきだと思う。
- ・ なぜ持ち去ってはいけないかという意識啓発が必要では。

#### その他

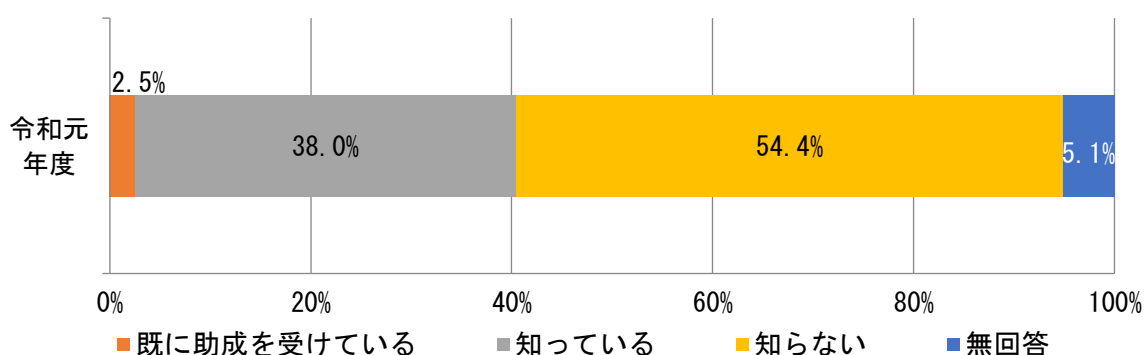
- ・ ○○会が組織ぐるみでごみ置き場から資源物を持ち去りしているので、○○会へ通告し助成金を減らす。
- ・ 専用通報窓口を分かりやすくして罰則や罰金を強化する。
- ・ 夜に収集して持ち去り行為を少しでも防ぐ。
- ・ 町内の廃品回収の活用
- ・ 収集袋やテープを派手にして持ち運びにくくする。蛍光色や持ち運ぶのが恥ずかしいくらいかわいいなど。運んでいるときに周りに見えるくらいの大きさで「持ち去り禁止」の文字が見えるくらい目立つものが良いと思う。
- ・ いらなくなったものを捨てているのでそれがどうだろうと何も思わない。

## 問20. 生ごみ処理機を購入する助成金制度を知っていますか。(1つだけ)

令和元年度より生ごみ処理機を購入する助成金について新規で設問を追加し調査を行った。

「知らない」が54.4%と最も高く、次いで「知っている」が38.0%、「すでに助成を受けている」が2.5%となっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた助成金制度の認知割合は40.5%である。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「すでに助成を受けている」、「知っている」は50歳代がそれぞれ4.3%、46.7%で最も高く、「知らない」は20歳代が82.5%と最も高くなっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合は50歳代が51.0%と最も高く、次いで40歳代（50.2%）、70歳代（42.4%）となっている。

職業別：「すでに助成を受けている」は自営業と公務員が4.9%で最も高く、「知っている」はその他が48.9%、「知らない」は学生が85.7%と最も高くなっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合はその他が52.5%と最も高く、次いで公務員（47.6%）、自営業（42.7%）となっている。

地区別：「すでに助成を受けている」は北区が5.6%で最も高く、「知っている」は東区が40.2%、「知らない」は南区が58.8%と最も高くなっている。

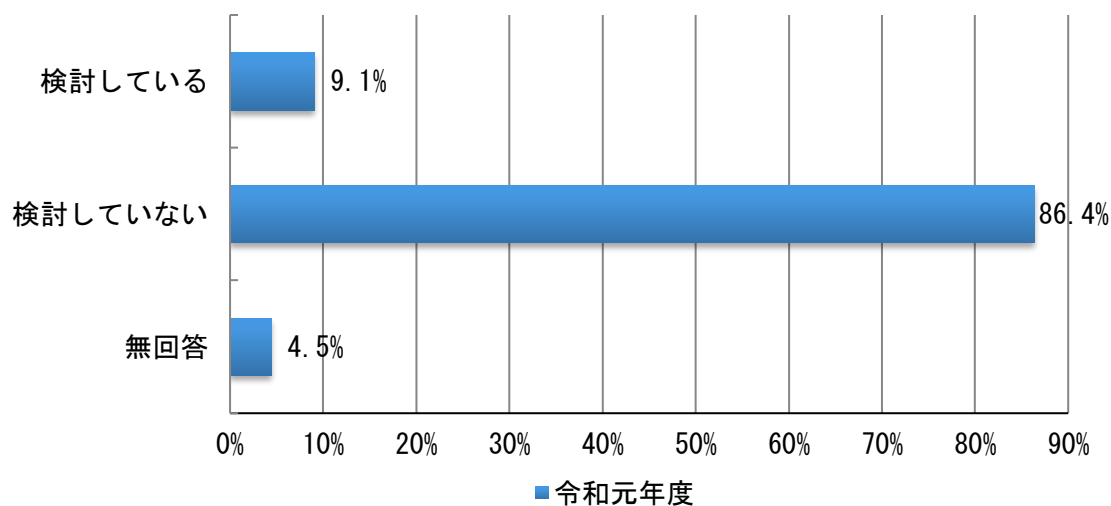
「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合は北区が45.5%と最も高く、次いで東区（42.7%）、南区（38.9%）となっている。

■属性別回答

|      | 合計    | 既に助成を受けている | 知っている | 知らない  | 無回答   |
|------|-------|------------|-------|-------|-------|
| 全体   | 1,130 | 2.5%       | 38.0% | 54.4% | 5.1%  |
| 年齢別  |       |            |       |       |       |
| 20歳代 | 80    | —          | 16.3% | 82.5% | 1.3%  |
| 30歳代 | 144   | 0.7%       | 31.3% | 66.7% | 1.4%  |
| 40歳代 | 193   | 4.1%       | 46.1% | 46.6% | 3.1%  |
| 50歳代 | 184   | 4.3%       | 46.7% | 47.3% | 1.6%  |
| 60歳代 | 220   | 2.3%       | 38.2% | 56.4% | 3.2%  |
| 70歳代 | 191   | 2.1%       | 40.3% | 47.6% | 9.9%  |
| 80歳代 | 93    | 2.2%       | 29.0% | 53.8% | 15.1% |
| 職業別  |       |            |       |       |       |
| 会社員  | 375   | 1.6%       | 33.3% | 61.9% | 3.2%  |
| 自営業  | 82    | 4.9%       | 37.8% | 53.7% | 3.7%  |
| 農林漁業 | 12    | —          | 25.0% | 66.7% | 8.3%  |
| 公務員  | 82    | 4.9%       | 42.7% | 51.2% | 1.2%  |
| 学生   | 14    | —          | 14.3% | 85.7% | —     |
| 無職   | 396   | 2.3%       | 39.4% | 50.5% | 7.8%  |
| その他  | 141   | 3.5%       | 48.9% | 45.4% | 2.1%  |
| 地区別  |       |            |       |       |       |
| 中央区  | 260   | 1.2%       | 36.9% | 56.9% | 5.0%  |
| 東区   | 276   | 2.5%       | 40.2% | 51.8% | 5.4%  |
| 西区   | 142   | 2.1%       | 36.6% | 55.6% | 5.6%  |
| 南区   | 216   | 1.9%       | 37.0% | 58.8% | 2.3%  |
| 北区   | 198   | 5.6%       | 39.9% | 51.5% | 3.0%  |

問20-1. (問20. で「知っている」又は「知らない」と答えられた方) 生ごみ処理機の購入助成を検討していますか。(1つだけ)

問20. で「知っている」又は「知らない」と回答した1,044人については、「検討していない」が86.4%と最も高く、「検討している」は9.1%となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「検討している」は80歳代が15.6%で最も高く、「検討していない」は60歳代が92.8%で最も高くなっている。

職業別：「検討している」は農林漁業が18.2%で最も高く、「検討していない」は公務員が89.6%で最も高くなっている。

地区別：「検討している」は西区が10.7%で最も高く、「検討していない」は東区が87.8%で最も高くなっている。

■属性別回答

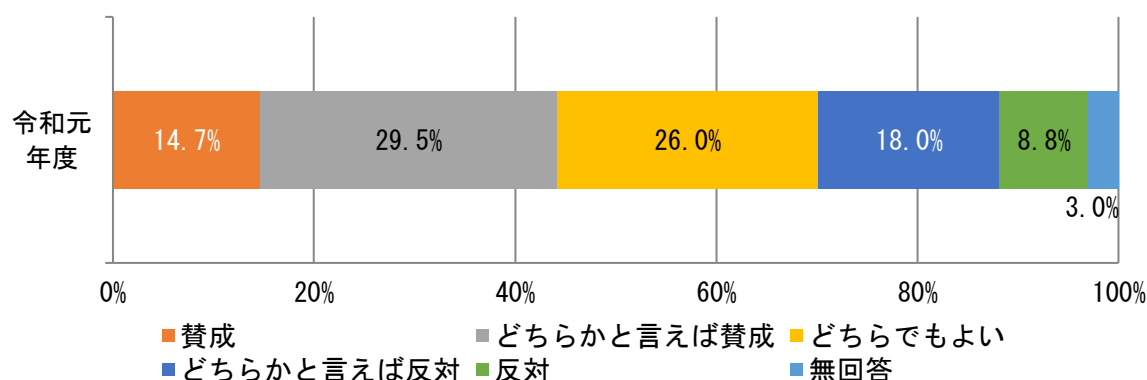
|      | 合計    | 検討している | 検討していない | 無回答   |
|------|-------|--------|---------|-------|
| 全体   | 1,044 | 9.1%   | 86.4%   | 4.5%  |
| 年齢別  |       |        |         |       |
| 20歳代 | 79    | 6.3%   | 86.1%   | 7.6%  |
| 30歳代 | 141   | 8.5%   | 85.8%   | 5.7%  |
| 40歳代 | 179   | 8.9%   | 88.3%   | 2.8%  |
| 50歳代 | 173   | 7.5%   | 89.6%   | 2.9%  |
| 60歳代 | 208   | 5.8%   | 92.8%   | 1.4%  |
| 70歳代 | 168   | 13.7%  | 77.4%   | 8.9%  |
| 80歳代 | 77    | 15.6%  | 77.9%   | 6.5%  |
| 職業別  |       |        |         |       |
| 会社員  | 357   | 8.7%   | 87.4%   | 3.9%  |
| 自営業  | 75    | 10.7%  | 85.3%   | 4.0%  |
| 農林漁業 | 11    | 18.2%  | 72.7%   | 9.1%  |
| 公務員  | 77    | 10.4%  | 89.6%   | —     |
| 学生   | 14    | —      | 78.6%   | 21.4% |
| 無職   | 356   | 8.4%   | 85.4%   | 6.2%  |
| その他  | 133   | 10.5%  | 86.5%   | 3.0%  |
| 地区別  |       |        |         |       |
| 中央区  | 244   | 8.6%   | 86.9%   | 4.5%  |
| 東区   | 254   | 8.3%   | 87.8%   | 3.9%  |
| 西区   | 131   | 10.7%  | 85.5%   | 3.8%  |
| 南区   | 207   | 8.2%   | 86.0%   | 5.8%  |
| 北区   | 181   | 10.5%  | 84.5%   | 5.0%  |

問 2 1. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思われますか。（1つだけ）

令和元年度よりリサイクル推進を目的とした分別品目数を増やすことについて新規で設問を追加し調査を行った。

「どちらかといえば賛成」が29.5%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が26.0%、「どちらかといえば反対」が18.0%となっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は44.2%であり、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は26.8%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「賛成」は70歳代が18.8%で最も高く、「どちらかといえば賛成」は80歳代が34.4%、「どちらでもよい」は30歳代が34.0%、「どちらかといえば反対」は20歳代が26.3%、「反対」は30歳代が16.0%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、80歳代が51.6%と最も高く、次いで70歳代（51.3%）、60歳代（49.1%）となっている。対して「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は50歳代が33.2%と最も高く、次いで30歳代（32.7%）、20歳代（32.6%）となっている。

職業別：「賛成」、「どちらかといえば賛成」は農林漁業がいずれも33.3%、「反対」も農林漁業が16.7%と最も高く、「どちらでもよい」は無職で29.0%、「どちらかといえば反対」は学生が28.6%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、農林漁業が66.6%と最も高く、次いでその他（50.3%）、公務員（46.3%）となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は学生が42.9%と最も高く、次いで会社員（33.9%）、自営業（29.3%）となっている。

地区別：「賛成」は西区が18.3%で最も高く、「どちらかといえば賛成」、「反対」は南区が35.6%、10.2%、「どちらでもよい」は北区が32.3%、「どちらかと



いえば反対」は中央区が21.9%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、西区が49.3%と最も高く、次いで南区（47.2%）、東区（44.6%）となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は中央区が31.5%と最も高く、次いで東区（28.2%）、南区（25.5%）となっている。

■属性別回答

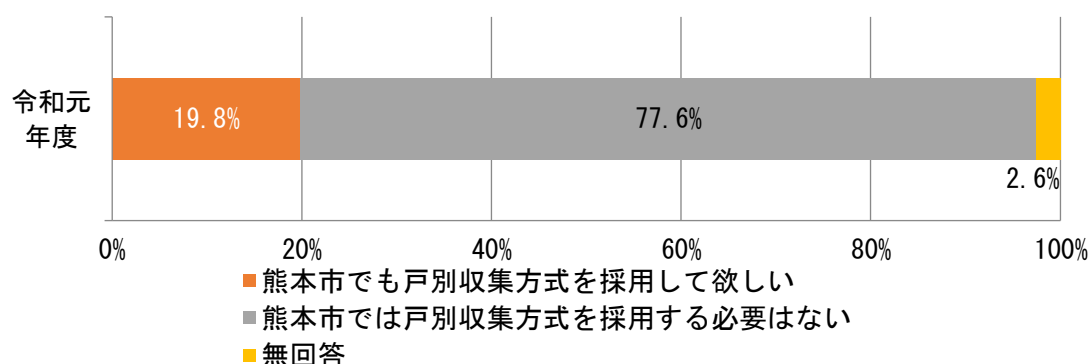
|      | 合計    | 賛成    | どちらかといえば賛成 | どちらでもよい | どちらかといえば反対 | 反対    | 無回答  |
|------|-------|-------|------------|---------|------------|-------|------|
| 全体   | 1,130 | 14.7% | 29.5%      | 26.0%   | 18.0%      | 8.8%  | 3.0% |
| 年齢別  |       |       |            |         |            |       |      |
| 20歳代 | 80    | 13.8% | 30.0%      | 23.8%   | 26.3%      | 6.3%  | —    |
| 30歳代 | 144   | 12.5% | 20.8%      | 34.0%   | 16.7%      | 16.0% | —    |
| 40歳代 | 193   | 9.3%  | 32.1%      | 26.9%   | 20.2%      | 11.4% | —    |
| 50歳代 | 184   | 14.7% | 26.1%      | 22.8%   | 24.5%      | 8.7%  | 3.3% |
| 60歳代 | 220   | 16.8% | 32.3%      | 27.7%   | 14.5%      | 7.3%  | 1.4% |
| 70歳代 | 191   | 18.8% | 32.5%      | 22.0%   | 15.2%      | 4.7%  | 6.8% |
| 80歳代 | 93    | 17.2% | 34.4%      | 24.7%   | 7.5%       | 7.5%  | 8.6% |
| 職業別  |       |       |            |         |            |       |      |
| 会社員  | 375   | 12.0% | 28.5%      | 24.3%   | 21.6%      | 12.3% | 1.3% |
| 自営業  | 82    | 13.4% | 31.7%      | 25.6%   | 19.5%      | 9.8%  | —    |
| 農林漁業 | 12    | 33.3% | 33.3%      | 8.3%    | 8.3%       | 16.7% | —    |
| 公務員  | 82    | 25.6% | 20.7%      | 25.6%   | 20.7%      | 7.3%  | —    |
| 学生   | 14    | 14.3% | 21.4%      | 21.4%   | 28.6%      | 14.3% | —    |
| 無職   | 396   | 13.9% | 31.3%      | 29.0%   | 13.6%      | 6.3%  | 5.8% |
| その他  | 141   | 17.7% | 32.6%      | 25.5%   | 17.0%      | 6.4%  | 0.7% |
| 地区別  |       |       |            |         |            |       |      |
| 中央区  | 260   | 13.8% | 28.8%      | 23.8%   | 21.9%      | 9.6%  | 1.9% |
| 東区   | 276   | 13.8% | 30.8%      | 25.4%   | 18.1%      | 10.1% | 1.8% |
| 西区   | 142   | 18.3% | 31.0%      | 28.2%   | 14.1%      | 4.9%  | 3.5% |
| 南区   | 216   | 11.6% | 35.6%      | 23.6%   | 15.3%      | 10.2% | 3.7% |
| 北区   | 198   | 18.2% | 22.7%      | 32.3%   | 17.2%      | 7.6%  | 2.0% |

問 2 2. 熊本市における家庭ごみの収集は、ご自宅の近くのごみステーションで収集する方式を採用しておりますが、他都市ではご自宅の前で収集する戸別収集方式を採用している都市もあります。このような戸別収集方式についてどう思われますか。

(1つだけ)

令和元年度より戸別収集方式のニーズを把握するために新規で設問を追加し調査を行った。

「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」が77.6%で、「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」の19.8%を約3.9倍上回っている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は20歳代が36.3%と最も高く、次いで40歳代（21.2%）、80歳代（20.4%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は30歳代と86.1%で最も高く、次いで50歳代（81.5%）、60歳代（80.0%）となっている。

職業別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は自営業と公務員が25.6%と最も高く、次いでその他（24.1%）、無職（17.9%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は学生が85.7%と最も高く、次いで農林漁業（83.3%）、会社員（81.6%）となっている。

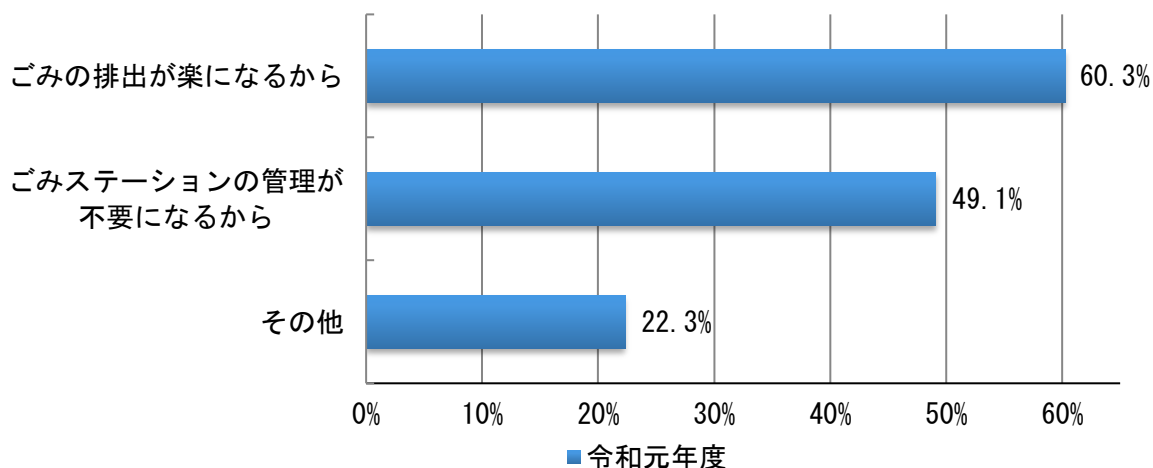
地区別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は中央区と南区が20.8%と最も高く、次いで東区（18.8%）、西区（18.3%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は北区が79.8%と最も高く、次いで東区（79.3%）、西区（78.9%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | 熊本市でも戸別収集方式を<br>採用して欲しい | 熊本市では戸別収集方式を<br>採用する必要はない | 無回答   |
|-------|-------|-------------------------|---------------------------|-------|
| 全体    | 1,130 | 19.8%                   | 77.6%                     | 2.6%  |
| 年齢別   |       |                         |                           |       |
| 20 歳代 | 80    | 36.3%                   | 63.8%                     | —     |
| 30 歳代 | 144   | 13.9%                   | 86.1%                     | —     |
| 40 歳代 | 193   | 21.2%                   | 78.2%                     | 0.5%  |
| 50 歳代 | 184   | 16.3%                   | 81.5%                     | 2.2%  |
| 60 歳代 | 220   | 18.6%                   | 80.0%                     | 1.4%  |
| 70 歳代 | 191   | 19.4%                   | 75.9%                     | 4.7%  |
| 80 歳代 | 93    | 20.4%                   | 68.8%                     | 10.8% |
| 職業別   |       |                         |                           |       |
| 会社員   | 375   | 17.3%                   | 81.6%                     | 1.1%  |
| 自営業   | 82    | 25.6%                   | 74.4%                     | —     |
| 農林漁業  | 12    | 16.7%                   | 83.3%                     | —     |
| 公務員   | 82    | 25.6%                   | 74.4%                     | —     |
| 学生    | 14    | 14.3%                   | 85.7%                     | —     |
| 無職    | 396   | 17.9%                   | 76.5%                     | 5.6%  |
| その他   | 141   | 24.1%                   | 75.2%                     | 0.7%  |
| 地区別   |       |                         |                           |       |
| 中央区   | 260   | 20.8%                   | 77.7%                     | 1.5%  |
| 東区    | 276   | 18.8%                   | 79.3%                     | 1.8%  |
| 西区    | 142   | 18.3%                   | 78.9%                     | 2.8%  |
| 南区    | 216   | 20.8%                   | 75.9%                     | 3.2%  |
| 北区    | 198   | 17.7%                   | 79.8%                     | 2.5%  |

問22-1. (問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方) どのような理由からそう思われますか。(複数回答可)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と回答した224人については、「ごみの排出が楽になるから」が60.3%と最も高く、次いで「ごみステーションの管理が不要になるから」が49.1%となった。



#### 【参考】

「その他」の内容 (いただいた意見をそのまま記載)

- ルール違反ごみが減少するから (33 件)
  - ・ 自宅前であれば違反ゴミは持って行かないので、無責任 (ルール違反ゴミを出す) ことができない。
  - ・ 現在、戸別収集方式に同等のような状況であるが、近隣の小型集合住宅のごみステーションはごみが散乱しているから、戸別収集方式がよいと思う。
  - ・ 他地区からのルール違反ごみの放置が無くなる。
- 高齢者などに限定して実施 (11 件)
  - ・ 福祉の観点から一定の要介護度数の者には戸別収集の行政サービスがあってもいい。介護保険を使ってヘルパーにゴミ出しを頼む高齢者もいる。
  - ・ 高齢者や障がい者世帯には必要だと思う。その費用は段階的に分ける方がよい (必要な人が多く払う)
  - ・ 戸別収集方式は高齢者の対応など最小限の範囲でよい。
- 持ち去り行為の防止 (7 件)
  - ・ 資源物は費用対効果によるが戸別収集が効果的かも。
  - ・ ごみの持ち去り行為防止につながるため。
- その他 (5 件)
  - ・ 自宅前がステーションになっていて悪臭を我慢し、収集後の掃除を30年以上やっているから。
  - ・ 最近引っ越してきたばかりだが、ごみステーションに立っている町内の人がいて、監視されていてやりにくい。
  - ・ ごみステーションが自宅の敷地内で他人のごみを置かれることが不愉快
  - ・ ごみステーションが自宅から遠い。もともとステーションがあった場所が売却され所有者が変わったことでステーションが設置できなくなり町内で揉めている。自治会から市へ要望を出しているが1年以上解決していない。隣接する他の町内に仮置きしている現状であるので、戸別収集を望む。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「ごみの排出が楽になるから」は20歳代が82.8%と最も高く、次いで70歳代（75.7%）、80歳代（63.2%）となっている。「ごみステーションの管理が不要になるから」は30歳代が65.0%と最も高く、次いで40歳代（56.1%）、60歳代（53.7%）となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため特段の分析を行わない。

地区別：「ごみの排出が楽になるから」は北区が68.6%と最も高く、次いで西区（65.4%）、東区（59.6%）となっている。「ごみステーションの管理が不要になるから」は東区が55.8%と最も高く、次いで西区（53.8%）、中央区（51.9%）となっている。

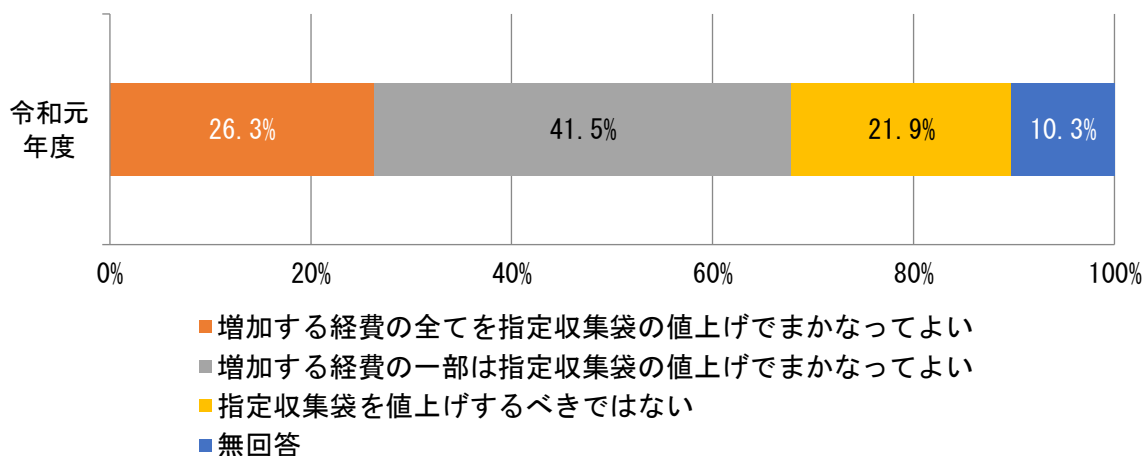
■属性別回答

|      | 合計  | ごみの排出が<br>楽になるから | ごみステーション<br>の管理が不要に<br>なるから | その他   |
|------|-----|------------------|-----------------------------|-------|
| 全体   | 224 | 60.3%            | 49.1%                       | 22.3% |
| 年齢別  |     |                  |                             |       |
| 20歳代 | 29  | 82.8%            | 41.4%                       | 6.9%  |
| 30歳代 | 20  | 45.0%            | 65.0%                       | 10.0% |
| 40歳代 | 41  | 61.0%            | 56.1%                       | 26.8% |
| 50歳代 | 30  | 40.0%            | 46.7%                       | 36.7% |
| 60歳代 | 41  | 48.8%            | 53.7%                       | 26.8% |
| 70歳代 | 37  | 75.7%            | 48.6%                       | 18.9% |
| 80歳代 | 19  | 63.2%            | 21.1%                       | 15.8% |
| 職業別  |     |                  |                             |       |
| 会社員  | 65  | 55.4%            | 53.8%                       | 15.4% |
| 自営業  | 21  | 57.1%            | 38.1%                       | 14.3% |
| 農林漁業 | 2   | 50.0%            | —                           | 50.0% |
| 公務員  | 21  | 42.9%            | 61.9%                       | 19.0% |
| 学生   | 2   | 100.0%           | 50.0%                       | —     |
| 無職   | 71  | 62.0%            | 40.8%                       | 25.4% |
| その他  | 34  | 73.5%            | 58.8%                       | 32.4% |
| 地区別  |     |                  |                             |       |
| 中央区  | 54  | 51.9%            | 51.9%                       | 20.4% |
| 東区   | 52  | 59.6%            | 55.8%                       | 32.7% |
| 西区   | 26  | 65.4%            | 53.8%                       | 15.4% |
| 南区   | 45  | 57.8%            | 51.1%                       | 22.2% |
| 北区   | 35  | 68.6%            | 31.4%                       | 11.4% |

問22-2. (問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方) 経費の増加をまかなう手法の一つとして、指定収集袋(ごみ袋)を値上げすることについてどのように思われますか。(1つだけ)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と回答した224人については、「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」が41.5%と最も高く、次いで「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」が26.3%、「指定収集袋を値上げするべきではない」が21.9%となった。

「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」と「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」を合わせた割合は67.8%となり、「指定収集袋を値上げするべきではない」の3倍強となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」80歳代が36.8%と最も高く、次いで60歳代(36.6%)、40歳代(34.1%)となっている。「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」は80歳代が47.4%と最も高く、次いで60歳代(46.3%)、30歳代(45.0%)となっている。

「指定収集袋を値上げするべきではない」は30歳代が35.0%と最も高く、次いで20歳代(31.0%)、50歳代(30.0%)となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため特段の分析を行わない。

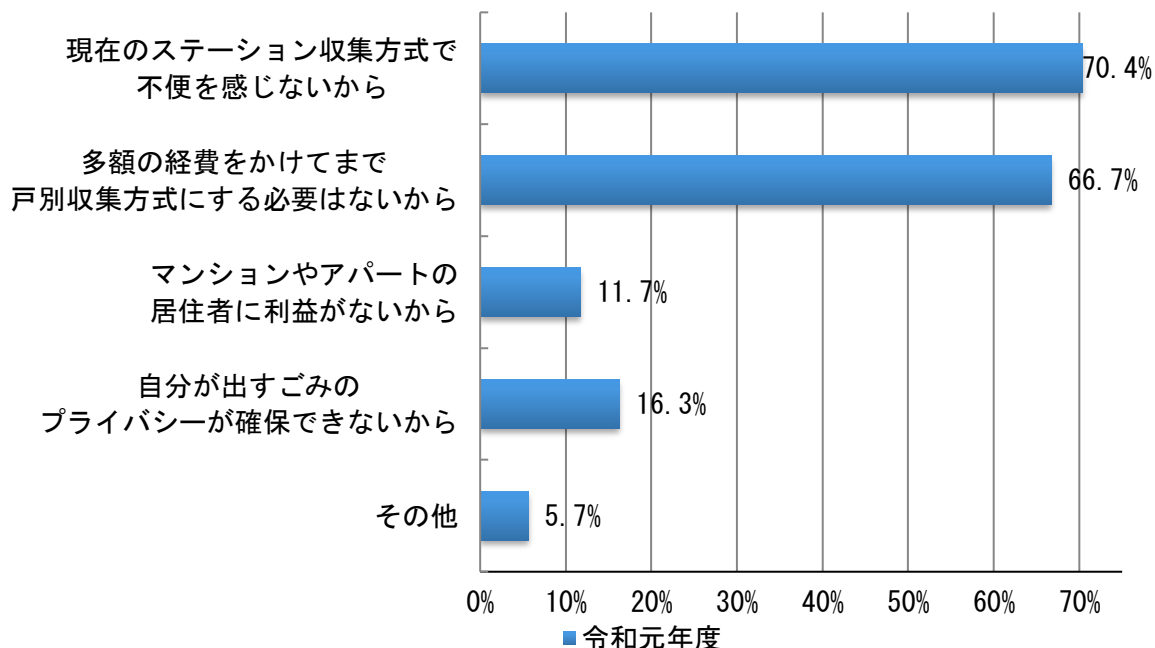
地区別：「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」中央区が31.5%と最も高く、次いで南区(31.1%)、北区(25.7%)となっている。「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」は東区が53.8%と最も高く、次いで西区(46.2%)、北区(37.1%)となっている。「指定収集袋を値上げするべきではない」は北区が31.4%と最も高く、次いで西区(30.8%)、南区(22.2%)となっている。

■属性別回答

|       | 合計  | 増加する経費の全てを指定収集袋の<br>値上げでまかなってよい | 増加する経費の一部は指定収集袋の<br>値上げでまかなってよい | 指定収集袋を値上げするべきでは<br>ない | 無回答   |
|-------|-----|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------|-------|
| 全体    | 224 | 26.3%                           | 41.5%                           | 21.9%                 | 10.3% |
| 年齢別   |     |                                 |                                 |                       |       |
| 20 歳代 | 29  | 31.0%                           | 34.5%                           | 31.0%                 | 3.4%  |
| 30 歳代 | 20  | 15.0%                           | 45.0%                           | 35.0%                 | 5.0%  |
| 40 歳代 | 41  | 34.1%                           | 31.7%                           | 22.0%                 | 12.2% |
| 50 歳代 | 30  | 26.7%                           | 36.7%                           | 30.0%                 | 6.7%  |
| 60 歳代 | 41  | 36.6%                           | 46.3%                           | 2.4%                  | 14.6% |
| 70 歳代 | 37  | 8.1%                            | 43.2%                           | 27.0%                 | 21.6% |
| 80 歳代 | 19  | 36.8%                           | 47.4%                           | 15.8%                 | —     |
| 職業別   |     |                                 |                                 |                       |       |
| 会社員   | 65  | 30.8%                           | 41.5%                           | 21.5%                 | 6.2%  |
| 自営業   | 21  | 38.1%                           | 38.1%                           | 19.0%                 | 4.8%  |
| 農林漁業  | 2   | 50.0%                           | —                               | 50.0%                 | —     |
| 公務員   | 21  | 42.9%                           | 33.3%                           | 14.3%                 | 9.5%  |
| 学生    | 2   | —                               | 50.0%                           | 50.0%                 | —     |
| 無職    | 71  | 16.9%                           | 46.5%                           | 19.7%                 | 16.9% |
| その他   | 34  | 26.5%                           | 32.4%                           | 32.4%                 | 8.8%  |
| 地区別   |     |                                 |                                 |                       |       |
| 中央区   | 54  | 31.5%                           | 35.2%                           | 18.5%                 | 14.8% |
| 東区    | 52  | 25.0%                           | 53.8%                           | 13.5%                 | 7.7%  |
| 西区    | 26  | 19.2%                           | 46.2%                           | 30.8%                 | 3.8%  |
| 南区    | 45  | 31.1%                           | 31.1%                           | 22.2%                 | 15.6% |
| 北区    | 35  | 25.7%                           | 37.1%                           | 31.4%                 | 5.7%  |

問22-3. (問22. で「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」と答えられた方) どのような理由からそう思われますか。(複数回答可)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用する必要はない」と回答した877人については、「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」が70.4%と最も高く、次いで「多額の経費をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」が66.7%、「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」が16.3%となった。



#### 【参考】

「その他」の内容（いただいた意見をそのまま記載）

- 鳥獣等の被害が心配（12件）
  - ・ 不衛生になりやすく、カラスなどに荒らされる被害が出るから。
  - ・ 臭いやカラスや猫による散乱が嫌だから。
- 交通に関しての懸念（12件）
  - ・ 日中回収のまま戸別収集にすると渋滞するのではないかと思います。戸別収集と夜間収集はセットだと思います。
  - ・ 道路の景観を損ねる。道幅が狭いところでは車の流れが悪くなる。
  - ・ 戸別収集方式の自治体に4年住んでいたが、とても渋滞するし収集の人が轢かれそうだし、プラスチック容器包装は飛ぶ。
  - ・ 収集車がなかなか進まないで交通が混雑してしまう気がします。決められたところにゴミを持っていく責任くらいは市民側にも必要と感じます。
- 収集員の負担増への懸念（8件）
  - ・ 収集作業をしてくださる方の負担が増えるから。
  - ・ 収集業者が大変そう。
- ルール違反増への懸念（7件）
  - ・ 他人が勝手に自宅前にゴミを投棄したり、持ち去りなどの犯罪被害が発生したりする恐れがある。
  - ・ 自分の家の前に不法投棄されたらいやだから。



- ・ ルールを守れていない人がいるので、余計にゴミだらけの景観になりそうな気がする。

●その他（12 件）

- ・ 名古屋、大阪、福岡とすべて同じようにする必要はないと思う。
- ・ 今でさえステーションが多いのでは？と感じる地域がある。ただし体が不自由な人への対策は必要なので、そちらに税金を使ってほしい。
- ・ 熊本市内で風が強いときに、ゴミが道路に飛び散っていたのを見たことがあるため。ただし、高齢者や障がい者の方々は戸別収集も必要だと思う。
- ・ ステーション収集方式を継続して、ごみストッカー（ボックス）を設置してほしい。特に生ごみの時はカラスが袋を破り汚くなる。
- ・ ごみステーションを利用することで近所の人と顔を合わせるによりコミュニケーションや近所付き合いにつながると思う。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」は 20 歳代が 60.8%と最も高く、次いで 80 歳代（48.4%）、30 歳代（25.0%）となっている。「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は 30 歳代が 71.0%と最も高く、次いで 50 歳代（70.7%）、60 歳代（69.3%）となっている。

「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は 30 歳代が 19.4%と最も高く、次いで 20 歳代（17.6%）、50 歳代（14.0%）となっている。

「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は 30 歳代が 29.0%と最も高く、次いで 40 歳代（24.5%）、20 歳代（23.5%）となっている。

職業別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」はその他が 78.3%と最も高く、次いで公務員（72.1%）、無職（70.6%）となっている。「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は公務員が 73.8%と最も高く、次いで自営業（72.1%）、会社員（69.3%）となっている。

「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は会社員が 16.0%と最も高く、次いでその他（12.3%）、自営業と公務員（9.8%）となっている。

「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は学生が 25.0%と最も高く、次いでその他（21.7%）、会社員（20.9%）となっている。

地区別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」は西区が 76.8%と最も高く、次いで北区（73.4%）、東区（69.9%）となっている。「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は西区が 70.5%と最も高く、次いで北区（67.1%）、東区（66.7%）となっている。「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は中央区が 18.3%と最も高く、次いで東区（15.5%）、西区（9.8%）となっている。「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は西区が 23.2%と最も高く、次いで中央区（17.3%）、南区（17.1%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計  | 現在のステーション収集方式で不便を感じないから | 多額の経費をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから | マンションやアパートの居住者に利益がないから | 自分が出すごみのプライバシーが確保できないから | その他   |
|-------|-----|-------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|-------|
| 全体    | 877 | 70.4%                   | 66.7%                       | 11.7%                  | 16.3%                   | 5.7%  |
| 年齢別   |     |                         |                             |                        |                         |       |
| 20 歳代 | 51  | 60.8%                   | 62.7%                       | 17.6%                  | 23.5%                   | 5.9%  |
| 30 歳代 | 124 | 25.0%                   | 71.0%                       | 19.4%                  | 29.0%                   | 8.1%  |
| 40 歳代 | 151 | 20.5%                   | 68.2%                       | 13.9%                  | 24.5%                   | 7.9%  |
| 50 歳代 | 150 | 20.7%                   | 70.7%                       | 14.0%                  | 16.0%                   | 4.0%  |
| 60 歳代 | 176 | 17.6%                   | 69.3%                       | 8.5%                   | 14.2%                   | 5.1%  |
| 70 歳代 | 145 | 21.4%                   | 56.6%                       | 4.8%                   | 3.4%                    | 6.2%  |
| 80 歳代 | 64  | 48.4%                   | 62.5%                       | 7.8%                   | 6.3%                    | 1.6%  |
| 職業別   |     |                         |                             |                        |                         |       |
| 会社員   | 306 | 68.0%                   | 69.3%                       | 16.0%                  | 20.9%                   | 4.6%  |
| 自営業   | 61  | 68.9%                   | 72.1%                       | 9.8%                   | 11.5%                   | 1.6%  |
| 農林漁業  | 10  | 70.0%                   | 60.0%                       | —                      | 10.0%                   | 10.0% |
| 公務員   | 61  | 72.1%                   | 73.8%                       | 9.8%                   | 18.0%                   | 4.9%  |
| 学生    | 12  | 50.0%                   | 41.7%                       | 8.3%                   | 25.0%                   | 8.3%  |
| 無職    | 303 | 70.6%                   | 63.0%                       | 8.6%                   | 11.2%                   | 6.9%  |
| その他   | 106 | 78.3%                   | 66.0%                       | 12.3%                  | 21.7%                   | 8.5%  |
| 地区別   |     |                         |                             |                        |                         |       |
| 中央区   | 202 | 65.3%                   | 66.3%                       | 18.3%                  | 17.3%                   | 5.0%  |
| 東区    | 219 | 69.9%                   | 66.7%                       | 15.5%                  | 16.9%                   | 5.5%  |
| 西区    | 112 | 76.8%                   | 70.5%                       | 9.8%                   | 23.2%                   | 4.5%  |
| 南区    | 164 | 68.9%                   | 64.0%                       | 6.1%                   | 17.1%                   | 6.1%  |
| 北区    | 158 | 73.4%                   | 67.1%                       | 5.7%                   | 10.1%                   | 8.2%  |

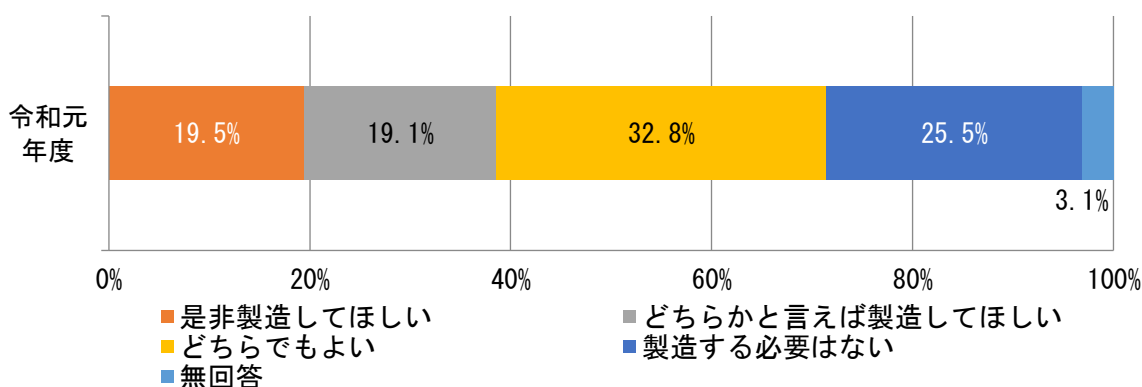
このページは空白です。

問23. 埋立ごみの特小袋を新規で製造することについてどう思われますか。(1つだけ)

令和元年度より埋立ごみの特小袋のニーズを把握するために新規で設問を追加し調査を行った。

「どちらでもよい」が32.8%で、次いで「製造する必要はない」が25.5%、「ぜひ製造してほしい」19.5%となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は38.6%であり「製造する必要はない」の25.5%を上回っている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「是非製造してほしい」は20歳代が27.5%と最も高く、次いで80歳代(25.8%)、30歳代(22.9%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は60歳代が21.8%と最も高く、次いで50歳代(20.7%)、70歳代と80歳代(19.4%)となっている。

「どちらでもよい」は20歳代が38.8%と最も高く、次いで60歳代(35.5%)、40歳代(35.2%)となっている。

「製造する必要はない」は70歳代が28.3%と最も高く、次いで40歳代(27.5%)、60歳代(26.4%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は80歳代が45.2%と最も高く、次いで20歳代(43.8%)、30歳代(41.7%)となっている。

職業別：「是非製造してほしい」は公務員が26.8%と最も高く、次いで無職(20.2%)、会社員(19.7%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は農林漁業が25.0%と最も高く、次いで学生(21.4%)、無職(19.7%)となっている。

「どちらでもよい」は学生が57.1%と最も高く、次いで自営業(40.2%)、その他(36.9%)となっている。

「製造する必要はない」は会社員が26.9%と最も高く、次いで自営業と公務員(25.6%)、農林漁業(25.0%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は公務員が46.3%と最も高く、次いで農林漁業(41.7%)、無職(39.9%)となっている。

地区別：「是非製造してほしい」は北区が22.2%と最も高く、次いで中央区

(21.9%)、南区(18.5%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は西区が26.1%と最も高く、次いで東区(20.3%)、北区(20.2%)となっている。

「どちらでもよい」は東区が34.8%と最も高く、次いで中央区(33.1%)、北区(31.8%)となっている。

「製造する必要はない」は南区が31.9%と最も高く、次いで東区(24.6%)、中央区(23.5%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は西区が44.4%と最も高く、次いで北区(42.4%)、中央区(40.4%)となっている。

■属性別回答

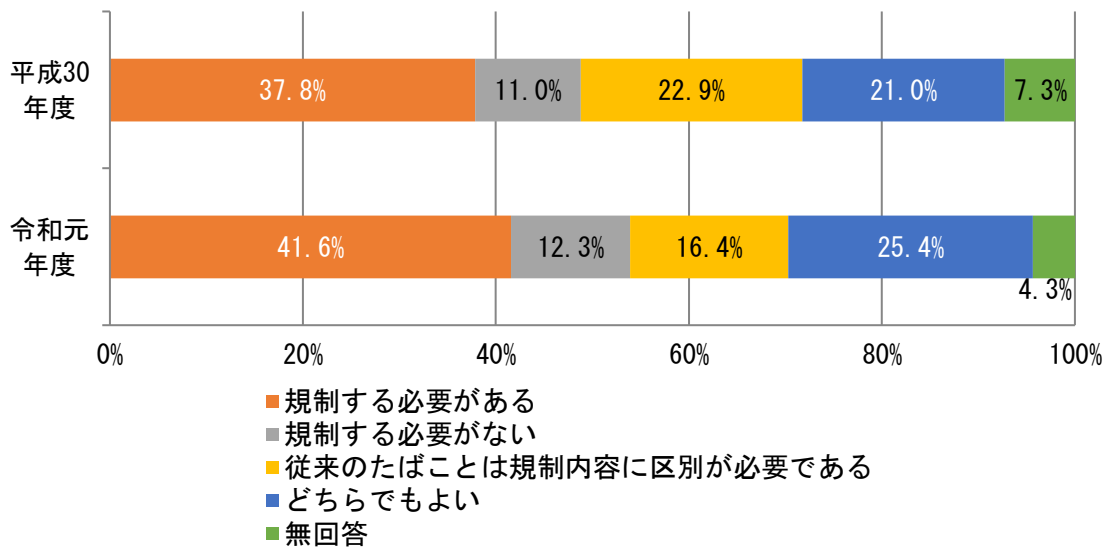
|      | 合計    | 是非製造してほしい | どちらかといえば製造してほしい | どちらでもよい | 製造する必要はない | 無回答   |
|------|-------|-----------|-----------------|---------|-----------|-------|
| 全体   | 1,130 | 19.5%     | 19.1%           | 32.8%   | 25.5%     | 3.1%  |
| 年齢別  |       |           |                 |         |           |       |
| 20歳代 | 80    | 27.5%     | 16.3%           | 38.8%   | 17.5%     | —     |
| 30歳代 | 144   | 22.9%     | 18.8%           | 34.7%   | 23.6%     | —     |
| 40歳代 | 193   | 19.7%     | 17.1%           | 35.2%   | 27.5%     | 0.5%  |
| 50歳代 | 184   | 18.5%     | 20.7%           | 34.8%   | 25.0%     | 1.1%  |
| 60歳代 | 220   | 14.5%     | 21.8%           | 35.5%   | 26.4%     | 1.8%  |
| 70歳代 | 191   | 18.3%     | 19.4%           | 27.7%   | 28.3%     | 6.3%  |
| 80歳代 | 93    | 25.8%     | 19.4%           | 17.2%   | 22.6%     | 15.1% |
| 職業別  |       |           |                 |         |           |       |
| 会社員  | 375   | 19.7%     | 19.5%           | 33.3%   | 26.9%     | 0.5%  |
| 自営業  | 82    | 15.9%     | 17.1%           | 40.2%   | 25.6%     | 1.2%  |
| 農林漁業 | 12    | 16.7%     | 25.0%           | 25.0%   | 25.0%     | 8.3%  |
| 公務員  | 82    | 26.8%     | 19.5%           | 28.0%   | 25.6%     | —     |
| 学生   | 14    | 7.1%      | 21.4%           | 57.1%   | 14.3%     | —     |
| 無職   | 396   | 20.2%     | 19.7%           | 29.3%   | 24.5%     | 6.3%  |
| その他  | 141   | 17.0%     | 19.1%           | 36.9%   | 24.8%     | 2.1%  |
| 地区別  |       |           |                 |         |           |       |
| 中央区  | 260   | 21.9%     | 18.5%           | 33.1%   | 23.5%     | 3.1%  |
| 東区   | 276   | 18.1%     | 20.3%           | 34.8%   | 24.6%     | 2.2%  |
| 西区   | 142   | 18.3%     | 26.1%           | 31.0%   | 21.8%     | 2.8%  |
| 南区   | 216   | 18.5%     | 14.8%           | 31.5%   | 31.9%     | 3.2%  |
| 北区   | 198   | 22.2%     | 20.2%           | 31.8%   | 23.2%     | 2.5%  |

## ■「受動喫煙防止」について

問 2 4. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が 41.6%で最も高く、次いで「どちらでもよい」が 25.4%「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」が 16.4%となっている。

前回調査と比較すると、「規制する必要がある」と「規制する必要はない」、「どちらでもよい」はそれぞれ 3.8 ポイント、1.3 ポイント、4.4 ポイント増加し、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」のみ 6.5 ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「規制する必要がある」は 80 歳代が 46.2%と最も高く、「規制する必要がない」は 70 歳代が 15.2%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は 20 歳代が 25.0%、「どちらでもよい」は 70 歳代が 30.9%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は公務員が 51.2%と最も高く、「規制する必要がない」は農林漁業が 25.0%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は学生が 28.6%、「どちらでもよい」はその他が 35.5%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」は西区が 47.9%と最も高く、「規制する必要がない」は南区が 14.4%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は東区が 19.9%、「どちらでもよい」は中央区が 29.6%と最も高くなっている。

■属性別回答

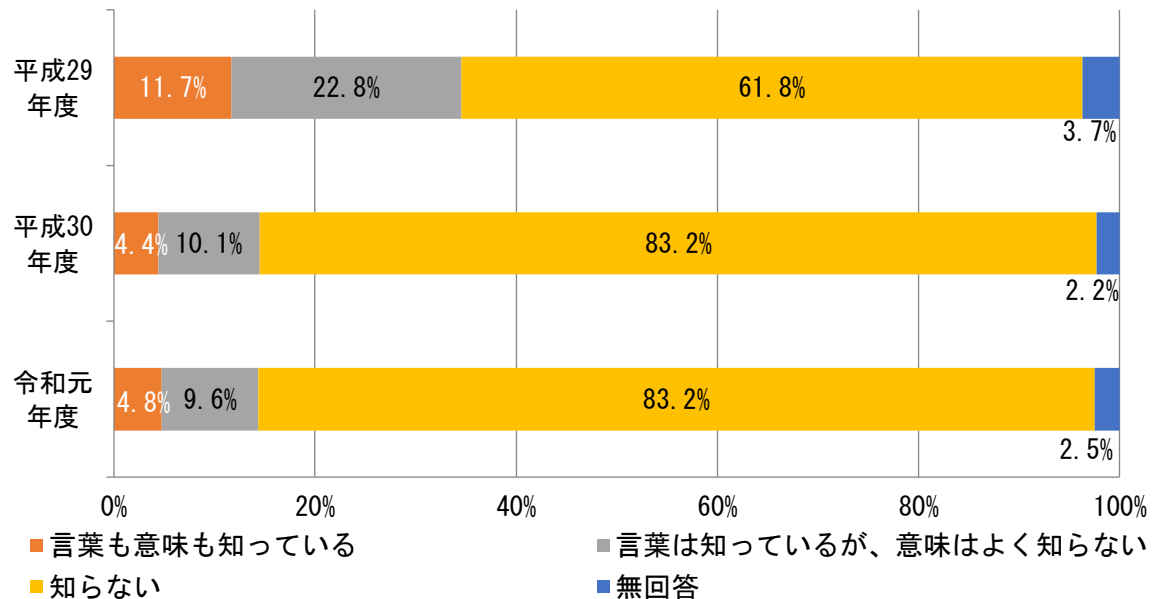
|      | 合計    | 規制する必要がある | 規制する必要がない | 従来のたばこは<br>規制内容に区別が必要である | どちらでもよい | 無回答   |
|------|-------|-----------|-----------|--------------------------|---------|-------|
| 全体   | 1,130 | 41.6%     | 12.3%     | 16.4%                    | 25.4%   | 4.3%  |
| 年齢別  |       |           |           |                          |         |       |
| 20歳代 | 80    | 45.0%     | 13.8%     | 25.0%                    | 16.3%   | —     |
| 30歳代 | 144   | 42.4%     | 10.4%     | 17.4%                    | 29.2%   | 0.7%  |
| 40歳代 | 193   | 45.1%     | 14.0%     | 17.6%                    | 23.3%   | —     |
| 50歳代 | 184   | 40.2%     | 13.0%     | 17.9%                    | 26.6%   | 2.2%  |
| 60歳代 | 220   | 41.8%     | 10.9%     | 20.0%                    | 22.7%   | 4.5%  |
| 70歳代 | 191   | 35.1%     | 15.2%     | 9.9%                     | 30.9%   | 8.9%  |
| 80歳代 | 93    | 46.2%     | 7.5%      | 6.5%                     | 24.7%   | 15.1% |
| 職業別  |       |           |           |                          |         |       |
| 会社員  | 375   | 44.8%     | 14.9%     | 17.9%                    | 21.3%   | 1.1%  |
| 自営業  | 82    | 35.4%     | 18.3%     | 17.1%                    | 25.6%   | 3.7%  |
| 農林漁業 | 12    | 41.7%     | 25.0%     | 8.3%                     | 16.7%   | 8.3%  |
| 公務員  | 82    | 51.2%     | 9.8%      | 19.5%                    | 19.5%   | —     |
| 学生   | 14    | 35.7%     | 21.4%     | 28.6%                    | 14.3%   | —     |
| 無職   | 396   | 38.1%     | 11.6%     | 14.1%                    | 27.8%   | 8.3%  |
| その他  | 141   | 42.6%     | 2.8%      | 16.3%                    | 35.5%   | 2.8%  |
| 地区別  |       |           |           |                          |         |       |
| 中央区  | 260   | 36.5%     | 10.0%     | 18.1%                    | 29.6%   | 5.8%  |
| 東区   | 276   | 39.9%     | 12.3%     | 19.9%                    | 25.7%   | 2.2%  |
| 西区   | 142   | 47.9%     | 12.0%     | 14.1%                    | 22.5%   | 3.5%  |
| 南区   | 216   | 44.9%     | 14.4%     | 13.0%                    | 23.6%   | 4.2%  |
| 北区   | 198   | 43.4%     | 13.6%     | 15.2%                    | 23.7%   | 4.0%  |

## ■「COOL CHOICE」について

### 問25.「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が83.2%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が9.6%、「言葉も意味も知っている」が4.8%となっている。

前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は14.5%から14.4%と変化していない。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」は50歳代が7.1%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は70歳代が14.7%、「知らない」は20歳代が88.8%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は60歳代が17.7%と最も高く、次いで70歳代（16.8%）、30歳代（15.3%）となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」は公務員が9.8%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」はその他が14.9%、「知らない」は学生が100%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合はその他が22.0%と最も高く、次いで公務員（20.8%）、無職（13.9%）となっている。

地区別：「言葉も意味も知っている」は中央区が6.5%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は西区が12.0%、「知らない」は北区が86.9%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」



い」を合わせた割合は中央区が18.4%と最も高く、次いで西区（16.2%）、東区（14.1%）となっている。

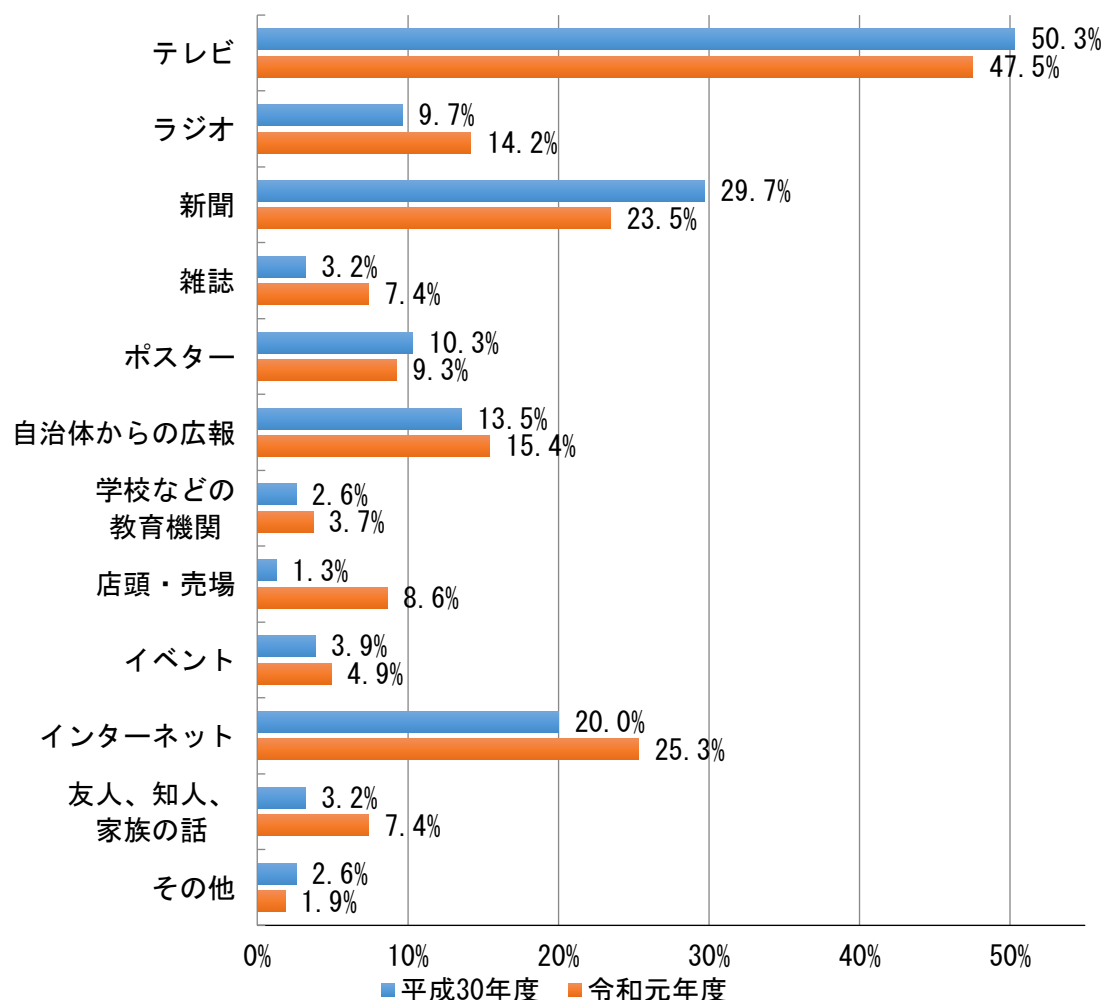
■属性別回答

|       | 合計    | 言葉も意味も知っている | 言葉は知っているが、意味はよく知らない | 知らない   | 無回答  |
|-------|-------|-------------|---------------------|--------|------|
| 全体    | 1,130 | 4.8%        | 9.6%                | 83.2%  | 2.5% |
| 年齢別   |       |             |                     |        |      |
| 20 歳代 | 80    | 2.5%        | 8.8%                | 88.8%  | —    |
| 30 歳代 | 144   | 4.2%        | 11.1%               | 84.7%  | —    |
| 40 歳代 | 193   | 4.1%        | 6.7%                | 88.1%  | 1.0% |
| 50 歳代 | 184   | 7.1%        | 7.6%                | 82.6%  | 2.7% |
| 60 歳代 | 220   | 6.8%        | 10.9%               | 80.0%  | 2.3% |
| 70 歳代 | 191   | 2.1%        | 14.7%               | 79.6%  | 3.7% |
| 80 歳代 | 93    | 5.4%        | 4.3%                | 81.7%  | 8.6% |
| 職業別   |       |             |                     |        |      |
| 会社員   | 375   | 5.3%        | 6.7%                | 86.4%  | 1.6% |
| 自営業   | 82    | 3.7%        | 7.3%                | 86.6%  | 2.4% |
| 農林漁業  | 12    | —           | 8.3%                | 83.3%  | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 9.8%        | 11.0%               | 79.3%  | —    |
| 学生    | 14    | —           | —                   | 100.0% | —    |
| 無職    | 396   | 3.0%        | 10.9%               | 82.3%  | 3.8% |
| その他   | 141   | 7.1%        | 14.9%               | 76.6%  | 1.4% |
| 地区別   |       |             |                     |        |      |
| 中央区   | 260   | 6.5%        | 11.9%               | 78.5%  | 3.1% |
| 東区    | 276   | 4.0%        | 10.1%               | 84.8%  | 1.1% |
| 西区    | 142   | 4.2%        | 12.0%               | 81.0%  | 2.8% |
| 南区    | 216   | 4.2%        | 8.8%                | 85.2%  | 1.9% |
| 北区    | 198   | 5.1%        | 5.6%                | 86.9%  | 2.5% |

問25-1. (問25. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問25. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した162人については、「テレビ」が47.5%と最も高く、次いで「インターネット」が25.3%「新聞」が23.5%となっている。

前回調査と比較すると、「テレビ」、「新聞」、「ポスター」の割合が減少している。



#### 【参考】

「その他」の内容  
特段の記載なし

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「テレビ」、「ラジオ」、「自治体からの広報」、「友人、知人、家族の話」は北

区が最も高く、「新聞」、「ポスター」、「学校などの教育機関」、「イベント」は東区が、「雑誌」は中央区が、「店頭・売場」、「インターネット」は南区が最も高くなっている。

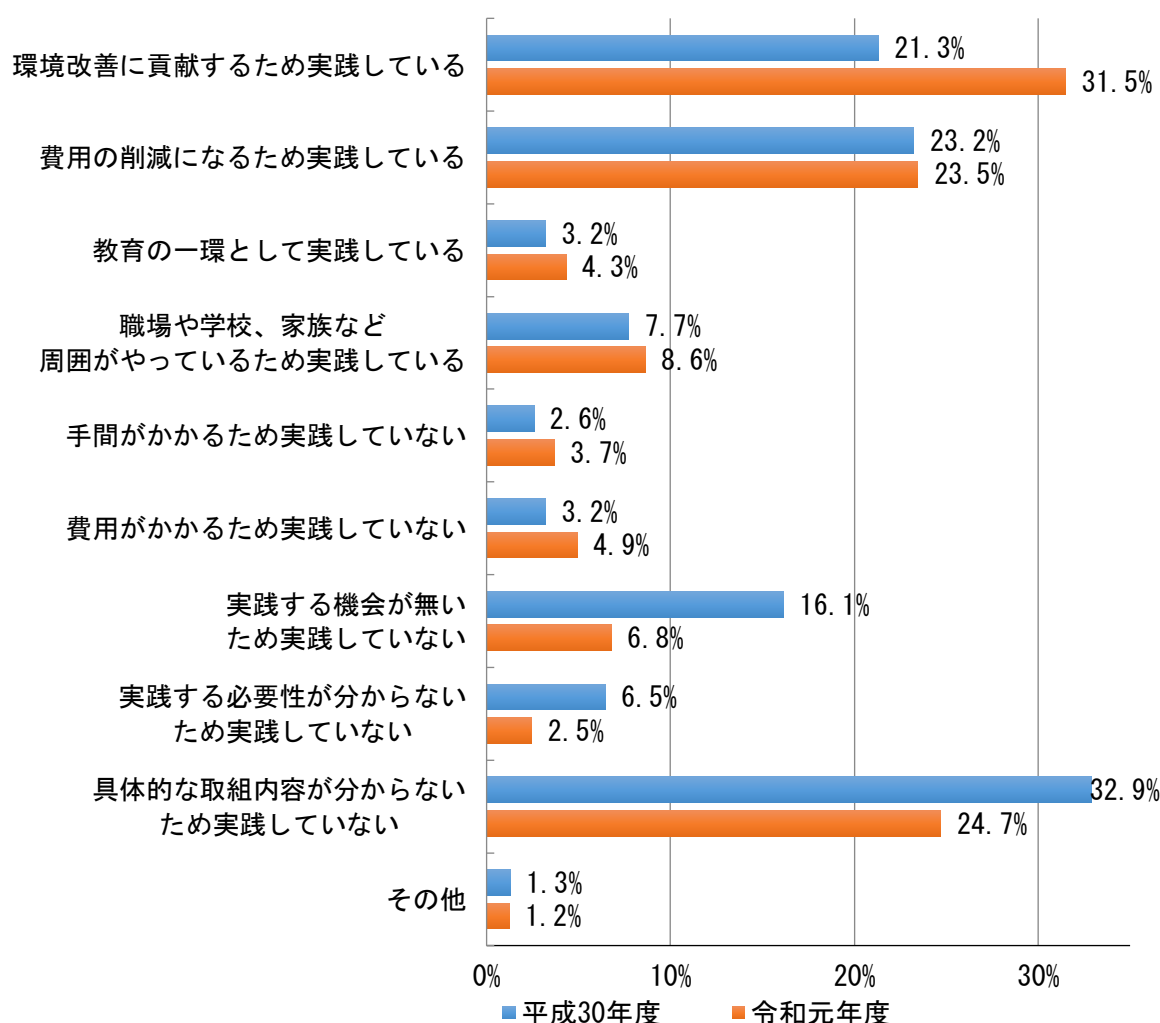
■属性別回答

|       | 合計  | テレビ   | ラジオ   | 新聞    | 雑誌    | ポスター  | 自治体からの広報 | 学校などの教育機関 | 店頭・売場 | イベント  | インターネット | 友人、知人、家族の話 | その他  |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-----------|-------|-------|---------|------------|------|
| 全体    | 162 | 47.5% | 14.2% | 23.5% | 7.4%  | 9.3%  | 15.4%    | 3.7%      | 8.6%  | 4.9%  | 25.3%   | 7.4%       | 1.9% |
| 年齢別   |     |       |       |       |       |       |          |           |       |       |         |            |      |
| 20 歳代 | 9   | 44.4% | —     | —     | —     | 22.2% | 22.2%    | 11.1%     | 22.2% | —     | 11.1%   | —          | —    |
| 30 歳代 | 22  | 22.7% | 13.6% | 4.5%  | —     | 18.2% | 18.2%    | —         | 27.3% | 4.5%  | 18.2%   | 4.5%       | 9.1% |
| 40 歳代 | 21  | 33.3% | 14.3% | 14.3% | 4.8%  | 14.3% | 14.3%    | 4.8%      | —     | 14.3% | 42.9%   | —          | —    |
| 50 歳代 | 27  | 48.1% | 18.5% | 22.2% | 14.8% | 7.4%  | 18.5%    | 7.4%      | 3.7%  | 7.4%  | 25.9%   | 11.1%      | —    |
| 60 歳代 | 39  | 48.7% | 12.8% | 20.5% | 10.3% | 2.6%  | 15.4%    | 5.1%      | 7.7%  | 5.1%  | 28.2%   | 10.3%      | 2.6% |
| 70 歳代 | 32  | 65.6% | 15.6% | 43.8% | 3.1%  | 9.4%  | 3.1%     | —         | 6.3%  | —     | 15.6%   | 9.4%       | —    |
| 80 歳代 | 9   | 66.7% | 22.2% | 55.6% | 22.2% | —     | 33.3%    | —         | —     | —     | 11.1%   | 11.1%      | —    |
| 職業別   |     |       |       |       |       |       |          |           |       |       |         |            |      |
| 会社員   | 45  | 35.6% | 17.8% | 13.3% | 4.4%  | 11.1% | 22.2%    | —         | 15.6% | —     | 31.1%   | 6.7%       | 4.4% |
| 自営業   | 9   | 77.8% | 22.2% | 44.4% | —     | —     | —        | —         | —     | —     | 22.2%   | —          | —    |
| 農林漁業  | 1   | —     | 100%  | —     | —     | —     | —        | —         | —     | —     | —       | —          | —    |
| 公務員   | 17  | 47.1% | 11.8% | 5.9%  | —     | 23.5% | 35.3%    | 23.5%     | 11.8% | 11.8% | 29.4%   | —          | —    |
| 学生    | 0   | —     | —     | —     | —     | —     | —        | —         | —     | —     | —       | —          | —    |
| 無職    | 55  | 52.7% | 12.7% | 30.9% | 12.7% | 5.5%  | 10.9%    | —         | 5.5%  | 3.6%  | 18.2%   | 10.9%      | —    |
| その他   | 31  | 48.4% | 9.7%  | 29.0% | 9.7%  | 9.7%  | 6.5%     | 6.5%      | 6.5%  | 12.9% | 19.4%   | 9.7%       | 3.2% |
| 地区別   |     |       |       |       |       |       |          |           |       |       |         |            |      |
| 中央区   | 48  | 56.3% | 14.6% | 22.9% | 14.6% | 8.3%  | 18.8%    | 6.3%      | 8.3%  | 4.2%  | 27.1%   | 6.3%       | —    |
| 東区    | 39  | 46.2% | 15.4% | 28.2% | 2.6%  | 12.8% | 15.4%    | 7.7%      | 10.3% | 10.3% | 20.5%   | 7.7%       | —    |
| 西区    | 23  | 43.5% | 13.0% | 26.1% | 4.3%  | 4.3%  | 4.3%     | —         | 4.3%  | —     | 17.4%   | 8.7%       | —    |
| 南区    | 28  | 25.0% | 7.1%  | 17.9% | 3.6%  | 10.7% | 10.7%    | —         | 14.3% | 3.6%  | 28.6%   | 7.1%       | 7.1% |
| 北区    | 21  | 61.9% | 23.8% | 19.0% | 9.5%  | 9.5%  | 23.8%    | —         | 4.8%  | 4.8%  | 23.8%   | 9.5%       | 4.8% |

問25-2. (問25. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。(複数回答可)

問25. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した162人については、「環境改善に貢献するため実践している」が31.5%で最も高く、次いで「具体的な取組方法が分からないため実践していない」が24.7%、「費用の削減になるため実践している」が23.5%となっている。

実践している回答肢4項目の合計67.9ポイントに対し、実践していない回答肢5項目の合計が42.6ポイントであり、前回調査(実践:55.4ポイント、非実践:61.3ポイント)と比較し実践行動に移行した人が増加している。



#### 【参考】

「その他」の内容  
特段の記載なし

#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：実践している割合は北区（85.8ポイント）が最も高く、次いで中央区（81.2ポイント）、南区（64.3ポイント）となっており、実践していない割合は西区（56.4ポイント）が最も高く、次いで東区（53.9ポイント）、南区（35.7ポイント）となっている。

■属性別回答

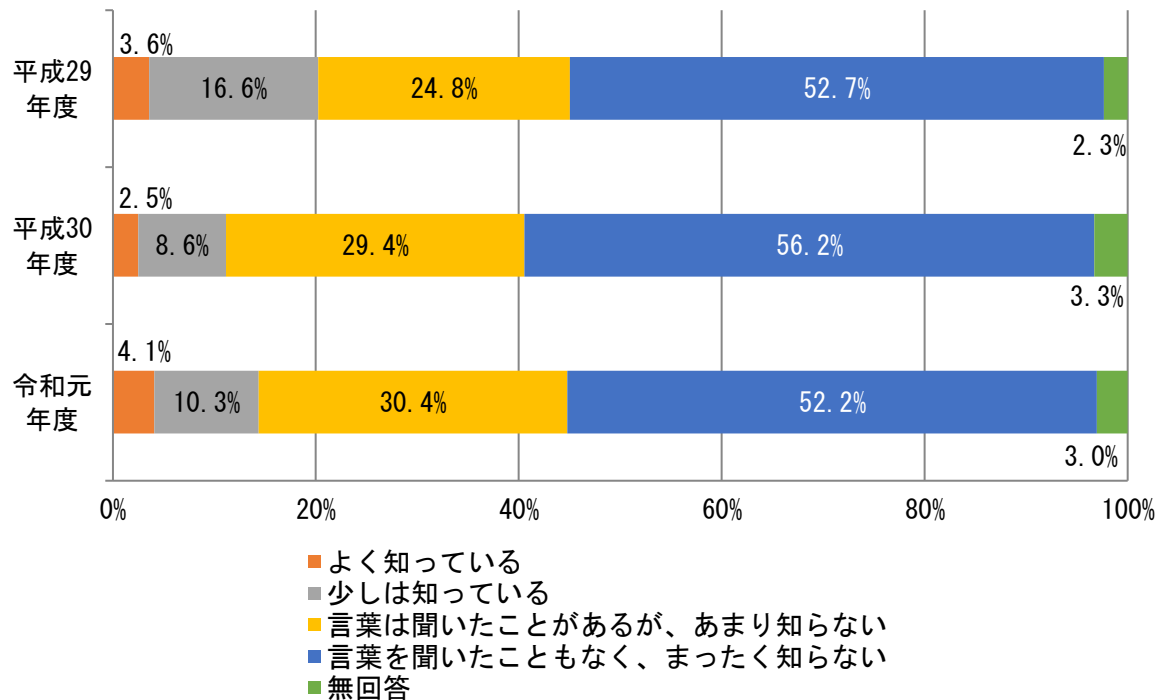
|      | 合計  | 実践している      |            |          |                      | 実践していない  |          |             |                 |                  | その他   |
|------|-----|-------------|------------|----------|----------------------|----------|----------|-------------|-----------------|------------------|-------|
|      |     | 環境改善に貢献するため | 費用の削減になるため | 教育の一環として | 職場や学校、家族など周囲がやっているため | 手間がかかるため | 費用がかかるため | 実践する機会が無いため | 実践する必要性が分からないため | 具体的な取組内容が分からないため |       |
| 全体   | 162 | 31.5%       | 23.5%      | 4.3%     | 8.6%                 | 3.7%     | 4.9%     | 6.8%        | 2.5%            | 24.7%            | 1.2%  |
| 年齢別  |     |             |            |          |                      |          |          |             |                 |                  |       |
| 20歳代 | 9   | —           | 11.1%      | 11.1%    | —                    | 11.1%    | —        | 22.2%       | —               | 44.4%            | —     |
| 30歳代 | 22  | 13.6%       | 18.2%      | 4.5%     | 27.3%                | —        | 4.5%     | —           | —               | 45.5%            | —     |
| 40歳代 | 21  | 57.1%       | 19.0%      | 4.8%     | 9.5%                 | —        | —        | —           | —               | 28.6%            | 4.8%  |
| 50歳代 | 27  | 33.3%       | 22.2%      | 7.4%     | 3.7%                 | —        | 14.8%    | 7.4%        | 3.7%            | 14.8%            | —     |
| 60歳代 | 39  | 28.2%       | 25.6%      | 2.6%     | 12.8%                | 7.7%     | 5.1%     | 5.1%        | 2.6%            | 23.1%            | —     |
| 70歳代 | 32  | 28.1%       | 25.0%      | 3.1%     | —                    | 6.3%     | 3.1%     | 9.4%        | 6.3%            | 18.8%            | 3.1%  |
| 80歳代 | 9   | 66.7%       | 44.4%      | —        | —                    | —        | —        | 22.2%       | —               | —                | —     |
| 職業別  |     |             |            |          |                      |          |          |             |                 |                  |       |
| 会社員  | 45  | 31.1%       | 28.9%      | 2.2%     | 15.6%                | 4.4%     | 4.4%     | 6.7%        | 4.4%            | 33.3%            | —     |
| 自営業  | 9   | 22.2%       | 33.3%      | —        | —                    | —        | —        | 22.2%       | —               | 11.1%            | 11.1% |
| 農林漁業 | 1   | —           | —          | —        | —                    | —        | —        | —           | —               | 100%             | —     |
| 公務員  | 17  | 35.3%       | 11.8%      | 23.5%    | 5.9%                 | 5.9%     | 5.9%     | 11.8%       | —               | 23.5%            | —     |
| 学生   | 0   | —           | —          | —        | —                    | —        | —        | —           | —               | —                | —     |
| 無職   | 55  | 32.7%       | 21.8%      | 1.8%     | 5.5%                 | 3.6%     | 3.6%     | 3.6%        | 1.8%            | 20.0%            | 1.8%  |
| その他  | 31  | 32.3%       | 22.6%      | 3.2%     | 9.7%                 | 3.2%     | 9.7%     | 6.5%        | 3.2%            | 19.4%            | —     |
| 地区別  |     |             |            |          |                      |          |          |             |                 |                  |       |
| 中央区  | 48  | 37.5%       | 25.0%      | 8.3%     | 10.4%                | 2.1%     | 2.1%     | 6.3%        | 4.2%            | 20.8%            | 2.1%  |
| 東区   | 39  | 25.6%       | 17.9%      | 5.1%     | 12.8%                | 7.7%     | 7.7%     | 7.7%        | 2.6%            | 28.2%            | 2.6%  |
| 西区   | 23  | 21.7%       | 17.4%      | —        | —                    | 4.3%     | 4.3%     | 13.0%       | —               | 34.8%            | —     |
| 南区   | 28  | 28.6%       | 21.4%      | 3.6%     | 10.7%                | 3.6%     | 7.1%     | 7.1%        | —               | 17.9%            | —     |
| 北区   | 21  | 42.9%       | 38.1%      | —        | 4.8%                 | —        | 4.8%     | —           | 4.8%            | 23.8%            | —     |

## ■「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について

### 問26.「ZEH」について知っていますか。（1つだけ）

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が52.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が30.4%、「少しは知っている」が10.3%、「よく知っている」が4.1%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合は14.4%であり、前回調査の11.1%から3.3ポイント増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は30歳代が23.6%と最も高く、次いで40歳代（17.6%）、50歳代（17.4%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は20歳代が92.6%と最も高く、80歳代（86.0%）、60歳代（84.6%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は公務員が25.6%と最も高く、次いで農林漁業（25.0%）、その他（18.5%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は学生が92.9%と最も高く、次いで会社員（84.3%）、自営業（84.2%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は南区が17.2%と最も高く、次いで西区（14.8%）、中央区（14.2%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともな

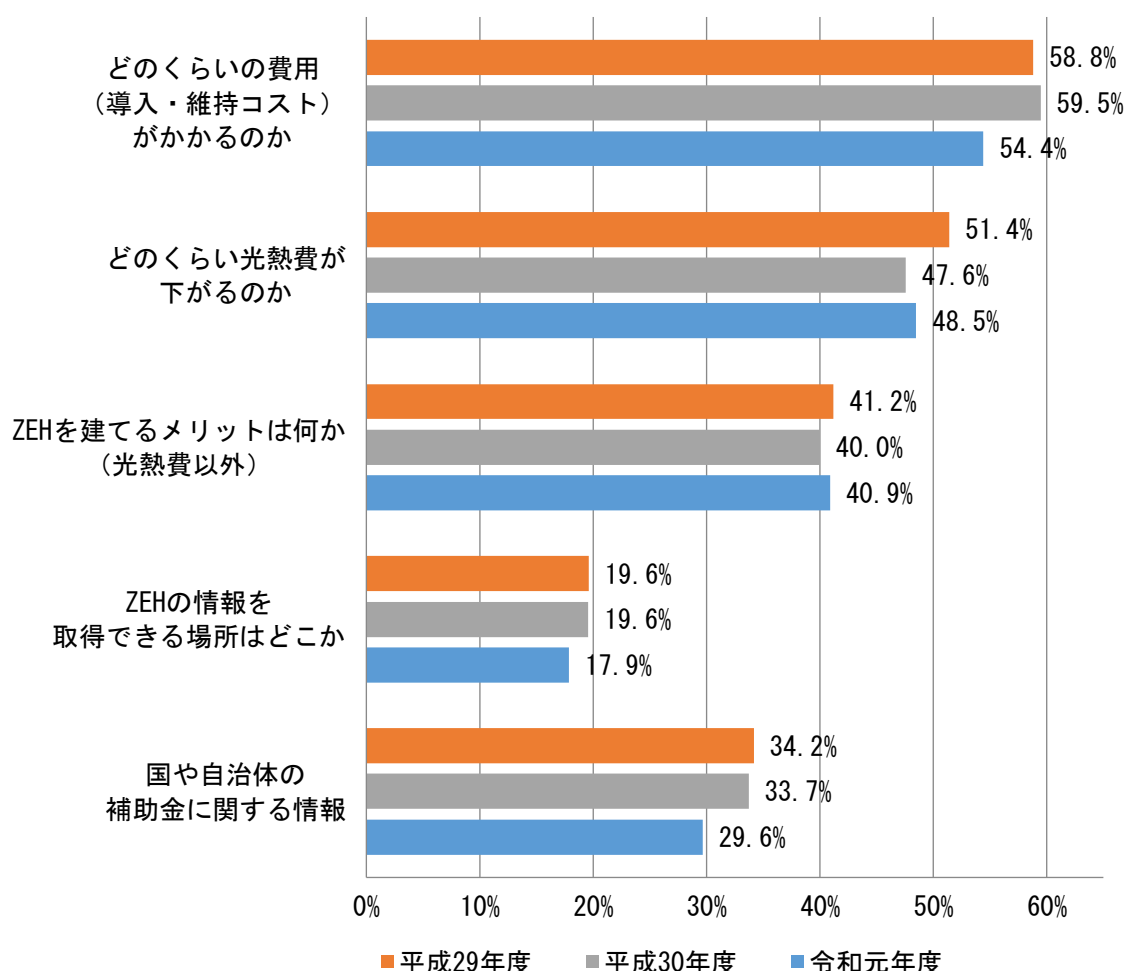
く、まったく知らない」を合わせた割合は北区が84.3%と最も高く、次いで東区（83.3%）、中央区と西区（83.1%）となっている。

■属性別回答

|      | 合計    | よく知っている | 少しは知っている | 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない | 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない | 無回答  |
|------|-------|---------|----------|----------------------|----------------------|------|
| 全体   | 1,130 | 4.1%    | 10.3%    | 30.4%                | 52.2%                | 3.0% |
| 年齢別  |       |         |          |                      |                      |      |
| 20歳代 | 80    | 3.8%    | 3.8%     | 33.8%                | 58.8%                | —    |
| 30歳代 | 144   | 8.3%    | 15.3%    | 32.6%                | 43.8%                | —    |
| 40歳代 | 193   | 4.1%    | 13.5%    | 33.2%                | 48.7%                | 0.5% |
| 50歳代 | 184   | 6.0%    | 11.4%    | 34.2%                | 46.7%                | 1.6% |
| 60歳代 | 220   | 4.1%    | 9.1%     | 32.3%                | 52.3%                | 2.3% |
| 70歳代 | 191   | 1.6%    | 9.9%     | 24.1%                | 56.5%                | 7.9% |
| 80歳代 | 93    | —       | 4.3%     | 17.2%                | 68.8%                | 9.7% |
| 職業別  |       |         |          |                      |                      |      |
| 会社員  | 375   | 4.8%    | 9.9%     | 33.6%                | 50.7%                | 1.1% |
| 自営業  | 82    | 4.9%    | 8.5%     | 36.6%                | 47.6%                | 2.4% |
| 農林漁業 | 12    | —       | 25.0%    | —                    | 75.0%                | —    |
| 公務員  | 82    | 12.2%   | 13.4%    | 26.8%                | 47.6%                | —    |
| 学生   | 14    | —       | 7.1%     | 14.3%                | 78.6%                | —    |
| 無職   | 396   | 1.5%    | 9.6%     | 25.3%                | 57.3%                | 6.3% |
| その他  | 141   | 5.7%    | 12.8%    | 38.3%                | 42.6%                | 0.7% |
| 地区別  |       |         |          |                      |                      |      |
| 中央区  | 260   | 4.2%    | 10.0%    | 31.2%                | 51.9%                | 2.7% |
| 東区   | 276   | 5.8%    | 8.0%     | 29.7%                | 53.6%                | 2.9% |
| 西区   | 142   | 4.2%    | 10.6%    | 25.4%                | 57.7%                | 2.1% |
| 南区   | 216   | 4.2%    | 13.0%    | 32.9%                | 46.3%                | 3.7% |
| 北区   | 198   | 2.0%    | 11.6%    | 30.3%                | 54.0%                | 2.0% |

問27.「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(複数回答可)

「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」が54.4%と最も高く、次いで「どのくらい光熱費が下がるのか」が48.5%、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」が40.9%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」、「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は20歳代が最も高く、「どのくらい光熱費が下がるのか」は40歳代が、「国や自治体の補助金に関する情報」は30歳代が最も高くなっている。

職業別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」と「どのくらい光熱費が下がるのか」は公務員が最も高く、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」、「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」、「国や自治体の補助金に関する情報」は学生が最も高くなっている。

地区別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」と「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は中央区が最も高く、「どのくらい光熱費が下がるのか」、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」、「国や自治体の補助金に関する情報」は南区が最も高くなっている。



■属性別回答

|       | 合計    | (導入・維持コスト)<br>どのくらいの費用<br>がかかるのか | どのくらい光熱費が下がるのか | ZEHを建てるメリットは何か<br>(光熱費以外) | ZEHの情報を<br>取得できる場所はどこか | 国や自治体の補助金に関する情報 |
|-------|-------|----------------------------------|----------------|---------------------------|------------------------|-----------------|
| 全体    | 1,130 | 54.4%                            | 48.5%          | 40.9%                     | 17.9%                  | 29.6%           |
| 年齢別   |       |                                  |                |                           |                        |                 |
| 20 歳代 | 80    | 70.0%                            | 58.8%          | 62.5%                     | 26.3%                  | 36.3%           |
| 30 歳代 | 144   | 59.0%                            | 56.9%          | 54.2%                     | 20.1%                  | 41.7%           |
| 40 歳代 | 193   | 66.8%                            | 62.2%          | 42.0%                     | 18.7%                  | 34.2%           |
| 50 歳代 | 184   | 55.4%                            | 43.5%          | 44.0%                     | 15.8%                  | 30.4%           |
| 60 歳代 | 220   | 51.8%                            | 46.8%          | 40.9%                     | 19.5%                  | 31.4%           |
| 70 歳代 | 191   | 46.6%                            | 39.8%          | 30.4%                     | 15.2%                  | 17.3%           |
| 80 歳代 | 93    | 31.2%                            | 29.0%          | 18.3%                     | 12.9%                  | 17.2%           |
| 職業別   |       |                                  |                |                           |                        |                 |
| 会社員   | 375   | 61.6%                            | 54.7%          | 45.3%                     | 21.3%                  | 35.2%           |
| 自営業   | 82    | 47.6%                            | 47.6%          | 35.4%                     | 25.6%                  | 32.9%           |
| 農林漁業  | 12    | 25.0%                            | 25.0%          | 16.7%                     | —                      | 25.0%           |
| 公務員   | 82    | 65.9%                            | 56.1%          | 47.6%                     | 9.8%                   | 26.8%           |
| 学生    | 14    | 64.3%                            | 50.0%          | 57.1%                     | 57.1%                  | 35.7%           |
| 無職    | 396   | 47.5%                            | 39.1%          | 35.1%                     | 15.4%                  | 23.7%           |
| その他   | 141   | 56.7%                            | 56.0%          | 47.5%                     | 14.9%                  | 31.9%           |
| 地区別   |       |                                  |                |                           |                        |                 |
| 中央区   | 260   | 58.1%                            | 50.0%          | 41.2%                     | 21.2%                  | 26.2%           |
| 東区    | 276   | 52.9%                            | 48.9%          | 41.7%                     | 18.8%                  | 30.1%           |
| 西区    | 142   | 50.7%                            | 47.9%          | 42.3%                     | 19.0%                  | 30.3%           |
| 南区    | 216   | 54.2%                            | 50.9%          | 43.1%                     | 13.4%                  | 31.9%           |
| 北区    | 198   | 56.6%                            | 43.9%          | 38.9%                     | 18.2%                  | 31.8%           |

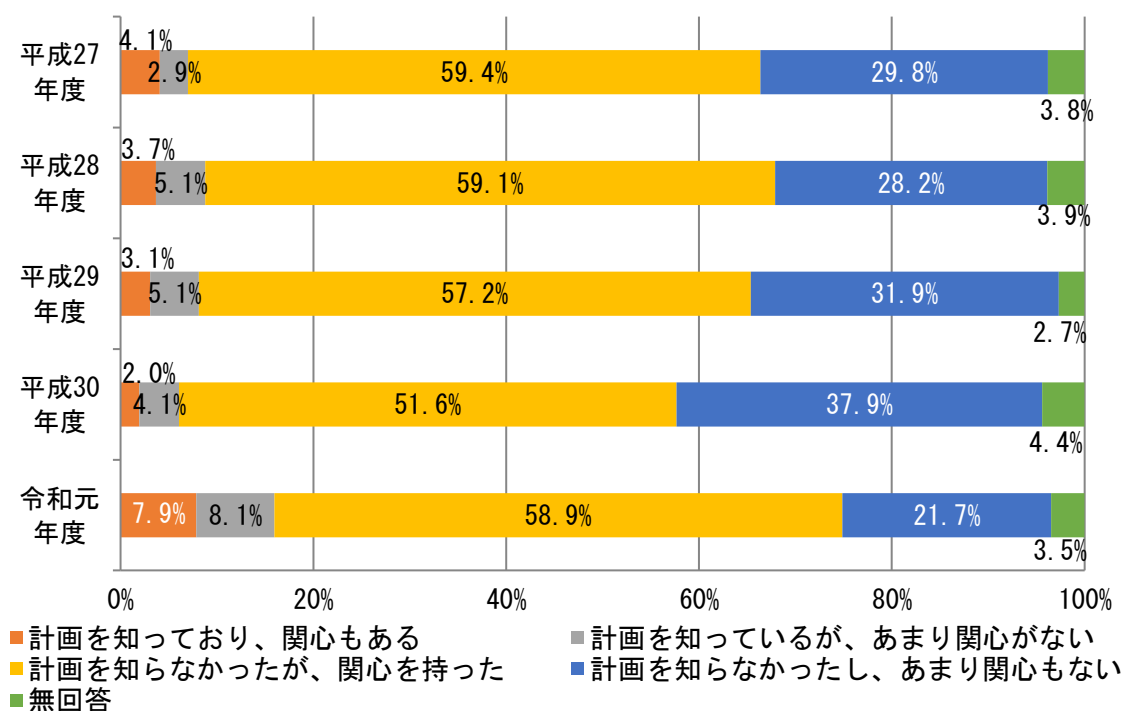
## ■「温暖化対策実行計画」について

問28.「温暖化対策実行計画」を熊本市を含む18市町村の共同で策定作業を行っていることを知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

令和元年度より『熊本市低炭素都市づくり戦略計画』を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。』との設問を修正したものである。

「計画を知らなかったが、関心を持った」が58.9%と最も高く、次いで「計画を知らなかったし、あまり関心もない」が21.7%、「計画を知っているが、あまり関心がない」が8.1%となっている。

前回に比べ、「計画を知らなかったし、あまり関心もない」が16.2ポイント減少した一方、「計画を知っており、関心もある」と「計画を知らなかったが、関心を持った」を合わせた割合は13.2ポイント増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「計画を知っており、関心もある」と「計画を知らなかったが、関心を持った」を合わせた割合は60歳代が70.0%と最も高く、次いで80歳代（69.9%）、70歳代（69.6%）となっている。

「計画を知っているが、あまり関心がない」と「計画を知らなかったし、あまり関心もない」を合わせた割合は30歳代が38.2%と最も高く、次いで40歳代（36.3%）、20歳代（33.8%）となっている。

職業別：「計画を知っており、関心もある」と「計画を知らなかったが、関心を持った」を合わせた割合はその他が70.9%と最も高く、次いで無職（68.7%）、会社員（66.4%）となっている。

「計画を知っているが、あまり関心がない」と「計画を知らなかったし、あまり関心もない」を合わせた割合は学生が42.9%と最も高く、次いで農林漁業（41.7%）、自営業と公務員（37.8%）となっている。

地区別：「計画を知っており、関心もある」と「計画を知らなかったが、関心を持った」を合わせた割合は北区が70.2%と最も高く、次いで西区（68.3%）、中央区（68.1%）となっている。

「計画を知っているが、あまり関心がない」と「計画を知らなかったし、あまり関心もない」を合わせた割合は南区が32.4%と最も高く、次いで東区（31.9%）、西区（30.3%）となっている。

# ■属性別回答

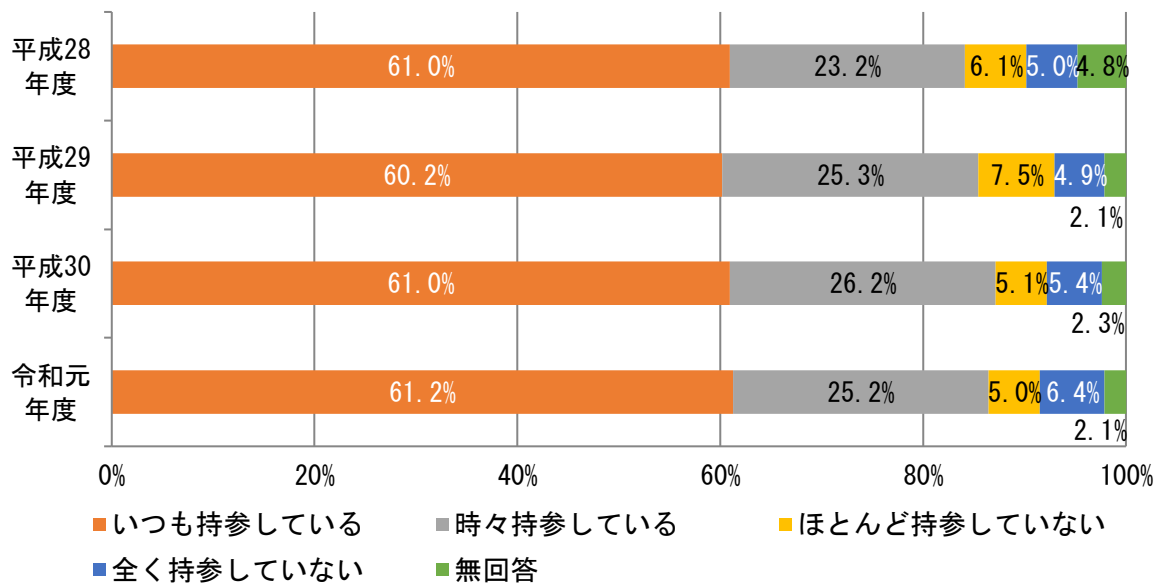
|      | 合計    | 計画を知っており、<br>関心もある | 計画を知っているが、<br>あまり関心がない | 計画を知らなかったが、<br>関心を持った | 計画を知らなかったし、<br>あまり関心もない | 無回答  |
|------|-------|--------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|------|
| 全体   | 1,130 | 7.9%               | 8.1%                   | 58.9%                 | 21.7%                   | 3.5% |
| 年齢別  |       |                    |                        |                       |                         |      |
| 20歳代 | 80    | 5.0%               | 11.3%                  | 61.3%                 | 22.5%                   | —    |
| 30歳代 | 144   | 5.6%               | 7.6%                   | 56.3%                 | 30.6%                   | —    |
| 40歳代 | 193   | 3.1%               | 5.2%                   | 59.6%                 | 31.1%                   | 1.0% |
| 50歳代 | 184   | 7.1%               | 7.6%                   | 59.8%                 | 23.9%                   | 1.6% |
| 60歳代 | 220   | 9.5%               | 10.5%                  | 60.5%                 | 16.4%                   | 3.2% |
| 70歳代 | 191   | 13.6%              | 9.4%                   | 56.0%                 | 12.0%                   | 8.9% |
| 80歳代 | 93    | 10.8%              | 3.2%                   | 59.1%                 | 17.2%                   | 9.7% |
| 職業別  |       |                    |                        |                       |                         |      |
| 会社員  | 375   | 4.5%               | 6.9%                   | 61.9%                 | 25.3%                   | 1.3% |
| 自営業  | 82    | 12.2%              | 12.2%                  | 48.8%                 | 25.6%                   | 1.2% |
| 農林漁業 | 12    | 25.0%              | —                      | 25.0%                 | 41.7%                   | 8.3% |
| 公務員  | 82    | 12.2%              | 8.5%                   | 50.0%                 | 29.3%                   | —    |
| 学生   | 14    | —                  | —                      | 57.1%                 | 42.9%                   | —    |
| 無職   | 396   | 9.1%               | 6.8%                   | 59.6%                 | 16.9%                   | 7.6% |
| その他  | 141   | 7.8%               | 12.8%                  | 63.1%                 | 16.3%                   | —    |
| 地区別  |       |                    |                        |                       |                         |      |
| 中央区  | 260   | 7.3%               | 8.8%                   | 60.8%                 | 19.2%                   | 3.8% |
| 東区   | 276   | 9.1%               | 9.1%                   | 55.4%                 | 22.8%                   | 3.6% |
| 西区   | 142   | 7.7%               | 4.2%                   | 60.6%                 | 26.1%                   | 1.4% |
| 南区   | 216   | 9.7%               | 6.9%                   | 55.1%                 | 25.5%                   | 2.8% |
| 北区   | 198   | 6.1%               | 9.6%                   | 64.1%                 | 16.7%                   | 3.5% |

## ■「レジ袋削減」について

### 問29. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。(1つだけ)

「いつも持参している」が61.2%と最も高く、次いで「時々持参している」が25.2%となっている。

前回調査と比較すると、「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は86.4%と平成30年の87.2%から0.8ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は40歳代が90.1%と最も高く、次いで60歳代(88.6%)、50歳代(86.4%)となっている。

「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は20歳代が21.3%と最も高く、次いで30歳代(16.0%)、50歳代(11.4%)となっている。

職業別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合はその他が93.6%と最も高く、次いで農林漁業(91.7%)、公務員(89.0%)となっている。

「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は学生が35.7%と最も高く、次いで自営業(20.7%)、会社員(14.7%)となっている。

地区別：「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は中央区が88.8%と最も高く、次いで西区(88.7%)、東区(87.0%)となっている。

「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」を合わせた割合は南区が13.4%と最も高く、次いで北区(13.1%)、東区(11.2%)となっている。

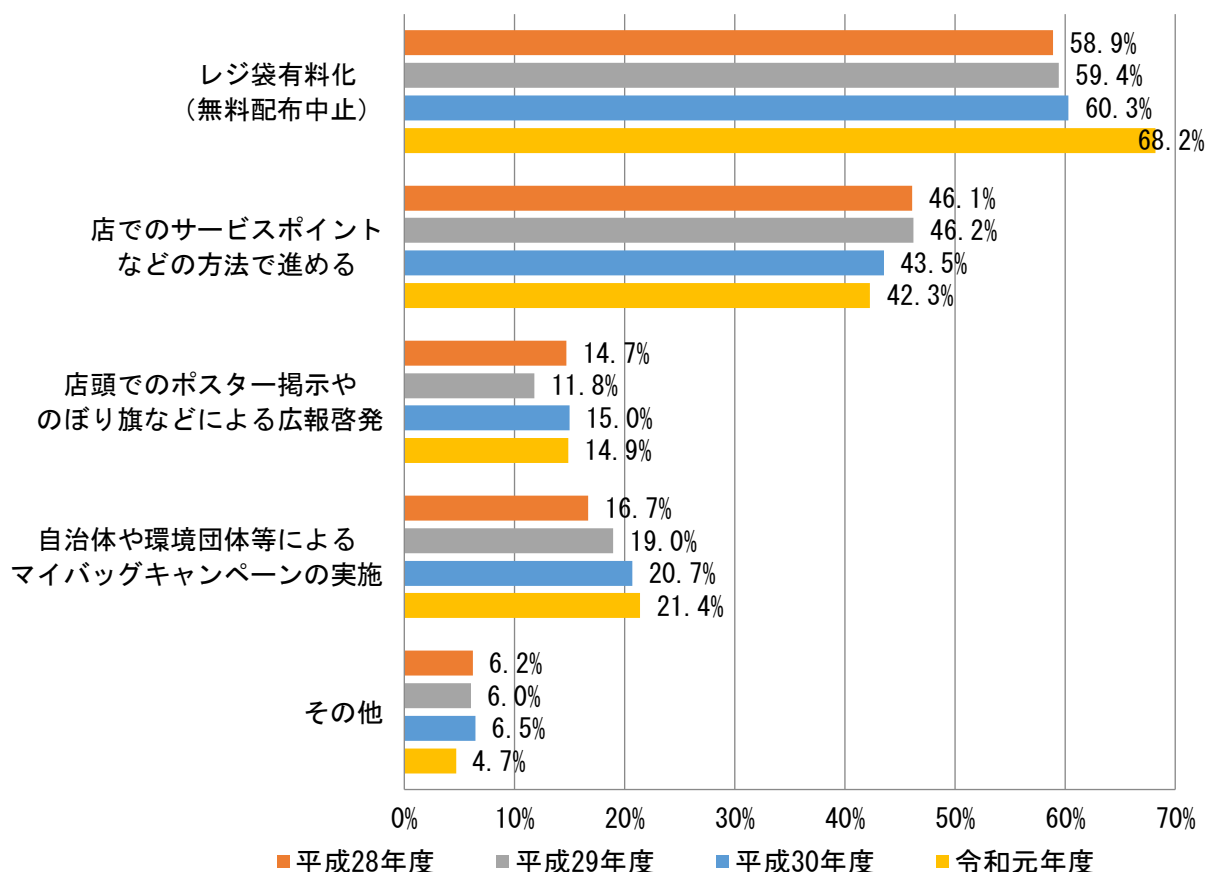
■属性別回答

|       | 合計    | いつも持参している | 時々持参している | ほとんど持参していない | 全く持参していない | 無回答  |
|-------|-------|-----------|----------|-------------|-----------|------|
| 全体    | 1,130 | 61.2%     | 25.2%    | 5.0%        | 6.4%      | 2.1% |
| 年齢別   |       |           |          |             |           |      |
| 20 歳代 | 80    | 35.0%     | 43.8%    | 8.8%        | 12.5%     | —    |
| 30 歳代 | 144   | 52.8%     | 31.3%    | 6.3%        | 9.7%      | —    |
| 40 歳代 | 193   | 52.8%     | 37.3%    | 4.7%        | 5.2%      | —    |
| 50 歳代 | 184   | 64.1%     | 22.3%    | 6.0%        | 5.4%      | 2.2% |
| 60 歳代 | 220   | 67.7%     | 20.9%    | 4.5%        | 5.5%      | 1.4% |
| 70 歳代 | 191   | 72.8%     | 12.6%    | 4.7%        | 5.8%      | 4.2% |
| 80 歳代 | 93    | 71.0%     | 14.0%    | 2.2%        | 4.3%      | 8.6% |
| 職業別   |       |           |          |             |           |      |
| 会社員   | 375   | 51.7%     | 32.5%    | 8.0%        | 6.7%      | 1.1% |
| 自営業   | 82    | 53.7%     | 25.6%    | 7.3%        | 13.4%     | —    |
| 農林漁業  | 12    | 91.7%     | —        | 8.3%        | —         | —    |
| 公務員   | 82    | 54.9%     | 34.1%    | 4.9%        | 6.1%      | —    |
| 学生    | 14    | 28.6%     | 35.7%    | 21.4%       | 14.3%     | —    |
| 無職    | 396   | 71.5%     | 15.9%    | 2.8%        | 5.3%      | 4.5% |
| その他   | 141   | 67.4%     | 26.2%    | 1.4%        | 5.0%      | —    |
| 地区別   |       |           |          |             |           |      |
| 中央区   | 260   | 56.9%     | 31.9%    | 5.0%        | 4.2%      | 1.9% |
| 東区    | 276   | 61.6%     | 25.4%    | 5.4%        | 5.8%      | 1.8% |
| 西区    | 142   | 66.2%     | 22.5%    | 5.6%        | 4.2%      | 1.4% |
| 南区    | 216   | 64.8%     | 19.0%    | 5.1%        | 8.3%      | 2.8% |
| 北区    | 198   | 61.1%     | 24.7%    | 4.5%        | 8.6%      | 1.0% |

問30. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

「レジ袋有料化（無料配布中止）」が68.2%と最も高く、次いで「店でのサービスポイントなどの方法で進める」が42.3%、「自治体や環境団体等によるマイバックキャンペーン」が21.4%となっている。

過去4年間の推移では、順位等について大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「レジ袋の有料化（無料配布中止）」は50歳代が71.2%と最も高く、「店でのサービスポイントなどの方法で進める」は30歳代が53.5%、「店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発」は70歳代が22.0%、「自治体や環境団体等によるマイバックキャンペーンの実施」は80歳代が30.1%と最も高くなっている。

職業別：「レジ袋の有料化（無料配布中止）」は会社員が72.8%と最も高く、「店でのサービスポイントなどの方法で進める」は農林漁業が58.3%、「店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発」は自営業が25.6%、「自治体や環境団体等によるマイバックキャンペーンの実施」は学生が28.6%と最も高くなっている。

地区別：「レジ袋有料化（無料配布中止）」と「店でのサービスポイントなどの方法で進める」東区がそれぞれ72.5%、46.4%と最も高く、「店頭でのポスター

一掲示やのぼり旗などによる広報啓発」は北区が18.7%、「自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施」は西区が24.6%と最も高くなっている。

■属性別回答

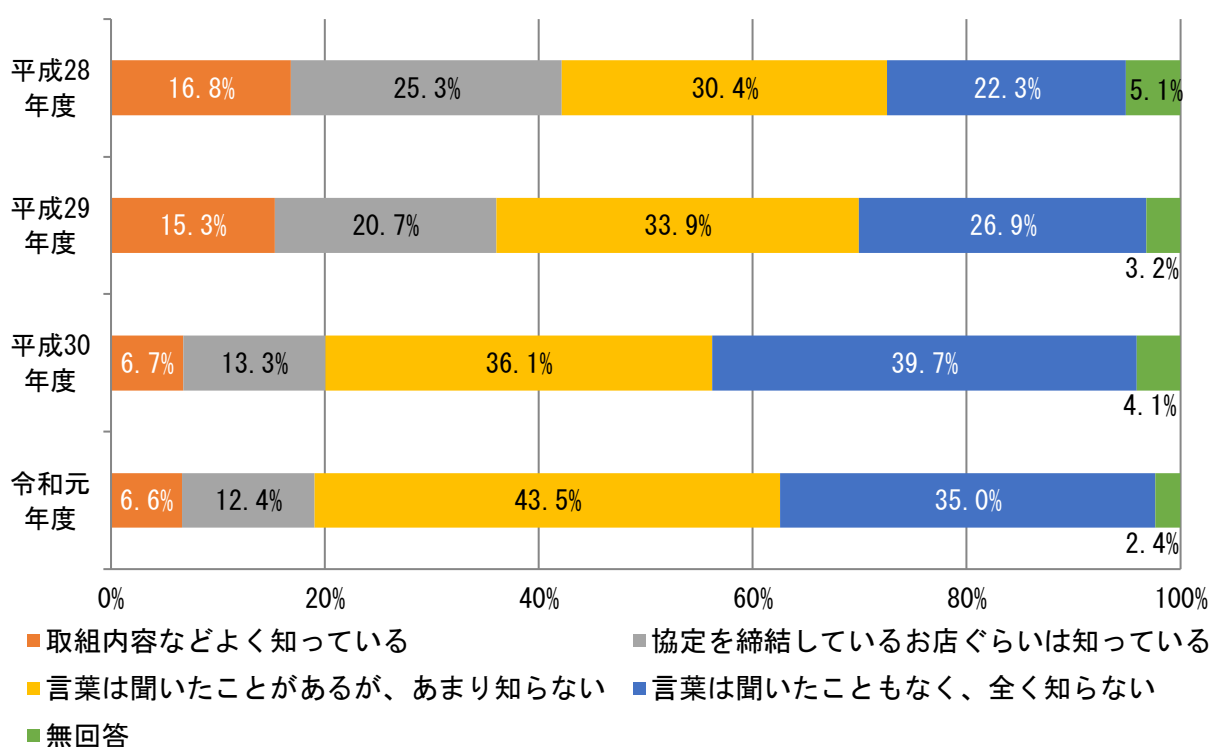
|      | 合計    | レジ袋有料化<br>(無料配布中止) | 店でのサービスポイントなどの<br>方法で進める | 店頭でのポスター掲示や<br>のぼり旗などによる広報啓発 | 自治体や環境団体等による<br>マイバッグキャンペーンの実施 | その他  |
|------|-------|--------------------|--------------------------|------------------------------|--------------------------------|------|
| 全体   | 1,130 | 68.2%              | 42.3%                    | 14.9%                        | 21.4%                          | 4.7% |
| 年齢別  |       |                    |                          |                              |                                |      |
| 20歳代 | 80    | 63.8%              | 50.0%                    | 11.3%                        | 18.8%                          | 7.5% |
| 30歳代 | 144   | 70.1%              | 53.5%                    | 13.2%                        | 18.1%                          | 5.6% |
| 40歳代 | 193   | 68.4%              | 49.7%                    | 10.4%                        | 18.1%                          | 5.7% |
| 50歳代 | 184   | 71.2%              | 40.2%                    | 13.0%                        | 16.3%                          | 7.1% |
| 60歳代 | 220   | 70.0%              | 37.3%                    | 14.1%                        | 22.7%                          | 4.5% |
| 70歳代 | 191   | 64.4%              | 37.7%                    | 22.0%                        | 26.7%                          | 2.6% |
| 80歳代 | 93    | 68.8%              | 26.9%                    | 21.5%                        | 30.1%                          | —    |
| 職業別  |       |                    |                          |                              |                                |      |
| 会社員  | 375   | 72.8%              | 42.1%                    | 11.5%                        | 18.9%                          | 6.4% |
| 自営業  | 82    | 61.0%              | 35.4%                    | 25.6%                        | 24.4%                          | 2.4% |
| 農林漁業 | 12    | 58.3%              | 58.3%                    | 8.3%                         | 8.3%                           | —    |
| 公務員  | 82    | 72.0%              | 47.6%                    | 9.8%                         | 12.2%                          | 4.9% |
| 学生   | 14    | 64.3%              | 50.0%                    | —                            | 28.6%                          | 7.1% |
| 無職   | 396   | 66.2%              | 38.4%                    | 18.9%                        | 23.7%                          | 3.5% |
| その他  | 141   | 68.1%              | 51.8%                    | 12.1%                        | 23.4%                          | 5.7% |
| 地区別  |       |                    |                          |                              |                                |      |
| 中央区  | 260   | 68.1%              | 41.5%                    | 12.7%                        | 18.8%                          | 4.6% |
| 東区   | 276   | 72.5%              | 46.4%                    | 16.3%                        | 20.3%                          | 4.0% |
| 西区   | 142   | 68.3%              | 43.7%                    | 14.1%                        | 24.6%                          | 3.5% |
| 南区   | 216   | 66.7%              | 40.7%                    | 13.0%                        | 22.7%                          | 5.1% |
| 北区   | 198   | 67.2%              | 38.4%                    | 18.7%                        | 22.7%                          | 7.1% |

問 3 1. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。(1つだけ)

「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が43.5%と最も高く、次いで「言葉は聞いたこともなく、まったく知らない」が35.0%、「協定を締結しているお店ぐらいいは知っている」が12.4%となっている。

前回調査と比較すると、「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいいは知っている」、「言葉は聞いたこともなく、全く知らない」は、平成30年度のそれぞれ6.7%、13.3%、39.7%から令和元年度はそれぞれ0.1ポイント、0.9ポイント、4.7ポイント減少している。

一方で、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」は、平成30年度の36.1%から令和元年度は7.4ポイント上昇している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいいは知っている」を合わせた割合は70歳代が34.1%と最も高く、次いで60歳代(22.8%)、80歳代(21.5%)となっている。

職業別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいいは知っている」を合わせた割合は農林漁業が25.0%と最も高く、次いで無職(22.2%)、その他(21.3%)となっている。

地区別：「取組内容などよく知っている」、「協定を締結しているお店ぐらいいは知っている」を合わせた割合は西区が21.2%と最も高く、次いで東区と北区(19.2%)、南区(19.0%)となっている。



■属性別回答

|       | 合計    | 取組内容などよく知っている | 協定を締結している<br>お店ぐらいは知っている | 言葉は聞いたことがあるが、<br>あまり知らない | 言葉は聞いたこともなく、<br>全く知らない | 無回答   |
|-------|-------|---------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|-------|
| 全体    | 1,130 | 6.6%          | 12.4%                    | 43.5%                    | 35.0%                  | 2.4%  |
| 年齢別   |       |               |                          |                          |                        |       |
| 20 歳代 | 80    | 1.3%          | 10.0%                    | 37.5%                    | 51.3%                  | —     |
| 30 歳代 | 144   | 2.8%          | 3.5%                     | 43.8%                    | 50.0%                  | —     |
| 40 歳代 | 193   | 3.1%          | 11.4%                    | 40.4%                    | 45.1%                  | —     |
| 50 歳代 | 184   | 5.4%          | 12.0%                    | 42.4%                    | 38.0%                  | 2.2%  |
| 60 歳代 | 220   | 7.3%          | 15.5%                    | 48.2%                    | 27.7%                  | 1.4%  |
| 70 歳代 | 191   | 14.7%         | 19.4%                    | 39.8%                    | 21.5%                  | 4.7%  |
| 80 歳代 | 93    | 9.7%          | 11.8%                    | 48.4%                    | 19.4%                  | 10.8% |
| 職業別   |       |               |                          |                          |                        |       |
| 会社員   | 375   | 4.3%          | 11.7%                    | 40.8%                    | 41.9%                  | 1.3%  |
| 自営業   | 82    | 9.8%          | 11.0%                    | 51.2%                    | 28.0%                  | —     |
| 農林漁業  | 12    | 8.3%          | 16.7%                    | 58.3%                    | 16.7%                  | —     |
| 公務員   | 82    | 2.4%          | 11.0%                    | 36.6%                    | 50.0%                  | —     |
| 学生    | 14    | —             | 14.3%                    | 14.3%                    | 71.4%                  | —     |
| 無職    | 396   | 8.8%          | 13.4%                    | 45.5%                    | 27.3%                  | 5.1%  |
| その他   | 141   | 7.8%          | 13.5%                    | 44.0%                    | 34.8%                  | —     |
| 地区別   |       |               |                          |                          |                        |       |
| 中央区   | 260   | 5.4%          | 12.7%                    | 41.2%                    | 38.5%                  | 2.3%  |
| 東区    | 276   | 5.8%          | 13.4%                    | 44.6%                    | 35.1%                  | 1.1%  |
| 西区    | 142   | 9.2%          | 12.0%                    | 38.0%                    | 38.0%                  | 2.8%  |
| 南区    | 216   | 8.8%          | 10.2%                    | 44.9%                    | 33.3%                  | 2.8%  |
| 北区    | 198   | 6.1%          | 13.1%                    | 47.0%                    | 31.8%                  | 2.0%  |

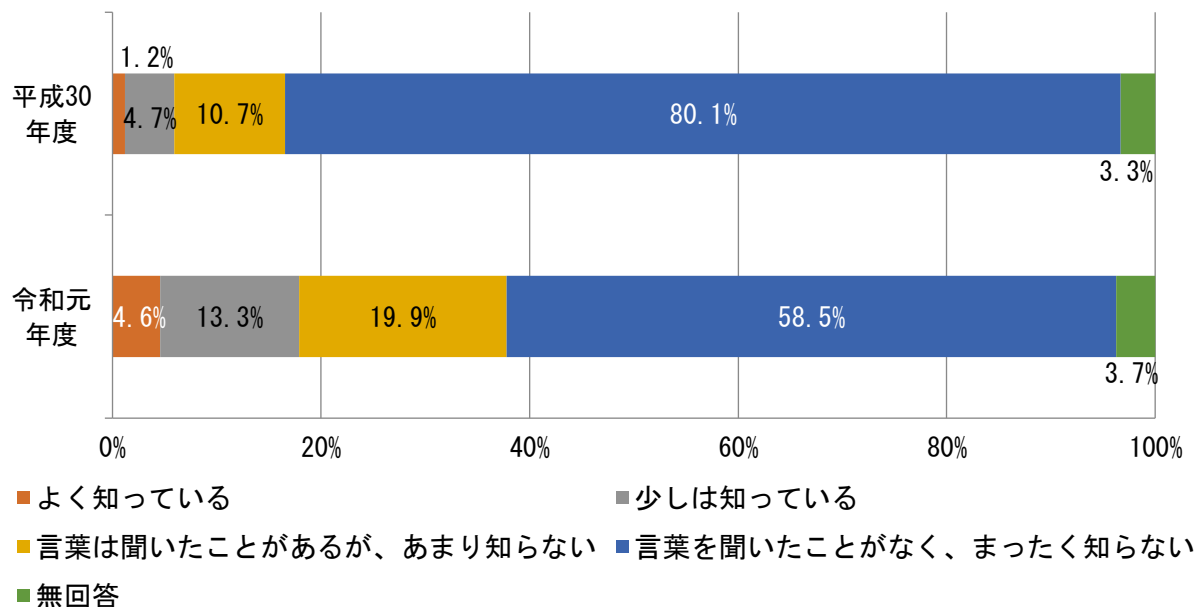
## ■「SDGs」について

### 問32.「SDGs」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が58.5%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が19.9%、「少しは知っている」が13.3%となっている。

前回調査と比較すると、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたSDGsの認知度は17.9%となり、平成30年度の5.9%から12.0ポイント増加している。なお、前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、SDGsという言葉を知っている割合は37.8%となり、平成30年度の16.6%から21.2ポイント増加している。

また、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は78.4%となり、平成30年度の90.8%から12.4ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が21.3%と最も高く、次いで30歳代(20.9%)、40歳代(20.7%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は80歳代が80.6%と最も高く、次いで60歳代(80.0%)、50歳代(79.4%)となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は公務員が42.6%と最も高く、次いで学生(28.6%)、会社員(19.2%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は自営業が91.4%と最も高

く、次いでその他（83.0%）、会社員（79.5%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は北区が22.3%と最も高く、次いで中央区（19.6%）、南区（16.7%）となっている。

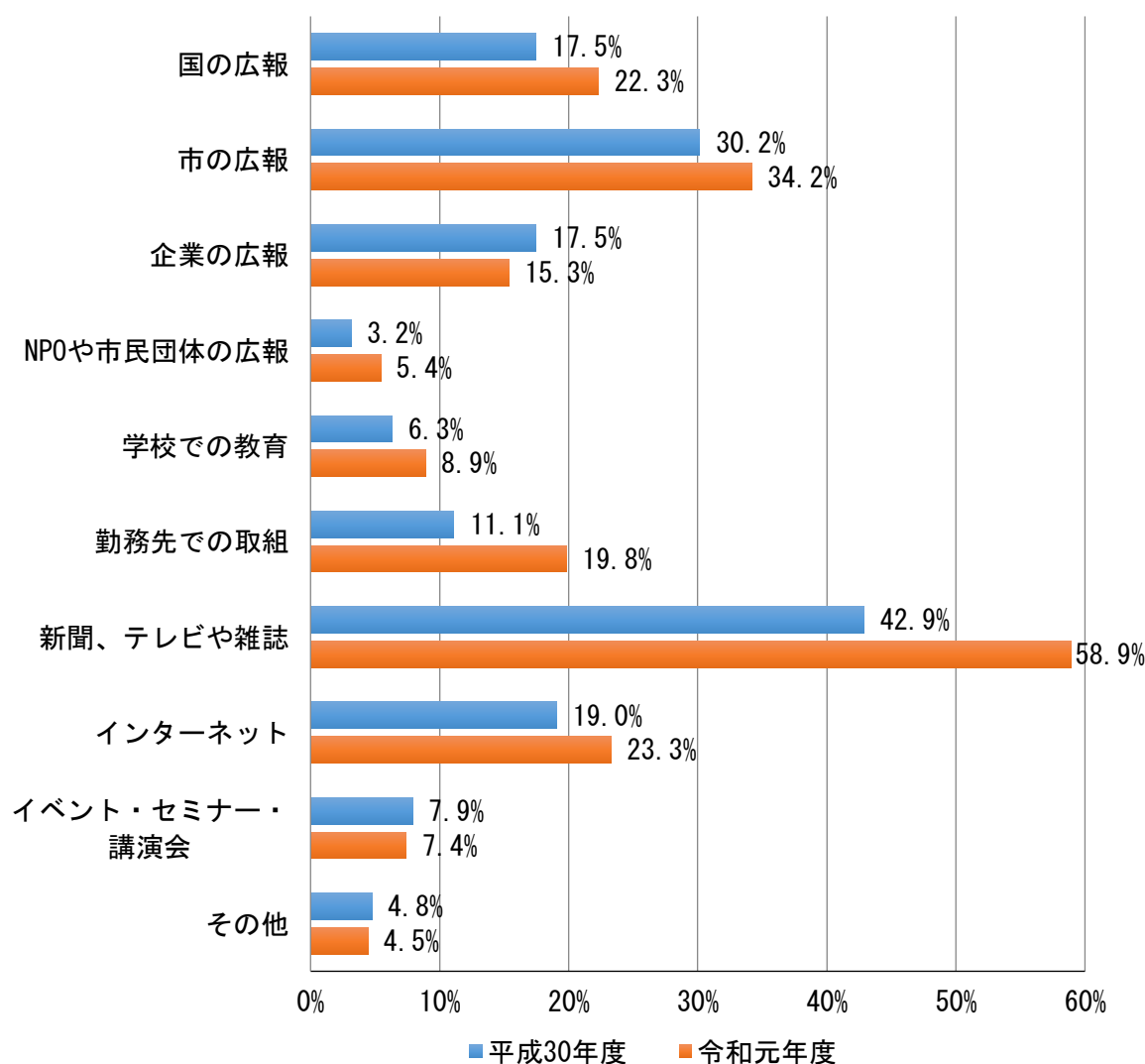
一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は東区が82.2%と最も高く、次いで西区（81.0%）、中央区（77.7%）となっている。

■属性別回答

|      | 合計    | よく知っている | 少しは知っている | 言葉は聞いたことがあるが、<br>あまり知らない | 言葉を聞いたことがなく、<br>まったく知らない | 無回答  |
|------|-------|---------|----------|--------------------------|--------------------------|------|
| 全体   | 1,130 | 4.6%    | 13.3%    | 19.9%                    | 58.5%                    | 3.7% |
| 年齢別  |       |         |          |                          |                          |      |
| 20歳代 | 80    | 8.8%    | 12.5%    | 16.3%                    | 62.5%                    | —    |
| 30歳代 | 144   | 3.5%    | 17.4%    | 15.3%                    | 63.2%                    | 0.7% |
| 40歳代 | 193   | 4.1%    | 16.6%    | 20.7%                    | 58.0%                    | 0.5% |
| 50歳代 | 184   | 8.7%    | 10.3%    | 18.5%                    | 60.9%                    | 1.6% |
| 60歳代 | 220   | 5.5%    | 10.5%    | 22.7%                    | 57.3%                    | 4.1% |
| 70歳代 | 191   | 1.6%    | 14.7%    | 24.6%                    | 50.8%                    | 8.4% |
| 80歳代 | 93    | 1.1%    | 8.6%     | 12.9%                    | 67.7%                    | 9.7% |
| 職業別  |       |         |          |                          |                          |      |
| 会社員  | 375   | 6.1%    | 13.1%    | 16.0%                    | 63.5%                    | 1.3% |
| 自営業  | 82    | 2.4%    | 4.9%     | 32.9%                    | 58.5%                    | 1.2% |
| 農林漁業 | 12    | —       | 16.7%    | 33.3%                    | 41.7%                    | 8.3% |
| 公務員  | 82    | 14.6%   | 28.0%    | 20.7%                    | 36.6%                    | —    |
| 学生   | 14    | 14.3%   | 14.3%    | —                        | 71.4%                    | —    |
| 無職   | 396   | 1.5%    | 12.6%    | 20.2%                    | 58.3%                    | 7.3% |
| その他  | 141   | 5.0%    | 10.6%    | 20.6%                    | 62.4%                    | 1.4% |
| 地区別  |       |         |          |                          |                          |      |
| 中央区  | 260   | 5.4%    | 14.2%    | 20.4%                    | 57.3%                    | 2.7% |
| 東区   | 276   | 3.3%    | 12.0%    | 22.1%                    | 60.1%                    | 2.5% |
| 西区   | 142   | 2.1%    | 14.1%    | 19.0%                    | 62.0%                    | 2.8% |
| 南区   | 216   | 5.6%    | 11.1%    | 16.7%                    | 60.2%                    | 6.5% |
| 北区   | 198   | 7.1%    | 15.2%    | 18.7%                    | 57.1%                    | 2.0% |

問32-1. (問32. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と答えられた方) 言葉を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問32. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と回答した202人については、「新聞、テレビや雑誌」が58.9%と最も高く、次いで「市の広報」が34.2%、「インターネット」が23.3%となっている。



#### 【参考】

##### 【その他について】

- ・ 北部中学校校区に居住しており、学校活動（ESD）で知った。
- ・ 仕事の取引先が取り組んでいた。
- ・ カラーホイールバッジを見て調べた。
- ・ 廃棄物処理の会社で勤務している友人から教えてもらった。
- ・ 自身が参加するボランティア活動

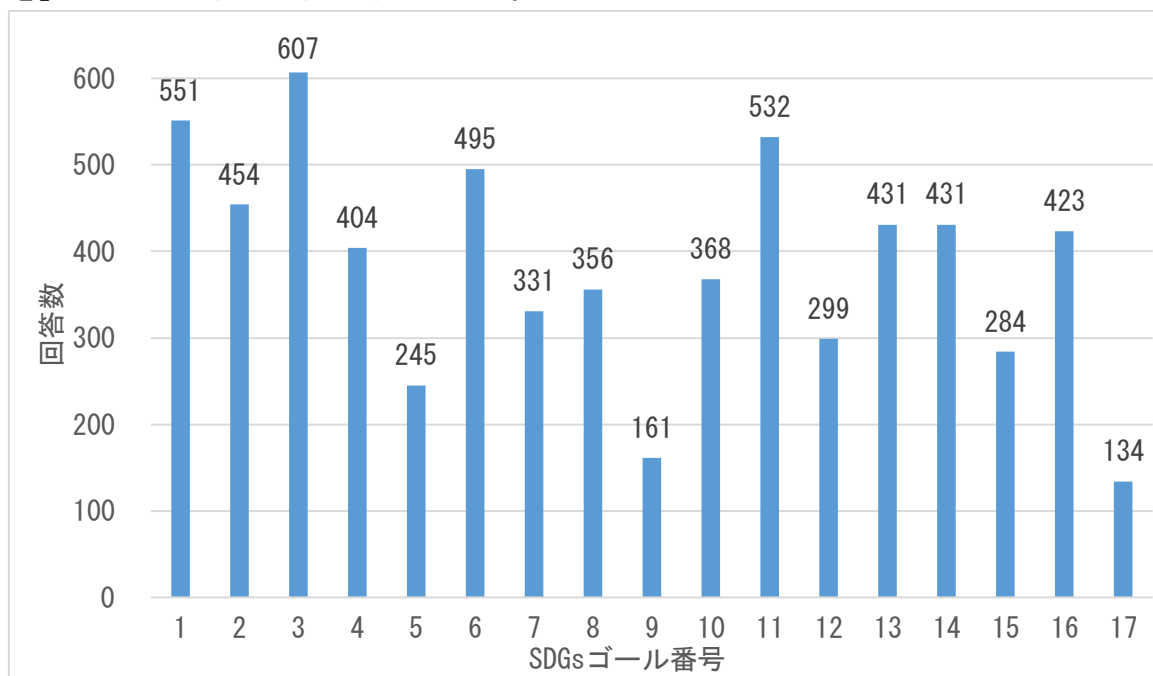
■属性別回答

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

|       | 合計  | 国の広報  | 市の広報  | 企業の広報 | その<br>や市民団体の広報 | 学校での教育 | 勤務先での取組 | 新聞、<br>テレビや雑誌 | インターネット | イベント・セミナー・<br>講演会 | その他  |
|-------|-----|-------|-------|-------|----------------|--------|---------|---------------|---------|-------------------|------|
| 全体    | 202 | 22.3% | 34.2% | 15.3% | 5.4%           | 8.9%   | 19.8%   | 58.9%         | 23.3%   | 7.4%              | 4.5% |
| 年齢別   |     |       |       |       |                |        |         |               |         |                   |      |
| 20 歳代 | 17  | 11.8% | 23.5% | 11.8% | —              | 29.4%  | 29.4%   | 41.2%         | 11.8%   | 5.9%              | 5.9% |
| 30 歳代 | 30  | 16.7% | 26.7% | 6.7%  | 6.7%           | 10.0%  | 23.3%   | 40.0%         | 30.0%   | 10.0%             | 3.3% |
| 40 歳代 | 40  | 17.5% | 20.0% | 15.0% | 2.5%           | 17.5%  | 25.0%   | 60.0%         | 30.0%   | 7.5%              | 5.0% |
| 50 歳代 | 35  | 25.7% | 31.4% | 22.9% | 5.7%           | 5.7%   | 34.3%   | 57.1%         | 25.7%   | 2.9%              | 8.6% |
| 60 歳代 | 35  | 34.3% | 34.3% | 20.0% | 14.3%          | 2.9%   | 11.4%   | 74.3%         | 25.7%   | 17.1%             | 2.9% |
| 70 歳代 | 31  | 22.6% | 61.3% | 6.5%  | —              | —      | —       | 64.5%         | 12.9%   | —                 | 3.2% |
| 80 歳代 | 9   | 11.1% | 55.6% | 11.1% | —              | —      | —       | 77.8%         | 11.1%   | —                 | —    |
| 職業別   |     |       |       |       |                |        |         |               |         |                   |      |
| 会社員   | 72  | 19.4% | 19.4% | 20.8% | 6.9%           | 9.7%   | 34.7%   | 51.4%         | 25.0%   | 12.5%             | 4.2% |
| 自営業   | 6   | 16.7% | 50.0% | 16.7% | 16.7%          | —      | 16.7%   | 100%          | 50.0%   | —                 | —    |
| 農林漁業  | 2   | 50.0% | 50.0% | —     | —              | —      | —       | 100%          | —       | —                 | —    |
| 公務員   | 35  | 17.1% | 31.4% | 5.7%  | 2.9%           | 17.1%  | 20.0%   | 57.1%         | 25.7%   | —                 | 8.6% |
| 学生    | 4   | —     | 25.0% | —     | —              | 50.0%  | —       | 50.0%         | 50.0%   | —                 | —    |
| 無職    | 56  | 23.2% | 55.4% | 8.9%  | 1.8%           | 3.6%   | —       | 69.6%         | 14.3%   | 3.6%              | 3.6% |
| その他   | 22  | 36.4% | 27.3% | 22.7% | 9.1%           | 4.5%   | 22.7%   | 45.5%         | 27.3%   | 13.6%             | 4.5% |
| 地区別   |     |       |       |       |                |        |         |               |         |                   |      |
| 中央区   | 51  | 31.4% | 31.4% | 17.6% | 3.9%           | 11.8%  | 23.5%   | 52.9%         | 19.6%   | 7.8%              | 2.0% |
| 東区    | 42  | 23.8% | 28.6% | 16.7% | 7.1%           | 9.5%   | 21.4%   | 69.0%         | 35.7%   | 4.8%              | 4.8% |
| 西区    | 23  | 17.4% | 39.1% | 8.7%  | 4.3%           | 13.0%  | 4.3%    | 65.2%         | 17.4%   | 8.7%              | 8.7% |
| 南区    | 36  | 16.7% | 36.1% | 16.7% | 5.6%           | —      | 25.0%   | 50.0%         | 13.9%   | 13.9%             | 2.8% |
| 北区    | 44  | 15.9% | 38.6% | 9.1%  | 4.5%           | 11.4%  | 15.9%   | 59.1%         | 27.3%   | 2.3%              | 6.8% |

問33. SDGsの17の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。（複数回答可）

「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」が53.7%（607人）と最も高く、次いで「ゴール1：貧困をなくそう」が48.8%（551人）、「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が47.1%（532人）となっている。

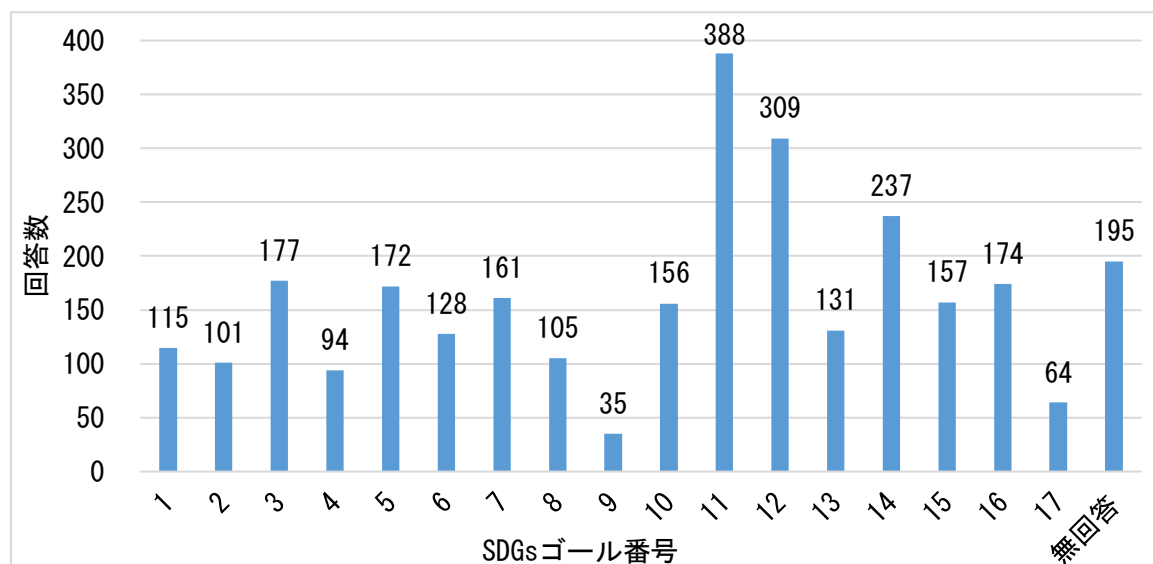


|    | 回答肢                | 回答数 | 割合    | R1<br>順位 | H30<br>順位 |
|----|--------------------|-----|-------|----------|-----------|
| 3  | すべての人に健康と福祉を       | 607 | 53.7% | 1        | 1         |
| 1  | 貧困をなくそう            | 551 | 48.8% | 2        | 3         |
| 11 | 住み続けられるまちづくりを      | 532 | 47.1% | 3        | 2         |
| 6  | 安全な水とトイレを世界中に      | 495 | 43.8% | 4        | 4         |
| 2  | 飢餓をゼロに             | 454 | 40.2% | 5        | 7         |
| 13 | 気候変動に具体的な対策を       | 431 | 38.1% | 6        | 9         |
| 14 | 海の豊かさを守ろう          | 431 | 38.1% | 7        | 5         |
| 16 | 平和と公正をすべての人に       | 423 | 37.4% | 8        | 8         |
| 4  | 質の高い教育をみんなに        | 404 | 35.8% | 9        | 6         |
| 10 | 人や国の不平等をなくそう       | 368 | 32.6% | 10       | 11        |
| 8  | 働きがいも経済成長も         | 356 | 31.5% | 11       | 10        |
| 7  | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 331 | 29.3% | 12       | 12        |
| 12 | つくる責任つかう責任         | 299 | 26.5% | 13       | 13        |
| 15 | 陸の豊かさを守ろう          | 284 | 25.1% | 14       | 14        |
| 5  | ジェンダー平等を実現しよう      | 245 | 21.7% | 15       | 15        |
| 9  | 産業と技術革新の基盤をつくろう    | 161 | 14.2% | 16       | 16        |
| 17 | パートナーシップで目標を達成しよう  | 134 | 11.9% | 17       | 17        |

問34. SDGsの17の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。

(複数回答可)

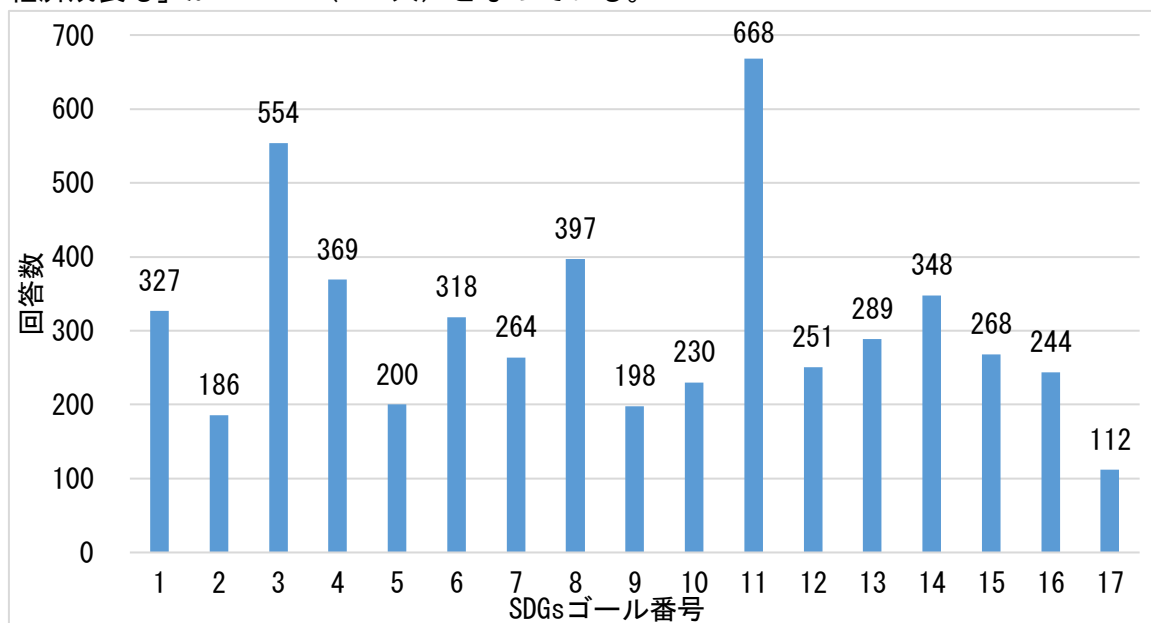
「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が34.3%（388人）と最も高く、次いで「ゴール12：つくる責任つかう責任」が27.3%（309人）、「ゴール14：海の豊かさを守ろう」が21.0%（237人）となっている。なお、当該設問では無回答が目立ったため、集計に加えた結果17.3%（195人）となっている。



| 回答肢                   | 回答数 | 割合    | R1<br>順位 | H30<br>順位 |
|-----------------------|-----|-------|----------|-----------|
| 11 住み続けられるまちづくりを      | 388 | 34.3% | 1        | 1         |
| 12 つくる責任つかう責任         | 309 | 27.3% | 2        | 2         |
| 14 海の豊かさを守ろう          | 237 | 21.0% | 3        | 3         |
| — 無回答                 | 195 | 17.3% | 4        | —         |
| 3 すべての人に健康と福祉を        | 177 | 15.7% | 5        | 4         |
| 16 平和と公正をすべての人に       | 174 | 15.4% | 6        | 8         |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう       | 172 | 15.2% | 7        | 5         |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  | 161 | 14.2% | 8        | 7         |
| 15 陸の豊かさも守ろう          | 157 | 13.9% | 9        | 6         |
| 10 人や国の不平等をなくそう       | 156 | 13.8% | 10       | 10        |
| 13 気候変動に具体的な対策を       | 131 | 11.6% | 11       | 13        |
| 6 安全な水とトイレを世界中に       | 128 | 11.3% | 12       | 9         |
| 1 貧困をなくそう             | 115 | 10.2% | 13       | 11        |
| 8 働きがいも経済成長も          | 105 | 9.3%  | 14       | 12        |
| 2 飢餓をゼロに              | 101 | 8.9%  | 15       | 14        |
| 4 質の高い教育をみんなに         | 94  | 8.3%  | 16       | 15        |
| 17 パートナリーシップで目標を達成しよう | 64  | 5.7%  | 17       | 16        |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう     | 35  | 3.1%  | 18       | 17        |

問35. SDGsの17の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何か。（複数回答可）

「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が59.1%（668人）と最も高く、次いで「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」が49.0%（554人）、「ゴール8：働きがいも経済成長も」が35.1%（397人）となっている。



|    | 回答肢                | 回答数 | 割合    | R1<br>順位 | H30<br>順位 |
|----|--------------------|-----|-------|----------|-----------|
| 11 | 住み続けられるまちづくりを      | 668 | 59.1% | 1        | 1         |
| 3  | すべての人に健康と福祉を       | 554 | 49.0% | 2        | 2         |
| 8  | 働きがいも経済成長も         | 397 | 35.1% | 3        | 4         |
| 4  | 質の高い教育をみんなに        | 369 | 32.7% | 4        | 3         |
| 14 | 海の豊かさを守ろう          | 348 | 30.8% | 5        | 7         |
| 1  | 貧困をなくそう            | 327 | 28.9% | 6        | 5         |
| 6  | 安全な水とトイレを世界中に      | 318 | 28.1% | 7        | 6         |
| 13 | 気候変動に具体的な対策を       | 289 | 25.6% | 8        | 10        |
| 15 | 陸の豊かさを守ろう          | 268 | 23.7% | 9        | 9         |
| 7  | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 264 | 23.4% | 10       | 8         |
| 12 | つくる責任つかう責任         | 251 | 22.2% | 11       | 12        |
| 16 | 平和と公正をすべての人に       | 244 | 21.6% | 12       | 11        |
| 10 | 人や国の不平等をなくそう       | 230 | 20.4% | 13       | 13        |
| 5  | ジェンダー平等を実現しよう      | 200 | 17.7% | 14       | 16        |
| 9  | 産業と技術革新の基盤をつくろう    | 198 | 17.5% | 15       | 15        |
| 2  | 飢餓をゼロに             | 186 | 16.5% | 16       | 14        |
| 17 | パートナーシップで目標を達成しよう  | 112 | 9.9%  | 17       | 17        |
| 11 | 住み続けられるまちづくりを      | 668 | 59.1% | 1        | 1         |



問36. SDGsに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

■いただいた意見をそのまま以下に列挙する。

|                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------|
| 理想としては17項目すべてを目標にしたらいいのかと思いますが、よく理解できないこともありました。                                 |
| 目標掲示が先行して具体的な部分は見えづらい。社会が複雑すぎて選択に苦慮する。もっとシンプルな生き方を意識したい。                         |
| 目標が大きいと感じる                                                                       |
| 聞こえのいい目標は簡単に立てられます。一つ一つの項目が矛盾している感もあるので、まずは熊本市議会がジェンダー平等のお勉強をされるのが良いのではないのでしょうか。 |
| 幅が広すぎるのでいくつか絞って対策内容、実施内容、効果などを定点観測できる仕組みがあると良い。                                  |
| 貧困者を少なくすること。経済発展のトレードオフの関係を両立する取組を進める。                                           |
| 貧困をなくしてみな平等に暮らしたいと思う                                                             |
| 範囲も広いし理想が大きくて何から始めればいいのか分からない。とりあえず熊本市のためになることからして欲しい。                           |
| 内容があまり理解できておりませんのでこれから学習したいと思います。                                                |
| 同封の解説で初めて勉強しました。                                                                 |
| 中々個人的な行動では限りがあると思うので、市や県がリーダーシップをとりやっていくことが必要かと思います。                             |
| 知らなかったので勉強してみたいと思った。                                                             |
| 知らない人も多いと思うので、もう少しPRした方がいいと思います。                                                 |
| 全て叶えるとしたら理想的ですごくいいことだと思います。少しでも近づけるならとても素晴らしいです。個人個人が意識を高めることが大切だと思います。          |
| 全てを2030年までに達成するのは難しいのでは。大きく広がっていて実感がわかない。                                        |
| 全ての人に・・・ということはなかなかできないだろうが、まず各個人がしっかりと自分自身で取り組むところからでいいと思う                       |
| 全ての計画をSDGsを基準に計画し市民に周知すると分かりやすいと思う。                                              |
| 戦争をしている国の人は子どもから武器を持っているので、互いに正邪もなく争っていると思う。                                     |
| 数が多すぎる感があるので、もう少し簡素化してほしい。                                                       |
| 真に取り組む、実行しようとする費用が掛かる。費用の補助制度の確立を展開してほしい。                                        |
| 新しい言葉が増える一方についていけない。わかりにくい。自分の生活とのかかわりが身近に感じられない。                                |
| 少し勉強になりました。                                                                      |
| 少しでもできることから始めることが大切だと思う                                                          |
| 小中学校の教育の中で取り組んでほしい。                                                              |

|                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初めて聞いた言葉でした。ネットで調べて理解しました。奥が深い、世界を視野に入れた活動と理解しました。活動の基本は、それを周りに知らせることだと思っています。テレビコマーシャルやインターネット等で、それに関する情報を流し続けることも必要かと思います。もし既にやっているとしたら、私はそれを知らないわけで、ということは周知活動がそれほど高くないということだろうと思います。 |
| 実現できればいいと思う                                                                                                                                                                              |
| 自分の身になって物事を考えたい。私には関係ないと思わないように一人ひとりに関心を持ってもらうことが必要だと思う。                                                                                                                                 |
| 自治体と国の目標項目を絞ってほしい。                                                                                                                                                                       |
| 持続的かつ事業に即し収益性のあるものでなくては意味がないので、自治体が個別でできる事はない。アピールで判断するのではなく、本質的なチェックと、それに対する予算を。                                                                                                        |
| 市民団体が取り組んでいる貧困対策や学習支援などを市の委託事業として実施するための予算措置を講じてほしい。                                                                                                                                     |
| 市電で部落差別をなくそうというのをもう何回も聞いている気がするので、「人や国の不平等をなくそう」は積極的に取り組んだ方が良くと思う。                                                                                                                       |
| 最初聞いた時はあまりにも数が多いしハイレベルで難しく思いましたが、企業の勉強会で自分ができる身近なこともありますと言われ、具体例を挙げてもらいました。市民に浸透して分かってもらうには、具体例を言わないと「無理」と拒絶されると思います。                                                                    |
| 最初は何？と思いましたが、大切なことだと思った。小さい子供たちも興味を持ってくれれば良いと思う。                                                                                                                                         |
| 最近テレビ等でよく目にするようになりどういうものか少し関心が出ていたところでした。具体的なことについてはほとんど情報がなく、項目がかなり多いのでなかなか個々について理解するのに時間がかかりそうです。                                                                                      |
| 今後とも継続した広報活動及び取り組み実績のアピールが必要！！                                                                                                                                                           |
| 今回のアンケートでこの言葉を聞き学びました。もっと市民が知るべきだと思います。広報宣伝活動をもっと行うべきだと思う。                                                                                                                               |
| 今まで全然気づかなかったが、今回のアンケートをきっかけに新聞などで結構取り上げられていることに気付いた。SDGsは多方面に渡っていて個人レベルでは何をしたらいいのかわからなくなった。                                                                                              |
| 今の子ども達が今後、熊本市民として全員が本領発揮できるよう環境を整えることが私たちの義務だと思う。                                                                                                                                        |
| 項目が多すぎると思う                                                                                                                                                                               |
| 広く情報提供をしてください。                                                                                                                                                                           |
| 幸福に対する考えは個人はもとより国によっても異なります。人々が暮らすうえで最も大切な「自然を守る」を中心として教育によって各人が「自分の幸せ」を守る意識をもてば、それでよいと感じます。申し訳ありませんが、すべてのゴールが普遍的とは思えませんでした。                                                             |
| 個人が自分の事のように考えて、意識を持って、生活する事ではないかと思う。                                                                                                                                                     |

|                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人が意識して SDGs の目標に少しでも近づけるよう小さいときからの教育が大切だと思います。                                                                                               |
| 現実的に実行して結果が出そうなものだけに絞ってイベントで楽しみながら参加できれば達成できることもあるかもしれない。                                                                                     |
| 熊本市が取り組んでいることを知りませんでした。もっとメディア等を使ってアピールすることが大切だと思います。                                                                                         |
| 熊本市が国から SDGs 未来都市に選定されたということをいろんな広報メディアを通じてもっともっと告知すべきです。個人個人がアクションを起こしたいものです。                                                                |
| 熊本は他県と比べ緑も多く恵まれていると思います。その環境をいかに守っていくかが課題だと思います。水も大切に使いたいです。                                                                                  |
| 熊本の人はまだ「男だから、女だから」と言っている人が多いように思う。男女の平等、特に仕事などで女性を大切にしてもらいたい。市議会はもっと女性が多くていいのではないかな。                                                          |
| 具体的なことが分かればよいと思う。                                                                                                                             |
| 教育に力を入れて世界で起こっていることに問題意識をもって自分たちでどうしたらいいかを考える子どもを育ててほしい。大人ももっとしっかり考えないといけないと思います。                                                             |
| 各自治体の長のマニフェストとして、優先順位を掲げて、それを一つの指針とする。そして、毎年、自治体の長の自己評価と、市民の客観的評価をつける。<br>世界会議など、世界的に取り組むことは、実は一人ひとりの平和な日常を継続することなのを、みんなが気づき、実行することではないでしょうか。 |
| 各テーマが大きすぎる(中身が広すぎる)                                                                                                                           |
| 回覧板で色んな活動や情報をいただければ年とともに世間から疎くなるのを防げるかもしれません。高齢者も一緒に参加し役立てるような市を作ってください。                                                                      |
| 一般の人には具体的でないと取り組みにくい。                                                                                                                         |
| 一人ひとりが本気で取り組みたいし、みんなも取り組んでほしいと思った。                                                                                                            |
| 一人ひとりが意識を高め合ってそれを継続していけるパートナーシップが我々国民一人ひとりに係っていると思うので、日頃からの呼びかけなどして取り入れていきたいです。                                                               |
| 一人ひとりができることを心がけて生活することが重要だと思う。                                                                                                                |
| 安心して老後を生きられる世の中であってほしい                                                                                                                        |
| よく知らないので情報宣伝が必要ではないか                                                                                                                          |
| もっと周知が必要だと思います。                                                                                                                               |
| もっとわかりやすい説明がほしい                                                                                                                               |
| もっとこういことをしていますと発信してくれたら、みんなわかるので、ありがたい。                                                                                                       |
| バッジを配るもしくは販売する                                                                                                                                |
| ネットに出ている SDGs に関する 原文(英文)を精読したい契機になった。                                                                                                        |
| どれも大変重要なこと、取り組む必要があると思いますが、年金生活者からすると毎日の生活と自分の健康を維持することで精いっぱいです。                                                                              |

|                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| どれも具体的に自分がどう貢献できるのか分からない。SDGs を耳にしたことが無かったです。日々、貢献できることに取り組んでみたい。                                                                                                  |
| どの目標にしても自分たちにできることはたくさんあると思うので、市を中心にもっと普及させ、まずは多くの市民に意識させるところから始めていくと良いと思う。研修会も回数を増やしたり、定期的に行ったり、(2030SDGs カードゲームの)ファシリテーターを増やしていくと良いのではと思います。                     |
| できることから始めることが重要だと思う                                                                                                                                                |
| できることから具体的に実行することが必要だと思った                                                                                                                                          |
| そもそも個人の意識の問題。行政がかかわるなら、罰則や法制化とかすればよいのでは。                                                                                                                           |
| すべての年代の人にわかりやすい言い方はないのでしょうか。最近はいろいろなものの表現や情報発信において日本語表記が少なくわかりづらい。                                                                                                 |
| ジェンダーが外国と違いタブーになっている。外国に比べるとまだまだだと思う。                                                                                                                              |
| さらなる広報活動が必要。                                                                                                                                                       |
| これらの概念が実現するか否か、全て世界中の為政者の実行力に委ねられています。何かと選挙の票目的にスローガンをゆがめて生きる人間。自己利益のために国連スローガンを踏み倒して生きる人間。漁具に絡まって息絶えた亀の姿は人間に何を訴えているのでしょうか。人間は横に手をつなぎ地球は人間だけのものではないことを熊本市も発信すべきです。 |
| これからの社会生活においては 17 の目標すべてが必要なものであり理想であると思います。ただ一個人としては遠くで見ている自分がいるという感じがしてしまう。とにかく何か小さなことでも自身で実行できるようなことがあればいいと思います。                                                |
| このアンケート調査で SDGs を初めて知った。                                                                                                                                           |
| このアンケートを見るまで SDGs を知りませんでした。TVCM や新聞、広報誌などにこのテーマを特集してほしい。ボトムアップ、トップダウンどちらでもどう取り組むとよいのか例を教えてください。                                                                   |
| このアンケートをもらったことでより関心を持つことができた。一市民にできることは限られているがまずは身の回りから取り組んでいこうと思います。SDGs のロゴはカラフルで目に留まりやすいと思うので、ポスターとして人の集まる場所に掲示したり、メディアを活用するなどしてもっと周知してほしいと思います。                |
| ゴール 13 は目標自体がわからなかった。別紙の 4 ページを見てもよくわからなかった。                                                                                                                       |
| クールチョイス(温暖化対策)とか SDGs 他知らない言葉が出てきて自分の知識のなさにがっかり！17 の目標の”日”を作る。その日に 1 分ほどの話題をローカルニュースでやると良いと思う。                                                                     |
| カラフルで目に付きやすく印象に残っています。内容が分かりにくいところが残念ですが、アンケートの説明文により少しわかりました。                                                                                                     |
| あまり浸透できていない気がするのもっと広まれば良いと思う。皆が興味を引く、また関心を示してもらうためにイベントの開催を希望します。                                                                                                  |
| あまり詳しくわからないが心がけを自分なりにしたらよいと感じた                                                                                                                                     |

|                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| あまりにも大枠な事柄なのでピンと来ない。熊本に必要と思われる項目を掘り下げて明確な「熊本バージョン」を作るべきだと思う。                                                                                       |
| SDGs を知らないで目や耳に届く機会が増えればいいなと思います。                                                                                                                  |
| SDGs は高齢者にはむづかしい                                                                                                                                   |
| SDGs は皆が向かう目標が同じなので、企業や学校や自治体が同じビジョンをもって目標達成に取り組むための組織や体制が必要だと思います。                                                                                |
| SDGs はずっと気になっていたのですが、後回しになっており、リーフレット(同封の解説)のおかげで勉強しようと思いました。アンケートに選ばれとてもいい機会をいただきました。ありがとうございました。わたしも目標を決めて少しずつ取り組みたいという思いになりました。でも何をしたらいいのでしょうか？ |
| SDGs にどこまで自分が貢献できるのか難しいと感じている。                                                                                                                     |
| SDGs について情報発信してほしいです                                                                                                                               |
| SDGs なる言葉はこのアンケートで初めて知った。クールチョイスやゼッチなど不可解な横文字は使うべきでないし、ほとんどの市民が理解していないのではないかな？もっと平易でわかりやすい言葉で説明願いたい。                                               |
| SDGs という言葉だけで中身が見えない。具体的な問題提起とそれに対する取り組み方、一人ひとりのかわり方を示していかないとただのタイトルで終わると思います。本当に取り組むなら情報開示、達成率等を示していく必要があると思います。                                  |
| SDGs＝環境問題といった偏見をなくして欲しい。                                                                                                                           |
| CM でも野球選手がされていますが、もっと学生にも知ってもらいたい                                                                                                                  |
| 17 項目すべてに取り組むことは難しいと思います。安心・安全に生活していくためにはすべてが大切だと思いますが。自分でやれるところは日々の生活の中でコツコツと取り組んでいきたいと思っています。                                                    |
| 1～17 の項目は互いに関連している部分も多く、個人でできる部分は限られてくるとわかって大変難しい課題ばかりです。国や地方の行政のあり方、予算の使い方等を含めて個人がどのようにかわりを持っていくべきか指針らしきものが示されればと思います。                            |
| 「地産地消」で熊本県全体を活気づけましょう！！メイドインジャパン、メイドインキューシュウ、メイドインクマモトを目指して皆で盛り上げ、皆で消費していけば明るい社会が訪れるような気がします。                                                      |

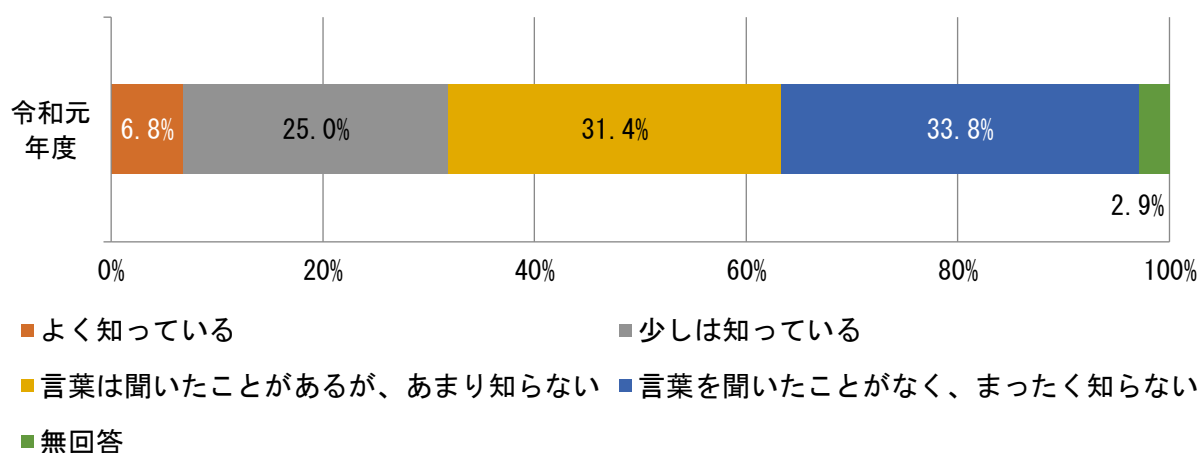
## ■「ラムサール条約」について

### 問37.「ラムサール条約」について知っていますか。(1つだけ)

令和元年度よりラムサール条約と江津湖について新規で設問を追加し調査を行った。

「言葉を聞いたことがなく、全く知らない」が33.8%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が31.4%、「少しは知っている」が25.0%となっている。

「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は31.8%である。前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、ラムサール条約という言葉を知っている割合は63.2%である。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が40.1%と最も高く、次いで70歳代（38.8%）、60歳代（37.7%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は40歳代が78.2%と最も高く、次いで30歳代（69.5%）、50歳代（67.9%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は学生が64.3%と最も高く、次いで公務員（57.4%）、その他（36.2%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は農林漁業が83.3%と最も高く、次いで会社員と自営業（73.1%）、その他（63.8%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は北区が40.9%と最も高く、次いで中央区（33.5%）、東区（31.5%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が69.9%と最も高く、次いで西区（69.0%）、東区（66.0%）となっている。

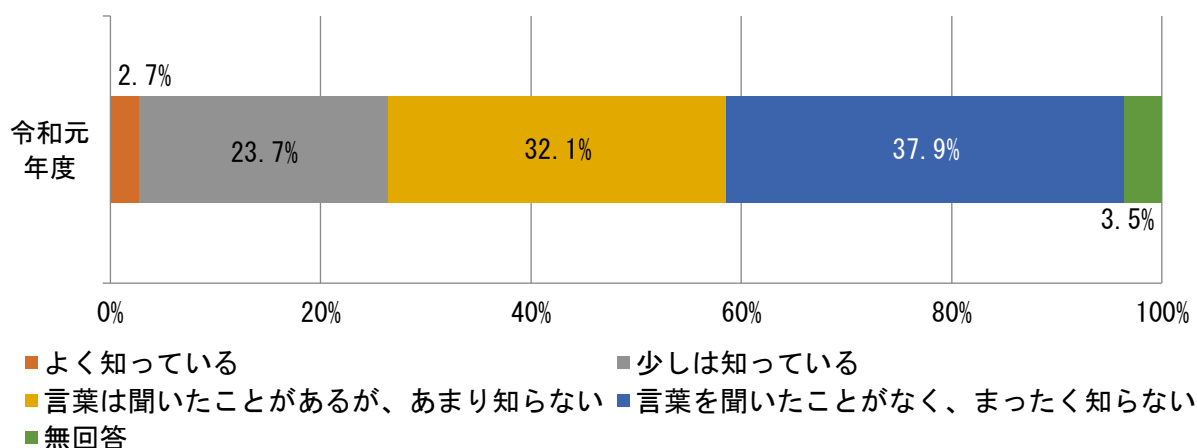
■属性別回答

|       | 合計    | よく知っている | 少しは知っている | 言葉は聞いたことがあるが、<br>あまり知らない | 言葉を聞いたことがなく、<br>まったく知らない | 無回答  |
|-------|-------|---------|----------|--------------------------|--------------------------|------|
| 全体    | 1,130 | 6.8%    | 25.0%    | 31.4%                    | 33.8%                    | 2.9% |
| 年齢別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 20 歳代 | 80    | 11.3%   | 28.8%    | 35.0%                    | 25.0%                    | —    |
| 30 歳代 | 144   | 4.9%    | 24.3%    | 29.9%                    | 39.6%                    | 1.4% |
| 40 歳代 | 193   | 3.6%    | 17.6%    | 25.9%                    | 52.3%                    | 0.5% |
| 50 歳代 | 184   | 8.7%    | 21.7%    | 33.7%                    | 34.2%                    | 1.6% |
| 60 歳代 | 220   | 7.7%    | 30.0%    | 34.1%                    | 25.0%                    | 3.2% |
| 70 歳代 | 191   | 8.4%    | 30.4%    | 34.0%                    | 24.6%                    | 2.6% |
| 80 歳代 | 93    | 5.4%    | 24.7%    | 26.9%                    | 34.4%                    | 8.6% |
| 職業別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 会社員   | 375   | 7.2%    | 17.9%    | 30.4%                    | 42.7%                    | 1.9% |
| 自営業   | 82    | 2.4%    | 24.4%    | 32.9%                    | 40.2%                    | —    |
| 農林漁業  | 12    | —       | 16.7%    | 50.0%                    | 33.3%                    | —    |
| 公務員   | 82    | 15.9%   | 41.5%    | 28.0%                    | 14.6%                    | —    |
| 学生    | 14    | 14.3%   | 50.0%    | 35.7%                    | —                        | —    |
| 無職    | 396   | 5.3%    | 27.3%    | 35.1%                    | 27.5%                    | 4.8% |
| その他   | 141   | 8.5%    | 27.7%    | 24.1%                    | 39.7%                    | —    |
| 地区別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 中央区   | 260   | 6.2%    | 27.3%    | 32.3%                    | 32.3%                    | 1.9% |
| 東区    | 276   | 7.6%    | 23.9%    | 29.0%                    | 37.0%                    | 2.5% |
| 西区    | 142   | 6.3%    | 22.5%    | 29.6%                    | 39.4%                    | 2.1% |
| 南区    | 216   | 6.5%    | 19.9%    | 32.9%                    | 37.0%                    | 3.7% |
| 北区    | 198   | 8.6%    | 32.3%    | 33.3%                    | 25.3%                    | 0.5% |

問38. 日本には52か所（2019年9月時点）のラムサール条約の登録湿地があります。登録湿地について知っていますか。（1つだけ）

「言葉を聞いたことがなく、全く知らない」が37.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が32.1%、「少しは知っている」が23.7%となっている。

「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は26.4%である。前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、ラムサール条約の登録湿地という言葉を知っている割合は58.5%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が35.1%と最も高く、次いで70歳代（32.9%）、60歳代（31.4%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は40歳代が82.4%と最も高く、次いで30歳代（79.2%）、50歳代（70.7%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は学生が50.0%と最も高く、次いで公務員（42.7%）、その他（31.2%）となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は農林漁業が83.3%と最も高く、次いで自営業（81.7%）、会社員（76.0%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は北区が31.3%と最も高く、次いで西区（28.9%）、中央区（27.3%）となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が75.5%と最も高く、次いで東区（69.9%）、中央区（69.6%）となっている。

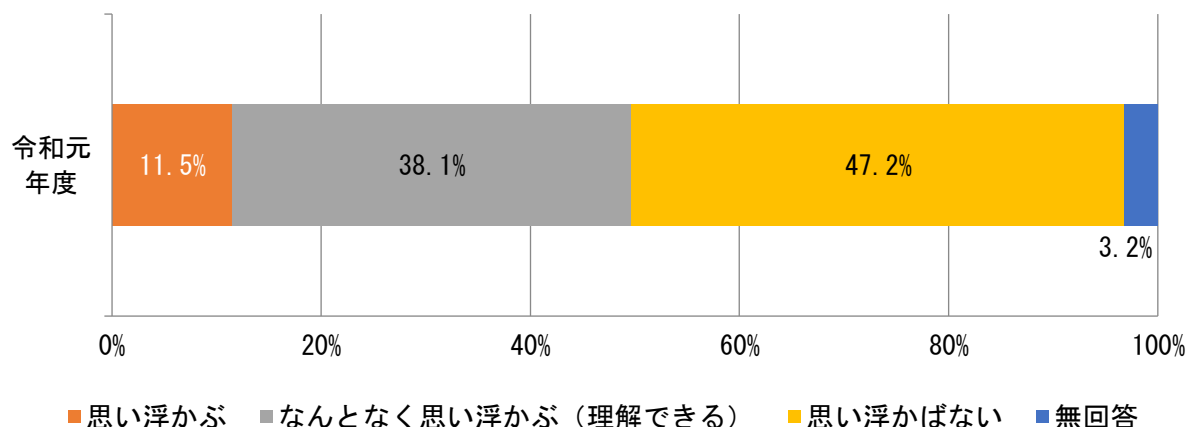


■属性別回答

|       | 合計    | よく知っている | 少しは知っている | 言葉は聞いたことがあるが、<br>あまり知らない | 言葉を聞いたことがなく、<br>まったく知らない | 無回答  |
|-------|-------|---------|----------|--------------------------|--------------------------|------|
| 全体    | 1,130 | 2.7%    | 23.7%    | 32.1%                    | 37.9%                    | 3.5% |
| 年齢別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 20 歳代 | 80    | 1.3%    | 33.8%    | 26.3%                    | 38.8%                    | —    |
| 30 歳代 | 144   | 0.7%    | 18.8%    | 29.9%                    | 49.3%                    | 1.4% |
| 40 歳代 | 193   | 2.1%    | 13.5%    | 25.9%                    | 56.5%                    | 2.1% |
| 50 歳代 | 184   | 3.3%    | 23.9%    | 33.2%                    | 37.5%                    | 2.2% |
| 60 歳代 | 220   | 3.2%    | 28.2%    | 36.4%                    | 29.1%                    | 3.2% |
| 70 歳代 | 191   | 5.2%    | 27.7%    | 38.7%                    | 23.6%                    | 4.7% |
| 80 歳代 | 93    | 2.2%    | 28.0%    | 28.0%                    | 34.4%                    | 7.5% |
| 職業別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 会社員   | 375   | 2.9%    | 18.4%    | 28.0%                    | 48.0%                    | 2.7% |
| 自営業   | 82    | 2.4%    | 15.9%    | 42.7%                    | 39.0%                    | —    |
| 農林漁業  | 12    | —       | 16.7%    | 50.0%                    | 33.3%                    | —    |
| 公務員   | 82    | 3.7%    | 39.0%    | 35.4%                    | 20.7%                    | 1.2% |
| 学生    | 14    | —       | 50.0%    | 28.6%                    | 21.4%                    | —    |
| 無職    | 396   | 1.5%    | 26.5%    | 36.1%                    | 30.3%                    | 5.6% |
| その他   | 141   | 5.7%    | 25.5%    | 22.7%                    | 46.1%                    | —    |
| 地区別   |       |         |          |                          |                          |      |
| 中央区   | 260   | 3.1%    | 24.2%    | 32.7%                    | 36.9%                    | 3.1% |
| 東区    | 276   | 2.9%    | 24.3%    | 27.5%                    | 42.4%                    | 2.9% |
| 西区    | 142   | 1.4%    | 27.5%    | 28.9%                    | 39.4%                    | 2.8% |
| 南区    | 216   | 3.7%    | 16.7%    | 33.8%                    | 41.7%                    | 4.2% |
| 北区    | 198   | 2.0%    | 29.3%    | 38.4%                    | 29.3%                    | 1.0% |

問 3 9 . 江津湖（・上江津湖水系）は「日本の重要湿地」に選定されています。「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。（１つだけ）

「思い浮かばない」が47.2%と最も高く、次いで「なんとなく思い浮かぶ」が38.1%、「思い浮かぶ」が11.5%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は70歳代が66.5%と最も高く、次いで80歳代（61.3%）、60歳代（51.3%）となっている。

一方で「思い浮かばない」は20歳代が60.0%と最も高く、次いで40歳代（59.6%）、30歳代（58.3%）となっている。20～50歳代までは「思い浮かばない」を選択した割合が半数以上を占めている。

職業別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は自営業が58.5%と最も高く、次いで無職（54.8%）、その他（52.4%）となっている。

一方で「思い浮かばない」は農林漁業が58.3%と最も高く、次いで会社員（55.2%）、公務員（54.9%）となっている。

地区別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は西区が53.5%と最も高く、次いで中央区（53.4%）、東区（50.4%）となっている。

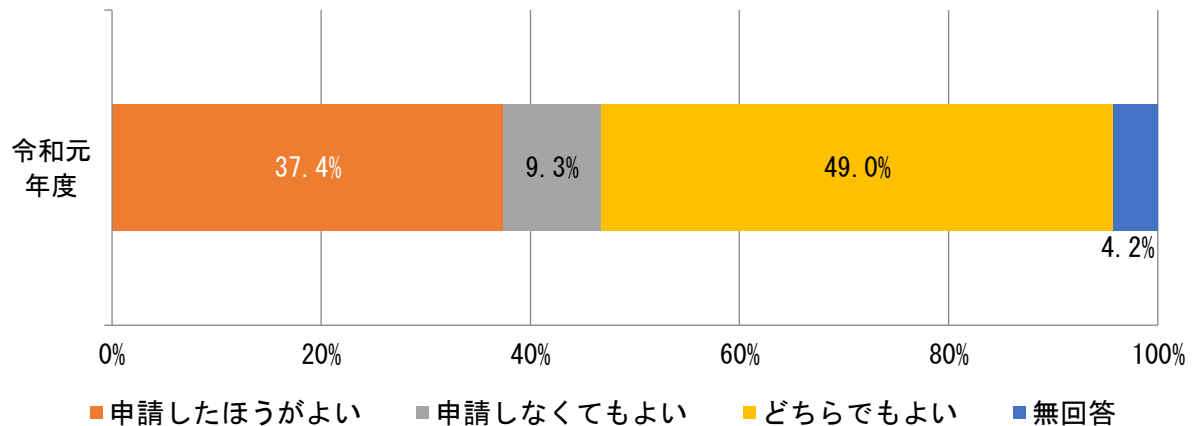
一方で「思い浮かばない」は北区が54.5%と最も高く、次いで南区（48.6%）、東区（46.4%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | 思い浮かぶ | なんとなく思い浮かぶ<br>(理解できる) | 思い浮かばない | 無回答  |
|-------|-------|-------|-----------------------|---------|------|
| 全体    | 1,130 | 11.5% | 38.1%                 | 47.2%   | 3.2% |
| 年齢別   |       |       |                       |         |      |
| 20 歳代 | 80    | 7.5%  | 32.5%                 | 60.0%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 4.2%  | 36.1%                 | 58.3%   | 1.4% |
| 40 歳代 | 193   | 5.2%  | 34.7%                 | 59.6%   | 0.5% |
| 50 歳代 | 184   | 8.2%  | 39.7%                 | 50.0%   | 2.2% |
| 60 歳代 | 220   | 11.8% | 39.5%                 | 44.5%   | 4.1% |
| 70 歳代 | 191   | 22.5% | 44.0%                 | 29.8%   | 3.7% |
| 80 歳代 | 93    | 24.7% | 36.6%                 | 32.3%   | 6.5% |
| 職業別   |       |       |                       |         |      |
| 会社員   | 375   | 7.7%  | 35.2%                 | 55.2%   | 1.9% |
| 自営業   | 82    | 8.5%  | 50.0%                 | 40.2%   | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | 8.3%  | 33.3%                 | 58.3%   | —    |
| 公務員   | 82    | 6.1%  | 39.0%                 | 54.9%   | —    |
| 学生    | 14    | 7.1%  | 42.9%                 | 50.0%   | —    |
| 無職    | 396   | 17.2% | 37.6%                 | 39.9%   | 5.3% |
| その他   | 141   | 11.3% | 41.1%                 | 47.5%   | —    |
| 地区別   |       |       |                       |         |      |
| 中央区   | 260   | 14.2% | 39.2%                 | 44.2%   | 2.3% |
| 東区    | 276   | 10.5% | 39.9%                 | 46.4%   | 3.3% |
| 西区    | 142   | 14.8% | 38.7%                 | 45.1%   | 1.4% |
| 南区    | 216   | 7.9%  | 40.3%                 | 48.6%   | 3.2% |
| 北区    | 198   | 12.6% | 31.3%                 | 54.5%   | 1.5% |

問 4 0 . 江津湖をラムサール条約の登録湿地として申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)

「どちらでもよい」が49.0%と最も高く、次いで「申請したほうがよい」が37.4%、「申請しなくてもよい」が9.3%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「申請したほうがよい」は80歳代が45.2%と最も高く、次いで70歳代(45.0%)、60歳代(41.8%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は60歳代が12.7%と最も高く、次いで50歳代(12.0%)、70歳代(8.9%)となっている。また、「どちらでもよい」は20歳代が65.0%と最も高く、次いで30歳代(58.3%)、40歳代(57.5%)となっており、若年層の関心が低くなっている。

職業別：「申請したほうがよい」はその他が44.7%と最も高く、次いで自営業(40.2%)、無職(38.9%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は農林漁業が16.7%と最も高く、次いで学生(14.3%)、公務員(12.2%)となっている。

地区別：「申請したほうがよい」は中央区が40.0%と最も高く、次いで東区(38.8%)、西区(38.0%)となっている。

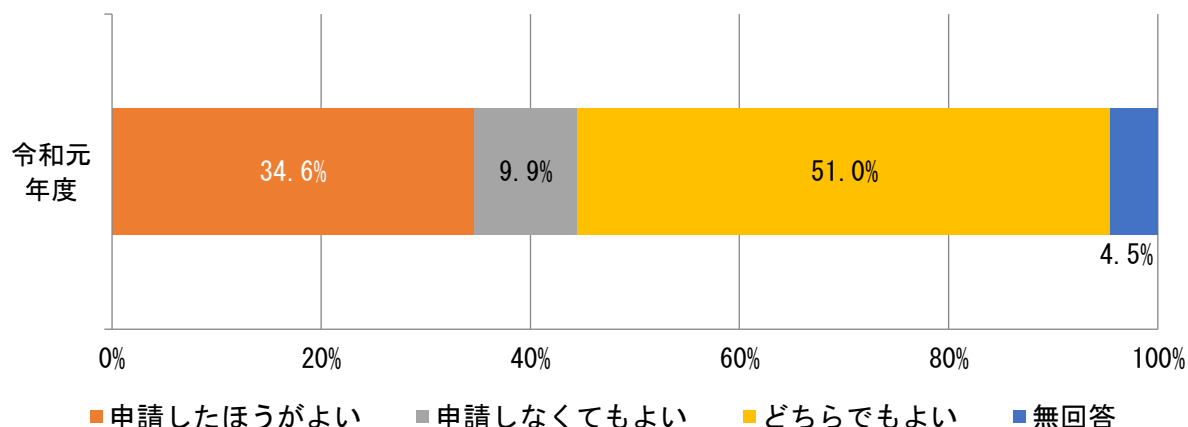
一方で「申請しなくてもよい」は北区が10.1%と最も高く、次いで東区(9.8%)、南区(9.7%)となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | 申請したほうがよい | 申請しなくてもよい | どちらでもよい | 無回答  |
|-------|-------|-----------|-----------|---------|------|
| 全体    | 1,130 | 37.4%     | 9.3%      | 49.0%   | 4.2% |
| 年齢別   |       |           |           |         |      |
| 20 歳代 | 80    | 28.8%     | 6.3%      | 65.0%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 32.6%     | 6.9%      | 58.3%   | 2.1% |
| 40 歳代 | 193   | 33.7%     | 8.3%      | 57.5%   | 0.5% |
| 50 歳代 | 184   | 34.8%     | 12.0%     | 50.5%   | 2.7% |
| 60 歳代 | 220   | 41.8%     | 12.7%     | 40.0%   | 5.5% |
| 70 歳代 | 191   | 45.0%     | 8.9%      | 39.8%   | 6.3% |
| 80 歳代 | 93    | 45.2%     | 6.5%      | 40.9%   | 7.5% |
| 職業別   |       |           |           |         |      |
| 会社員   | 375   | 35.5%     | 11.2%     | 50.7%   | 2.7% |
| 自営業   | 82    | 40.2%     | 8.5%      | 47.6%   | 3.7% |
| 農林漁業  | 12    | 33.3%     | 16.7%     | 50.0%   | —    |
| 公務員   | 82    | 31.7%     | 12.2%     | 56.1%   | —    |
| 学生    | 14    | 28.6%     | 14.3%     | 57.1%   | —    |
| 無職    | 396   | 38.9%     | 7.3%      | 47.0%   | 6.8% |
| その他   | 141   | 44.7%     | 8.5%      | 46.8%   | —    |
| 地区別   |       |           |           |         |      |
| 中央区   | 260   | 40.0%     | 9.2%      | 46.2%   | 4.6% |
| 東区    | 276   | 38.8%     | 9.8%      | 47.5%   | 4.0% |
| 西区    | 142   | 38.0%     | 7.7%      | 50.7%   | 3.5% |
| 南区    | 216   | 36.1%     | 9.7%      | 50.5%   | 3.7% |
| 北区    | 198   | 37.9%     | 10.1%     | 51.0%   | 1.0% |

問 4 1. 2018 年からラムサール条約の湿地自治体認証制度が始まっています。熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。（１つだけ）

「どちらでもよい」が51.0%と最も高く、次いで「申請したほうがよい」が34.6%、「申請しなくてもよい」が9.9%となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「申請したほうがよい」は60歳代が41.4%と最も高く、次いで70歳代（40.3%）、80歳代（36.6%）となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は50歳代が13.6%と最も高く、次いで60歳代（11.4%）、70歳代（11.0%）となっている。また、「どちらでもよい」は20歳代が66.3%と最も高く、次いで30歳代（60.4%）、40歳代（59.1%）となっており、若年層の関心が低くなっている。

職業別：「申請したほうがよい」はその他が41.8%と最も高く、次いで農林漁業（41.7%）、自営業（37.8%）となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は農林漁業が16.7%と最も高く、次いで学生（14.3%）、会社員（11.5%）となっている。

地区別：「申請したほうがよい」は西区が39.4%と最も高く、次いで南区（35.6%）、東区（35.1%）となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は南区が11.1%と最も高く、次いで北区（10.6%）、東区（10.1%）となっている。

■属性別回答

|       | 合計    | 申請したほうがよい | 申請しなくてもよい | どちらでもよい | 無回答   |
|-------|-------|-----------|-----------|---------|-------|
| 全体    | 1,130 | 34.6%     | 9.9%      | 51.0%   | 4.5%  |
| 年齢別   |       |           |           |         |       |
| 20 歳代 | 80    | 28.8%     | 5.0%      | 66.3%   | —     |
| 30 歳代 | 144   | 31.3%     | 6.3%      | 60.4%   | 2.1%  |
| 40 歳代 | 193   | 30.6%     | 9.3%      | 59.1%   | 1.0%  |
| 50 歳代 | 184   | 31.5%     | 13.6%     | 52.2%   | 2.7%  |
| 60 歳代 | 220   | 41.4%     | 11.4%     | 43.2%   | 4.1%  |
| 70 歳代 | 191   | 40.3%     | 11.0%     | 40.8%   | 7.9%  |
| 80 歳代 | 93    | 36.6%     | 7.5%      | 45.2%   | 10.8% |
| 職業別   |       |           |           |         |       |
| 会社員   | 375   | 33.3%     | 11.5%     | 52.3%   | 2.9%  |
| 自営業   | 82    | 37.8%     | 11.0%     | 50.0%   | 1.2%  |
| 農林漁業  | 12    | 41.7%     | 16.7%     | 41.7%   | —     |
| 公務員   | 82    | 32.9%     | 9.8%      | 57.3%   | —     |
| 学生    | 14    | 35.7%     | 14.3%     | 50.0%   | —     |
| 無職    | 396   | 33.8%     | 8.3%      | 49.7%   | 8.1%  |
| その他   | 141   | 41.8%     | 7.8%      | 50.4%   | —     |
| 地区別   |       |           |           |         |       |
| 中央区   | 260   | 34.6%     | 9.2%      | 51.9%   | 4.2%  |
| 東区    | 276   | 35.1%     | 10.1%     | 50.4%   | 4.3%  |
| 西区    | 142   | 39.4%     | 7.0%      | 50.7%   | 2.8%  |
| 南区    | 216   | 35.6%     | 11.1%     | 47.7%   | 5.6%  |
| 北区    | 198   | 33.3%     | 10.6%     | 55.1%   | 1.0%  |

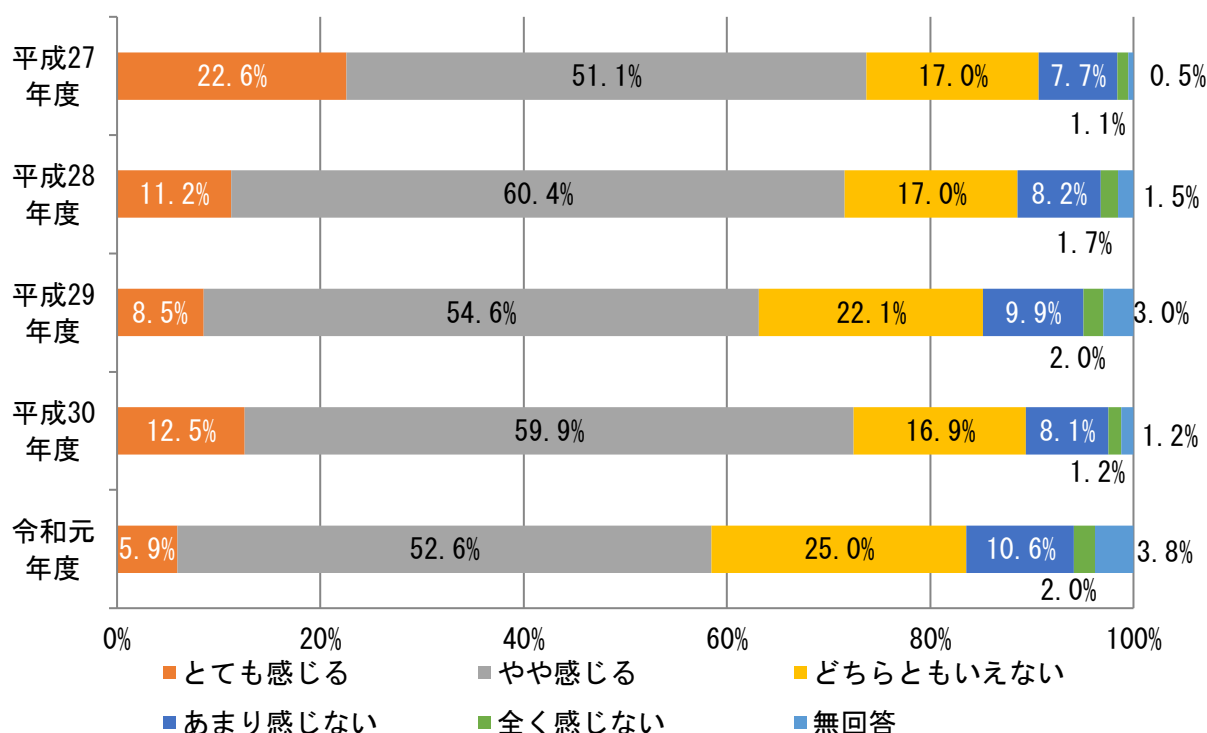
## ■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その2）

### 問4 2. 熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じますか。

（1つだけ）

「やや感じる」が52.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.0%、「あまり感じない」が10.6%となっている。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は58.5%で平成30年度の72.4%から13.9ポイント減少している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が69.9%と最も高く、次いで20歳代（61.3%）、70歳代（59.7%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合はその他が66.7%と最も高く、次いで公務員（60.9%）、農林漁業（58.3%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が61.2%と最も高く、次いで東区（60.9%）、中央区（59.6%）となっている。



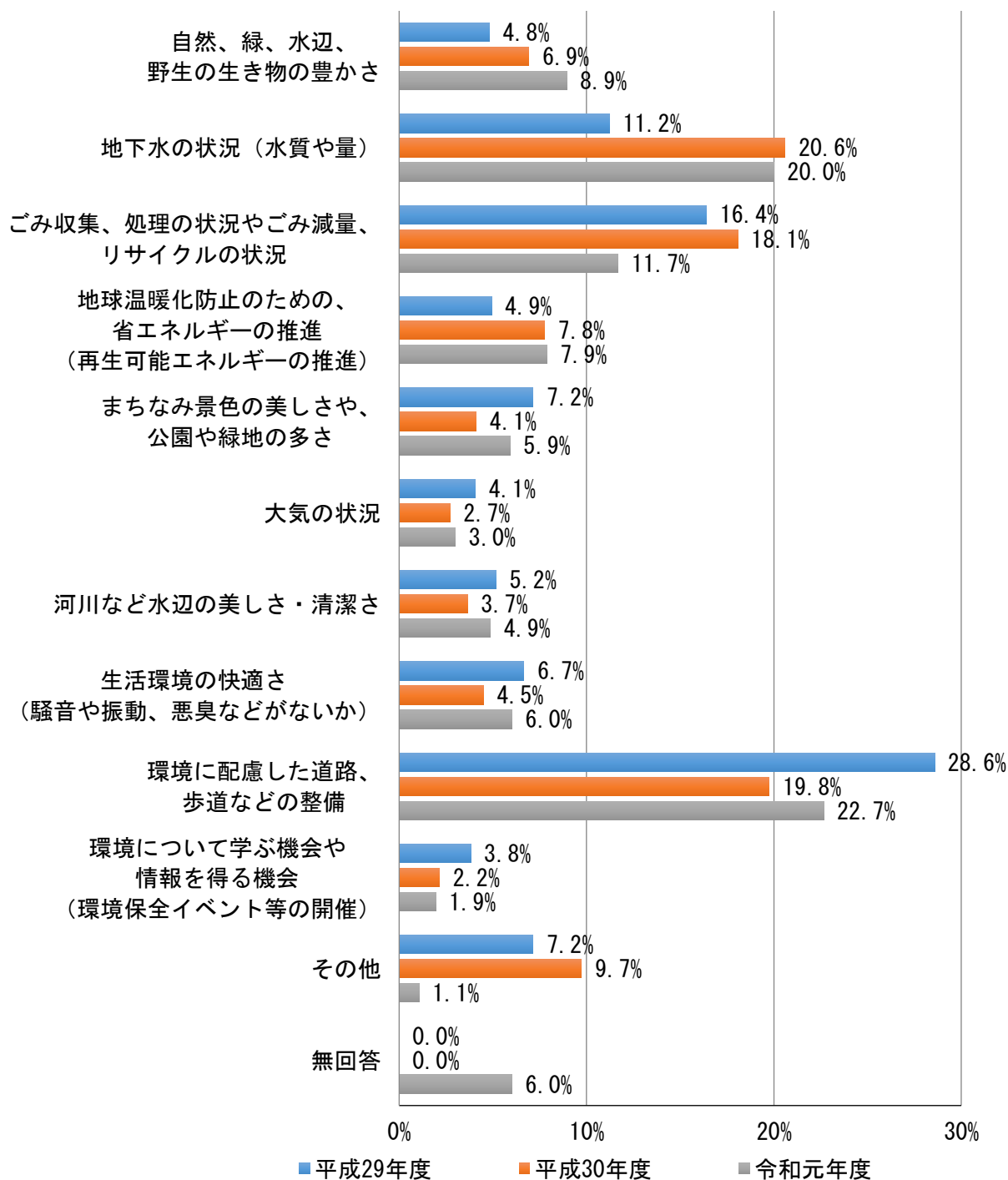
■属性別回答

|       | 合計    | とても感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 全く感じない | 無回答  |
|-------|-------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|
| 全体    | 1,130 | 5.9%   | 52.6% | 25.0%     | 10.6%   | 2.0%   | 3.8% |
| 年齢別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 20 歳代 | 80    | 8.8%   | 52.5% | 26.3%     | 10.0%   | 2.5%   | —    |
| 30 歳代 | 144   | 9.0%   | 45.8% | 29.9%     | 11.1%   | 2.1%   | 2.1% |
| 40 歳代 | 193   | 3.1%   | 49.7% | 30.6%     | 11.9%   | 3.6%   | 1.0% |
| 50 歳代 | 184   | 4.9%   | 53.3% | 24.5%     | 12.5%   | 2.7%   | 2.2% |
| 60 歳代 | 220   | 6.4%   | 52.7% | 24.5%     | 10.9%   | 1.4%   | 4.1% |
| 70 歳代 | 191   | 4.7%   | 55.0% | 22.5%     | 9.9%    | 1.0%   | 6.8% |
| 80 歳代 | 93    | 9.7%   | 60.2% | 15.1%     | 5.4%    | 1.1%   | 8.6% |
| 職業別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 会社員   | 375   | 5.3%   | 51.7% | 24.8%     | 13.1%   | 2.9%   | 2.1% |
| 自営業   | 82    | 7.3%   | 47.6% | 26.8%     | 14.6%   | 2.4%   | 1.2% |
| 農林漁業  | 12    | —      | 58.3% | 16.7%     | 8.3%    | 8.3%   | 8.3% |
| 公務員   | 82    | 8.5%   | 52.4% | 25.6%     | 13.4%   | —      | —    |
| 学生    | 14    | 7.1%   | 35.7% | 42.9%     | 7.1%    | 7.1%   | —    |
| 無職    | 396   | 6.3%   | 51.3% | 25.0%     | 9.1%    | 1.8%   | 6.6% |
| その他   | 141   | 5.7%   | 61.0% | 25.5%     | 5.7%    | 0.7%   | 1.4% |
| 地区別   |       |        |       |           |         |        |      |
| 中央区   | 260   | 6.5%   | 53.1% | 23.1%     | 12.3%   | 1.5%   | 3.5% |
| 東区    | 276   | 8.0%   | 52.9% | 23.6%     | 10.5%   | 2.9%   | 2.2% |
| 西区    | 142   | 4.2%   | 57.0% | 25.4%     | 7.0%    | 2.1%   | 4.2% |
| 南区    | 216   | 4.2%   | 50.5% | 27.8%     | 10.2%   | 3.2%   | 4.2% |
| 北区    | 198   | 6.6%   | 52.0% | 26.3%     | 11.6%   | 0.5%   | 3.0% |

■「熊本市内の環境問題」について

問 4 3. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて（10項目）から選んでください。（1つだけ）

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が22.7%と最も高く、次いで「地下水の状況（水質や量）」が20.0%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が11.7%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は50歳代が28.3%と最も高く、次いで40歳代（26.9%）、30歳代（25.7%）となっている。

「地下水の状況」は80歳代が26.9%と最も高く、次いで70歳代（22.5%）、60歳代（21.8%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は80歳代が15.1%と最も高く、次いで30歳代（14.6%）、60歳代（13.2%）となっている。

職業別：「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は学生が42.9%と最も高く、次いで会社員（27.5%）、その他（23.4%）となっている。

「地下水の状況」は農林漁業が25.0%と最も高く、次いで無職（23.0%）、その他（22.7%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は農林漁業が33.3%と最も高く、次いでその他（17.7%）、自営業（17.1%）となっている。

地区別：「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は東区が25.4%と最も高く、次いで中央区（25.0%）、北区（23.2%）となっている。

「地下水の状況」は東区が23.2%と最も高く、次いで西区（19.7%）、南区（19.4%）となっている。

「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は南区が13.4%と最も高く、次いで中央区（12.3%）、西区（12.0%）となっている。

# ■属性別回答

|      | 合計    | 野生の生き物の豊かさ<br>自然、緑、水辺、 | 地下水の状況（水質や量） | ごみ収集、処理の状況<br>ごみ減量、リサイクルの状況 | （再生可能エネルギーの推進）<br>省エネルギーの推進 | 地球温暖化防止のための、<br>公園や緑地の多さ | まちなみ景色の美しさや、 | 大気<br>の状況 | 河川など水辺の美しさ・清潔さ | （騒音や振動、悪臭などがないか）<br>生活環境の快適さ | 環境に配慮した道路、<br>歩道などの整備 | （環境保全イベント等の開催）<br>環境について学ぶ機会や<br>情報を得る機会 | その他   | 無回答 |
|------|-------|------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------|-----------|----------------|------------------------------|-----------------------|------------------------------------------|-------|-----|
| 全体   | 1,130 | 8.9%                   | 20.0%        | 11.7%                       | 7.9%                        | 5.9%                     | 3.0%         | 4.9%      | 6.0%           | 22.7%                        | 1.9%                  | 1.1%                                     | 6.0%  |     |
| 年代別  |       |                        |              |                             |                             |                          |              |           |                |                              |                       |                                          |       |     |
| 20歳代 | 80    | 6.3%                   | 11.3%        | 12.5%                       | 8.8%                        | 8.8%                     | 2.5%         | 7.5%      | 13.8%          | 25.0%                        | 3.8%                  | —                                        | —     |     |
| 30歳代 | 144   | 8.3%                   | 15.3%        | 14.6%                       | 5.6%                        | 6.9%                     | 2.8%         | 4.9%      | 8.3%           | 25.7%                        | 2.8%                  | 2.1%                                     | 2.8%  |     |
| 40歳代 | 193   | 8.3%                   | 18.7%        | 10.4%                       | 5.2%                        | 6.7%                     | 4.7%         | 3.6%      | 7.8%           | 26.9%                        | 2.1%                  | 2.6%                                     | 3.1%  |     |
| 50歳代 | 184   | 12.5%                  | 20.7%        | 9.2%                        | 6.5%                        | 4.9%                     | 2.7%         | 4.9%      | 3.8%           | 28.3%                        | 3.3%                  | 1.1%                                     | 2.2%  |     |
| 60歳代 | 220   | 5.9%                   | 21.8%        | 13.2%                       | 10.9%                       | 5.0%                     | 3.2%         | 5.9%      | 3.2%           | 20.9%                        | 0.9%                  | 0.9%                                     | 8.2%  |     |
| 70歳代 | 191   | 12.0%                  | 22.5%        | 8.9%                        | 10.5%                       | 5.2%                     | 2.6%         | 3.7%      | 5.8%           | 18.3%                        | 0.5%                  | —                                        | 9.9%  |     |
| 80歳代 | 93    | 5.4%                   | 26.9%        | 15.1%                       | 7.5%                        | 6.5%                     | 2.2%         | 4.3%      | 4.3%           | 15.1%                        | 1.1%                  | —                                        | 11.8% |     |
| 職業別  |       |                        |              |                             |                             |                          |              |           |                |                              |                       |                                          |       |     |
| 会社員  | 375   | 9.1%                   | 18.4%        | 8.8%                        | 6.1%                        | 6.9%                     | 4.3%         | 4.8%      | 5.1%           | 27.5%                        | 2.4%                  | 1.1%                                     | 5.6%  |     |
| 自営業  | 82    | 9.8%                   | 14.6%        | 17.1%                       | 8.5%                        | 6.1%                     | 1.2%         | 7.3%      | 9.8%           | 19.5%                        | 1.2%                  | 1.2%                                     | 3.7%  |     |
| 農林漁業 | 12    | —                      | 25.0%        | 33.3%                       | —                           | 8.3%                     | —            | —         | 8.3%           | 8.3%                         | —                     | 8.3%                                     | 8.3%  |     |
| 公務員  | 82    | 11.0%                  | 17.1%        | 12.2%                       | 7.3%                        | 11.0%                    | —            | 4.9%      | 11.0%          | 20.7%                        | 2.4%                  | 2.4%                                     | —     |     |
| 学生   | 14    | —                      | —            | 14.3%                       | 7.1%                        | —                        | —            | 21.4%     | 14.3%          | 42.9%                        | —                     | —                                        | —     |     |
| 無職   | 396   | 7.6%                   | 23.0%        | 9.6%                        | 10.1%                       | 5.1%                     | 3.3%         | 4.5%      | 4.8%           | 20.2%                        | 2.0%                  | 0.8%                                     | 9.1%  |     |
| その他  | 141   | 11.3%                  | 22.7%        | 17.7%                       | 7.8%                        | 3.5%                     | 2.8%         | 2.8%      | 6.4%           | 23.4%                        | 0.7%                  | 0.7%                                     | —     |     |
| 地区別  |       |                        |              |                             |                             |                          |              |           |                |                              |                       |                                          |       |     |
| 中央区  | 260   | 8.5%                   | 18.5%        | 12.3%                       | 6.2%                        | 6.9%                     | 3.8%         | 3.5%      | 8.5%           | 25.0%                        | 1.2%                  | 0.4%                                     | 5.4%  |     |
| 東区   | 276   | 9.1%                   | 23.2%        | 10.1%                       | 7.6%                        | 4.7%                     | 3.6%         | 4.7%      | 4.0%           | 25.4%                        | 2.2%                  | 1.4%                                     | 4.0%  |     |
| 西区   | 142   | 7.0%                   | 19.7%        | 12.0%                       | 11.3%                       | 7.7%                     | 2.1%         | 6.3%      | 6.3%           | 18.3%                        | 1.4%                  | 1.4%                                     | 6.3%  |     |
| 南区   | 216   | 9.3%                   | 19.4%        | 13.4%                       | 5.1%                        | 6.0%                     | 2.3%         | 7.9%      | 5.6%           | 22.2%                        | 1.4%                  | —                                        | 7.4%  |     |
| 北区   | 198   | 10.1%                  | 19.2%        | 10.6%                       | 11.6%                       | 5.1%                     | 3.0%         | 2.0%      | 5.6%           | 23.2%                        | 3.0%                  | 2.5%                                     | 4.0%  |     |

問44. あなたが問42. と問43. で回答されたことについて、どのような課題があったり、問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

■いただいた意見を問43の項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙する。

1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見（18件）

- ・ サメやブラックバスなど生態系を狂わせる生物が増えてきているため駆除や場所の限定をお願いします。
- ・ 8か月前に宮崎県小林市から熊本市に転入しました。小林市は自然豊かで時々恋しくなります。
- ・ インフラが整備されると、自然（緑や水など）が人工的な自然のようで、また人間を含む生物は人工的な自然の中に活かされているような感覚に陥るときがある。
- ・ かつて熊本市は森の都と呼ばれた時代があったがその名からは大きくかけ離れた都市となったと思われる。熊本市の売りである熊本城周辺を見ても高い建物が多く城を中心とした落ち着いた景観に乏しい。例えば熊本城の間近に国立病院が必要なのか。中心部から離れた場所でも人口減少に向かうと思われるがマンションが競うように建てられ、緑地や見晴らしが失われている。
- ・ 宅地も乱開発されて環境に配慮されていない。
- ・ 江津湖の外来植物と江津湖の外来種が心配
- ・ 近隣の農地が宅地へと変貌するのを見るにつけ小動物の減少、治水に不安を覚えます。
- ・ 金峰山系、熊本城周辺、立田山一帯、託麻三山の緑をまもることを切に希望します。
- ・ 熊本も森や田んぼがだんだん住宅になり、自然も無くなり水も少なくなるのではと心配しています。
- ・ 熊本市は水や緑に恵まれているし、その保全に努めていると思う。
- ・ 現在の環境をこれ以上壊さないように努力しなければならないと思います。
- ・ 行政は市民の提案に耳を傾けていただきたい。小さい頃よく見かけた蛍をあまり見なくなった。川岸をきれいにブロックやコンクリートで覆うことで蛍が住めなくなったと知り、残念に思っている。子どもたちがコンビニにたむろするのではなく、川岸で蛍と戯れている情景が見られたら素晴らしいと思う。美しい環境の定義は何か、難しいことですね。
- ・ 市長は「福岡に負けない熊本」と仰っていましたが熊本は自然環境との調和を目指し独自の道を歩みたいものと思います。熊本は先人たちのおかげで豊かな自然が身近にありながら、そのありがたさに無自覚な人が多い。人間の手が入ってこそ自然が守られてきたと思います。今山は荒れて河川管理は不十分。離農者も増え続け

ている。自然と人間とのあるべき関わり合いについて学ぶ機会をたくさん作っていただきたい。市長や行政には皆の力でもっと住みやすい、支え合う街として発展していくようリーダーシップを発揮してほしい。

- ・ 動物が車に轢かれないような動物用の地下道を整備してほしい。小さな野生動物が生きていける区域や川や池や森林を残して欲しい。人中心の開発ではなく、多様性を大事にしてほしい。
- ・ 野生の生き物が街においてくることもあり、できれば野生の生き物は山で暮らしてほしいので、ちゃんと生活できる場所を保ってあげてほしい。
- ・ 幼少のころ蛍を取りに川に行ったこと、江津湖で貝を拾ったこと、カブトムシを育てたことが老人になった今も楽しみで、江津湖に野鳥を見に行ったりしています。幼少のころの楽しみが今も続けられる自然に感謝したいと思います。子どもたちにもぜひ自然と触れ合う楽しみを経験させてあげたいと思います。
- ・ 電車の線路に緑があるのはいいなあと思いました。

## 2「地下水の状況（水質や量）」についての意見（68件）

### ●地下水保全について

- ・ 現在熊本市は阿蘇の伏流水により豊かで良質な水がありますが、将来的に見て地震、水害等により地下水の流れが変わったり水質汚染が進んで良質な水の供給が止まらないか心配です。
- ・ 自然の恵みや地下水が熊本市は豊かですが、これは郊外の山林、田畑を守ってもらっているからだと思う。熊本市周辺の自然を荒らさないで地下へ水がしみ込んでいくような安心安全な環境づくりが必要なのではないでしょうか。周りの努力されている方々の努力だと思います。また、江津湖は汚れていると思います。
- ・ 他県に住んでいる人も水道水に関してはうらやましいと言われるし地下水のおかげかわからないが熊本産の野菜もおいしいので、良好な環境がやや守られていると思います。
- ・ 水の都と言われるほどの水質の良さ、地下水の豊富さが少しずつ失われ、子どもたちが大人になる頃も同じ状態を保つことができるのか心配になるから。水の大切さ、皆で守る意識を持てると良いと思う。
- ・ 水は人が生きていくうえで欠かせないもので、熊本の水道水はとてもおいしいと思います。これを未来に残していくのは私たちの責任だと思います。そのためには今何ができるか、何をすべきか、このことを一人ひとりが考え、大切にしたいものです。熊本市の取組などもっとアピールしてほしいし、協力したいと思います。
- ・ 水は大切な資源です。いつまでも身体に安全な水のある熊本市でありたいと思います。

- ・ 水道水が地下水で賄われていることはすごいことです。熊本の水はおいしいし絶対守らなければならないと思います。
- ・ 水道水を 100%地下水でまかなう自治体は少ないと聞きます。いかに維持していくか私たち市民も考えなければと思います。
- ・ 他県から引っ越してきて水道を地下水で全て賄っていると知りすごいことだと思いました（引っ越してきた人に熊本の人たちがまず自慢することの一つです）。しかし、以前参加したイベントで市内の田が住宅に次々変化し、地下水量に影響を及ぼしていると聞きました。また農薬の利用により農薬の成分やしみだしているという話しも聞いています。元々からの熊本の人たちが誇りに思われている地下水が実はいろいろな問題に直面していることに熊本の人たちが気付いていないような気がします。もっと自慢の地下水を大事にすればいいのに、と思います。
- ・ 他県に住んで熊本の水道水のありがたみを感じた。水道水を地下水で賄える熊本は素晴らしいと思う。住んでいるとありがたみを感じなくなるので情報発信、よろしくお願いします。
- ・ 地下水のおかげで熊本の水はおいしいが、質量ともに破綻しないように対策を行っていく必要があると思う。
- ・ 地下水が地震後にどうなったか（変化があるのか）を知りたい。
- ・ 地下水のすばらしさをもっと認識し、更にかん養策に取り組むべき。そしてマイボトルでの地下水利用を呼び掛ける。するとペットボトルの利用を減らすことができる。
- ・ 地下水の安定供給のために、水田や森林保有者に対する協力依頼や節水呼びかけの実施。温暖化防止のための石油燃料等の削減取組への支援。井戸等利用者の把握と使用量等を確認し公共水道への変更を呼び掛ける。
- ・ 地下水の保全について、市民レベルで対応可能かつ効果のある具体的な対策を取るべきだと思う。
- ・ 地下水の保全のために上流域で水田に年中水をはっていることなど、地球環境に役立っていると思います。植林もいいと思います。
- ・ 地下水の保全対策の推進と過剰な利用の抑止が必要と思われます。
- ・ 地下水は他県にない熊本の魅力なので、次の世代にも残してほしい。
- ・ 地下水は量や安全があって当たり前と思わないようにしなければいけないと思う。
- ・ 地下水をもって大事にしないと枯渇が心配。規制の強化が必要では。
- ・ 地震で水がとまった際に実家の井戸水が利用でき大変助かりました。水が綺麗だと暮らす人も作物も豊かになると思いますので、これからも引き続き地下水の保全活動に力を入れて頂きたいです。

#### ●水質について

- ・ 井戸を 40 年以上使用しているが水質が年々心配になる。今後量が少なくなり枯

れないかが心配です。

- ・ 江津湖は熊本市の最良の地下水だからいつまでも維持してほしい。
- ・ 水質が悪くなってきたと思います。
- ・ 他県に比べると熊本市はとても緑も多く美しい街だとは思いますが、近年は水質を心配しています。地下水が汚れた時にはもう手遅れだと思いますので。人間による自然破壊を食い止めるべく、自然エネルギーを各戸に推進して無駄なゴミの出ない、もしくは最小限のごみ排出量暮らすことを目指していくべきだと思います。地球に感謝してエゴを捨てるべきだと思います。すべて一つにつながっていると思います。
- ・ 地下水の保全について、県も市もいろいろと取り組みされていますがまだ甘いと思います。熊本市内の工場、クリーニング工場、ガソリンスタンドなど排水を出しているところを抜き打ちで検査し良くないところは改善させるべきです。また費用については補助金を出すべきです。熊本市は100%地下水で飲料水をまかなっているのに、汚染させないため厳しくしてほしいと思います。

#### ●水量について

- ・ 小さい頃よく遊んでいた八景水谷公園の浅瀬が泥で埋まって水がなくなっていたりヘドロの量が増えたまま放置されているのは結構ショックだった。
- ・ 今の住まい（清水校区）は交通の便もよく、湧水公園も広く老人会などで使わせていただいています。最近の温暖化で阿蘇に雪もあまり降らず、地下水でいつまで暮らしていけるか心配です。
- ・ 子どものころ遊んでいたいろいろな場所で湧き水が無くなり心配している。いたるところで湧き水が出ていて、トマト、すいか、キュウリなどを冷やしたり、飲み水などに利用していた。残っているところだけでも守っていききたい。
- ・ 水前寺公園の池の水が減少しているといった地下水の状況は気になる。水質は素晴らしいが地下水への依存度を下げてもよいのではないかと思う時がある。
- ・ 昔は井戸を掘ると自噴していましたが今は見なくなった。地下水が枯渇するのではと心配しています。
- ・ 地下水が減少しつつあることが問題だと思う。
- ・ 地下水が本当に少なくなっているのか知りたい
- ・ 地下水については最近、江津湖や水前寺公園などの水量の低下を実感しています。

#### ●水道水について

- ・ 6年前に関東から引っ越してきました。熊本の水のおいしさと町を流れる川の美しさに感動しました。
- ・ 熊本は水が豊富できれいなことで安心して水道水を飲めます。これからも大事に使いたいと思います。



- ・ 熊本市の水道水はとてもおいしいです。いつまでもこの状態が続くように願っています。
- ・ 熊本地震の際にも、生活水の大切さは肌で感じ、その重要性は後世に伝えていかなければいけないと思っています。
- ・ 昨年インドを訪問し、衛生面（特に水）で不安でした。道路や路上生活者、貧困の割合が日本と全く異なり衝撃でした。そして、日本、自分の住む熊本の環境のすばらしさを改めて感じる事ができました。水道水を直接飲める熊本の水！どんなにありがたいことかとつくづく思います。そういうことを思えば今で満足しています。
- ・ 若いときは夫の仕事で他県に住んでいましたが水道水は汚れていて臭いがしていました。そのことを思うと熊本に帰ってきたことでほっとしています。おいしくてそのまま水道水を飲めるということは幸せです。
- ・ 上下水道等、水に関する公共事業の維持が心配
- ・ 水道水をトイレの水に使用することに抵抗を感じる。どうにか雨水を有効利用できないものか。
- ・ 水道料金が家ごとに、料金が定額制で従量制で違うのはなぜか。熊本は地下水で皆使っている水は同じではないのでしょうか。
- ・ 地下水だから断水はないと信じていましたが、熊本地震の際、長く断水が続き不安になりました。
- ・ 福岡（北九州）より移住してきたとき、水道水を生で飲めるありがたさ（美味しい！！）皮膚にやさしさを感じるうれしさ、最高でした。これは今も変わりません。大切にたいせつに地下水を使いたいです。
- ・ 幼稚園や小学校で水道水を飲んでも良いと言われるが、どれくらいきれいで安全なのかよくわからない。県外から移住してきた人には本当に大丈夫か不安です。

#### ●啓発

- ・ 今後熊本の地下水を守っていくために、地下水の現状を発信し、市民にも意識してもらうことが大切であると考え。未来にもおいしい水が飲めるように努力していく必要があると思う。

#### ●節水

- ・ 行政は頑張っているが、市民の意識が低い（水をまもる意識など）。
- ・ 節水に皆が気を付けなければならないと思う
- ・ 節水の一環として雨水利用を今より一層啓発推進されてはいかがだろうか。
- ・ 近年地下水が減少していると思うので、節水に努めたいです。

#### ●その他

- ・ 金峰山のふもとの湧水群はもっと知られてもよいのでは（少し整備してもよいと思う）。

### 3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見（65件）

#### ●ルール違反ごみや不法投棄について

- ・ ごみステーションが蓋つきだが、曜日も守らずに出す人がいて汚くなって困っています。もっとゴミ出しルールを守ることの大切さなどを皆で考えたい。
- ・ ごみステーションにごみの分別ができていないゴミ袋や、決まった日に決まったごみを出していないなど、ルール違反をたまに見かける。一人ひとりがルールを守るような注意喚起や規制強化が必要
- ・ ごみの分別や日時が守れない人が増えてきている。
- ・ ごみの分別を守れない人がいることが残念。道路にたばこのポイ捨て、弁当のごみも捨ててあることもある。ゴミ出しの日にはステーションまでごみを拾いながら行っている。
- ・ ごみを減らすことはもちろんだが、分別がいまいちであったりステーションに残ったままであったり、ステーションが汚かったり、そういった生活に密接にかかわる小さなことを解決していかないと意識の向上（大きな問題に目を向ける）にはつながらないと思う
- ・ ゴミ出しマナーの悪さが気になる。目に余るケースは摘発してもよいのではないのでしょうか。夜間収集日を設定したりすると不規則な職種の人もありがたいと思う。
- ・ ゴミ出しルールさえ守られていない実情を目の当たりにすると悲しくなる。それさえできないと自然環境は守れないと思う。
- ・ ゴミ出しルールなどの必要最低限のルールをまもる生活を皆がするとストレスなく生活できると思う。
- ・ ポイ捨て、ゴミ出しルール違反などマナーが悪い。
- ・ ポイ捨ての多さは課題だと思います。
- ・ ポイ捨てや不法投棄が多い。マナーの向上が課題だと思う。
- ・ マンションやアパートのごみステーションへの不法投棄が多すぎる
- ・ 街なかのポイ捨てが問題
- ・ 学校での活動で街をきれいにする取り組みは行われているが道路に落ちているごみを捨てているのは大人。大人の問題行動のために子どもがごみを拾ってきれいにしているという事実を街の大人は知っているのか。悪く言えば子どもが大人のしりぬぐいをしている。
- ・ 基本的にごみの出しルールが悪い。
- ・ 熊本はとても住みやすいと感じておりますが、たまに道路の汚れやごみが気になることがあります。
- ・ 熊本城マラソンのときには、ボランティアの方々が毎週のようにゴミ拾い、清掃ボランティアをされていたが、普段から街でゴミを見かける。活動をしているのかも知れないが、1ヶ月に一回ほど清掃活動をしてほしいと思いました。大人

だけではなく、子どもや、せっかく大学がいくつもあるので、大学に依頼するなどさまざまな業種の市民に知ってもらうことが大切だと思います。

- ・ 市中心部に近付くほど道路にはごみがあり汚く整備が行き届いていない箇所が目立つ。
- ・ 市中心部に出かけるとごみがよく落ちているのを見かける（たばこやビール缶など）。
- ・ 市内アーケード内のポイ捨てやたばこの吸い殻が落ちていたりするのも全く減っていないと感じる。
- ・ 大型ごみなどを平気で不法投棄する者がまだいます。市民の常識が問われます。
- ・ 誰でも自分さえよければいいと思っているかもしれないが、とにかくごみのポイ捨てが多い。
- ・ 不法投棄をよく見かける。

#### ●リサイクルについて

- ・ リユースの考えを持ってみるのはどうだろうか。
- ・ 再利用できるものは再利用する（リサイクルや代替品の活用）

#### ●ごみの分別について

- ・ 8 か月前に宮崎県小林市から熊本市に転入しました。ごみの分別が小林市では厳しかったので、熊本市でも徹底して分別しています。しかし他の人が出すごみは分別されていないように感じます。
- ・ ごみの分別ができていない家庭が多い。
- ・ 他県よりもごみの分別数が多く、リサイクルなどよく取り組んでいると思います。さらに美しい街となるには、もっと分別数を増やしてもいいのかもしれない。
- ・ 菊陽町で作成しているごみ分別の本のようなものがあればもっと良いと思う。
- ・ 熊本市は他の市町村と比較してもごみ分別の考え方が緩いように感じます。ルール違反のごみを出す人も多いし、市もそれを取り締まっていないように思います。自分の地区ではないごみステーションに捨てていく人もいます。PTA で廃品回収をした時も、指定されたとおりに分別されていないことが多いです。きちんと分別することで、きちんとリサイクルできるのだということを市民にもっと周知させることも大切だと思います。
- ・ 分別品目数をこれ以上増やすのは無理です。
- ・ 友人宅（市内）に訪問した時にごみ分別（プラスチック容器包装）の違いに驚いた。人それぞれで分別方法を解釈しているんだと考えさせられた。プラ容器にシールが貼ってあることが多いがそのまま出してよいのかいつも気になる。
- ・ ごみ分別をされていないところを見かけることがあるあまりいい気分になれない。個人の意識の問題だと思うが常識の問題でもあると思う。決められていることは守るべきと思う。

- ・ ごみ分別は永遠のテーマのような気がします。多くの人は秩序を守っていると思いますが、その他一部の人が大きくそれを乱していると思います。一人ひとりの心がけ、それが大事です。分別に短期間携わったことがありますので、自分は学習しました。熊本大好き！！
- ・ ごみカレンダーがあるのにいまだ分別されずにごみを出す人がいたり、各都市で分別に違いもあるので、他の地域から引っ越ししてこられた人にも注意を払っていただけると少しは改善していくのではと思います。
- 持ち去りについて
  - ・ 熊本は環境でよいと感じています。しかし、家の前のごみステーションは持ち去りも投棄も多く困っている。
  - ・ 資源物の持ち去り行為が減らないことについては厳罰化すべき。
- ごみの減量、ごみ袋有料化について
  - ・ ごみ問題に関して、埋め立て場が満杯になると昔報道があり危機感を覚えました。現在の環境向上のごみ搬入量や設備の稼働状況、埋め立て場の状況などの報道があれば、私たちの心構えも前向きになると思います。
  - ・ ごみの量が多いと思います。ごみを減らすためにはごみ袋の料金を少し高くしてもいいのではないかと思います。県外に住んでいた時は燃えるゴミ袋は 800 円くらいしていました。人口が違うので熊本市では 800 円は高いと思うので少々料金をアップしてもいいのではないのでしょうか。
  - ・ ごみの量について：熊本市の取り組みというよりも安く購入できるものが増えたため各家庭でごみとなるものが大量に増えていると思う。
  - ・ ごみの分別はするものの、ペットボトル購入を控えることもできず毎日大量のごみを出している。過剰な包装が無くなればよいが断るタイミングがあるときだけ申し出ている。
  - ・ 熊本の住民はごみ処理に関してあまり配慮や関心が無いように思います。プラスチックやペットボトルを洗わないでごみに捨てたり、一般ゴミでも分別されていない家庭が多いように思います。資金面で難しいとは思いますが、リサイクル家具をリメイクして販売するシステムや無駄な包装やプラスチックを減らすなどエコ生活の提案（公民館の主催講座などで）で暮らしを楽しくしながら資源を守っていく取り組みがあつたら是非参加したいです。また是非検討していただきたいのが生ごみの収集です。海外（主にヨーロッパ）ではすでに常識となっており、日本でも取り入れていただきたいと思います。こちらコストがかかると思いますが、水分を含んだ可燃ごみを燃やすのもだいぶコストがかかると思います。
  - ・ 市がリーダーシップをとって工夫すれば、ゴミの減量はもっと進められると思う。
  - ・ 自分も含めてごみの量を減らす取組を実践する必要があると思う。
  - ・ 生ごみの排出量を抑制することは小さいことではあるが、我が家では乾燥させ

てからごみ収集に出すようにしている。

- ・ 年々ごみが増えていると感じるのでいかに減量できるかを考えないといけないと思います。
- ・ 無駄な買い物をやめて物を大切にしている。

#### ●プラスチック問題について

- ・ プラスチック容器包装はちゃんとリサイクルされているのか。分別の手間をかける必要が本当にあるのか疑問に思う時がある。広報をもっとしてほしい。
- ・ 熊本市の水をいつまでもきれいな状態にしておけるよう、現在のごみ出しのプラスチックごみを再生可能できるものとできないものに分けて出せるように分別ルールを変えることも必要だと思う。
- ・ レジ袋有料化が環境保全につながっているとは全く思わない。もっと自治体が一体となって取り組むべき。プラスチックストローや割りばしも有料にするほか、レジ袋は取り扱わないなどとするべき。
- ・ 生活の中にあるプラスチックゴミを減らす努力が必要です。プラスチック製品をビン、紙製品に変えたり、プラスチック製品を使わない。生活が不便になっても環境を守る努力が必要です。

#### ●収集について

- ・ 収集は戸別収集方式の採用を是非願います。

#### ●ごみステーションについて

- ・ ごみステーションの管理について、努力が足りない自治会が多いと思う。管理が行き届いている町内のステーションはいつもきれいである。市役所内部に町内を数多く見て情報を整理して今後の取組に生かす実動チームを作ってほしい。また関連する団体との連携を密にしてほしい。
- ・ 居住する隣保班のごみステーションは電柱の根元に出しているが、交通の往来が激しく、カラス避けのネットに自転車等が引っかかって事故が起きないか心配（問い合わせをしているが市役所から返答が無い状態が続いている）
- ・ 自宅近くのごみステーションは戸数に対してサイズが小さく、ごみのはみ出ししているので、適正なサイズにして欲しい。
- ・ 団地の近所に住んでいる老人がごみを出す際に、団地のステーションが近いのに、遠い指定されたステーションまで出しに行っているのはどうにかならないかと思う。
- ・ 利用しているごみステーションのごみ捨て状況がここ数年で酷くなった。地域への愛着の薄れだろうか？

#### ●その他

- ・ ごみ処理能力が限界に近付いているのではないかと心配している。
- ・ ごみ問題は個人のモラルが関係しているので、幼い時から学習する必要があると思う。

- ・ 熊本市民の美化意識を高めることが大切だと思います。自分のごみは家に持ち帰るくらいに各自の清掃活動は大事だと思います。
- ・ 鹿児島県から 5 年前に転入してきましたのですが、今住んでいるところは環境は良いのですが、側溝掃除などで市民が地域内の清掃に協力する機会はないのでしょうか。雑草などが気になります。皆で一年に一度でも出そろって協力するのも市民の力だと思います。

#### 4「地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）」についての意見（21 件）

##### ●気候変動・温暖化について

- ・ 異常気象による災害を防ぐため、より省エネや緑化を推進し自然を楽しみながら暮らす工夫をする、循環型社会を目指す。
- ・ 温暖化により季節感のなさが気になります。
- ・ 温暖化防止については熊本というよりも地球全体で取り組まないと地球がだめになるのではと心配します。
- ・ 最近の気候変動や自然災害には恐怖を感じます。昔は起こらなかった自然災害が今起きることにもっと真剣に考えなくてはいけないと思います。
- ・ 最近では自然災害が多いので環境の変化をすごく感じています。
- ・ 大気汚染で生活しにくくなり、温暖化で北極や南極の氷が解けていくのを見ると、小さい島々が沈んでしまったりしないかが心配
- ・ 地球温暖化防止が最大の課題。

##### ●太陽光発電について

- ・ 10 年前に太陽光設備（4.1 kW, 230 万円）を屋根につけました。先日 4.5 kW の蓄電池を工事費込みで 148 万円で設置しましたが、天気の良いれば短時間で蓄電池が満杯になり売電が始まります。売電量が当初とあまり変わりませんが、売電価格は当初の 1/7 に・・・
- ・ 太陽光発電は素晴らしいと思うが買い取り分が消費者の負担になること（再エネ賦課金）、これ以上高くなると困る人があると思う。
- ・ 熊本市は太陽光発電を行っているところをほぼ見かけない。中心部に関しては特にビル屋上や外壁に再生可能エネルギーの設置推進を行うと良いと思う。
- ・ 使用していない田畑に太陽光発電を設置する場合に雨が地面にしみこみにくくなり地下水への影響があるのではないかと思います。山間地の木を切った太陽光発電も問題があるのではないのでしょうか。
- ・ 太陽光パネルの廃棄の問題が気になります。FIT が終わった後の大量廃棄に伴う処理場の確保はできているのでしょうか。
- ・ 太陽光発電の買取りを強化すべき。
- ・ 地震の後俵山から阿蘇方面の山を見ると山肌がキラキラ光って見えるようにな

り何かと思ったら、メガソーラーの畑でした。山を切り開き木を倒して設置するのはどうかと心配です。景観も悪いしパネルの処分も結果的には大変だと聞きます。作ったからには持続できるように県や行政がきちんと監視していくことが大切だと思います。

●広報、啓発について

- ・ 地球温暖化が環境や生活に影響を及ぼすと思うので細かく認知されるべきだと思う。
- ・ 地球温暖化防止のため週に一度くらいはノーマイカーデーを設けてはどうか。

●省エネルギーについて

- ・ EV を購入して災害の時の不安をなくしたり、太陽光蓄電池など電力不足を補う設備を考えているが、値段が高くて思い切れない。一般家庭でも楽に購入できるよう補助を充実してもらえたら良いと思う。

●その他

- ・ マイカーが多すぎる。思う景観は緑よりも渋滞のイメージしかない。公共交通機関を増やしてほしい。平日の市内のマイカー禁止など大胆な展開をしないと温室効果ガス排出量ゼロなど達成できないと思う。
- ・ 夏の気温上昇が異常と思えるレベルになっている。夏を過ごしやすくするための方策として、道路の舗装材、窓ガラスに遮熱材、庭のコンクリート面にも遮熱材塗布などが必要。再エネよりも身近なところの工夫が必要
- ・ 全体的に質は高いと感じます。新しいクリーンエネルギーに触れる機会がより増えれば良いと思います。
- ・ 路線バスの騒音と排気ガス対策が必要で、環境を考えたやさしい運転は全くされていない。学校周辺や住宅密集地では特に減速、停車、発車時の運転対応は大事だと思う。同じくごみ収集車もバスと同様と感じる。公共交通として環境にやさしいバスの導入やドライバー教育を望む。街灯が少なく設置分も暗いので、市内全域整備時期ではないか。

5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見（44件）

●街並みについて

- ・ 4年前に15年振りくらいに熊本に帰ってきたが、街が綺麗だと感じたことがほとんどない。
- ・ 道も自然も建物もどこか荒れていたりくすんでいるように感じる。（太平洋側に比べ日照の少ない天候も関係あると思う。）
- ・ まちに花が少ない（花壇が少ない）。
- ・ 下通周辺に特に朝の時間帯にごみのポイ捨てや嘔吐物が多くきれいな街並みとは言えない。公共の場であれば汚れていても構わないという感覚を改めることが必要であると思われます。

- ・ 河川工事や宅地造成のために、川の景観が無くなり、田畑が新しい住宅地になって、熊本の緑の街は生活のために無くなっていつています。計画的で美しい街づくり、歴史を大事にできるよう建築家や専門の方がたくさん参加して、日本一のまちづくりモデルをお願いします。
- ・ 街の景観に独自性が無い
- ・ 街並みが美しいと自然と人の気持ちもきれいになると思う。
- ・ 観光地はきれいに整備してあるが、他の場所や道路などは草が生えていたり見た目も悪い。観光都市を目指しているのであればきれいにすべき。不審者に対する抑止力にもなると思う。
- ・ 近くの森が次々と宅地造成されていくのを見るとこれ以上開発してほしくないと思う。山の木が切られることで大雨での災害がますます増えると思う。
- ・ 空き家が増えているのに新しく山や畑をつぶして住宅が建つ軒数が多い。これ以上自然を壊してほしくない。
- ・ 熊本は東京などと比べ自然環境はかなり維持できていると思う反面、郊外部の田畑が無くなり家ができているのを見ると残念な気持ちになる。
- ・ 現在市街地は開発工事等が盛んに進んでいるように思われるが、郊外においてはあまり実感できない。
- ・ 古くから残された街並みの癒される風景、特に並木坂の辺りは他県より引っ越してきた私にとっては昔過ごした古き懐かしい街を思い出され楽しい思い出がします。
- ・ 市内にて、宅地は増えているが、田畑がつぶれている。
- ・ 住む場所は増えているが、働く場、食糧生産の場、地下水の蓄用の場が減っているように感じる。
- ・ 震災以降私の家の周りには12～15階建てのマンションばかりできるようになり、そんなに需要があるか疑問です。町内が整理されてきれいになることは良いことだと思いますが、個人個人の付き合いも少なくなり、知らない人がいっぱい町内になることもとても不安です。
- ・ 昔に比べどこを歩いてもビルばかりでどこを歩いているのかわからなくなるようで寂しく思います。
- ・ 中心市街地のアーケード街がドラッグストア、パチンコ店が多くなり魅力を感じなくなった。熊本城周辺環境が楽しくない。もっと人の集まる場所が必要だと考える。SNSで話題となるようなスポットが必要。県花のりんどう花畑とかどうだろうか？くまモンに家族が増えてもいいし、くまモンの結婚式を神社で行うなどのイベントをすればものすごい人が集まると思います。
- ・ 中心部はきれいになりましたので周辺部の地域も整備されていくと人々も生き生きと豊かな暮らしができると思います。
- ・ 品のない看板の撤去
- ・ 目立つ場所は整備も進んでいるようだが、住宅地などに関しては全くと言って



よいほど進んでいない。人口が減少し空き家も問題になっている昨今、新築の住宅やマンションが次々と建てられている現状に疑問を感じる。

- ・ 良好な環境が守られていると一部では感じるところはあるが、目が届かないところでは特に感じない（特に郊外）。郊外の住宅地は新しく宅地になったせいか、道路もないしあっても狭いし、家畜車両も無理に通行する。また点滅信号とか街灯もないから危ない。都市部の開発だけでなく少し目の届かない部分にも力を入れてもらおうとありがたいです。

#### ●公園や緑地について

- ・ 健康増進のための啓発活動（イベント企画、公園等への運動器具の設置、安価で利用できる運動施設の拡充等）
- ・ 近所の公園も同様に雑草の伸びた公園は憩いの場や遊び場ではなくただの荒地のようです。費用や管理の難しさはあると思いますが、もう少し短いサイクルで草刈りや剪定ができればいいのにと感じます。
- ・ 子供とよく公園に行くので、緑が多く助かっています。子供といっしょに公園は「来た時よりも美しく」を心がけてごみ拾いをして帰ります。お花をきれいに植えてあったりいつもありがとうございます。
- ・ 熊本は自然環境は守られていると思います。近くに八景水谷公園とかがあって散歩に行ったりするけど「いいなー」と感じます。
- ・ 近くに公園があるにはあるが、遊具等の数が少なくただの広場であって、子供たちが遊べる公園ではないような気がする。
- ・ 公園が少ないのが問題。町内にある公園は遊具が少しある程度で散歩できるほどの広さが無く、高齢者や子供が安心してゆっくり憩える場所が少ないと思う。
- ・ 公園が少なくあっても暗い感じがする。
- ・ 公園内の安全安心と美しさの点検を強化してほしい
- ・ 緑が多いイメージは都市部のサクラマチくらいしか浮かばず、一部にしか働きかけていないのでは？と思ってしまう。緑も多く静かで安全な熊本市になってほしいと将来の子供のことを考えるとさらに強く思う。
- ・ 市内の街並みで緑を感じる事が少ない。子供たちが遊ぶ公園に大きな木が無く木陰が無いことが気になる。地域の小さな公園も緑豊かに整備してもらい、緑地帯がつながっていくイメージで街づくりに取り組んでももらいたい。東京のような大都会でも街では至る所に緑がある。行政と建築・土木の力不足・力の差を感じる。
- ・ 市内は必ずしも緑が豊かであるとは言えない。
- ・ 自然豊かな緑地などの整備、市民が和む公園の整備など
- ・ 小さな公園などは余り整備清掃がされていないように感じられます。皆に使ってもらえるような公園や自然環境がもっと必要と思います。
- ・ 他県に比べてとても緑が多くきれいだと思っています。

- ・ 宅地開発で自然環境は悪くなっていると感じます。また公園などの樹木も少な  
くただの広場ばかりであると感じます。
- ・ 東京とか都会の方が自然が街中にたくさんあって自然を感じることもある。
- ・ 道路や公園の緑化美化について管理は大変だと思うが、より美しい街並みをつ  
くるために今少し対処法を考える必要があるのではと感じます。
- ・ 美しいし緑も多いと思うが、それがきちんと整備されているように感じない。
- ・ 緑が少ないと感じます。公園や緑地を増やすことで得られるメリットは大きい  
と考えています。
- ・ 緑が少ないと感じる。公園で喫煙者が多く、歩きたばこも多い。子供に当たり  
そうで怖い。公園でも安全に遊べない。
- ・ 緑が多い場所もあるが、剪定や手入れがされず放置されすぎだと思う。人と緑  
が共生できる場所をもっと増やしてほしい。
- ・ 緑豊かな公園がほしいと思う。公園の遊具の管理とトイレの清潔さを保ってほ  
しい。緑が多い公園でも周辺環境が良くないと利用したいと思わない。
- ・ 公園の草が伸びっぱなしのため子どもを遊ばせるには不向き。

#### 6「大気の状態」についての意見（9件）

- ・ PM2.5が心配
- ・ PM2.5の排出国への抗議と排出削減努力の要請を求める
- ・ PM2.5や黄砂の対策方法が、マスクをする、洗濯物を部屋干しするくらいしか  
知りません。熊本は被害が多い（数値が大きい）と思うので、市独自の対策方法  
を作って広めるといいかなと思います。
- ・ バスの排気ガスがひどい。
- ・ バスの排気ガスが汚く東京に比べ空気も汚く感じます。東京でディーゼル車の  
排気ガス規制ができたのだから、熊本でもやろうと思えばできるのではないでし  
ょうか。
- ・ 黒煙を出す車を無くしてほしい。昔、東京都がやったディーゼル車規制をし  
てほしい。
- ・ 大気汚染に関しては地球規模で考えないと改善できないと思う。
- ・ 島根県出身だが熊本のほうが都市化が進んでいるが空気が非常に良いと感じ  
る。
- ・ 排気ガスで洗濯物を外に干したら臭いがつく

#### 7「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見（44件）

- ・ 河川が汚いと感じる、ゴミや草など。河川と街がつながっているようなまちづ  
くり、他都市など行くと、河川が街並の一部になっていて憩いの場などにもなっ  
ている。

- ・ 白川などの河川域にごみがあったりするので清潔なところにはよい人の集まりや流れができると思う。白川の河川敷で散歩やランニングが長距離できるような場所となってほしい。また白川の水が臭うのが気になる。
- ・ タバコやコンビニの袋のポイ捨て。職場の近くの小川にもたくさんのごみが投棄されています。その川で鳥がエサを探しています。誰でも参加できるようなごみゼロ運動のようなものができればごみも減るのでしょうか。せつかく水や緑が豊かな県ですが、ごみが多すぎます（江津湖も）
- ・ ラムサール条約の登録湿地に認証されると水鳥を守ることにつながるので申請したほうが良いと思う
- ・ 温暖化で真夏に外を歩くことができない。白川を代表として快適な川岸の環境整備が必要。子供や高齢者が生き生きできる社会を目指してほしい。
- ・ 家の近くに用水路があるが、流れがせき止められるくらいビニール袋やペットボトルがいっぱいになっていることがある。市政だよりなどでポイ捨て禁止を訴えてください。
- ・ 河口近くの草むらや港周辺の大型ごみの多さが問題。不法投棄が多い。
- ・ 河川のごみが多すぎる。緑不足。用水路の整備、環境改善を望みます。
- ・ 河川のごみを見かけるが、なかなか取り組みやすいところになくそのせいか、いつまでも放置されたままで気になる。
- ・ 河川の汚濁については以前より改善しているように思えるが、川べりの雑草は伸び放題、防草シートは、貼ってあるだけ、どうしたいのかわからない。
- ・ 河川や湖の水は概ねきれいだが水底にごみが散見される。
- ・ 河川や江津湖の美化浄化を推進してほしい。
- ・ 河川工事が多いが工事をするのできれいになるが、災害にはつながらないのか疑問に思う。
- ・ 井手や用水路の埋め立ても問題
- ・ 近くに健軍川がありますがなかなかきれいだとは思えず、以前はカモや小魚がいましたが最近ほとんど見かけなくなりました。散歩に出るのも楽しみがなくなりました。
- ・ 近くの川があまりきれいだとは思わないのでもう少しきれいになればと思います。
- ・ 熊本市内であっても池上町付近は生活排水をそのまま水路に流している家庭があるように思う。とても臭く絶対にこんな地域に住みたくないと感じますし、住民の人は良く生活しておられるな一と思います。
- ・ 経費の問題もあるが、不心得者が出る堤道の除草をして欲しい。また、緑化の問題にしても街路樹の整理が悪いと、個人の庭の樹木の整理も悪くなるように感じる（整理しなくてもいいのだという思いが市民に広がって環境美化に取り組む気持ちなくなる）

- ・ 江津湖などは自然のまま、自然を生かした公園化など熊本の湖水を維持していく方法を考えてほしいと思います。
- ・ 江津湖によく行くがペットボトル、ビニール袋のごみが多くて汚い（以前に比べると良くなったが）。親子連れが江津湖に来て、湖で泳いでいる鳥に子どもが石を投げているが親が注意しないので、立て札で注意が必要（特に動物園像舎付近の河原）。釣り人がごみを捨てている。歩道が狭く歩きにくい。
- ・ 江津湖のラムサールは認証されるとどのような利点があるのか示してほしい。
- ・ 江津湖の水位の低下
- ・ 江津湖をもっと整備して人々が集まる施設をつくり、花畑を作ったり子どもの遊ぶ施設で大人も楽しめるように食事ができるような施設を作ってみてはどうか。整備区域によっては有料化しても良い。
- ・ 江津湖周辺をよく通るが毎年水草の除去作業を見ます。除去しても次の年には復活するのですが・・・その原因となるところに取り組みなければと思います。生態系の仕組みなどに関連していると思われとても難しい問題でしょう。成長した水草にも悪い気がしてやるせないと思います。どのように解決すべきかを行政でひも解いて市民に広報されてはと思います。
- ・ 三和中学校の周りの用水路がヘドロなどが溜まって悪臭を放っている。決して清潔とは言えない。
- ・ 私の地域では水路が通学路にあります。蓋をしていただけないか自治会に相談したこともありましたが難しいとの回答でした。しかし年1~2回は子供が自転車ごと落ちたとか、低学年の子供が落ちたという話を聞きます。何か解決方法はありますか。
- ・ 私は、熊本を『水の都』と思っています。地下水が豊富で、江津湖、白川や緑川などの湿地や河川もあり、水に囲まれている感じがしています。だから、熊本は水を大事にする自治体であってほしいと思います。水がなければ生き物は生きていけません。水を大切にするとところには人もそのほかの生き物も自然と集まります。そんな都市だといいな、と思っています。
- ・ 自然の多い地域（飽田東）で生活しているが、雨量の多いときは下流の住宅地の用水路はあふれてしまう状況が多くある。空家も増えつつあり、樹木の剪定などができずに、道路の通行にも支障をきたすようになっている。
- ・ 車道の傍に大きな溝があり、小さな川が流れている場所が所々あり、自転車で移動したり、歩行したりする際に危険を感じる。車社会から脱却し辛い。
- ・ 住まいが秋津なので江津湖公園や秋津川周辺の散歩をよくします。自然の美しさを感じ、水のきれいさ、住みやすさを改めて感じます。子供が毎年江津湖の清掃（水草駆除）に行っていますが、1日で終わらず1/3位水草が残ってしまう。残りを行政でしてくれれば全部なくなるのに1/3残っているので、しばらくすると全体に広がってします。一斉清掃後の残の水草は行政でお願いしたい。

- ・ 近くの川はせっかく湧水が湧いてすごくきれいなのに、ヘドロや草があちこちあり、川の中が島みたいになって残念だ。
- ・ 近所の方がボランティアで清掃されるのをよく見かけますが、一人で大変そう。秋津小の裏の川で、魚も泳いで子どももよく遊んで大切にしたい場所。一度行政の方にも見に来てほしい。
- ・ 小さな川が生活用水の垂れ流しで汚染されている
- ・ 水環境や地下水の良さを訴えているが、市役所前の坪井川の水が汚過ぎる。まずは観光客の目にも触れ、役所の目の前にある川の環境から改善されることを期待します。
- ・ 西区で漁業をしているが、海はごみが多く、温暖化で海苔が育たない。
- ・ 川や池の水草（タイワンナギやウォーターレタスなど）。
- ・ 大きな河川でも小さな水路でも、きれいだなとか魚がいるななどと思いながら眺めることがほとんどなくなりました。水路掃除に取り組んではいますがとても追いつきません。
- ・ 大きな河川は良いが小河川（例えば健軍川）はチリ、ゴミ等の不法投棄や草木が密集しており悪循環の根源では？
- ・ 大きな川だけでなく、井出等の小さい川の清掃点検
- ・ 地震の後の河川敷の整備等の対策が遅い
- ・ 中央区から水田が無くなり近くの用水路に水が流れなくなってから約10年。大雨の時だけ流れるが、土地や砂が入り浅くなり草が生え、大雨が降るとあふれて水害が多くなった。河川のごみ問題に目を向けてほしい。また南区の用水路に行くとたくさんたまったごみの上でカメが甲羅干ししているのをよく目にします。不法投棄を含め水辺にはごみが多すぎます。坪井川の河口をたとえに出せば、小島町周辺の河川敷のごみが毎日潮の満ち引きで海と川を行ったり来たりしている。
- ・ 堤防の補強整備が少し不十分で今後の不安がある。
- ・ 誰の土地かわからないところの雑草が道にはみ出していて邪魔。川が掃除されていない。ゴミだらけで、市は何をしているのかと良く思う。
- ・ 白川を散歩することがありますが、以前よりきれいにはなっていますが、まだ水が汚れているようです。もう少しきれいになればと思います。
- ・ 江津湖は水源のイメージが強く湿地と言えば尾瀬のイメージがあり、江津湖が湿地と言われても違うかなと思う。江津湖は昔より水かさが少なくなっており驚いている。ただ、昔よりきれいになりました。
- ・ 緑川水系の保全について。城南町側の河川敷管理、堤防道路管理が進んでいない。河川敷を市民の財産として活用できていない（立ち入ることもできない）。一方で水害に対する不安もある。公園、遊歩道、サイクルロードなどの整備を行い水辺に親しめる環境の提供と防災対策の両立を求めます。

## 8「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）」についての意見（22件）

### ●カラスや野良猫などの動物被害について

- ・ 中心部や西区新土河原付近のカラスが多過ぎで気味が悪いし糞もひどい。少しくらい市民生活に影響があってもいいので駆除してほしい。
- ・ カラスや猫が多い。野良猫に餌をあげる人がいるため増えて困っている。ごみの分別を守らない人が多くいて困っている。
- ・ 街なかのカラス対策をもう少ししていただきたい。カラスの糞で道路が汚れていたり、夜街なかを歩くときはカラスが電線にとまっているところは注意しながら歩かないといけません。県外から来た友人もカラスの多さにはびっくりしていました。素敵な街なのにもったいないなあいつも思います。
- ・ 猫の放し飼いと野良猫への餌やりが問題だと思う。
- ・ 立田山や江津湖によく行くが野良猫が最近増えているように思える。

### ●悪臭、騒音について

- ・ うちのお隣の騒音がすごいです。何度も何度も警察が来ていますが、何の解決もできていません。このお隣のせいで、自分たちが騒音の原因のように少し離れた町内の方には思われています。生活環境の騒音とは違うかもしれませんが、どうにかできないのかと思う。あとはトラックの排気とか音はうるさいし怖いです。
- ・ バイク等の騒音で嫌な時があり治安に不安を感じる。
- ・ 城南町に居住しているが時々養豚場からの悪臭で悩まされます。特に夏場の夕方から夜、どうしてあんな悪臭がするのか、ひょっとして糞・尿を川へ流しているのでは、と疑いたくなります。
- ・ 団地の空き室のベランダにハトが多数住んでいるし糞の悪臭で困っている。空き室の部屋内で飛び回っている。どこからかの隙間から入ったのかと思います。鳥のことなので無理なことですが一応お知らせします。（楠校区）
- ・ 中心街のアーケードをそれた通りはすごく臭う。
- ・ 家の隣が牛舎ですがとても臭くて汚水等が道路に流れ出てきます。どうにかしてほしいです。（託麻東校区）
- ・ 養豚場の整備がされておらず悪臭がある。（桜井校区）

### ●その他

- ・ ごみが落ちていることも少なく、緑化の取組なども活発でありがたく自分も気を付けようと思えるほどよく守られていると感じます。
- ・ 環境美化などに関する役を町内自治会で担当していますが、ごみ問題は生活するうえで避けて通れない事項です。行政上特段問題はないと考えます。要は個人や各家庭におけるモラルが最重要であると思います。
- ・ 熊本は住みやすい街であると思うので、自然環境とともに防犯防災などの生活環境の向上をもっと推進してほしい。

- ・ 熊本は良好な環境で水や緑が多く住みよいと思います。
- ・ 熊本は緑も多く海も山も近く、とてもいい環境に恵まれていると思います。
- ・ 熊本市はとても住みやすいところだと思います。今は何も不自由を感じていません。
- ・ 熊本市は過疎化した地域がたくさんあります。各地区のまちづくりを強化し、お年寄りや子供たちが安心して住める街づくりを進めてもらいたいです。また熊本駅開発、サクラマチ、熊本空港開発など進められていますが、実際足を運ぶのか、と聞かれたら No です。郊外には大型ショッピングモールがあり、駐車場無料、映画館、ポイントなどお得な情報ばかりです。なかなかお休みの日に街まで行くことはありません。福岡市、大分市などのように駅を一步出たら町が開けて、活気ある「まちづくり」を目指してほしいです。
- ・ 暮らしやすい熊本市を目指してできることから取り組んでいきたいと思う
- ・ 用途地域の見直しが必要だと思う

#### 9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見（151 件）

##### ●道路の整備について

- ・ 家の前の道路の段差があるが、ダンプや大型車がスピードを出して通った際に地震みたいに揺れる。横並びの近所の人たちも同意見で、道路の段差などは市で調査してほしい。（菱形校区）
- ・ 地震以降、バスや大型車両が通るたびに家が揺れます。道路のうねりも感じられ道路の整備が他県に比べ劣っていると感じます。（力合西校区）
- ・ エネルギー、排気ガス軽減のために道路渋滞の解消。主要交差点の高架化が必要。
- ・ スクールゾーンになっているところの道路の横に水路があり大雨の時には冠水することがたびたびある。大変危険だと思う。離合できない道路や電柱ばかりの道路をもう少し改善できないかと思う。
- ・ 横断歩道の白線が消えかかっているところが多く感じる
- ・ 環境としては悪い状態ではないと思うが、地震以降道路状態は良くない。どの道もガタガタだったり補修があったりで危険を感じる場所もまだまだ多い。
- ・ 気象災害から守る環境整備のための危険区域の点検。道路周辺の環境整備（雑草、雑木の除去）
- ・ 狭い道が多く丁字路や急カーブが多いのできちんと区画整理すべきと思う。また、緑が街中に少ない
- ・ 狭い道路が多い
- ・ 熊本地震により道路、歩道などもだいぶ改善していますが、また改修に至っていないところを今後どのようにしていくかということがあると思います。
- ・ 熊本市内の道路などは歴史的に道路が狭く交通事情の改善は非常に困難との固

定観念があるようで、道路や歩道などは昔からあまり改善されていないような気がする。

- ・ 熊本地震以降、交通整備が進んでいないように思う。
- ・ 計画道路があるが30年くらい進展がない。政令市の中で一番渋滞がひどいという話があります。計画道路の推進は図るべきだと思います。
- ・ 交通渋滞、道路整備、自転車道広域に設置
- ・ 工事したのに通れば道がでこぼこな所が多い。工事が長すぎる。西回りバイパスの完全開通も未定ですか？！目標を立てないと後回しにされている気がする。
- ・ 工事ばかりしていて迂回時の履行は難しい。通学路とかだともっと危ない。
- ・ 歩道がどこを歩いても悪路でタイル貼りもかえって凸凹で歩きにくい。点字ブロックもはげあがってかえって危険で転びそうです。アスファルトで舗装整備をしてください。熊本市のイメージは外部から見ても特に道路が不評です。道路標示案内も分かりにくい。
- ・ 郊外に行くに従い道路の雑草や横断歩道の少なさが気になる。
- ・ 自動車道路の整備が急務です（騒音対策として）。
- ・ 自分及び他者の身の安全を感じる、それに感謝することが環境への意識を高める出発点になると感じています。熊本の道路や歩道は安全なものとは言えないと思います。
- ・ 車は問題ないが、そのほかの移動手段だと危なかったり不便だったりする。車が優勢の時差式信号や、自転車が通りづらい電信柱など。ルールを守りたくても守りづらいのは困っています。
- ・ 車道と建物の間隔が狭く、注意して運転したり歩いたりしないといけない場合があるのでできるだけ改善してほしい。
- ・ 車道と歩道が狭く、街路樹の手入れが悪く、歩行中に頭に当たる。
- ・ 新しい道路がどんどん出来ているが、住民の生活や環境に配慮した将来の構想を提示してほしい
- ・ 震災の復興がまだ進んでいない地域とかは道路ががたがただし、今住んでいるところはガードレールとかもないところなので車で運転ミスしたら落ちるし、子どももその場所を一人で歩かせるのは怖いです。夜は特に危ない。他に道路が狭いのも気になります。
- ・ 市道の拡幅の整備が相当遅れていると思う。
- ・ 大雨や台風の際に様々な場所で道路が浸水し停電が発生すること
- ・ 地震の後の道路の整備が遅い
- ・ 地震後の整備が大変ですが、県道国道とも各部分で、子供や老人に優しい道路を希望します。
- ・ 地震後の道路でマンホールだけが盛り上がっているところがあるので補修してほしい。



- ・ 道はどこも狭く、戸建ては横をトラックが通ると揺れる。木を植えるのはいいが、もともと道が狭い場所は自転車を通れなかったり歩道から人があふれたりする。人と車と環境に配慮した道路づくりをして欲しい。特に今、自転車専用道路をどれだけ増やせるかでCO2の排出量も大きく変わってくると思う。ただ、表面工の数を増やすのだけでなく、住民が安心して使える自転車専用道路でないと誰も使わない。

電車通りなど、車道が狭く運転して怖いところがある。もう少し広々とした県外の方も運転しやすい道路があるといいと思います。

- ・ 道幅が狭く、ゴミ収集日には交通が混雑することがある
- ・ 道路が狭い、凸凹、渋滞、歩道の狭さ
- ・ 道路が狭くいざ災害が起きた時の非難がむづかしい個所の改善
- ・ 道路に自転車がよろよろしていたり、狭い歩道に電柱があったりして車椅子、ベビーカー、傘をさしている人が通行するのが困難。電車通りの白山交差点はいつになったら右折信号ができるのでしょうか？何十年も通行しているけど危ないなーと感じます。自然も大事だけど、人が生きやすい環境をお願いしたい。
- ・ 道路の白線が消えているところがとても多い。夜や雨の日など特に危ないと思います。
- ・ 道路の補修をお願いしてもなかなか行ってもらえない。道路わきの草木が道にせり出してきても除草してくれないので地元の住民で年に2,3回ボランティアで実施。道路パトロールカーは見るがただ見ているだけでその後改善されることはない。危険な箇所は迅速に対応してほしい。何のためにパトロールしているのかわからない。地元から何度も言わないと行動してくれない。
- ・ 道路や歩道が狭い
- ・ 身体の不自由の方が安全に道を歩けない傾斜や凸凹が多い車を運転していて、見通しが悪いところなのにミラーが無い。車道の白線が消えかかっているが見えない。街路樹や草木が車道や歩道に伸びているのに放置
- ・ 必要な歩道や道路が整備されていないところがたくさんある。大きい道路のわきの道も一緒にタイミングで行えばいいのにとします。

#### ●歩道について

- ・ 中心部市街地の主要な道路に沿った歩道でさえも車椅子通行にバリアフリーとは決して言えません。せめて車椅子が通行しやすいように、凸凹をなくしてフラットにしていきたい。車椅子に乘せられている者にとって折角の街並みを楽しめる気分的ゆとりはなく、安らげる歩道ではありません。電動車椅子で通行する場合には、常時凸凹に、はまり込みはしないかと心配しながら、また段差を気にしながらの通行を余儀なくさせられているのです。ただデパートに入った時だけが、凸凹が気にならなくなり、安堵するバリアフリーのオアシスです。毎月自宅に点検に来る電動車椅子のレンタル業者が言うには、「他の電動車椅子の利用

者も、一律に“歩道と横断歩道の凸凹と、段差を解消しないと、安心して通行できるところがない。”と、口を揃えて言っています。」と。

- ・ 住宅地の歩道が工事はしてあるのですが、凸凹で足が悪いので歩けません。車が通ると側溝のふたがうるさく感じます。
- ・ 旧3号線は道幅が狭く、自転車で通行するときは怖いと感じます。自転車で安心して通れるよう整備していただけると助かります。
- ・ 旧浜線の歩道が狭かったり無かったりするので歩いたり自転車で通行するときに危険を感じるので可能な限り改善してほしい
- ・ 熊本は道路が狭いしずっとでこぼこの路面が多い。歩道が全市的に狭い。
- ・ 自転車にのったり歩いたりするときは危険な気がします。
- ・ 熊本市の道路はきれいで広いところもあるが、場所によっては狭くて歩道もなく、自転車も通行しづらいところもある。自転車は多くの人に乗っているので、自転車にやさしい道路整備をお願いしたいし、歩行者も通行しやすい歩道整備もお願いしたい。
- ・ 健常者でも歩きづらいと思う歩道があるので、段差やでこぼこ道の改良、点字ブロックの上に置いてある物（看板）の撤去などをして欲しい。
- ・ 自宅（健軍校区）の裏通りに入ると凸凹の路面や歩道の細さは足の悪い私には歩きづらく常にそこを歩くときは足元に神経を使い、そのことが少し苦痛になります。でも熊本の街は住みやすく好きな街です。
- ・ 交通量が多いのに歩道がない場所が割と多い。
- ・ 住宅地は車道しかなく散歩したいと思う環境が整っていないので、健康増進のためにも気軽に歩こう、走ろうと思えるような公園や遊歩道がもっと増えれば緑地も多くなり地下水の保全にも役立つのではないかと思います。
- ・ 高校生や中学生が通学する道路が細すぎて自転車で通学する子が危ないと感じる場所がいくつかある。
- ・ 高齢者が安心して通行できる歩道の整備を希望する。
- ・ 高齢者や子供が安心して歩くことができる歩道が少ない。
- ・ 地震後に道路が凸凹になっているのを市長さんにご存知でしょうか。足で歩いてみてください。私も自転車で転びました。
- ・ 道幅が狭いので車が通るたびに歩行者は気を使います。
- ・ 車いすが歩行者、自転車が安心して移動できる安全な道路整備が急務であると思います。どんな江津湖や水前寺公園がきれいになってもアクセスがなければ見に行くことさえできない。高齢者が多い現在、安心して散歩できる道がほしい。
- ・ 車道はまあまあであるが歩道は凸凹していて歩きにくい。特に駐車場の砂利が歩道に流れ足元をよく見て歩かないと転びやすい。私がよくつかう、工業高校北側と京塚南側は歩くための道とは言えない。
- ・ 車道は美しく舗装されているが、歩道はもう何年も何十年も手が入れられてい

ない状態。産業道路の歩道は特にひどく、保育園児や高齢者はずいぶん用心（転んでけがしないよう）されている様子を見る。

- ・ 城北校区は歩道などが全然なく、自転車通学の生徒や歩行者はとても危険にさらされています。その狭い道路に電柱が立っていて路面は凸凹で事故が少ないのが不思議に思います。
- ・ 足が悪いので、歩道はとても段差があり歩きにくいと感じる。
- ・ 足が悪い人がスムーズに歩けるように、転ばないように道路の凸凹を減らしてほしい。
- ・ 帯山に住んでいますが、競輪場通り～東灰塚あたりはとても歩道が狭く自転車や歩くのが怖いです。自転車に乗っていたらバスが来てカバンに当たり怖かったです。
- ・ 地震以降の道路の凸凹の補修がされていないところが多い。自転車がパンクしてしまったことがあった。点字ブロックもはがれているところが目立つ。産業道路は高校生の自転車が多いのに歩道が狭くて危険。
- ・ 地震後でまだ歩道の整備が完了していない。躓く歩道に悩まされる。
- ・ 通学道路の整備が必要。
- ・ 急激な宅地化で児童生徒数が増加し、危険な通学路が20数年前から改善されていない。
- ・ 自然環境も大事なことだが、未来の熊本市を支える子どもたちの命を守ることにも環境整備にあたるのではないかな？
- ・ 道幅が狭い道路が多く、バスと自転車が同時に通れない。きちんと歩道を整備してほしい。街灯が少ない場所が多い。
- ・ 道路をもう少し歩きやすいように（あまりにも凸凹が多すぎる）
- ・ 道路整備に関しては健康で日々生活している人々には理解できないであろうが、熊本市内は全く弱者には冷たい道ばかりで、身内が年老いて足が不自由になって初めて身に染みる。一歩外へ出れば道路、公共交通機関で働く人々の冷たさ、一般人の無関心、人のやさしさとか、熊本の暮らしやすさとか感じられない。特に道路の段差、凸凹のままのアスファルト、箱物の維持にお金をかけるのではなく、人を大切にする熊本であってほしい。
- ・ 買い物に自転車で行くときに薄場橋から生鮮市場までの歩道の狭さに危険を感じている
- ・ 歩道、自転車道を整備してください。川尻駅前から、川尻市道までの道路は夜は暗いし歩道もないし古いところほど昔のままです。川尻市道から城南中学校までの歩道も狭いし凸凹です。
- ・ 歩道が狭い道が多い。街路樹で歩道が凸凹していて歩きづらいので整備が必要
- ・ 歩道が狭かったり凸凹があったりする道路がある。誰もが通りやすい歩道にしたい。

- ・ 歩道が少ないように感じる。高齢者や子供たちが安全に通行できる整備を希望する。
- ・ 歩道もなく路線バスから一般車両まで交通量が多い場所が多いため、子供や障がい者が安心して通れる環境の早期整備や必要

#### ●渋滞について

- ・ 渋滞がひどく場所も多いと感じるため、車両による排気ガスも多くなっていると思います。高架方式や立体交差などによって少しでも改善され则认为ます。
- ・ 信号の調整が悪いのか交通の流れが悪く熊本は渋滞が多いし、公共交通機関の機能が弱いので、そこが熊本の悪いところだと思う。
- ・ あり得ないほど道路が渋滞している。歩道橋の設置や信号のタイミングを考えた方がよい。長崎は歩道橋がとても多い。渋滞しているということは排気ガスをとても排出しているということで、スムーズに交通が流れれば無駄な排気ガスを出さなくてよくなる。
- ・ 道路も信号が多いため渋滞がひどくなっている。これ以上自然を壊してほしくない。
- ・ 交通渋滞がワースト1であるのは道路や歩道の整備が遅れているからだと思う。郊外では車が無いと生活に不便をきたしている（病院や買い物）。子供や高齢者に対して安心安全な道路ではないおもう。
- ・ 交通渋滞が激しい。燃料の無駄遣いで排ガスによる大気汚染を招いている交通渋滞の悪化が問題だと思う。
- ・ 歩行者、自転車事故にあうリスクの高さ
- ・ 交通渋滞の解消、主要交差点の立体交差を希望します。
- ・ 交通渋滞の緩和も環境に関連すると思います。
- ・ 交通渋滞を改善するための道路整備を早急に進めてほしい。
- ・ 交通渋滞解消を。東区はバス路線が廃止されて通勤時間帯にちょうどいいバスがなくて仕方なくマイカー通勤するしかなく交通渋滞の一因になっているのではないか。また雨天時に車道や歩道に水たまりができる箇所が多数ある。
- ・ 交通量の多さからくる渋滞はかなり悪いと思える。
- ・ 自転車専用通路（歩道を歩行者ルートとわかる）等も少なく感じる
- ・ 国道3号線や57号線の渋滞をなくしてほしい。
- ・ 市内中心部の交通渋滞
- ・ 朝と夕方は住宅密集地の狭い生活道路の自動車の通行が多い。原因は市内各所で慢性化している渋滞にあると思うので、渋滞の解消に市としても取り組む必要があると思う。
- ・ 慢性的な道路の渋滞

#### ●自転車について

- ・ もっと自転車道や歩道の整備が必要だと思います。もっと安全になれば健康の

ための運動にもなるし車の利用を少なくすることもできる。

- ・ 自転車で中心街へ通勤しているが、歩道も車道も凸凹して走りにくいし、小道からの他の自転車や車の飛び出しが多く危険を感じる人が多い。
- ・ 自転車で通勤しているが、歩道の整備が悪いと感じる。
- ・ 自転車の事故防止策を取ってほしい。自動車のウインカーを出すのが皆遅い。
- ・ 自転車通行帯の整備や駐輪場を増やしてほしい

●街路樹や植栽について

- ・ このアンケートは自然や環境保護がテーマのものだが、草木が道路に飛び出ていて交通の危険があったり、公園や川沿いの木が成長しすぎて暗くなり虫も増え人が寄りにくくなっているなど自然を野放しにしすぎていると感じているので、自然保護よりも既存の環境を美しく整え直してほしいと思っている。
- ・ バイパス道路の中央緑地が荒れやすい印象を受けます。雑草の種子が飛ばない時期に刈るなどできればと思います。
- ・ 街路樹があまりにも成長しているので、維持費削減のために間隔を取るために一部間引きしても良いのでは。その経費で雑草が伸び放題の対応に使ってほしい。
- ・ 街路樹の手入れがされていないこともある。ごみが捨ててあったり、葉が生い茂り通路をふさいでしまったりしているので、手入れをお願いします。
- ・ 街路樹は枝を切りすぎだと思うし、根元の地面の露出が少なく感じる。
- ・ 街路樹は手入れをされず伸び放題で標識が見えなかったり、草木が多く茂っていて側溝は水が流れなかったりであまり良いとは思わない。車からのポイ捨てが多いと思う。ごみ分別は難しすぎるので守らない人が多いのではと思う。このアンケートも税金だから無駄遣いせずに結果を有効活用してほしい。
- ・ 街路樹は二酸化炭素の削減に効果があると思うが、手入れが行き届かず伸び放題の枝や、植え込みに生えた雑草が伸びきっていると残念な気持ちになる。
- ・ 街路樹も見た目だけではなく、管理、安全を考慮した植え込みが必要だと思います。
- ・ 街路樹の伐採が多いようです。樹木の維持管理にも費用が掛かるので伐採したほうが楽なのかもしれませんが、市民病院の周りに市電が延伸すれば他の樹木も無くなるのではと気になります。
- ・ 街路樹を増やす。
- ・ 東バイパス中央緑地帯の雑草のすごさが気になる。また、近隣店舗が店の前の歩道の雑草を処理しているところとそうでないところがある。行政による処理に任せるだけでなく、近隣店舗や住民がまちをきれいにしていこうという意識で取り組んでいくことが大事だと思う。
- ・ 道路に草木が多いこと。
- ・ 道路の街路樹の管理が悪く伸びすぎている。落ち葉は清掃されることなく積も

って腐葉土となりそこに雑草が生え風で飛ばされたごみが引っかかっている。落ち葉は側溝にもたまり中から草木が生えている。これでは大雨の時は水は流れず道路は冠水する。低木（ツツジ）なども伸びて車で交差点を出る際見通せないことがある。公園の大樹は街灯を隠し歩道を照らせていない。住宅の生け垣は道路に出て歩行者、自転車は道路中央寄りによるのでとても危険

- ・ 道路に植樹帯を作ることによって緑化しているのかもしれないが、雑草が茂っているところが多く、事故にもつながりかねないし見苦しく、緑化に繋がっていない。ただ、何もないならないで殺風景であるし、、、難しいですね。
- ・ 道路沿いの緑は少ないように感じる。保全活動で実際に苗を植えたりすることを市民に見せることで興味、関心を持ってくれる人が増えると思う。
- ・ 道路横の緑地帯に雑草が多いところがある。
- ・ 伐採された街路樹の一部が残って穴はそのまま地下の根で道路が隆起している場所があります。お年寄りや子供にはとても危険です。一度パトロールをお願いします（新地団地のバス通りの歩道など）
- ・ 予算の問題があると思うが定期的な除草作業はぜひお願いしたい。特に城南工業団地周辺。
- ・ 路肩の除草作業のサイクルが長いので通行しづらく感じることもある。

#### ●照明灯について

- ・ 街灯も主要な道路にもっと整備されると安全に移動できると思います。
- ・ 家（長嶺校区）の周囲の街灯がまだ少ないように感じます。一人で外を歩くのは怖いし、子供の帰りが遅いときはとても心配する。
- ・ 市内中心は道路整備が行き届いていますが、市街地を離れると道路も悪いところがたくさんあり、街灯も少ないところがあります。よくするのは大変だと思いますが計画実行を考えて欲しい。

#### ●公共交通について

- ・ 熊本市近郊から通勤や日常の買い物等に車（自家用車）を使用している状況の中、公共交通機関の無料日の設定や低額の定額化などの手段を講じるのも必要と考えます。
- ・ 熊本は交通機関があまり発達していないため車社会になっている。実際車がないと不便であるのが現状。車が増えると大気汚染や渋滞などの問題が発生する。交通機関がもっと使いやすいように再度検討してもらいたい（路線の見直しや料金も含め）。
- ・ 熊本市は政令市の中でも最も交通の便利が悪いと聞きます。これも環境問題にも影響が出るのではないのでしょうか。
- ・ 公共交通機関が貧弱なため自家用車を利用するしかない。JR や市電の延伸を速やかにすべき。
- ・ 公共交通機関の充実を図ってほしい。

- ・ 車がなくても移動できるまちづくり。
- ・ バスも本数が少なくて不便です。市バスも勝手に都市バスなどと名を変え民営化されて、本数も減りました。
- ・ 車が便利ですが高齢者はバスの利用が多いので小型バスで良いので本数をより多くしてほしい。子供が近くにいない車が無い高齢者はバスやタクシーで病院に行かなければなりません。より高齢者が住みやすい、買い物などでバスなどを利用しやすい方法を考えて欲しいです。車の生活は環境や事故などを考えれば車社会からの脱却も真剣に考えなければと思います。
- ・ 車社会のため公共交通が不便だと思う。東町から直接市街地に行くバスがほとんどないので場所的に利便性が良いのにとても不便を感じています。高齢の家族も困っている所以市電延伸の早期実現を希望します。
- ・ 他県から来ましたが熊本市はとても住みやすいと思います。街としての機能もあるし、緑も多くて環境も良い。ただ、車の渋滞が大変だなあと感じます。もう少しバスなどが利用しやすいと良いのでしょうか？たまに利用しますが時刻通りに来ないし行き先が分かりづらい。
- ・ 東バイパスの神水交差点近くに住んでいるが、軌道敷をトラックがまたぐときの音に悩まされている。段差をなくすなどの簡単なことでかなり改善されると思うので一度調べてほしい。
- ・ バス路線の統合が進まない。

#### ●その他

- ・ 自転車を運転する道路の状況が悪過ぎる。凸凹していて、危険なところが多々ある。
- ・ 車道を通行するのがルールと分かっているが、車の運転マナーが悪く危険。
- ・ 自転車専用道路の整備が必要。他県では自転車専用道路があるところがある。
- ・ アスファルトの照り返しが問題
- ・ 日本郵便九州支社横の排水が悪い（雨が降ると排水が悪い箇所がいくつかあります）
- ・ 運転マナーが悪く通学路なのに危険
- ・ 横断歩道が少ない気がします。横断歩道がないところで急に横断しだす人が多くてヒヤッとします。
- ・ 市道の無電柱化を実施して道路や歩道を広くしてほしい。
- ・ 政令市だが過密地帯は中央区のみで北区と西区は過疎地域の面積が広がっています。田園地帯での標識がもっと多くあれば道に迷うこともなくありがたいと思います。
- ・ 電線の地中化（無電柱化）の促進を図ってほしい。日本は豊かな国であるにもかかわらずほとんど進んでいないし景観上も見苦しい。
- ・ 電線の地中化

- ・ 日頃から通学路に進入禁止時間に車の進入が多々見られます。歩道の白線が見にくくなっているところもあり、児童の安全が守られていないように思います。ルールが守れない運転者には何らかの手を打ってください

#### 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見（31件）

- ・ 熊本市は街と自然が適度に融合した生活しやすい地域という感じを持っていますが、市民のモラルの低下（自分だけ良ければいいというような）が見られ、環境問題においても状況は悪くなってきていると思います。これは行政だけで解決できる問題ではないので、もっと啓発を行い、市と地域住民が関わり合えるよう一体となった活動を強化すべきだと思います。
- ・ 一般的な現状の環境情報というのをしっかり普段からもっと取り入れる努力をしたいと思いました。個人としてそして周りのために何ができるかを日々考えて行動しているつもりですが、もっと何か少しでも行動できたらと思います。日々意識して周りの方々と協力していけたらと思う所存です。
- ・ 環境を保つ活動を始めるならば会社での意識が一番身近かもしれない。取り組みやすいので。
- ・ 近年スマホ、タブレット等の普及により公園で遊ぶ子供の姿をあまり見かけなくなった。近所にも多くの公園があるが、あまりにぎわっている印象はない。昔遊びや伝統遊具（コマ、竹馬など）、子供と年配の方々との触れ合いの機会として、公園が再び活気づくような取り組みが必要だと思う。
- ・ 熊本の環境はいろんな方々に守られていると思いますが、世界基準での取り組みを熊本市でもするべきではと思います。
- ・ 熊本は恵まれた地域だと思いますので危機感を感じておりません。そのうえで仮に問題があるとすれば、環境について学ぶ機会が必要だと思います。
- ・ 熊本市が環境問題に取り組んでいる事自体認知度が低いと思う。まずは県民に認知させていく取り組みを行った方がいい。
- ・ 熊本市はとても住みやすく自然が豊かでいい環境ですが、そのことを学ぶ機会をもっと増やしていくと良いと思います。
- ・ 環境問題は、身近な問題。自分自身が生きていることが環境問題の入口だと知ることだと思います。
- ・ 色々な情報がスマホやHPでという言葉が流れますが、年配者はこの言葉を聞くとそれ以上進めない気分になります。新聞や市政だよりを今以上活用していただければと思います。
- ・ 江津湖の遊歩道にある湧水が以前と比べ水量が減ったと感じます。江津湖全体の水位も下がっているのではないのでしょうか。個人でできることにはどんなことがあるのかを身近に感じる必要があると思います。日常で気負わずにできる環境保護のやり方を目にする機会がもっと増えればよいのではないのでしょうか？



- ・ 今でもいい環境だと思うのでこの環境を維持できるように市民一人ひとりが意識を高く持ってもらえるようにさらにPRしてほしい。
- ・ 今以上に自然、緑を失わないようにと思います。そこが一番課題だと思います。市民一人ひとりの環境保全への取り組みが家庭ごみの面からやルールを守ること、省エネを心がけることなどなど、子供のことからちゃんと過程で守られており維持すること、エネルギーの大切さを知っていることが大事で、教育にも原点があるかと思います。
- ・ 子ども対象。幼稚園保育園や小学生のうちから、当たり前の事として具体的な環境教育を授業の一環として行う。
- ・ 市政でどんなことをしているか知らない市民が多いと思います。何をどうするかから市民へ何をしてほしいとか、なんでこれをやっているか、これをこうするかから資金や人手がいるなどのわかりやすい説明が必要だと思います。
- ・ 市民が今の世代の自分のことしか考えないことが問題。不便や面倒を受け入れて公正に良い環境を残したい。
- ・ 市民の一人ひとりが良く考えて行動しなければならないことであって、市としてはどのようにすればよりよくなるかということを市民に対して具体的な例を挙げて説明するようにしてほしいと思う。
- ・ 自然、水辺など一人ひとりが固有の財産と思って、これから先地球温暖化防止に努力する必要があると思う。是非一日も早く取り組んでほしいです。このままだと世界中の自然災害が止まりません。
- ・ 自分が住んでいる町内をハザードマップづくりも兼ねて、月一でもいいから町内徹底のごみ拾い大作戦を開催して、町内の危ないところ、新しいものをチェックすることは治安も知ることができる。町内ボランティア活動に協力し、参加して親睦もでき良いと思う。活動参加の対価として、「地産地消」の観点から申すと近隣の農家さんのお野菜や果物を紹介もして渡すと良い。もしくは「指定収集袋」でも。ごみ袋は税のようなものだから、ごみ袋がもらえると減税されるようなものでうれしい。
- ・ 若い世代に変わってくればくるほど、今の熊本の状態や、熊本の自然など今まで守られてきたものなどが、当たり前のようになり、自然を守るという考えが薄れて、だんだんと自然が壊れていく（自然に壊れていってしまう）。実際今の若い世代はあまり考えていないように思われるため。
- ・ 住む人が他人事ではなく自分が住む街という認識を持つことが課題だと思う。
- ・ 住んでいる地域（黒髪）のごみ捨ては自治会長さんや近所の方がきちんと見守って居られて、ルールを守らない学生には声掛けをしておられるようです。ここ最近ルールを守ってきちんとごみ出しを皆がしています。アンケートを答えるにあたり、環境問題について日頃からもう少し考えないといけないと思いました。熊本のために少しでも住みやすい街になるようによろしくお願いします。

- ・ 熊本は水資源の豊かな地域だと思うので、もっとアピールすることが必要だと思います。
- ・ 情報誌で特集やお知らせをもっとして欲しいと思う。
- ・ 世界＞アジア＞日本＞九州＞熊本県＞熊本市＞各地域＞家庭＞一人ひとり、地球温暖化防止のためにはどの括りのグループにおいても最大限の努力が必要だと思う。
- ・ 世代を超えて自然保護の必要性を認知すること。呼びかけ。
- ・ 道路にごみを平気で捨てる人を減らす。海、山、植物、動物等の美しさ、大切さを知る
- ・ 八景水谷公園の川で生物を取ってはいけないとの看板があるのに親子連れで小魚や水辺の生物を取っている。市の監視員が巡回して注意すべきだと思います。熊本市民として恥ずべき行為である。
- ・ 便利を追求したので自然破壊（地球温暖化等）になり、将来を生きる子供たちはかわいそうである。何とか環境をクリーンにし豊かな財産を子孫に残せるよう、現在の大人が早急に取り組むべきではないか。
- ・ 毎日の生活の中でどんなことに気を付けたらよいのか具体的に分かりやすいように、テレビ番組などで情報を発信していく場が多くあったらよいと思います。
- ・ 良好な環境を維持するには、市民一人ひとりの意識が重要と考えます。いまだレジ袋、空き缶等のポイ捨てが見られる状況です。小中高校若いうちから学ぶ機会、状況を得る機会を徹底することが必要ではないでしょうか？

## 11 その他（25 件）

- ・ 80 歳過ぎの者に対してこのアンケートは回答そのものが難しく、また参加も難しく、心はあっても行動が伴いません。
- ・ このアンケートで知らない言葉や事柄について色々勉強になりました。これから少し勉強してみたいと思います。
- ・ このようなアンケートを郵送代、印刷代使っても何にもならないと思う。家がバス停の前にあるが、よく缶やごみを庭にポイ捨てされる。家に持って帰れば済むことなのに、誰も見てないから捨てるのだろう。こんな人間がいっぱいいる中でこのアンケートは無駄。広報車でポイ捨てはしない、分別を守りましょうと回った方がまだましだと思う。あと町内で町費を取っても、花見代、飲食代の補助とか、町費を取るならごみ袋の一つでも町内会から配布してほしい。町費は廃止してほしい、老人会、役員の飲み食いに消えるだけ。
- ・ 一生懸命する人としらない人の差や地域差もあるように思います。私はこれからもできることをコツコツとやっていきたいと思う。
- ・ 下水道整備を望む（南区城南町）

- ・ 環境の現状＝自分の身近は良好な環境でありあまり感じたことがなかった。熊本は水もきれいで緑も多いし、近所のごみステーションもきれいで不満もない。自分でもごみは少なくするように心がけています。しかしながら環境問題についてはザクッとしか地域がないという現状で知らないことばかりで恥ずかしいです。
- ・ 環境はよく整備されていると思います。これからも続けていったほしいと思います。熊本は住みやすく良い街だと思います。
- ・ 環境を守ることは大切なことであるとわかっていてもきれいに保たれている街や雄大な自然が目に見えており危機感がないのが現状です。
- ・ 季節ごとの風景の変化を時々目にして心が和むことがあります、普段は仕事と生活に追われ心に余裕がなくゆっくり自然を楽しむ機会があったらなと思います。
- ・ 熊本はいい環境であるので、環境問題よりほかにやることがあると思う。
- ・ 熊本は水も緑も豊かで自然に恵まれた良い都市だと思います。九州の中心にあり新幹線も開通し近代化にも対応しています。けれどもうまくいかされていない気がします。どうしたらいいのかは分かりませんが、もったいない気がします。
- ・ 現在 82 歳で、626 大水害の時は中学 2 年生でした。それから 60 年以上本当に熊本に住んでいて年を取り、子、孫を設け、主人は 9 年前亡くなりましたが、宮崎の主人の里の姉弟は今でも生き生きしています。娘も大阪で職に就き奈良に現在住んで、2 人の息子は大学出て職についています。娘の夫は東京の単身赴任で今年から定年まで行くそうです。娘は大阪に残って看護師をしています。熊本もだんだん素晴らしい都市に変わりつつ娘たちが年に一度帰省します。
  - ・ 市街地、観光地に力を入れるのはもちろんですが、少しずつ郊外の方にも目を向けて取り組んでいただけると良いかなと思います。以前テレビでシードーナツの海の汚さについて司会の方が話していてせっかく熊本で唯一の水族館なのにもったいないな、、と。他県の人から見たら行きたいと思わないでしょうね。海の中が見られるならきれいな方が良いです。
- ・ 資金的な問題、地域住民の協力
- ・ 次世代につなぐ環境を守りたい！
- ・ 自然、環境の現状を見て、地球がいつ崩壊するか非常に心配です。政治は自分たちの選挙のことで金儲けのことが中心、未来を志向するとまず基本に返って国民を中心に見直すことが第一、そして機械、化学はゆっくり、それから世界は一つ、人類はみな兄弟と笹川先生の言葉を強く受け止めて欲しい。そしてクリーンな世界を。日本の未来が心配
- ・ 自然環境に大きな負荷を与えているのは企業であり、多くの人口であると思い

ます。本市は大都市、大工業地帯でもなく、住むのに不便を感じるほどの状態ではありません。しかし、地下水の水位が低下しており、未来の住民のためにも改良しておくべき課題と言えます。阿蘇へ降った雨水を以下にして地下水へと導くか。環境破壊は地球上を駆け巡っています。環境破壊により個々人が苦しむことが無いように為政者が利害に走らないことを願うばかりです。

- ・ 住みやすい街なので特に問題を感じない
- ・ 住宅街で路上駐車が非常に多くて危険。車を買う前に駐車する場所を考えるべきだ。警察署の車庫証明の発行を厳しくすべき。
- ・ 生活弱者、特に高齢者など声を上げることが難しい人たちの声を集めるにはどうするか？最大公約数で政策を進める場合、そこから外れる人々をどうフォローしていくか。人と人のつながりが薄くなっているのが、どれだけ多くの意見を政治や自治につなげられるかが課題だと思う。
- ・ 太陽光発電、蓄電池の省エネ補助金をお客様の代わりに書類作成を数件しましたが、もっと簡単にできるようにしてほしい。業者が手伝わないと自分ではできない方がほとんどです。しかも補助金があることを購入者の70%程が知らないこともあります。
- ・ 大企業の工場やセンター等が他の都市よりも多くないのが幸いしてか、環境・自然界の破壊を免れている。ただし、文教都市熊本の面から考えると、有効な手を打たれているような印象を受けないのが残念であるし、今後の課題ではないだろうか考える。
- ・ 地震で被害にあった人のことをまだ考えてほしい。地震ののち日々の暮らしもぎりぎりですべて回復していない。
- ・ 日本に居住しているマナーの悪い外国人が若者を悪感化しているように思うことがある。それも環境だと思うし、日本を守るために日本の大人が経済優先のために悪を見過ごさない姿勢を示すなら参加する意味もある。形（緑がどうか、そんなことだけでは緑も無くなると思う）ばかり取り上げても意味はない。

### 3 参考資料（調査票）

#### 環境に関する市民アンケート調査（依頼文）



令和2年(2020年)2月

市民の皆様へ

熊本市長 大西 一史

「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、平成23年(2011年)4月から、「第3次熊本市環境総合計画」に基づき、環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進捗管理を行っております。

今回お願いしておりますこのアンケート調査は、その検証指標に関連して市民の皆様お一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えております。

皆さまには、お忙しい中お手数をお掛けいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

#### ■対象者の選定について

このアンケートは、令和2年(2020年)2月25日現在で熊本市に住民票がある、満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3千人の方々にお送りさせていただいております。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

項目が多いですが、熊本市の環境行政のためにご協力のほどお願いいたします。

#### ■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒のあて名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙は同封の返信用封筒にて、令和2年(2020年)3月31日(火)までに投函してください。(※切手は不要です。)

#### ■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427 (直通) 電子メール: kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでも回答ができます。裏面をご覧ください。

## インターネットでの回答方法について

### ■インターネット回答にあたっての注意点

- ・インターネットでの回答時間の目安は、約 15 分です。令和 2 年(2020 年)3 月 31 日(火)までにご回答をお願いいたします。
- ・インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

### ■スマートフォン・携帯電話から

以下の二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケート画面へ移行します。



読み取れない場合は、以下のパソコンからの手順か、アドレス

[http://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c\\_id=37&entry\\_ins=41](http://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c_id=37&entry_ins=41) を直接入力して下さい。

### ■パソコンから

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) を検索サイト等で検索して下さい。



The screenshot shows the Kumamoto City homepage. At the top right, there is a search bar with the text "キーワード検索" (Keyword Search) and a magnifying glass icon. Below the search bar, there is a navigation menu with various categories: "暮らし・環境" (Living/Environment), "防災・まちづくり・市民参画" (Disaster Prevention/City Making/Citizen Participation), "健康・福祉・子育て" (Health/Welfare/Childcare), "学び・観光・スポーツ" (Learning/Tourism/Sports), "しごと・産業・事業者向け" (Work/Industry/Business-oriented), and "行政情報" (Administrative Information). The main content area features a large blue banner for the "熊本市健康ポイント事業試行運用 2020.1.14 START!" (Kumamoto City Health Points Project Trial Operation Starting 2020.1.14). The banner includes text about earning points through health check-ups and events, and using accumulated points for discounts. To the right of the banner, there is a smartphone displaying a health points app interface. Further right, there is a sidebar with links to the Mayor's Office, the Kumamoto City Assembly, and district offices, along with a banner advertisement section.

トップページ右上の検索画面で、“環境に関する市民アンケート” とご入力いただき、検索して下さい。

《問 32 関係の解説です。調査票と併せてご覧ください。》

エスディージーズ  
S D G s とは

“持続可能な開発目標”の英語の頭文字をとったものが、S D G sです。

平成 27 年(2015 年)9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された令和 12 年(2030 年)までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。S D G sは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。

熊本市も取り組んでおり、令和元年度(2019 年度)から積極的に広報を行い、色々な市の方針にS D G sの考え方を取り込んでいくこととしています。

また、市民や企業の参画も要請されており、さまざまな解決目標を定め取り組む企業も増えています。

S D G sは、市民一人ひとりにも密接に関わっており、市民一人ひとりの意識を変えることも求められています。

持続可能な開発目標（SDGs）17 ゴールは次のとおりです。

|                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>1 貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。</p>                                                                                                                                                               |
|  | <p>2 飢餓をゼロに</p> <p>飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。</p>                                                                                                                                         |
|  | <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。</p>                                                                                                                                                  |
|  | <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々に<u>包摂的</u>※かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p> <p style="text-align: right;">※・・・誰一人取り残さない</p>                                                                                     |
|  | <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p><u>ジェンダー</u> (※1) の平等を達成し、すべての女性と女児の<u>エンパワーメント</u> (※2) を図る。</p> <p style="text-align: right;">※1・・・社会的・文化的な意味での性別</p> <p style="text-align: right;">※2・・・人が夢や希望を持ち、生きる力が湧き上がること</p> |
|  | <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。</p>                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                      |                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>7 エネルギーをみんなに<br/>そしてクリーンに</p>    | <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。</p>                                              |
| <p>8 働きがいも<br/>経済成長も</p>            | <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク<sup>(※)</sup>を推進する。</p> <p>※・・・働きがいのある人間らしい仕事</p> |
| <p>9 産業と技術革新の<br/>基盤をつくろう</p>       | <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>レジリエント<sup>(※)</sup>なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。</p> <p>※・・・強じん</p>            |
| <p>10 人や国の不平等を<br/>なくそう</p>         | <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>国内および国家間の不平等を是正する。</p>                                                                             |
| <p>11 住み続けられる<br/>まちづくりを</p>       | <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。</p>                                                             |
| <p>12 つくる責任<br/>つかう責任</p>         | <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する。</p>                                                                           |
| <p>13 気候変動に<br/>具体的な対策を</p>       | <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。</p>                                                                     |
| <p>14 海の豊かさを<br/>守ろう</p>          | <p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。</p>                                                               |
| <p>15 陸の豊かさも<br/>守ろう</p>          | <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る。</p>                       |
| <p>16 平和と公正を<br/>すべての人に</p>       | <p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。</p>              |
| <p>17 パートナリシップで<br/>目標を達成しよう</p>  | <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、<u>グローバル・パートナーシップ</u><sup>(※)</sup>を活性化する。</p> <p>※・・・地球規模の協力関係</p>       |



## 環境に関する市民アンケート調査

## 調 査 票

※ インターネットでアンケートにお答えいただく方は、依頼文の案内をご覧のうえ、インターネットでご回答をお願いします。この用紙を返送いただく必要はありません。

※ 本アンケート用紙でお答えの方は、以下の質問にお答えください。

回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものがああります。



問1. あなたは、熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 とても感じる    | 2 やや感じる   |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり感じない |
| 5 全く感じない    |           |



問2. あなたは、熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 とても感じる    | 2 やや感じる   |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり感じない |
| 5 全く感じない    |           |



問3. あなたは、熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。(1つだけ)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 とても感じる    | 2 やや感じる   |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり感じない |
| 5 全く感じない    |           |



問4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1 感じる  | 2 やや感じる |
| 3 感じない |         |



問 5. この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1 つだけ)

|        |   |           |             |   |         |
|--------|---|-----------|-------------|---|---------|
| 1 参加した | → | 問 5-1、5-2 | 1 2 参加していない | → | 問 5-3 へ |
|--------|---|-----------|-------------|---|---------|

問 5-1. 問 5 で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

この 1 年以内で、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。  
(いくつでも可)

- 1 自治会・老人会・PTA 等が主催する講座・講演会・セミナー等
  - 2 NPO や企業が主催する講座・講演会・セミナー等
  - 3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
  - 4 学校や職場で行われる勉強会
  - 5 環境フェアなどのイベント
  - 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
- 

問 5-2. 問 5 で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1 つだけ)

- 1 ある ※実践している内容について、簡単にご記入ください。  

---

---
- 2 ない ※実践していない理由について、特に何かある場合は記入して下さい。  

---

---

問 5-3. 問 5 で「2 参加していない」を選択された方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(いくつでも可)

- 1 時間がなかったため
  - 2 経済的な負担が増加するため
  - 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
  - 4 興味がなかったため
  - 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-

問 6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(いくつでも可)

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 日常生活の中で実践できるエコについて              | 2 環境問題についての基礎的な知識 |
| 3 最近話題になっているテーマについて               | 4 身近な地域の環境について    |
| 5 国際的な環境問題について                    |                   |
| 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                   |
- 

問 7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(いくつでも可)

- |                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる            | 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される |
| 3 無料で参加できる                        | 4 気軽に参加することができる         |
| 5 専門的な知識を身につけることができる              | 6 友人や家族と一緒に参加することができる   |
| 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                         |
- 

問 8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(いくつでも可)

- |                                   |                          |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 学習会や講演会などの開催                    | 2 学校や社会における環境教育の充実       |
| 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成              | 4 環境に関する情報を入手できる場の提供     |
| 5 体験学習など自然に触れる機会の提供               | 6 環境に関する広報などの強化          |
| 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰             | 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供 |
| 9 その他 ※「9 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                          |
- 

問 9. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)  
(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

- |       |         |        |
|-------|---------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 感じない |
|-------|---------|--------|

問 10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1 積極的に参加している             | → 問 10-1、10-2 へ |
| 2 できる限り参加している            |                 |
| 3 参加したことはないが、今後参加してみたい   | → 問 10-3、10-4 へ |
| 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない | → 問 10-5 へ      |

問 10-1. 問 10 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(いくつでも可)

|                                   |       |        |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 町内自治会                           | 2 PTA | 3 NPO  |
| 4 老人会                             | 5 婦人会 | 6 子ども会 |
| 7 自分たちで立ち上げた活動グループ                |       |        |
| 8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |       |        |
| <hr/>                             |       |        |

問 10-2. 問 10 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(いくつでも可)

|                                     |                           |                    |
|-------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| 1 自然林や野生生物<br>の自然保護活動               | 2 自然観察会の開催                | 3 植樹などの緑化運動        |
| 4 森林保全活動                            | 5 地下水の保全活動                | 6 河川環境保全活動         |
| 7 清掃活動                              | 8 ごみステーション<br>の管理         | 9 リサイクルや資源回<br>収活動 |
| 10 歴史的文化遺産の<br>保全活動                 | 11 環境問題に関する講演<br>会・勉強会の開催 | 12 環境保全のための寄付      |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                           |                    |
| <hr/>                               |                           |                    |

問 10-3. 問 10 で 3 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

|                                   |       |        |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 町内自治会                           | 2 PTA | 3 NPO  |
| 4 老人会                             | 5 婦人会 | 6 子ども会 |
| 7 自分たちで立ち上げた活動グループ                |       |        |
| 8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |       |        |
| <hr/>                             |       |        |

問 10-4. 問 10 で 3 を選択された方にお尋ねします。

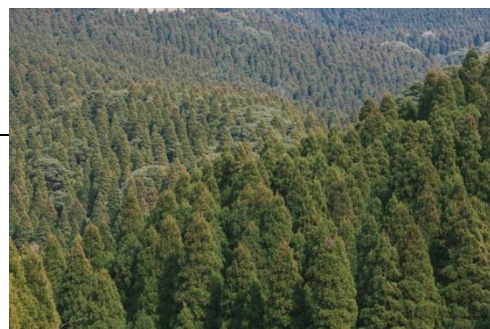
今後地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

- |                                     |                           |                    |
|-------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| 1 自然林や野生生物<br>の自然保護活動               | 2 自然観察会の開催                | 3 植樹などの緑化運動        |
| 4 森林保全活動                            | 5 地下水の保全活動                | 6 河川環境保全活動         |
| 7 清掃活動                              | 8 ごみステーション<br>の管理         | 9 リサイクルや資源回<br>収活動 |
| 10 歴史的文化遺産の<br>保全活動                 | 11 環境問題に関する講演<br>会・勉強会の開催 | 12 環境保全のための寄付      |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                           |                    |

問 10-5. 問 10 で 4 を選択された方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも可)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 時間がないため                         |
| 2 興味がないため                         |
| 3 メンバーが固定されていて参加しづらいため            |
| 4 活動の効果があると思わないため                 |
| 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |



問 11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(いくつでも可)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 環境問題についての知識・情報の普及が図られること        |
| 2 環境問題を実際に感じる事(地域の川が昔より汚くなった、など)  |
| 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること          |
| 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などがわかること  |
| 5 日常生活の中で気軽に取り組みやすいこと             |
| 6 付加価値(エコポイント等)があること              |
| 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |

問 12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師等の派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



問 13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも可)

- |                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 テレビやラジオ                           | 2 新聞、雑誌、書籍など    |
| 3 家族や友人、知人との会話                      | 4 行政からの白書、広報誌など |
| 5 インターネットや携帯電話のサイト                  | 6 講演会や学習会       |
| 7 地域活動やボランティアを通じて                   | 8 NPO からの情報提供   |
| 9 企業からの情報提供                         |                 |
| 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                 |

11 情報を得ていない



問 14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。(いくつでも可)

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1 環境に関する一般知識                        | 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法 |
| 3 環境に関するイベントや学習会の情報                 | 4 市民活動団体などによる環境活動の情報       |
| 5 環境に関する調査の結果                       | 6 環境に関する補助金の情報             |
| 7 国際的な環境の情報や交流の情報                   | 8 環境活動のアドバイザーや講師の派遣情報      |
| 9 身近な地域の環境に関する情報                    |                            |
| 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                            |

問 15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1 つだけ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 きちんと守っている | 2 だいたい守っている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり守っていない |
| 5 全然守っていない  |             |

問 16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。  
(1 つだけ)

- |                  |
|------------------|
| 1 既に利用している       |
| 2 知っているが利用はしていない |
| 3 知らない           |

問 16-1 へ



問 16-1. 問 16 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(いくつでも可)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 市の広報媒体（市政だより、市政広報番組等）           |
| 2 新聞、テレビ、ラジオ等                     |
| 3 SNS（Facebook、Twitter 等）         |
| 4 家族や友人、知人から                      |
| 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |

問 17. この 1 年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。  
(1 つだけ)

- |                     |
|---------------------|
| 1 11 回以上目撃したことがある   |
| 2 1～10 回程度目撃したことがある |
| 3 目撃したことはない         |
| 4 分からない             |

問 17-1 へ

問 17-1. 問 17 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

この 1 年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1 つだけ)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 増えたと感じる   | 2 減ったと感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 分からない   |

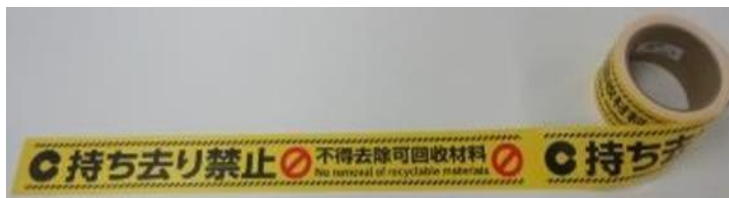


問 18. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ」を使用したいと思いますか。(1 つだけ)

持ち去り禁止意思表示テープとは

以下の画像のテープのことです。新聞紙などをこのテープで縛ってごみステーションに出すことで、持ち去りの抑止効果を狙っています。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 分からない



問 19. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いますか。ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

問 20. 生ごみ処理機を購入する助成金制度を知っていますか。(1 つだけ)

1 既に助成を受けている

2 知っている

3 知らない

問 20-1 へ

問 20-1. 問 20 で 2、3 を選択された方にお尋ねします。

生ごみ処理機の購入助成を検討していますか。(1 つだけ)

生ごみ処理機について・・・燃やすごみの 40%を占める生ごみの削減に効果があり、熊本市が目標としている「家庭ごみの 20%減量」を達成するために助成を行っています。

1 検討している

2 検討していない

問 21. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう考えられますか。(1 つだけ)

1 賛成

2 どちらかと言えば賛成

3 どちらでもよい

4 どちらかと言えば反対

5 反対



問 22. 熊本市における家庭ごみの収集は、ご自宅の近くのごみステーションで収集する方式を採用しておりますが、他都市ではご自宅の前で収集する戸別収集方式を採用している都市もあります。このような戸別収集方式についてどう思われますか。(1つだけ)

戸別収集方式は、政令指定都市の中では名古屋市、大阪市、福岡市が採用しています。市民の皆様にとってごみステーションまで出向く必要がなくなりますが（マンションやアパートにお住まいの方は従来どおり共同のごみステーションに排出する必要があります）、収集に係る経費が現状の約 27 億円から概算で約 62 億円に増加するものと試算しています

1 熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい

問 22-1、問 22-2 へ

2 熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない

問 22-3 へ

問 22-1. 問 22 で 1 を選択された方にお尋ねします。

どのような理由からそう思われますか。(いくつでも可)

1 ごみの排出が楽になるから

2 ごみステーションの管理が不要になるから

3 その他 ※「3 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 22-2. 問 22 で 1 を選択された方にお尋ねします。

経費の増加をまかなう手法の一つとして、指定収集袋（ごみ袋）を値上げすることについてどのように思われますか。(1つだけ)

指定収集袋の販売による市の収入が現状の 5 倍程度になれば戸別収集の経費をまかなうことができると試算されます。

1 増加する経費の全てを指定収集袋の値上げでまかなってよい

2 増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい

3 指定収集袋を値上げするべきではない

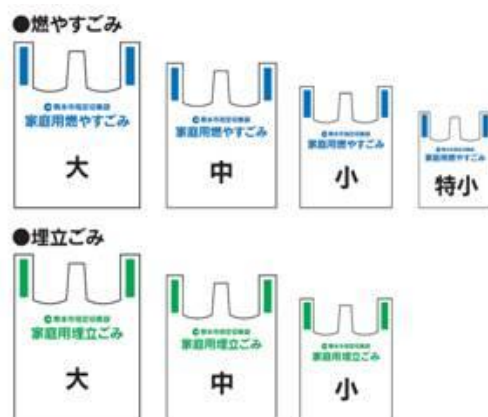
問 22-3. 問 22 で 2 を選択された方にお尋ねします。

どのような理由からそうおられますか。(いくつでも可)

- 1 現在のステーション収集方式で不便を感じないから
- 2 多額の経費をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから
- 3 マンションやアパートの居住者に利益がないから
- 4 自分が出すごみのプライバシーが確保できないから
- 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 23. 埋立ごみの特小袋を新規で製造することについてどうおられますか。(1 つだけ)

熊本市の指定収集袋は燃やすごみについては、大袋（45 リットル相当）、中袋（30 リットル相当）、小袋（15 リットル相当）、特小袋（5 リットル相当）の 4 種類を製造していますが、埋立ごみについては大袋、中袋、小袋の 3 種類しか製造しておりません。これは、生ごみ等は少量でも長く保管できるものではないことから、燃やすごみに限って特小袋を製造しているところですが、近年、埋立ごみの特小袋を望むご意見をいただいています。



- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 是非製造してほしい | 2 どちらかと言えば製造してほしい |
| 3 どちらでもよい   | 4 製造する必要はない       |

問 24. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1 つだけ)

電子たばこ（加熱式）とは、たばこ葉を電気で加熱し、そこから出る水蒸気を吸い込むたばこのことです。

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 1 規制する必要がある             | 2 規制する必要がない |
| 3 従来のたばことは規制内容に区別が必要である | 4 どちらでもよい   |

クール チョイス  
問 25. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1 つだけ)



未来のために、いま選ぼう

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

問 25-1、問 25-2 へ

問 25-1. 問 25 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 新聞
- 4 雑誌
- 5 ポスター
- 6 自治体からの広報
- 7 学校などの教育機関
- 8 店頭・売場
- 9 イベント
- 10 インターネット
- 11 友人、知人、家族の話
- 12 その他 ※「12 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター

問 25-2. 問 25 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。  
(いくつでも可)

【実践している場合は以下からお選びください】

- 1 環境改善に貢献するため
- 2 費用の削減になるため
- 3 教育の一環として
- 4 職場や学校、家族など周囲がやっているため

【実践していない場合は以下からお選びください】

- 5 手間がかかるため
- 6 費用がかかるため
- 7 実践する機会が無い
- 8 実践する必要性が分からない
- 9 具体的な取組内容が分からない

【実践している、実践していない場合で、当てはまる項目がない場合】

- 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野ミライ

問 26. 「ZEH」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

ゼロエネルギーで、  
暮らそう。



ZEH（ゼッチ）・（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。

国は、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指しています。

問 27. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(いくつでも可)

- 1 どれくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか
- 2 どれくらい光熱費が下がるのか
- 3 ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）
- 4 ZEHの情報を取得できる場所はどこか
- 5 国や自治体の補助金に関する情報

問 28. 「温暖化対策実行計画」を熊本市を含む 18 市町村の共同で策定作業を行っていることを知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

現在熊本市では、熊本連携中枢都市圏（熊本市を含む周辺 18 市町村）で 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質 0 にするための温暖化対策実行計画を共同で策定する作業を行っています。

- 1 知っており、関心もある
- 2 知っているが、あまり関心はない
- 3 知らなかったが、関心を持った
- 4 知らなかったし、あまり関心もない

熊本市  
低炭素都市づくり戦略計画  
改訂版  
～みんなの実現！ストップ温暖化プラン～



平成 27 年 3 月  
熊本市

問 29. 買い物に行くとき、「マイバッグ」を持参していますか。(1つだけ)

- 1 いつも持参している
- 2 ときどき持参している
- 3 ほとんど持参していない
- 4 全く持参していない



問 30. レジ袋削減を進めるには、どのような必要がありますか。

(いくつでも可)

- 1 レジ袋有料化（無料配布中止）
  - 2 店でのサービスポイントなどの方法で進める
  - 3 店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発
  - 4 自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施
  - 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
- 



問 31. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。

(1つだけ)

- 1 取組内容などよく知っている
- 2 協定を締結しているお店ぐらいいは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、全く知らない

問 32. <sup>エスディージーズ</sup>「SDGs」について、知っていますか。(1つだけ)

※詳しくは依頼文（別紙）をご覧ください。

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 1 よく知っている              | → 問 32-1 へ |
| 2 少しは知っている             |            |
| 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない |            |
| 4 言葉を聞いたことがなく、まったく知らない |            |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問 32-1. 問 32 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

言葉を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

|                                     |           |           |
|-------------------------------------|-----------|-----------|
| 1 国の広報                              | 2 市の広報    | 3 企業の広報   |
| 4 NPOや市民団体の広報                       | 5 学校での教育  | 6 勤務先での取組 |
| 7 新聞、テレビや雑誌                         | 8 インターネット |           |
| 9 イベント・セミナー・講演会                     |           |           |
| 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |           |           |
| <hr/>                               |           |           |

問 33. SDGs の 17 の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(いくつでも可)

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう             | 2 飢餓をゼロに        |
| 3 すべての人に健康と福祉を        | 4 質の高い教育をみんなに   |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう       | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  | 8 働きがいも経済成長も    |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう     | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを      | 12 つくる責任つかう責任   |
| 13 気候変動に具体的な対策を       | 14 海の豊かさを守ろう    |
| 15 陸の豊かさを守ろう          | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |                 |





問 37. 「ラムサール条約」について知っていますか。(1 つだけ)

(正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

問 38. 日本には 52 ヶ所 (2019 年 9 月時点) の

ラムサール条約の登録湿地があります。

登録湿地について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない



写真は熊本県荒尾市の荒尾干潟で 2012 年 7 月にラムサール条約の登録湿地になりました。(環境省ホームページより)

問 39. 江津湖 (・上江津湖水系) は「日本の重要湿地」に選定されています。

「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。(1 つだけ)

- 1 思い浮かぶ
- 2 なんとなく思い浮かぶ (理解できる)
- 3 思い浮かばない

問 40. 江津湖をラムサール条約の登録湿地として

申請することについて、どう思いますか。

(1 つだけ)

- 1 申請したほうがよい
- 2 申請しなくてよい
- 3 どちらでもよい



江津湖

問 41. 2018 年からラムサール条約の湿地自治体認証制度※が始まっています。

熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。(1 つだけ)

※ 湿地自治体認証とは・・・国際基準を満たす登録湿地もしくは重要湿地を有する「自治体を認証」する制度です。湖や干潟等の「湿地を登録」する制度とは異なります。(2019 年 9 月現在、日本には認証自治体はありません。)

- 1 申請したほうがよい
- 2 申請しなくてよい
- 3 どちらでもよい



問 42. あなたは、熊本市の良好な環境（生活・自然環境保全）が守られていると感じますか。（1 つだけ）

- 1 とても感じる                      2 やや感じる                      3 どちらともいえない  
4 あまり感じない                      5 全く感じない

問 43. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

- 1 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
- 2 地下水の状況（水質や量）
- 3 ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
- 4 地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進  
（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）
- 5 まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
- 6 大気の状態
- 7 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
- 8 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
- 9 環境に配慮した道路、歩道などの整備
- 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）
- 11 その他

問 44. あなたが問 42 と問 43 で回答されたことについて、どのような課題があったり、問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1. ご年齢

|   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 20 歳代 | 2 | 30 歳代 | 3 | 40 歳代 |
| 4 | 50 歳代 | 5 | 60 歳代 | 6 | 70 歳代 |
| 7 | 80 歳代 |   |       |   |       |

2. ご職業

|   |         |   |     |   |      |
|---|---------|---|-----|---|------|
| 1 | 会社員     | 2 | 自営業 | 3 | 農林漁業 |
| 4 | 公務員     | 5 | 学生  | 6 | 無職   |
| 7 | その他 ( ) |   |     |   |      |

3. お住まいの地区

| 区   | 居住地区（小学校区）<br>※お住いの <u>校区</u> に○をつけてください。                              |
|-----|------------------------------------------------------------------------|
| 中央区 | 出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、碩台、託麻原、白山、春竹、本荘            |
| 東区  | 秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉         |
| 西区  | 池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野                                 |
| 南区  | 飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、錢塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西 |
| 北区  | 麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、楡木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松      |

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

---

---

## くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する  
市民アンケート調査報告書  
【令和元年度(2019年度)版】

発 行 令和2年(2020年)11月  
編 集 熊本市環境局環境推進部環境政策課  
熊本市中央区手取本町1番1号  
TEL 096-328-2427

---

---